

調布市立柏野小学校体育館内部改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	< 建 築 >	—		< 建 築 >			< 建 築 >	
A－01	図面リスト	—	A－31	展開図(3) 前室【既存】	1/50	A－61	(新設)体育器具詳細図(4)【改修】(参考図)	1/50, 1/20
A－02	特記仕様書(1)	—	A－32	展開図(4) 前室【改修】	1/50	A－62	(新設)体育器具詳細図(5)【改修】(参考図)	1/50, 1/20
A－03	特記仕様書(2)	—	A－33	展開図(5) 体育器具室【既存】	1/50	A－63	(新設)体育器具詳細図(6)【改修】(参考図)	1/50, 1/20
A－04	特記仕様書(3)	—	A－34	展開図(6) 体育器具室【改修】	1/50	A－64	(新設)ステージ下台車収納詳細図【改修】(参考図)	図示
A－05	特記仕様書(4)	—	A－35	展開図(7) 女子更衣室・シャワー室【既存】	1/50	A－65	家具詳細図【既存・改修】	1/30, 1/20
A－06	特記仕様書(5)		A－36	展開図(8) 女子更衣室・シャワー室【改修】	1/50	A－66	雑詳細図(1)【既存・改修】トイレ・ス、ライニング等	図示
A－07	石綿処理に係る工事仕様書	—	A－37	展開図(9) 女子トイレ【既存】	1/50	A－67	雑詳細図(2)【既存・改修】ガード・ハイル、シャワーユニット等	1/30, 1/10
A－08	案内図・配置図	1/ 600	A－38	展開図(10) 女子トイレ【改修】	1/50	A－68	外部スロープ平面図・断面図(1)【既存】	1/50
A－09	外部仕上表・内部仕上表(1)	—	A－39	展開図(11) 男子更衣室・シャワー室【既存】	1/50	A－69	外部スロープ平面図・断面図(2)【改修】	1/50
A－10	内部仕上表(2)	—	A－40	展開図(12) 男子更衣室・シャワー室【改修】	1/50	A－70	外部仮設計画図(参考)	1/ 600
A－11	1階平面図【既存】	1/200	A－41	展開図(13) 男子トイレ【既存】	1/50	A－71	内部仮設計画図(参考)	1/ 200
A－12	1階平面図【改修】	1/200	A－42	展開図(14) 男子トイレ【改修】	1/50			
A－13	2階平面図【既存・改修】	1/200	A－43	展開図(15) 一般用具庫・器具庫【既存・改修】	1/50			
A－14	アリーナ屋根伏図【既存・改修】	1/200	A－44	展開図(16) 2階 放送室、廊下【既存・改修】	1/50			
A－15	立面図【既存・改修】	1/200	A－45	建具キブラシ【既存・改修】	1/200			
A－16	断面図【既存・改修】	1/200	A－46	建具表(1)【既存・改修】	1/100			
A－17	矩計図(1) アリーナ、ステージ、ギャラリー【既存・改修】	1/50	A－47	建具表(2)【既存・改修】	1/100			
A－18	矩計図(2) ステージ【既存・改修】	1/50	A－48	建具表(3)【既存・改修】	1/100			
A－19	矩計図(3) ステージ、通路【既存・改修】	1/50	A－49	床伏図、基礎詳細図【既存】	1/200, 1/30			
A－20	矩計図(4) ステージ、通路【既存・改修】	1/50	A－50	(新設)床伏図 鋼製床組 【改修】	1/200, 1/20			
A－21	矩計図(5) 前室、男子更衣室【既存・改修】	1/50	A－51	(新設)壁キブラシ 【改修】	1/50			
A－22	矩計図(6) 男子トイレ【既存・改修】	1/50	A－52	天井伏図【既存・改修】	1/200			
A－23	矩計図(7) 器具庫～管理人室【既存・改修】	1/50	A－53	(撤去)体育器具詳細図(1)【既存】	図示			
A－24	矩計図(8) ステージ【既存・改修】	1/50	A－54	(撤去)体育器具詳細図(2)【既存】	1/50			
A－25	矩計図(9) 地下1階 通路、ステージ下 平面詳細図【既存・改修】	1/100	A－55	(撤去)体育器具詳細図(3)【既存】	1/50			
A－26	平面詳細図(1) 1階 アリーナ、ステージ 【既存・改修】	1/100	A－56	(撤去)台車収納詳細図【既存】	1/100, 1/50			
A－27	平面詳細図(2) 2階 アリーナ上部【既存・改修】	1/100	A－57	(新設)体育器具参考図【改修】(参考図)	図示			
A－28	平面詳細図(3) 男女更衣室・男女シャワー室、男女トイレ【既存・改修】	1/50	A－58	(新設)体育器具詳細図(1)【改修】(参考図)	1/30, 1/20			
A－29	展開図(1) 玄関・ホール、管理人室【既存】	1/50	A－59	(新設)体育器具詳細図(2)【改修】(参考図)	1/30, 1/20			
A－30	展開図(2) 玄関・ホール、管理人室【改修】	1/50	A－60	(新設)体育器具詳細図(3)【改修】(参考図)	1/50			

調布市総務部営繕課設計図承認日 令和7年3月28日

第1編
共通事項

第1章
工事概要

1.1 工事件名
調布市立柏野小学校体育館内部改修工事

1.2 工事場所
調布市深大寺南町1丁目1番地1

1.3 敷地面積
約 12,647.59 m²

1.4 工事規模

建物名称	体育館		
構造規模	RC一部S造 地下1F地上2F		
建築面積	813.63 m ²		
各階床面積	2 階	80.17 m ²	
	1 階	780.85 m ²	
	B 1 階	23.60 m ²	
	計	884.62 m ²	
合計			884.62 m ²
その他			

1.5 改修内容

- 既存体育館の体育器具、床フローリングの貼り替えを含めた内部改修工事
- 体育館アブローチ部分土間床改修工事

1.6 週休2日制工事の適用については以下による。

○本工事は、現場閉所により実施する「週休2日制工事」である。週休2日を前提に労務費を補正し、予定価格を算出しているため、週休2日が達成できなかった場合は労務費補正分を減額変更する。詳細は東京都「財務局「週休2日促進工事」実施要領」及び「調布市週休2日制工事実施要領（以下、「調布市要領」）」を参照すること。ただし、「調布市要領」における「経費」は「労務費」に読み替えるものとする。なお、交代制を行う場合は、着手日までに調布市へ必ず申し出ること。また、実施方式は途中で変更することはできない。この場合は、東京都「財務局「週休2日交替制工事」実施要領」及び「調布市要領」を参照すること。

なお、「調布市要領」は、調布市ホームページから、東京都財務局の各要領は、東京都財務局建築保全ホームページからそれぞれ入手できる。

第2章
一般事項

調布市庁舎は、「ISO14001」に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、市庁舎内の組織が行う事業活動における環境配慮及び環境保全に関する行動を適切に実行することとしている。この取組みには請負者の協力が不可欠であり、工事関係者の業務管理や施工管理などに当たっては、本制度の趣旨の理解に努め、地球環境保全に十分配慮するものとする。

2.1 適用範囲

(1) この特記仕様書は、東京都建築工事標準仕様書、東京都電気設備工事標準仕様書、東京都機械設備工事標準仕様書（令和5年版 以下「標準仕様書」という。）に定めのない事項又はこれにより難い事項を定める。この特記仕様書に記載されていない事項は、上記の標準仕様書により施工する。

(2) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は
1 質問回答書 2 特記仕様書 3 設計図 4 標準仕様書 とする。

(3) この工事は、設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも工事の性質上当然必要なものは、監督員の指示に従い施工する。

2.2 特許権等の調査について
本工事の特殊な施工方法に関する特許権等については、その有無を事前に十分調査する。

a 特殊な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は、監督員の承諾を受けて当該製品の工法によることができる。

b 同等品
使用材料の製造所及び製品は、特記されたもの又は同等品以上のものとする。ただし、同等品以上のものを使用する場合は、監督員の承諾を受けなければならない。いずれの場合も、使用する材料のサンプル等を監督員に提出すること。

2.5 工事の入札等について
入札（又は見積書の提出）に当たっては、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

2.7 各種点検、調査、見学会等への協力

(1) 監督員が所属する部の監督員以外の職員が、施工体制、現場管理、施工管理等の適正化を図るために、各種点検、調査等を行う場合は、受注者はこれに立会い、協力しなければならない。

(2) (1)の各種点検、調査等の結果に基づき、監督員から改善措置等の指示が出された場合は、速やかにその指示に従わなければならない。

(3) 監督員が必要とする現場見学会等を開催する場合は、受注者はこれに協力しなければならない。

第4章
施工区分

4.1 施工区分
別述関連工事との施工区分は、原則として次表による。

建築・電気設備・機械設備標準施工区分表

項 目	内 容	建築	電気	給水	空気衛生	機械	備考
1 各種水槽（建物と一体構造のもの）	1 受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの	○					
	2 コンクリート造の各種水槽金場	○					
	3 コンクリート造の受水槽の入孔蓋（防水型）及びタラップ、排水槽・汚水槽等の入孔蓋（防臭型）及びタラップ	○					
	4 最下階便所のビット、入孔蓋（防臭型）及びタラップ	○					
	5 二重床改め口	○					
2 トレンチ・排水溝	1 各種トレンチ蓋及び入孔蓋			○			
	2 屋内排水溝及び入孔蓋			○			
	3 機器等の基礎（建物と一体構造のもの）	1 機器用基礎（コンクリート打ち）	○				
3 スリーブ	2 屋上水槽の基礎（コンクリート打ち）	○					
	3 二重床下部の機器用基礎（コンクリート打ち）	○					
	4 機器、水槽等のアンカー及び基礎仕上げ			○	○	○	
	1 各種配管用スリーブ			○	○	○	
	2 ダクト、ガラリ用スリーブ	○※			○		※建築が取付けけるガラリ用の場合
4 スリーブ	3 衛生器具（大便器）取付け用箱入れ			○			
	4 埋込型屋内消火栓取付け穴等の箱入れ			○			
	5 分電盤取付け穴等の箱入れ			○			
	6 各種スリーブの補強	○					
	7 避雷針取付け部	○					防水を考慮した基礎仕上げ
5 天井切込及び換気扇取付け栓	8 外壁貫通スリーブまわりの防水	○					
	9 床貫通スリーブまわりの防水	○					防水層を貫通する場合
	10 貫通穴及びダクト空隙充填			○	○	○	
	1 埋込照明器具、スピーカー、空調換気用吹出口等	○					1、2とも差し出しは電気、給水衛生又は空調
	2 埋込器具類取付けのための天井切込み及び下地補強	○					
6 改め口・点検扉	2 換気扇取付け用枠及び穴あけ	○					
	1 天井改め口	○					
	2 各種シャフト点検口	○					
	7 はつり及び補修	1 配管のための貫通及び埋込み箇所のはつり及び補修	○	○	○		
	8 排水	1 各種床排水金具	○	○			
2 造付け流し（人造石砥出し）の排水金具				○			
3 流しの排水金物		○※		○			※建築が取り付ける流しの場合
4 外構工事におけるU字溝及びこれに接続する溜槽		○					
1 ルーフドレイン		○					
9 雨水排水	2 地盤面までの屋外堅樋・排水管	○					
	3 建物外部までの屋内部分排水管			○			
	4 屋内部分排水管のうちパイプシャフト内配管の堅樋			○			
	1 外壁、サッシュに取り付けるガラリ（ただし、空調排気用ダクトその他に取り合いがあるものを除く）	○					
	2 ドアガラリ	○					
1 1 動力	3 暗室等の遮光ガラリ	○					
	1 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線・結線			○			
	2 ボイラー操作盤及び二次側配管・配線・結線				○		
	3 冷凍機用動力操作盤及び二次側配管・配線・結線				○		
	4 パッケージ型空調機用電源で手元開閉機以降の配管・配線・結線			○			
1 2 制御	5 電動シャッター・自動ドアとその電源の二次側配管・配線・結線及び操作盤・押ボタン取付け	○					
	1 空調用制御機器及び操作用機器取付け及びその配管・配線・結線				○		
	2 衛生用液面制御機器取付け及びその配管・配線・結線			○			
	3 総合監視盤（給水衛生・空調）				○		
	1 煙感知器連動の防火戸・防火シャッターその他の防火設備の電源・二次側配管・配線・結線及び検出器・制御盤			○			
1 3 防災	2 排煙口・ダンパー等とその電源の二次側配管・配線・結線及び検出器・制御盤				○		
	1 フリーアクセスの穴あけ	○					差し出しは電気工事
	2 実験台・演台（備品）等の穴あけ	○					差し出しは電気、給水衛生又は空調
	1 5 各種シャフト	1 各種シャフトのうちコンクリート造のもの及びこれに必要なコンクリート床	○				
	1 6 その他	1 解体又は改修する建物等の機器のうち、再使用するものの取り外し	○	○	○	○	

4.2 工事の施工に伴う光熱水費の取扱い
本工事の施工に伴う光熱水費の支払いは、次による。

- 受注者の負担とする。
- 発注者の支給とする。

第2編
工種別事項

第1章
総則

第1節 共通事項

1.1.2 用語の定義
標準仕様書「1.1.2 用語の定義(17)」の表記は、次のように読み替える。
(17)「書面」とは、発行年月日が記載され、署名又は押印された文章をいう。
ただし、関係規定等で署名又は押印を不要とした書類については、署名又は押印がない場合も有効な書面と取扱う。

1.1.4 官公署その他への届出手続等
工事の着手、施工又は完了に当たり、「労働安全衛生法」第8条第1項のほか、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等について十分調査の上、これを遅滞なく行う。

1.1.5 現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐及び主任技術者

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項の規定により専任が求められる監理技術者等は、次の期間については工事現場への専任を要しない。
○工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間。当該期間については、請負契約の締結後、監督員からの工事の全部中止の通知により定める。
○橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター、発電機・配電盤等の電機品等の工場製作を含む工事全般について、工場製作のみが行われている期間。当該期間については、請負契約の締結後、監督員と協議の上、書面において定める。なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作が可能である場合は、同一の監理技術者等がこれらの製作を一括して管理することができる。
○工事完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間。

1.1.7 工事実績情報の登録
契約金額が500万円以上の工事については、工事実績情報システム「CORINS」（コリンズ）に基づく工事実績情報の登録を行う。
登録内容についてあらかじめ監督員の確認を受けた後、標準仕様書に示す期間内に一般財団法人日本建設情報総合センター（以下「JACIC」という。）に登録する。
【登録先】
一般財団法人日本建設情報総合センター コリンズ・テクリスセンター
電話 (03)3505-0463 FAX (03)3505-2665
JACICのホームページを参照すること。

1.1.11 別契約の関連工事
本工事の施工に伴う別契約の関連工事は、次のとおりである。

- 調布市立柏野小学校体育館内部改修に伴う電気設備工事
- 調布市立柏野小学校体育館内部改修に伴う機械設備工事
- 調布市立柏野小学校受変電設備改修工事

上記別途工事と施工上関連する工事については、当該工事関係者と相互に協力し、工事全体への円滑な施工計画に励むこと。
また、仮設足場及び仮設トイレ等は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。

1.1.16 建設副産物の処理

(1) 建設副産物の取り扱いは、次による。
ア リサイクル計画及びリサイクル報告書の作成
受注者は、工事着手に当たってリサイクル計画書を作成し、施工計画書に含めて監督員に提出する。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆の見やすい場所に掲示する。掲示様式は、「1.1.16(1)イ」の建設副産物情報交換システム又は国土交通省のホームページを参照すること。また、受注者は、リサイクル実施状況等について必要書類を作成し、リサイクル報告書にとりまとめて監督員に報告する。
なお、リサイクル計画書及びリサイクル報告書の記載内容及び添付書類の適用等については、「東京都建設リサイクルガイドライン」（東京都）によるほか、次表による。
建築物等の分別解体等及び建設資材の再資源化等については、「東京都建設リサイクルガイドライン」のほか、「建設リサイクル法書類作成等の手引き（公共工事）」（東京都）によるものとする。これらについては、東京都都市整備局のホームページで最新版を参照する。

添付書類一覧	
リサイクル計画書	リサイクル報告書
①「再生資源利用計画書」	①「再資源化等報告書」
②「再生資源利用促進計画書」	②「再生資源利用実施書」
③「搬入予定民間受入地届」（民間受入地へ搬入する場合に限る。）	③「再生資源利用促進実施書」
④「建設発生土搬出のお知らせ」	④「リサイクル阻害要因説明書」
⑤ 収集運搬・処理業者の許可証の写し	⑤「リサイクル状況記録写真」
⑥ 建設廃棄物処理委託契約書の写し	⑥「民間受入地搬入確認報告書（リサイクル証明書を含む）」（民間受入地へ搬入した場合に限る。）
⑦ 運搬ルート図	
⑧ 使用するmanifestoの様式	
⑨ 告知書の写し	
⑩ 有害物質等チェックリスト	

書類作成適用工事	
書類名	適用工事
再生資源利用計画書（実施書）	次のいずれかに該当する場合（工事しゅん功後、1年間保管） ① 土砂を搬入する場合 ② 碎石を搬入する場合 ③ 加熱アスファルト混合物を搬入する場合
再生資源利用促進計画書（実施書） （建設廃棄物処理計画書（実績書）を兼ねる。）	次のいずれかに該当する場合（工事しゅん功後、1年間保管） ① 建設発生土を搬出する場合 ② コンクリート塊、アスファルト塊、建設泥土、建設発生木材又は建設混合廃棄物を搬出する場合 ③ 金属くず、廃プラスチック、紙くず、アスベスト、その他の廃棄物を1品目当たり1トン以上搬出する場合
搬入予定民間受入地届、民間受入地搬入確認報告書（リサイクル証明書を含む）	指定処分（B）又は指定処分（C）により、建設発生土の民間受入地（土質改良プラントを含む。）に建設発生土を搬入する場合。（受注者は、事前に当該民間受入地が適正な受入地であることを確認する。）

建設発生土搬出のお知らせ

建設発生土を100m³以上搬出する場合に先立って作成し、受入地の所在する区市町村の建設発生土担当窓口宛に郵送、FAX等を提供する。（工事しゅん功後、1年間保管）
なお、搬出先の自治体に建設発生土に関する条例が制定されている場合は、その定めに従い必要な手続きを行う。

リサイクル阻害要因説明書

工事途中において、やむを得ず次のいずれかを行う場合（工事しゅん功後、1年間保管）
① コンクリート塊、アスファルト塊、建設泥土又は建設混合廃棄物を工事現場から直接最終処分する場合
② 建設発生木材を最終処分場へ直接搬出する場合又は焼却のみを行う中間処理施設に搬出する場合
③ 土砂等の利用工事において購入材（新材）を使用する場合
④ 碎石の利用工事において新材を使用する場合
⑤ アスファルト混合物の利用工事において新材を使用する場合

告知書の写し、再資源化等報告書

特定建設資材を用いた建築物等の解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等で、次のいずれかに該当する場合
① 建築物の解体工事で、床面積の合計が80㎡以上
② 建築物の新築・増築工事で、床面積の合計が500㎡以上
③ 建築物の修繕・模様替等の工事で、請負代金の額が1億円以上
④ 建築物以外の工作物の工事で、請負代金の額が500万円以上

有害物質等チェックリスト

建築物の解体工事、修繕、模様替え等の工事の場合

イ 建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」（コブリス）という。）の活用
○ 本工事は、COBRISへの登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては、システムの活用を図るものとする。
（システムに関する問合せ先）
一般財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）内
JACICカスタマーセンター
電話 03-3505-0410
JICACのホームページを参照すること。
受注者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかにCOBRISにデータの入力を行い、データ入力の都度「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を監督員に提出して確認を受ける。
また、受注者は、「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」の作成並びに提出に当たっては、COBRISに掲載されている建設リサイクル統合データシステム（以下「CREDAS」（クレダス）という。）に必要なデータを入力して作成し、監督員に提出して確認を受ける。

ウ リサイクル状況記録写真の撮影
受注者は、次のとおり撮影し、リサイクル報告書に含めて監督員に提出する。
(7) 撮影内容
積み込み状況、運搬状況（工事現場出発時）、産業廃棄物運搬車両表示状況、現場内利用状況、工事間利用状況、ストックヤードの状況、受入地の状況、再資源化施設の状況、最終処分場の状況（直接最終処分する場合に限る。）、現場内での分別状況、再生資源の利用状況等を撮影する。
なお、解体工事の場合は、分別解体等の状況、分別された建設資材廃棄物の状況、建設資材廃棄物の運搬状況、再資源化施設への搬入状況等を撮影する。
(4) 撮影方法
運搬状況（工事現場出発時）は、積み込み状況、土質、積載物の種類、運搬車両のナンバープレート等を入れて撮影する。
現場内利用及び工事間利用状況は、工事箇所が特定できるよう周辺の背景を入れて撮影する。再資源化施設の状況及び最終処分状況（直接最終処分する場合に限る。）は、施設名称看板等を入れて撮影する。
エ manifesto等による報告
(7) manifestoの提示
受注者は、交付したmanifestoのうち、排出事業者（受注者）が保管すべきものについては、ファイルに整理し、施工中いつでも監督員に提示できるようにする。
なお、電子manifestoを利用する場合は、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが運営する情報処理センターから通知された処理結果について、排出事業者（受注者）が印刷したものを監督員に提示する。
(4) 集計表の提出
受注者は、manifestoの枚数、産業廃棄物の数量、運搬日等を記録した集計表を作成し、manifestoの写しとともに監督員に提出する。
(7) リサイクル伝票の提示
受注者は、建設廃棄物を搬出する場合において、manifestoを交付する必要のない品目（再生利用認定制度、個別指定制度等を利用して再利用する建設泥土等）については、「リサイクル伝票」（写しても可）を監督員に提示する。
その様式は、受注者が定めるもの、運搬業者が定めるもの、再資源化業者が定めるもの等による。
(2) リサイクル証明書の提示
受注者は、建設廃棄物をセメント等の建設資材の原料として再利用する場合及び高炉還元等を行う場合は、セメント工場等の建設資材製造施設、製鉄所等が発行したリサイクル証明書（写しても可）を監督員に提示する。

1.1.19 保険の加入及び事故の補償
○ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。また、当該保険契約の証券の写し又はこれに代わるものを発注者に提示する。
※ 法定外の労災保険とは、公共工事等に従事する者の業務上に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約であり、国の労働災害補償保険（労災保険）とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とした保険契約をいう。
標準仕様書「1.1.19 保険の加入及び事故の補償(5)及び(7)」の表記は、次のように読み替える。
(5) 建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入し、その掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後、原則1か月以内（電子申請方式による場合は原則40日以内）に発注者に提出する。
(7) 発注者から共済証紙の受払状況を把握するための請求があった場合は、速やかに共済証紙の受払簿（電子申請方式による場合は掛金充当書（工事別））その他関係資料を提出する。

1.1.27 設計図CADデータの貸与
設計図CADデータの貸与の適用は、次による。

- 貸与する。ただし、貸与するデータを当該工事における施工図又はしゅん功図の作成以外の用途に使用してはならない。
CADデータの著作権者名：調布市
- 貸与しない。

訂 正

年 月 日

杉原設計事務所

一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号
一級建築士第191476号 山崎修一

設 計 担 当

WORK NO.

TITLE
調布市立柏野小学校体育館内部改修工事

DATE
令和6・12・13

再生資源利用計画書（実施書）

① 土砂を搬入する場合
② 碎石を搬入する場合
③ 加熱アスファルト混合物を搬入する場合

再生資源利用促進計画書（実施書）
（建設廃棄物処理計画書（実績書）を兼ねる。）

① 建設発生土を搬出する場合
② コンクリート塊、アスファルト塊、建設泥土、建設発生木材又は建設混合廃棄物を搬出する場合
③ 金属くず、廃プラスチック、紙くず、アスベスト、その他の廃棄物を1品目当たり1トン以上搬出する場合

指定処分（B）又は指定処分（C）により、建設発生土の民間受入地（土質改良プラントを含む。）に建設発生土を搬入する場合。（受注者は、事前に当該民間受入地が適正な受入地であることを確認する。）

APPROVAL

DRAWN

ITEM
特記仕様書（1）

SCALE
NON

DRAWN NO.
A-02

第2節 工事関係図書

1.2.1 実施工程表

(6) 実施工程表は次のものを作成し、監督員に提出する。

○全体工程表（ネットワーク工程表）○月間工程表○週間工程表

1.2.2 施工計画書

(1) 着工に先立ち、現場組織、安全体制、仮設計画等の工事の総合的な計画をまとめた施工計画書（総合施工計画書）を作成し、監督員に提出する。

(2) 品質計画、施工の具体的な計画並びに施工の確認内容及びその確認を行う段階等を定めた施工計画書（工種別施工計画書）を工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受ける。ただし、軽易な工種については、監督員の承諾を受けて作成を省略することができる。

(3) 施工計画書の作成に当たり、関連工事等の関係者と調整の上、十分検討する。

(4) 施工計画書の内容を変更する必要がある場合は、あらかじめ変更内容を監督員に報告するとともに、施工等に支障がないよう適切な措置を講ずる。

1.2.4 工事の記録等

(5) 工事記録写真の撮影は、別に定める「財務局工事記録写真撮影要領」（東京都財務局）の最新版による。また、工事記録写真撮影計画書の作成は、次による。

○作成する。

エ 写真帳の提出は、次による。

○提出する。

第3節 工事現場管理

1.3.3 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、「電気事業法」（昭和39年法律第170号）に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。

・ 配置する。

・ 配置しない。

1.3.5 施工条件

(1) 施工日及び施工時間は次による。

「調布市の休日に関する条例」第1条第2項に規定する調布市の休日のうち、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第百七十八号)に規定する休日は施工しない。

(2) 施工条件は、次による。

・ 施工時間は、周辺環境、学校運営への影響を考慮し、学校側との協議の上決定する。

・ 土日祝日の作業は、予め監督員の承諾を得ること。

・ 工事着手及び施工時間については、周辺環境、学校運営への影響を考慮し、施設監理者及び監督員と協議の上決定すること。

・ 資材搬出入時の工事車両は工事仮設エリア内に停めること。大型車両が乗り入れる際は、事前に日時を学校と調整すること。また交通誘導員を配置し安全確保につとめること。

・ 資材搬入に校庭を利用する場合は、できるだけ雨天時を避けること。

・ 生徒の登校の時間帯、工事車両は敷地周辺の道路を通行しないこと。

・ 工事期間中、工事に支障のある体育館内の備品等は、仮設倉庫を設置し保管すること。仮設倉庫までの移動、再設置は工事期間中に行うこと。

・ ビアノを移設・再設置すること。移設後は調律を行うこと。

・ 原則として令和7年12月26日まで、に、室内空気環境測定を行うこと。

・ 工事期間中または工事完了から引渡しまでの期間中に調布市が室内環境測定(TVOC)を行う場合は、測定時期の調整及び換気に協力すること。

・ 工事期間中、本小学校敷地内で選挙が行われる場合は、協力すること。

・ 令和8年1月23日までに、現場作業・機材の搬出・後片付け及び現場での検査を完了させ、引き渡しを行うこと。

1.3.14 室内空気汚染対策等

(1) 対象物質

対象物質は、VOCのうちホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルビリホス、フェノフルカルブ、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの13物質とする。

(2) 対象箇所等

対象室は、基本的に全ての室とし、建物の用途については特に限定しない。（室に合板類、フローリング、壁紙等の内装材料等を多量に使用することにより、または、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木等に接着剤を多量に使用することにより、VOCが多量に放散される恐れがある場合には本対策による。）

(3) 建材及び施工材の選定

建材及び施工材の選定においては、対象物質を放散しないか、放散が十分少ないものを日本農林規格（JAS）、日本産業規格（JIS）及びSDS（安全データシート）等参考にして、適切に選択する。

(4) 換気設備

建築基準法の基準を満足するだけでなく、室内空気中化学物質濃度が十分に低減できるような換気設備とする。特に非空調室の施工においては、敷地状況、地域の気象条件及び材料の使用状況等を踏まえて、自然換気を取り入れたり、必要に応じて機械換気を行う等、換気計画に十分配慮する。

(5) 使用材料の立会い検査

原則として、使用材料の搬入時に監督員による立会い検査を実施し、設計図書に指定したものまたは同等品以上であることを確認する。具体的には、ホルムアルデヒド放散等級等について、製品やその包装の表示マークまたは国土交通大臣の認定書等により確認するものとする。

(6) 使用材料の保管・養生

搬入された使用材料は、開封して通風の良い場所に保管し、化学物質の放散に努める。また、養生期間を出来る限り長く設けることで、化学物質を放散させる。養生シートで覆う場合には、通気性のあるものを使用すること。

(7) 施工中の対策

接着剤、塗料等の使用にあたっては、施工方法や塗布量等を十分に管理するとともに、適切な乾燥時間を設ける。また施工中及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質を室外に放出させる。

(8) 施工完了後の対策

対象室の施工が完了し、引渡しをするまでの間、強制換気や必要に応じてベークアウト等の措置をし、室内空気中の化学物質の低減化を図る。

(9) 建材及び施工材の選定について

ア 建材及び施工材は次のものとする。木工事、建具工事、内装工事、ユニット工事等に用いる接着剤は、トルエン等の含有量の少ない規格品とし、接着剤に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含まない難揮発性（沸点30℃以上）のものとする。ホルムアルデヒド放散等級が示されているものは、F☆☆☆☆（JIS）または大臣認定とする。

イ 木材は工場において加圧式防腐・防蟻処理を行うことを原則とし、十分に乾燥した上で現場搬入する。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対して、現場で表面処理用防腐剤または表面処理用防腐・防蟻剤を塗布することができる。なお、表面処理用防腐剤及び表面処理用防腐・防蟻剤は(社)日本木材保存協会の認定品または同等品以上とし、クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノフルカルブを含有しない非有機リン系とする。

ウ 塗料は、水性系（エマルション系）で環境配慮型のものを原則とし、ホルムアルデヒド放散等級が示されているものは、F☆☆☆☆（JIS）または大臣認定とする。なお、室内に使用する塗料は、有害金属（鉛、クロム類）、ホルムアルデヒド、クロルピリホス、トルエンを配合せず、重金属類0.05%以下、VOC5%以下のものとする。

エ 内装材に用いる集成材及び合板類、単板積層材は、ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆（JAS）のものまたは大臣認定品とし、非ホルムアルデヒド系接着剤（JAS）及びホルムアルデヒドを放散しない塗料（JAS）を使用したものとする。パーティクルボード及びMDFは、ホルムアルデヒドの放散等級がF☆☆☆☆（JIS）のものまたは大臣認定品とする。通気性がある畳、カーペット等の下地板も同様とする。

オ 弾性ウレタン塗床及びエポキシ樹脂塗床に使用する塗料は、ホルムアルデヒドの放散等級がF☆☆☆☆（JIS）のものまたは大臣認定品とする。

カ フローリングは、ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆（JAS）のものまたは接着剤等不使用（JAS）のもの、または大臣認定品とする。

第4節 材料

1.4.1 環境への配慮

(1) 「東京都環境物品調達方針（公共工事）」等に定める特別品目、特定調達品目及び調達推進品目（以下「環境物品等」という。）の調達は原則として、次による。

「東京都環境物品調達方針（公共工事）」等については、東京都都市整備局ホームページで最新版を参照する。

ア 本工事で指定する環境物品等は、次による。

(7) 特別品目

・ 建設発生土、普通土（再利用センターからの搬出土による）、改良土

・ 環境配慮型型枠（複合合板型枠等）

○ 再生クラッシュラン

・ 再生粒度調整砕石

・ 再生加熱アスファルト混合物

・ 再生加熱アスファルト処理混合物

・ 多摩産材を用いた建築材料

・ 国産木材を用いた建築材料

・ 低VOC塗料

○ エコセメント（東京たま広域資源環境組合）

・ スーパーアッシュを用いたコンクリート二次製品

・ ノンフロン断熱材

・ 再生骨材（・L・・M）を用いたコンクリート

・ 再生骨材Hを用いたレディーミクストコンクリート

・ 再生木質ボード類

(4) 特定調達品目

○ 建設機械

○ ビニル系床材

・ フローリング

・ 陶磁器質タイル

・ 製材等（製材、集成材、合板、単板積層材、直交集成材）

・ 日射調整フィルム

イ 受注者は、ア以外のもので、「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」に示す環境物品等の使用を希望する場合は、性能、使用の有効性、品質確保等について証明し、監督員の承諾を受けた上で、積極的に使用するものとする。

ウ 受注者は、環境物品等の各品目ごとの「環境物品等使用予定（実績）チェックリスト」を作成し、施工計画書に添付するなどして監督員に提出し、確認を受ける。

エ 受注者は、環境物品等の調達で完了したときは、使用した環境物品等の各品目ごとの「環境物品等使用予定（実績）チェックリスト」を根拠を踏まえて作成し、監督員に提出する。また、当該チェックリストの電子情報を格納したCD-R等を、併せて監督員に提出する。

なお、チェックリストは、東京都都市整備局ホームページで最新版を参照すること。

1.4.2 材料の品質等

(8) 次の再生材の品質は、次による。

○ 次の材料の品質は、「土木材料仕様書」（東京都建設局）による。

（土木材料仕様書については、東京都建設局ホームページを参照する。）

ア 再生クラッシュラン(RC-40、RC-30)

イ 再生粒度調整砕石(RM-40、RM-30)

ウ 再生砂(RC-10)

エ 再生加熱アスファルト混合物

オ 改良土

カ 粒状改良土

キ 流動化処理土

ク 再生骨材Lを用いたコンクリート

ケ コンクリート用再生骨材H

コ 再生粒度砕石（浸透トレンチ用）

1.4.4 材料の検査等

(1) 本工事に使用する材料は、別に定める「材料検査基準」（東京都財務局）に基づく検査を受け、合格したものを使用する。

(6) 標準仕様書に定める試験機関等については、東京都都市整備局ホームページに登録されているので、参照する。

なお、設計図書で指定を受けたコンクリートの圧縮強度試験及び鉄筋の引張試験については、「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」に基づく試験機関

等である（公財）東京都防災・建築まちづくりセンター、（一財）建材試験センター等の登録分類Ⅰ-A、Ⅰ-Bにおいて実施する。

1.4.6 石綿含有建材の取扱い

(1) 新築、改築、増築等の場合でも既存構造物に影響を与える場合は同様の調査を行う。これには外構工事における工作物等も含む。事前調査については、「29.1.4 施工調査」による。

ウ 事前調査の結果について、法令に基づき、石綿の使用の有無に関わらず、原則として「石綿事前調査結果報告システム」により、労働基準監督署及び区環境保全課に報告する。また、報告した旨を示す資料（システム登録時の確認メール等）を監督員に提出すること。

エ 事前調査の結果について、法令に基づき、定められた大きさの掲示板を公衆及び作業に従事する労働者が見やすい箇所に掲示する。

(2) 本工事の対象である建築物その他の施設等において、石綿が含有していることが判明している建材等は、「29.1.4 施工調査(2)」による。

(3) 石綿含有建材の取扱いは、次による。

○ 標準仕様書「1.4.6 石綿含有建材の取扱い」及び「第29章 石綿除去工事」による。

工事場所や規模に応じて、調布市及び労働基準監督署等への確認を事前に行うこと。

第5節 石綿含有建材の調査

1.5.1 事前調査

(1) 本工事の対象である建築物その他の施設等において、石綿が含有していることが判明している建材等は、次による。

○ 分析調査結果による。また、調査報告書を貸与する。ただし、調布市から調査報告書を提供された場合でも、必ず現場で確認し、必要に応じて分析調査を実施すること。

○ 図面による。(A-09.10)による。

・ 次による。

・ 未調査

材料の種類	使用箇所		使用面積 (㎡)	備考
	室名	部位等		
【石綿含有吹付材】				
【石綿含有保温材等】				
【石綿含有成形板】				
【その他】				
【石綿含有仕上塗材】				

(2)ア 新築、改築、増築等の場合でも既存構造物に影響を与える場合は同様の調査を行う。これには外構工事における工作物等も含む。なお、事前調査を行うことができる石綿等に関する知識を有する者等とは以下の者である。

①建築物石綿含有建材調査者講習登録規定（平成30年10月23日 厚生労働省 国土交通省 環境省告示第1号 令和2年7月1日改正）に基づき厚生労働省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者（特定、一般）

②（一社）日本アスベスト調査診断協会に令和5年9月30日までに登録されたもの

ただし、戸建て住宅及び共同住宅の住戸部分の内部の事前調査に限っては、前記「登録規定」に基づく講習を修了した戸建て等石綿含有建材調査者も行うことができる。

また、事前調査の結果について、法令に基づき、石綿の使用の有無に関わらず、原則として「石綿事前調査結果報告システム」により、労働基準監督署及び区環境保全課に報告する。また、報告した旨を示す資料（システム登録時の確認メール等）を監督員に提出すること。

イ 次の作業は事前調査の対象外とする。ただし、電動工具等を用いて、石綿等が使用されている可能性がある壁面等に穴を開ける作業は事前調査を行う。

(7) 木材、金属、石、ガラス、量、電球などの石綿が含まれていないことが明らかなの工事で、切断等、除去または取り外し時に周囲の材料を損傷させるおそれのない作業

(4) 工事対象に極めて軽微な損傷しか及ぼさない作業

(4) 現存する材料等の除去は行わず、新たな材料を追加するのみの作業

(4) 石綿が使用されていないことが確認されている特定の工作物の解体・改修の作業

ウ 「設計図書等による調査」とは、解体等工事に係る建築物等の設置の工事に着手した日の調査、使用されている建築材料の種類、使用されている建築材料のうち石綿が使用されている可能性があるものについて、石綿含有建材データベース等を使用した石綿の含有の有無の調査等をいう。

エ 「目視による調査」とは、解体等工事に係る建築物等において設計図書と異なる点がないか、建築材料に印字されている製品名や製品番号等を確認すること、特定建築材料に該当する可能性のある建築材料を特定すること等をいう。なお、当該建築物等の構造上、解体等工事に着手する前に目視することができない箇所があった場合、着手した後に目視が可能となった時点で調査を行うこと。

(3) 分析方法は、次による。

「建材中の石綿含有率の分析方法について」[平成18年8月21日付け基発第0821002号（厚生労働省）（令和3年12月22日付け基発1222第18号により一部改正）参照]

材料の種類	使用箇所		備考
	室名	部位等	
・			
・			
・			

第6節 施工調査

1.6.3 施工数量調査

施工数量調査の調査範囲及び調査方法は、次による。

1.6.5 調査のための破壊部分の補修

補修方法は、次による。

第7節 施工

1.7.2 技能士

技能士の適用は、次による。

・

1.7.4 施工の検査等

見本施工の実施は、次による。

・ 実施する。

○ 実施しない。

1.7.7 排出ガス対策型建設機械

次の建設機械には、排出ガス対策型を用いるものとする。

○ 一般工事用建設機械

（ディーゼルエンジン出力7.5〜260kW）

(1) バックホウ

(2) ホイールローダ

(3) ブルドーザ

(4) 発動発電機（可搬式・溶接兼用機を含む。）

(5) 空気圧縮機（可搬式）

(6) 油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの）

(7) ホイールクレーン（ラフテレンクレーン）

(8) ローラ類（ロードローラ、タイヤローラ又は振動ローラ）

（「道路運送車両法」（昭和26年法律第185号）による排ガス規制を受けている建設機械は除く。）

1.7.8 低騒音型・低振動型建設機械

(1) 次の建設機械は、低騒音型を用いるものとする。

ア バックホウ

イ クラムシェル

ウ トラクターショベル

エ クローラクレーン、トラッククレーン及びホイールクレーン

オ 油圧式杭圧入引抜機

カ アースオーガー

キ オールケーシング掘削機

ク アースドリル

ケ ロードローラ、タイヤローラ及び振動ローラ

コ アスファルトフィニッシャー

サ 空気圧縮機

シ 発動発電機

(2) 次の建設機械には、低振動型を用いるものとする。

ア バイブロハンマー

第7節 施工

1.7.9 化学物質の濃度測定

(1) 建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定の実施は、特記による。

ア 測定対象物質

13物質

イ 空気試料の採取方法等

室内空気環境測定は、原則として、厚生労働省の室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法に準拠して行う。なお、測定にあたっての留意点は次のとおりとする。

(7) 室内の中央付近で、少なくとも壁から1m以上離れた高さ1.2〜1.5mの位置を測定位置とする。乳幼児施設では、使用実態による測定方法とする。

(4) 常時換気設備がある場合は、移動させた状態で測定する。

(4) 木製造作収納家具等の扉及び引出しは、開放した状態にする。

(4) 測定する前に、室内を30分換気し、続いて5時間以上窓及び扉を密閉する。（測定終了まで閉鎖を保つ）

(4) アクティブ（吸引）方式とし、30分間で2回採取する。

(4) ホルムアルデヒドは、ジトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。

(4) 揮発性有機化合物は、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の3種の方法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ質量分析法によって行う。

ウ 厚生労働省の指針値及び測定時の定量下限値は下記ののとおりとする。

対象物質	指針値(μg/m3(ppm))	定量下限値(μg/m3(ppm))
ホルムアルデヒド	100(0.08)	指針値の1/10
アセトアルデヒド	48(0.03)	指針値の1/10
トルエン	260(0.07)	指針値の1/10
キシレン	200(0.05)	指針値の1/10
エチルベンゼン	370(0.085)	指針値の1/10
スチレン	220(0.05)	指針値の1/10
パラジクロロベンゼン	240(0.04)	指針値の1/10
トリクロロエチレン	330(0.04)	指針値の1/10
クロルピリホス	1(0.00007)	指針値の1/10
フェノフルカルブ	33(0.0038)	指針値の1/10
ダイアジノン	0.29(0.00002)	指針値の1/10
フタル酸ジ-n-ブチル	17(0.0015)	指針値の1/10
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100(0.0063)	指針値の1/10

エ 測定箇所

室名	箇所数	回数
屋内運動場	1	1
放送室	1	1

訂正年月日

杉原設計事務所

一級建築士事務所登録（東京都）第7318号

一級建築士第191476号 山崎修一

設計担当

WORK NO.

TITLE

調布市立柏野小学校体育館内部改修工事

DATE

令和6・12・13

APPROVAL

DRAWN

ITEM

特記仕様書（2）

SCALE

NON

DRAWN NO.

A-03

第12章木工事

第1節 共通事項

12.1.4 表面仕上げ
見え掛かり面の表面仕上の種別や適用箇所は、次による。

種 別	適 用 箇 所
B 種	額縁

第2節 材料

12.2.1 木材

(1) 施工一般

木材の含水率は、次による。

	種 別	含 水 率	備 考
下地材	○ A 種 ・ B 種	15%以下	
造作材	○ A 種 ・ B 種	15%以下	

(2) 樹種及び産地

杉、ひのきの無垢材、その他の木材を使用する場合の産地等は次による。

樹種	使用箇所	産 地
(製材)		
・杉		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない
○ひのき		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ○指定しない
(造作用集成材)		
・杉		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない
・米桐		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない
()		
・		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない
・		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない
()		
・		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない
・		・多摩産材 ・(○○県又は地域)産材 ・国産材 ・指定しない

※ 多摩産材は、東京の木多摩産材認証協議会が認証した東京の木多摩産材を使用する。多摩産材の製品や調達などに関する情報窓口は、次のとおり。
「多摩産材情報センター」
〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 東京都青梅合同庁舎1階
電話 0428-20-1181 (多摩産材情報センターのHPを参照)

(7) 合板等の適用は、次による。

ア 下地用合板

(4) 構造用合板は、次による。

品 名	厚さ (mm)	接着の 程度	等級	板面の 品質	単板の 樹種名	保存処理	防虫処理	強度等級
○針葉樹	○ 15	○ 1類	・ 1級	C-D以上			○行う	
○ラワン	○ 12	・ 特類	○ 2級				・行わない	

12.2.2 接合具等

(1) 釘等

ウ(イ) 造作材の化粧面の釘打ちは、次による。

○ 隠し釘打ち

・ 釘頭埋め木

・ つぶし頭釘打ち

・ 釘頭表し

(3) 接着剤

塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとる。また、施工時及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

第3節 防腐・防蟻・防虫処理

12.3.1 防腐・防蟻処理

(1)ア 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理は、次による。

適用部位	保存処理性能区分
○床下地材	・ K 2 ○ K 3 ・ K 4

(4) 合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理の適用は、次による。

○ 日本農林規格の保存処理の性能区分 K 3 に適合するもの。

12.3.2 防虫処理

防虫処理は、次による。

○薬剤による防虫処理をする。

第18章塗装工事

第1節 共通事項

18.1.3 材料

(5) 塗料は、トルエン等の含有量の少ない水性形のを原則とするほか、図面（仕上げ表等）による。

また、「1.4.1 環境への配慮」による低VOC塗料は、次による。

ア 建築物内装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、VOC含有量 1％以下（鉄部用は5％以下）の水性塗料であること。

イ 建築物外装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、従来の溶剤型塗料と比較しVOC含有量を低減した塗料であること。

塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとる。また、施工時及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させるものとする。

第2節 素地ごしらえ

18.2.7 セッコウボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種別等は、次による。

種 別	施工部位及び塗料の種別
○ A 種	間仕切り壁 石膏ボード EP-G塗
・ B 種	

第8節 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）

18.8.2 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
・ A 種	
○ B 種	間仕切り壁 石膏ボード

第5節 フローリング張り

19.5.2 材料

標準仕様書「1.4.1 環境への配慮」により指定された場合は、「東京都環境物品等調達方針（公共工事）」のフローリングによる。フローリングのホルムアルデヒドの放散量については、標準仕様書「1.4.1 環境への配慮 (2)オ」による。

フローリングの種類、樹種、工法等は、次による。

種類	樹種	種別 (寸法等)	工 法	仕上げ 塗装等	使用箇所
○大型積層フローリング	かば	標準仕様書 19.5.4のC種 厚さ：18cm	釘留め工法 接着工法	水性カラー 3回塗装	アリーナ

第23章防水改修工事

第23節

20.2.13 家具類

(1) 収納、収納家具、住宅設備機器及び建具類に用いる合板類のホルムアルデヒドの放散量については、標準仕様書「1.4.1 環境への配慮 (2)オ」による。

(2) M D F 及びパーティクルボードに使用する木質材料が再生資源である場合は、木質材料及び植物繊維の重量比配合割合が50%以上のものを使用するものとし、再生資源以外の場合は、原料の原木は、伐採に当たって、生産された国又は地域における森林に関する法令上の手続が適切になされたものを使用するものとする。また、M D F 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量については、標準仕様書「1.4.1 環境への配慮 (2)オ」による。

第7節 シーリング

23.7.2 材料 (9.7.2 材料)

(2) シーリング材の種類等は、次による。

シーリング材の種類	使用箇所
○ MS-2(変形シリコン系)	7mm建具 新設部分
○ SR-1(シリコン系)	ガラス
○ PS-2(※シリカフリート系)	ひび割れ誘発目地

23.7.3 目地寸法 (9.7.3 目地寸法)

(1) シーリング材の目地寸法等は、次による。

箇所	コンクリートの打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	ガラス回り(標準仕様書 16.14.3による場合を除く。)	左記以外
○ 幅 (mm)	20 mm以上	5 mm以上	10 mm
○ 深さ (mm)	10 mm以上	5 mm以上	10 mm

第25章建具改修工事

第1節 共通事項

25.1.3 改修工法

(1) 既存建具を新規建具に改修する場合の工法は、次による。

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	備考
○ アルミニウム製建具	・	○	
・ 樹脂製建具	・		
・ 鋼製建具	・ 外部 ・ 内部		
○ 鋼製軽量建具	・	○	
・ ステンレス製建具	・		

(2) 新規に建具を設置する場合における、新規建具を設ける壁部分の開口の開け方及び新規建具周囲の補修工法並びにその範囲は、次による。

○ 図面による。

第2節 アルミニウム製建具

25.2.2 性能及び構造 (16.2.2 性能及び構造)

(2) アルミニウム製建具の性能値等は、次による。

ア 耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法は、次による。

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	使用箇所
○ A 種	S-4	○ A-3	W-4	・ ○ 70	男女トイレ外壁側扉
・ B 種	S-5			・ ・ 70	
・ C 種	S-6			・	
・				・	
・				・	

25.2.4 形状及び仕上げ (16.2.4 形状及び仕上げ)

(2) 建具の枠見込み寸法は、次による。

○ 図面による。

(4) アルミニウムの表面処理の種別及び標準色・特注色の別等は、次による。

建具の種類	表面処理の種別	色	使用箇所
外部に面する建具	○ B B-1 種 ・	○ 標準色 ・ 特注色	男女トイレ外壁側扉
屋内に使用する建具	・ B C-1 種 ・	・ 標準色 ・ 特注色	

25.4.4 形状及び仕上げ (16.4.4 形状及び仕上げ)

(1) 鋼板類の厚さ等は、次による。

区分	使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠、方立、無目、ぜん板、額縁、水切り板
	・	○ 1.6
出入口	枠類	一般部分
		・ ○ 1.6
		くつずり
		・ ○ 1.5
	戸	かまち、鏡板、表面板
		○ 1.6
		力骨
		・ ○ 2.3
		中骨
		・ ○ 1.6
	その他	額縁、添え枠
		・ ○ 1.6
補強板の類		・ ○ 2.3以上

25.5.3 材料 (16.5.3 材料)

(1) 鋼板類の種類は、次による。

○ 亜鉛メッキ鋼板

(5) 召合せ、縦小口包み板等の材質は、次による。

○ 表面材と同材

・ 鋼板

・ ステンレス鋼板

・ アルミニウム合金の押出形材

25.5.4 形状及び仕上げ (16.5.4 形状及び仕上げ)

(1) 鋼板類の厚さ等は、次による。

区分	使用箇所	厚さ (mm)
枠類	一般部分	
	・ ○ 1.6	
	くつずり	
	・ ○ 1.5	
戸	表面板	
	・ ○ 0.6以上	
	力骨、中骨	
	・ ○ 1.6	
	召合せ 縦小口包み板 押縁	鋼板
		・ ○ 0.6以上
		ステンレス鋼板
		・ ○ 0.6以上
		アルミニウム押出形材
		ー
	額縁、添え枠	
		・ ○ 1.6
補強板の類		・ ○ 2.3以上

訂 正

年 月 日

杉原設計事務所

一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号
一級建築士第191476号 山崎 修一

設 計 担 当

WORK NO.

APPROVAL

・ ・ ・

DRAWN

TITLE

調布市立柏野小学校体育館内部改修工事

DATE

令和6・12・13

ITEM

特記仕様書（4）

SCALE

NON

DRAWN NO.

A-05

第26章

内装改修工事

第1節 共通事項

26.1.3 他の部位との取合い等

(2) 既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲は、次による。

- 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
- ・ 図面による。

(3) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲は、次による。

- ・ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
- ・ 図面による。

(5) 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修は、次による。

- 既存のまま
- ・ 図面による。

26.1.4 工法

(1) 既存の床、壁及び天井の撤去は、次による。

- 図面による。

(2) 新設の床、壁及び天井の下地は、次による。

- 図面による。

(3) 仕上げは、次による。

- 図面による。

第2節 既存床の撤去及び下地補修

26.2.2 工法

(1) 既存床仕上げ材の除去等

ア(イ) ビニル床シート等の浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去は、次による。

- ・ 図面による。
- 監督員と協議の上、決定する。

イ 合成樹脂塗床材の除去工法は、次による。

- ・ 機械的除去工法
- 目荒し工法

(3) 改修後の床の清掃範囲は、次による。

- ・ 図面による。
- 改修範囲全てとする。

第3節 既存壁の撤去及び下地補修

26.3.2 工法

(1)オ 間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修は、次による。

- モルタル塗り

(16.8.2 材質、形状及び寸法)

(3) 金物の種類及び見え掛かり部の材質は、次による。

- ・ 図面による。
- 下表による。

型式	金物の種類	見え掛り部の材質	備考
開き戸	シリンダー箱錠	握り玉 ○ステンレス製 ・ 製 レバーハンドル ○アルミニウム合金製 ・ ステンレス製 ・ 黄銅製 シリンダーカラー ○ステンレス製	シリンダーサイド ・ 図面による。 ・ 外側：シリンダー - 内側：サムターン
		シリンダーカラー ○ステンレス製	
	本締り錠	シリンダーカラー ○ステンレス製	
	空錠	握り玉 ○ステンレス製 ・ 製 レバーハンドル ○アルミニウム合金製 ・ ステンレス製 ・ 黄銅製	施錠に必要なない戸に適用
	グレモン錠	レバーハンドル ○垂鉛合金製 ・ ステンレス製	気密ドアセットに適用
	点検口錠	○垂鉛合金製程度	平面ハンドル錠等
	丁番	○ステンレス製	軸は銅製
	ピボットヒンジ	カバー部 ○ステンレス製 ・ 垂鉛合金製	内部に適用 ステンレス製の場合は、ヒンジ部及び軸は銅製。垂鉛合金製は木製建具用のみ。
引き戸	軸吊りヒンジ	建具の製造所の仕様による。	○自閉装置付き
	フロアヒンジ	カバー部 ○ステンレス製 本体 ○銅製	
	ヒンジクローザー（丁番形）	○銅製（焼付け塗装）	ドアクローザーのディレードアクション（遅延閉）機能 ○あり ・ なし
	ヒンジクローザー（ピボット形）	カバー部 ○ステンレス製 本体 ○銅製	
	ドアクローザー	本体 ○アルミニウム合金製 アーム部 ○銅製（焼付け塗装）	
	閉鎖順位調整器	○ステンレス製	・ 銅製
	押棒・押板	・ ステンレス製	
		・ 黄銅製	
引き戸	上げ落し（フランス落し）	○垂鉛合金製程度	
	アームストッパー	・ ステンレス製	
		○銅製（クロームめっき）	あおり止め（フック） ○あり ・ なし
		・ ステンレス製	
	戸当り	○垂鉛合金製程度	
		・ ステンレス製	
	クレセント引手類（木製建具の場合）	・ 黄銅製	
	レール（上吊りの場合を除く。）	○ステンレス製	黄銅は、木製建具用のみ
		・ アルミニウム合金製	

(7) 金属製建具用の金物は、次による。

ア 丁番の枚数及び大きさは、次による。

建具の種類	枚数		大きさ（mm）	
	建具の高さが2,000mm未満	建具の高さが2,000mm以上2,400mm未満	長さ（最小呼び寸法）	厚さ
アルミニウム製建具 銅製軽量建具	・ ○ 2枚以上	・ ・ 3枚	・ ○ 127（125）	・ ・ 3.0
			・ ○ 127（125）	・ ○ 4.0

（注）（ ）内は最小呼び寸法を表す。

(16.8.3 取付け施工)

(1) 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は、次による。

- 取っ手類は、床下から1,000mm、押板類は、1,100mmの高さとする。

(16.8.4 鍵)

(1) マスターキーの製作は、次による。

- 製作する。
- ・ 製作しない。

(3) 鍵の製作本数等は、次による。

- 3本

第7節 軽量鉄骨壁下地

26.7.3 形式及び寸法（14.5.3 形式及び寸法）

(1) 種類、スタッドの高さによる区分等は、次による。

種 類	スタッドの高さによる区分	備 考
・ 50形	高さ2.7m以下	
○ 65形	高さ4.0m以下	新設間仕切り壁
○ 90形	高さ4.0mを超え4.5m以下	新設間仕切り壁
・ 100形	高さ4.5mを超え5.0m以下	
・	高さ5.0mを超える場合	

26.7.4 工法（14.5.4 工法）

(5) 出入口及びこれに準ずる開口部の補強は、次による。

- 標準仕様書による。

第8節 モルタル塗り

26.8.3 材料（15.3.2 材料）

モルタルの調査

- 現場調査材料
- ・ 既調査材料

第1節 共通事項

27.1.3 材料（18.1.3 材料）

(1) 接着剤のホルムアルデヒド放散量は、次による。

- ・

(5) 塗料は、トルエン等の含有量の少ない水性性のものを原則とするほか、図面（仕上げ表等）による。
また、「1.4.1 環境への配慮」による低VOC塗料は、次による。
ア 建築物内装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、VOC含有量1％以下（鉄部用は5％以下）の水性塗料であること。
イ 建築物外装用の塗料は、有害金属類を添加していない塗料であって、従来の溶剤型料と比較しVOC含有量を低減した塗料であること。
塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとる。また、施工時及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させるものとする。

第2節 下地調整

27.2.1 施工一般

既存塗膜の除去範囲は、次による。

- ・ 塗膜の劣化が激しい部分

27.2.2 木部の下地調整

(1) 木部の下地調整の種類等は、次による。

種 別	施工部位及び塗料の種類		
○ R A種	建具（WD-9・WD-10）の戸框及び木枠部分、サッシ（AW-2）額縁	EP-G塗	
○ R B種	アリーナ壁仕上 CL塗、建具及びサッシ額縁	EP-G塗	
・ R C種			

27.2.3 鉄鋼面の下地調整

鉄鋼面の下地調整の種類等は、次による。

種 別	施工部位及び塗料の種類		
・ R A種			
○ R B種	銅製建具 DP塗、ギャラリー手すり、鉄骨柱、梁	EP-G塗	
・ R C種			

27.2.5 モルタル面及びプラスター面の下地調整

モルタル面及びプラスター面の下地調整の種類等は、次による。

種 別	施工部位及び塗料の種類		
・ R A種			
○ R B種	壁	EP-G塗	
・ R C種			

R A種、R B種のひび割れ部の補修は、次による。
○ パテにて下地補修をすること。

27.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整

せっこうボード面及びその他ボード面の下地調整の種類等は、次による。

種 別	施工部位及び塗料の種類		
・ R A種			
○ R B種	間仕切り壁	EP-G塗	
・ R C種			

第3節 さび止め塗料塗り

27.3.2 塗料種別

(1)「第9節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）」の場合の鉄鋼面さび止め塗料の種類等は、次による。

イ「第8節 耐久性塗料塗り塗（DP）」の場合

種 別	使用箇所	塗料の種類
○ C種（1回目塗）	銅製建具	2種
○ D種（2・3回目塗）		
		○溶剤形（A種）・水性（D種）

ウ「第9節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗（EP-G）」の場合

種 別	使用箇所		
・ A種	・ 屋外（ ）	・ 屋内（ ）	・ 図示による
○ B種	・ 屋外（ ）	○ 屋内（手すり、柱、梁 ）	

27.3.3 さび止め塗料塗り

(1) 鉄鋼面さび止め塗料塗りの種別等は、次による。

「耐久性塗料塗り塗（DP）」の場合

種 別	使用箇所
○ A種	銅製建具
・ B種	
・ C種	

「つや有合成樹脂エマルションペイント塗（EP-G）」の場合

種 別	使用箇所
・ A種	
・ B種	
○ C種	手すり、柱、梁

(2) 新規鉄骨等鉄鋼面のさび止め塗装塗りは、次による。

- 1回目は製作工場、2回目は工事現場で塗装する。
- ・ 1回目、2回目とも製作工場で塗装する。

第5節 クリヤラッカー塗り（CL）

27.5.2 クリヤラッカー塗り

クリヤラッカー塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
・ A種	
○ B種	アリーナ壁仕上げ、建具（WD-9・WD-10）の天然木合板張部分

第8節 耐候性塗料塗り（DP）

27.8.2 鉄鋼面耐候性塗料塗り

鉄鋼面耐候性塗料塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
○ A種	銅製建具
・ B種	
・ C種	

鉄鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料の等級等は、次による。

等 級	使用箇所
・ 1級	
○ 2級	銅製建具
・ 3級	

第9節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）

27.9.2 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

(1) つや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
・ A種	
○ B種	壁、柱
・ C種	

(2) 塗替えの場合のしみ止めは、次による。
○ 種別がB種及びC種の場合は、工程1の下塗をしみ止めシーラーとする。

27.9.3 木部つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

木部つや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
・ A種	
○ B種	建具、額縁、木製BOX
・ C種	

27.9.4 鉄鋼面つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

鉄鋼面つや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別等は、次による。

種 別	使用箇所
・ A種	
○ B種	手すり、柱、梁
・ C種	

訂 正 年 月 日

杉原設計事務所

一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号
一級建築士第191476号 山崎修一

設 計 担 当

WORK NO.

TITLE

調布市立柏野小学校体育館内部改修工事

DATE

令和6・12・13

APPROVAL

DRAWN

ITEM

特記仕様書（5）

SCALE

NON

DRAWN NO.

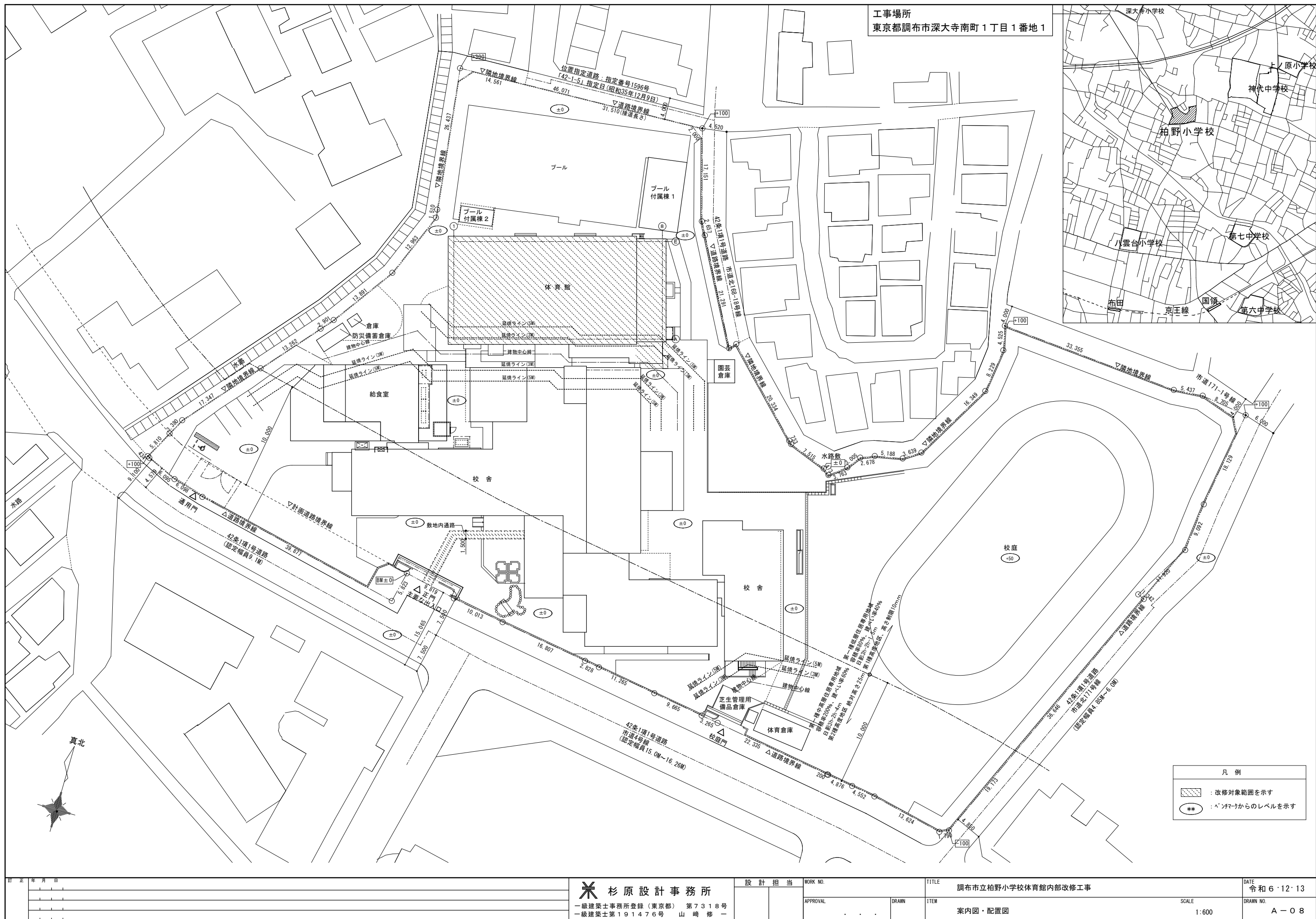
A-O6

第29章	第1節 一般事項																																							
石綿除去																																								
工事	29.1.1 適用範囲 (1) 本特記仕様書に記載のない事例は標準仕様書による。 (2) 石綿含有建材はすべての種類の石綿及びそれらをその重量の0.1%を超えて含有する物をいう。石綿含有建材の種類は、石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等、石綿含有成形板等及び石綿含有仕上塗材で「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」（環境局）による。当該マニュアルは東京都環境局のホームページに掲載されている最新版を参照すること。 なお、既に封じ込まれている吹付け石綿等も、石綿含有吹付け材と同様の扱いとする。 (3) この工事は、設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも工事の性質上当然必要なものは、監督員の指示に従い施工する。																																							
	29.1.3 施工一般 (1) 受注者は、作業の届出に必要な書類等の関係官庁への提出について遅滞なく行う。 (2) 受注者は、「大気汚染防止法」に基づく届出（特定粉じん排出等作業実施届書）又は「東京都環境確保条例」に基づく届出（石綿飛散防止方法等計画届出書）に必要な資料を作成し、監督員に届出の記載内容の説明を行うとともに、提出に協力する。 (3) 受注者は、事前に「石綿障害予防規則」第4条に定められた事項を盛り込んだ施工計画書を作成、監督員に提出し、承諾を得た後に施工する。また、資格証明書及び工事経歴書の写しを施工計画書に添付する。その実施内容を監督員に報告する。 (4) 石綿処理に関する調査、作業等については、諸法令等の遵守に加え、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」（東京都環境局）、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（厚労省・環境省）の最新版に準拠する。 (5) 関係法令、特記仕様書等で資格等を必要とされている作業関係者、確認者等について監督員がその資格証等の提示を求めたときは、速やかに応じる。																																							
	29.1.5 石綿粉じん濃度測定 (1) 石綿含有吹付け材及び石綿含有保温材等の除去工事を施工する場合は、次による。 ア 受注者は、工事の場所の敷地の境界線のうちで、集じん・排気装置の排出口に最も近い場所を含む建築物その他の施設の周辺4方向の図示による場所について、作業前、作業中、作業後の浮遊石綿濃度を測定し、報告を提出する。 測定方法は、原則として「アスベストモニタリングマニュアル」（環境省）にの最新版による。 ※ 作業前の測定は、現場周辺のバックグラウンド濃度を把握するため実施する。 ※ 作業中の測定は、除去工事の作業期間が6日を超える場合、6日ごとに1回以上行う。 また、二区画以上の施工区画にわたって行われる場合、施工区画ごとに行う。 イ 施工区画の隔離状態を把握するため、図示により次の地点において、浮遊石綿濃度を測定し、報告書を提出する。 ・ 施工区画内 ○ 施工区画直近の外周（除去作業中の前室の入口、集じん、排気装置の排気口） 測定方法は、原則として「アスベストモニタリングマニュアル」（環境省）にの最新版による。 (2) 石綿含有成形板等の除去工事を施工する場合は、次による。 ・ 目視による監視を実施する。 ○ (1)アによる浮遊石綿濃度測定を実施し、報告書を提出する。 ・ 作業環境周辺の状況を把握するため、施工箇所において、浮遊石綿濃度を測定し、報告書を提出する。 (3) (1)又は(2)の浮遊石綿濃度を測定する場合の、測定時期、測定場所及び測定箇所数は次による。 ・ 図面による。 ○ 次の表による。																																							
	<table><tr><th rowspan="2">測定場所</th><th colspan="3">測定時期(回)</th><th rowspan="2">測定箇所数 (地点)</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>作業前</th><th>除去作業中</th><th>作業後</th></tr><tr><td>敷地境界</td><td>1回</td><td></td><td></td><td>4点</td><td></td></tr><tr><td>施工区画内</td><td></td><td>4回</td><td></td><td>6点</td><td></td></tr><tr><td>施工区画 直近の外周</td><td></td><td></td><td>1回</td><td>4点</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> なお、測定機関は、「作業環境測定法」（昭和50年法律第28号）に基づき都道府県労働局に登録されている第三者の作業環境測定機関が行うものとし、施工計画書に記載する。 (4) その他、石綿粉じん濃度測定において、設定する条件は次による。 ・ ・	測定場所	測定時期(回)			測定箇所数 (地点)	備考	作業前	除去作業中	作業後	敷地境界	1回			4点		施工区画内		4回		6点		施工区画 直近の外周			1回	4点		・						・					
測定場所	測定時期(回)			測定箇所数 (地点)	備考																																			
	作業前	除去作業中	作業後																																					
敷地境界	1回			4点																																				
施工区画内		4回		6点																																				
施工区画 直近の外周			1回	4点																																				
・																																								
・																																								

第2節 共通事項
29.2.1 専門工事業者 「工事に相応した技術を有することを証明する資料」については、次の要件を全て満たすことができる技術を証明する資料をいう。 ① 除去工事に際し、作業場に隣接する部分の空気１リットル中の繊維状粒子（石綿を含む）をおよそ10本以下とすることにより、汚染を制御する技術を持っている。 ② 除去処理工事終了後に、作業場における空気１リットル中の繊維状粒子（石綿を含む）の本数をおよそ10本以下とすることにより、建築物利用者の安全を確保できる技術を持っている。 ③ 除去工事中の作業者は関連法令等に則り作業を行う等のほか、施工中に発生の恐れがある事故を想定して、その対策を講じることにより、安全を確保する技術を持っている。また、施工実績等も含める。 なお、「吹付け石綿粉塵飛散防止処理技術」については、「建設技術審査証明事業」の取得に際して使用した資料も含める。
29.2.6 表示および掲示 事前調査等、法令に基づき実施する掲示については、法令等に定められた大きさとする。その他の掲示や表示については、視認しやすい大きさとする。
29.2.8 保護具等 石綿処理に関わる監督員の保護具を処分する場合は、関係法令に従い適切に行う。
第3節 石綿含有吹付け材の除去
29.3.1 作業場の隔離等 負担隔離養生の方法等は次による。 ・ 標準仕様書29.3.1による。
イ 離隔シートの設置に当たっては、次による。 ・ 離隔シートの一部にクリアパネルを用いるなど、施工区画外から作業場内の状況を即時に確認できる構造とする。
オ 石綿の飛散を防ぐことのできるフィルターは、JIS Z 8122に規定する超高性能微粒子フィルター（HEPAフィルター（High Efficiency Particulate Air Filter）及びこれに準じたものをいう。以下「石綿飛散防止フィルター」という。）
コ 離隔状況及び集じん・排気装置の稼働状況の確認は次による。 ・ 気密性確認用のスモークマシーンで発生させた疑似煙を作業内に充満させ、隔離外部より漏洩等の異常がないことを目視で確認する。その後、集じん・排気装置を稼働させ、疑似煙が適切に排気されることを確認する。
29.3.2 工法 (1) 石綿含有吹付材の除去工法は次による。 ・ 標準仕様書に29.3.2による。 (2) 除去された石綿含有吹付材の飛散防止措置は次による。 ・ 固化化する。 なお、固化化の方法等については、次の方法による。 飛散性アスベスト廃棄物に関する収集・運搬の手引き（平成18年1月 東京都環境局） 飛散性アスベスト廃棄物の処理の手引き－飛散性アスベスト廃棄物のセメント固化の方法－（平成17年12月東京都環境局） ・ 石綿飛散防止剤（湿潤剤）で湿潤し、十分な強度を有する耐水性の材料で二重に梱包する。（プラスチック製の袋を使用する場合、厚0.15mm以上）
29.3.4 確認及び後片付け 確認及び後片付けにおける監督員の立会いは、次による。 ・ ・
ア 除去完了の確認を行う、石綿等に関する知識を有する者等とは、1.5.1(2)に示す事前調査を行うことができる者又は当該作業の石綿作業主任者とする。

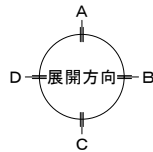
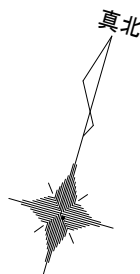
第5節 石綿含有成形板の除去
29.5.1 石綿成形板の除去 作業場所の周囲の養生は次による。 ・ 離隔養生（負圧不要）に用いる養生シート等は、耐久性及び耐水性を有し、石綿の繊維が通過できない物とし、隙間等ができないように設置する。
29.5.2 工法 ア 湿潤化の方法は次による。 ○ 粉じん飛散抑制剤等の散布 ・ 水噴霧による湿潤化 ・ 散水による湿潤化 ※ 湿潤化するために行う散水その他の措置により石綿を含む水を排出するときは、ろ過その他の適切な処理を行う。 ※ 「手ばらし」とは石綿含有成形板の接合・固定状態を、簡易な工具などで解除又はその位置において人力により破砕して現位置より除去することをいう。一般的に破壊しなければ飛散はないが、やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で作業する。 ※ 石綿含有成形板等の除去は、原形のまま、手ばらしで行う。なお、やむを得ず切断、破砕等しなければならない場合は、監督員と協議のうえ、常時湿潤化した状態、又は除じん性能を有する電動工具を使用して作業を行う。
29.5.4 確認及び後片付け ア 除去完了の確認を行う、石綿等に関する知識を有する者等とは、1.5.1(2)に示す事前調査を行うことができる者又は当該作業の石綿作業主任者とする。
第6節 石綿含有仕上塗材の除去
29.6.1 石綿含有仕上塗材の除去 (1) 除去方法等は次による。 ○ 除去は電動グラインダーその他の電動工具を使用する。【集塵装置付きディスクグラインダー・ケレン工法】 ・ 除去は電動グラインダーその他の電動工具を使用しない。【 工法】 (2) 離隔養生（負圧不要）に用いる養生シート等は、耐久性及び耐水性を有し、石綿の繊維が通過できない物とし、隙間等ができないように設置する。
29.6.4 除去した石綿含有仕上塗材等の保管、運搬及び処分 汚泥として処理が必要な場合の対応は、次による。 ○ 未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。
第7節 封じ込め、囲い込み
29.7.1 封じ込め、囲い込みの作業 石綿含有建材の封じ込め又は囲い込み作業を行う場合は、次の方法により行う。 (1) 封じ込め又は囲い込み作業に当たっては、「建築基準法」告示で定める「封じ込め及び囲い込みの措置の基準」（平成18年9月29日 国土交通省告示第1173号）を遵守する。 (2) 封じ込めに用いる石綿飛散防止剤は、「建築物の基礎、主要構造部等に使用する建築材料並びにこれらの建築材料が適合すべき日本工業規格又は日本農林規格及び品質に関する技術的基準を定める件」（平成12年5月31日 建設省告示第1446号）第1第20号石綿飛散防止剤を満たした認定品を使用する。 (3) 封じ込め及び囲い込み作業に当たっては、作業実施前に既存の石綿含有建材の劣化損傷、建材下地との接着の状況等を確認し、必要に応じ石綿が飛散しないよう補修する。 (4) 封じ込め作業に当たっては、作業実施前に石綿飛散防止剤の接着性、浸透性等の性能を確認し、適切なものを使用する。囲い込み作業において石綿の飛散を防ぐために石綿飛散防止剤を使用するときも同様とする。 (5) 作業に際しては、作業場所の隔離、石綿飛散防止フィルターの付いた集じん・排気装置による排気等、石綿含有建材の除去作業に準じた作業を行う。フィルターの種類は、「29.3.1 作業場の隔離等 オ」による。

第30章	メーカーリスト				
雑工事	<table><tr><th>規格名称</th><th>メーカー名</th></tr><tr><td>シャワーユニット</td><td>TOTO株式会社 株式会社IXIL カラスタンダード株式会社</td></tr></table>	規格名称	メーカー名	シャワーユニット	TOTO株式会社 株式会社IXIL カラスタンダード株式会社
規格名称	メーカー名				
シャワーユニット	TOTO株式会社 株式会社IXIL カラスタンダード株式会社				

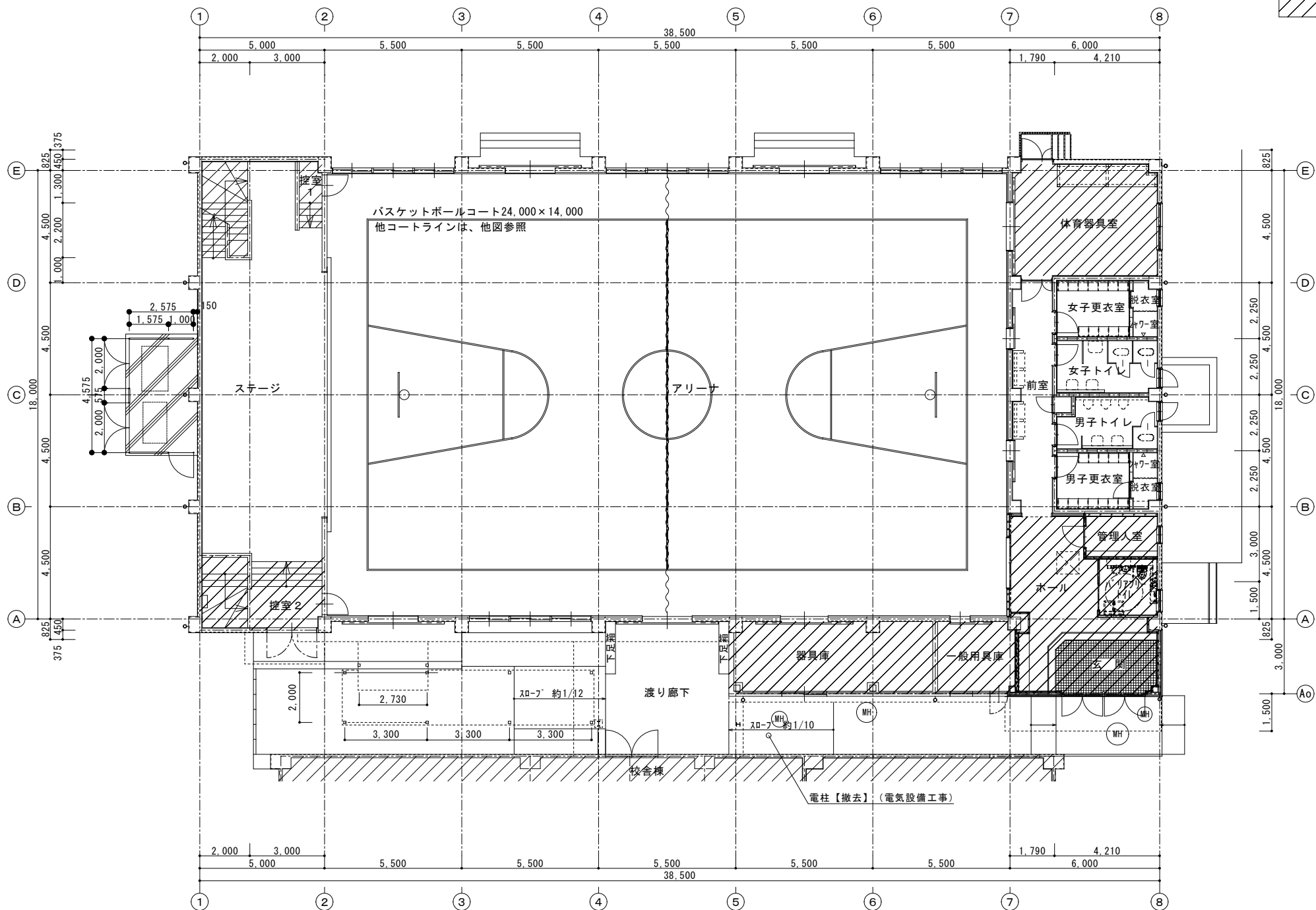
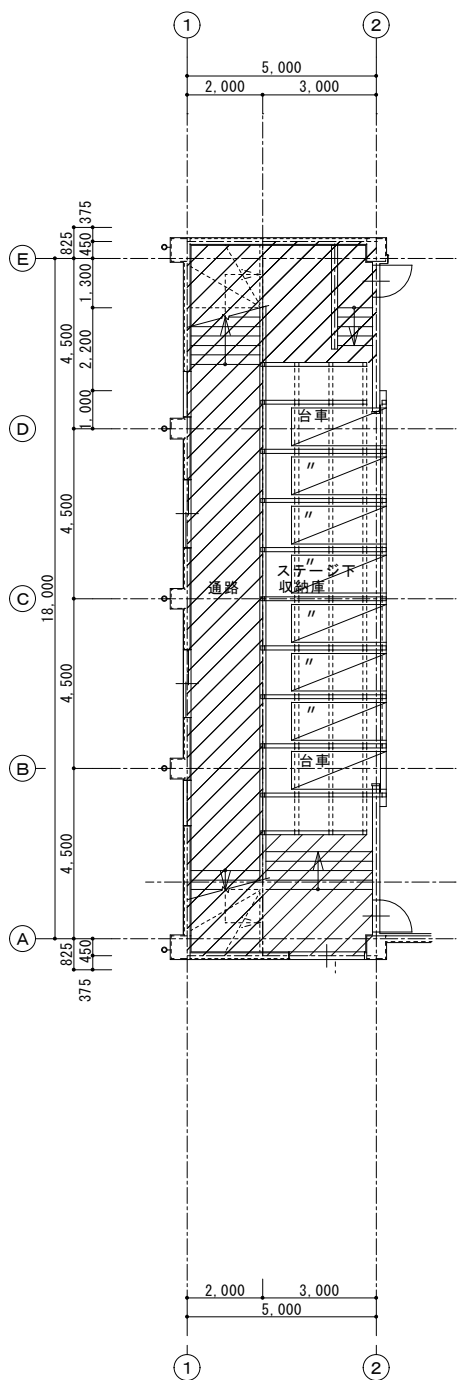


外部仕上表⇒改修対象外（建具交換部分外壁補修、下駄箱補修のみ）																															
部 位		仕 上			部 位		仕 上			部 位		仕 上																			
アリーナ屋根		長尺瓦葺t0.5、ウレタン防水t10 特殊嵌合式A棒フッ銅板t0.45、（発泡ポリエチレン裏貼t4）カバー工法 高耐久超速硬化ウレタン・高反射トップ・環境対応仕様（新設）			増築部屋根（渡り廊下）		フッ素樹脂塗装仕上折板t0.8、H=150、ペイント裏打 DP塗 立上り：ラワン合板t12下地、フッ素樹脂銅板t0.5曲げ加工 DP塗			外壁 幅 木 （GL～1FL）		コンクリート打放し、ペリマメント系基礎幅木用塗材			堅樋		アリーナ屋根堅樋：カラー硬質塩ビ管φ125、φ100、掴み金物SUS製 増築部屋根：カラー硬質塩ビ管φ100、掴み金物SUS製														
軒樋		軒樋：カーステンレスt0.4（SUS304）、下地コンパネt12、受金物FB-4.5×50@900（ステンレス） 部材間シーール プリッジ 工法@1,000、カバーフロ-φ50@1か所／1スパン					笠木：アルミ製笠木W=180 軒裏：ケイ酸カルシウム板★t6目透張、NAD塗			1F外壁1 （1～8、A～E）		コンクリート打放し、複層仕上塗材E★の上、可とう形改修塗材E （東面一部）既存仕上げ撤去の上、可とう形改修塗材E（新設）			幕板、水切等銅板シリカ 押出材板・耐火野地板シリカ 打継目地 化粧目地		変性シリコン系シーリング MS-2 15×10 ポリウレタン系シーリング PU-2 10×5 ポリウレタン系シーリング PU-2 20×10 コンクリート目地 20×25														
笠木 幕板		笠木：フッ銅板t1.6 DP塗、受金物FB-3×32（ステンレス） 幕板：フッ樹脂銅板t1.6 DP塗、下地 L-30×30×3（ステンレス）					屋上 （7～8、A～E） 平部：コンクリート金ごて、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 L4工法 モルタル金ごてt40、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 L4工法 立上り：モルタル金ごて、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 L4工法			1F外壁2 （5～8、A～E）		中空押出メント板★ t20横張 複層仕上塗材E★の上、可とう形改修塗材E																			
軒裏 屋上ルーフ		軒裏：フッ樹脂銅板t1.6 DP塗、下地 L-30×30×3（ステンレス） フード部：亜鉛メッキ処理銅板 DP塗			コンクリート底 上 面 上 裏			防水モルタル塗、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 コンクリート打放し、可とう形改修塗材E			2F外壁		耐火野地板 t12、複層仕上塗材E★の上、可とう形改修塗材E			下駄箱（渡り廊下）		ポリエステル化粧板 フラッシュボードt24 西側：小口テープ（撤去・新設） 背面化粧板（撤去・新設） 東側：小口テープ（撤去・新設）													
内部仕上表																															
階 室 名		種 別	床			幅木			壁			天井			天井高さ	廻り縁	備 考														
			下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上															
B1階 通路 ⇒改修対象外		既 存	コンクリート面（存置）	平部：防水モルタル目地切、弾性ウレタンt2（存置） 階段：防水モルタル目地切、弾性ウレタンt2（存置） 段鼻ノスリップ 磁器タイル（撤去）		防水モルタル金ごて（存置）	弾性ウレタンt2（存置）		モルタル金ごて（存置） 木組（存置）	GP塗★（撤去） 汁合板t4 SOP塗（存置）		—	舞台床下木組下地素地（存置）		2,100	—															
FL-1,100（FL-1,130）		改 修	—	—		—	—		—	—		—	—		2,100	—															
1階 ホール・玄関		既 存	モルタル金ごて（存置）	ビニル床シートt2.0（存置） 玄関：磁器質タイル100角（存置）		木組（存置）	ラワンt24 H=100 EP-G塗（存置）		木組（存置）	ラワン合板t9、天然木合板横張 t12（存置）		LGS（存置）	GB-R t9.5 捨張、DR t9（存置）		2,450	塩ビ（存置）	ステンス/ノスリップ（存置） 下駄箱（存置） ステンスレール（存置）														
FL±0、-350 （FL-30、-400）		改 修	—	—		—	(A面 内壁新設部分) ラワンt24 H=100 EP-G塗（新設）		LGS（新設）	(A面 内壁新設部分) ラワン合板t9、天然木合板 t12（新設）		—	—		2,450	—															
管理人室		既 存	モルタル金ごて（存置）	ビニル床シートt2.5（存置）		(A面)LGS（撤去） (B面)モルタル金ごて（存置） (C・D面)LGS（存置）	(A面)ビニル幅木 H=100（撤去） (B・C・D面)ビニル幅木 H=100（存置）		(A面)LGS（撤去） (B面)モルタル金ごて（存置） (C・D面)LGS（存置）	(A面)GB-R t9+12、EP-G塗（撤去） (B面)GP塗★の上EP-G塗（存置） (C・D面)GB-R t9+12、EP-G塗（存置）		LGS（存置）	GB-D t9.5（存置）		2,300	塩ビ（存置） (A面のみ撤去）	配管ライニング（存置） ステンス製省摺 50×25（存置）														
FL±0（FL-30）		改 修	—	—		(A面)LGS（新設） (B面)モルタル金ごて（存置） (C・D面)LGS（存置）	(A面)ビニル幅木 H=100（新設）		(A面)LGS（新設） (B面)モルタル金ごて（存置） (C・D面)LGS（存置）	(A面)GB-R t9.5+12.5、EP-G塗（新設）		—	—		2,300	(A面のみ) 塩ビ（新設）															
バリアフリース トイレ ⇒改修対象外		既 存	モルタル金ごて（存置）	防滑防汚性ビニル床シートt2.0（存置）		LGS（存置） 薄塗モルタル（存置）	耐水合板t12、床材立上H=100 端部7mm金物（存置） GB-St12.5（GL工法）、床材立上H=100 端部7mm金物（存置）		LGS（存置） 薄塗モルタル（存置）	耐水合板 t12、化粧ケイ酸板 t6.0（存置） GB-S t12.5（GL工法） 化粧ケイ酸板 t6.0（存置）		LGS（存置）	GB-D t9.5（存置）		2,300	塩ビ（存置）															
前室		既 存	モルタル金ごて（存置）	ビニル床シートt2.5（撤去）		(A,C,D面) コンクリート壁（存置） モルタル金ごて（存置） (B面)コンクリート壁（撤去） モルタル金ごて（撤去）	ビニル幅木 H=100（撤去）		(A,C,D面) コンクリート壁（存置） モルタル金ごて（存置） (B面)コンクリート壁（撤去） モルタル金ごて（撤去）	(A,C,D面)GP塗★（撤去） (B面)GP塗★（撤去）		LGS（撤去）	GB-D t9（撤去）		2,450	塩ビ（撤去）	手洗い流し台（マブールカンター）L=1,500×2箇所（撤去） 鏡 350×450 4箇所（撤去） 床見切：木製 260×25（撤去）														
FL±0（FL-30）		改 修	—	下地調整の上、 長尺塩ビシートt2.0（新設）		(A,B,C面) LGS（新設） (D面)コンクリート壁 モルタル金ごて	ビニル幅木 H=100（新設）		(A,B,C面) LGS（新設） (D面)コンクリート壁 モルタル金ごて	(A,B,C面)GB-R t9.5+12.5 EP-G塗（新設） 下地調整の上、EP-G塗（塗替）		LGS（新設）	GB-D t9.5（新設）		2,450	塩ビ（新設）	手洗い流し台 L=1,500×2箇所（新設） 鏡 350×450 4箇所（新設）（機械設備工事）														
男子更衣室		既 存	モルタル金ごて（存置）	ビニル床シートt2.5（撤去）		(C面)コンクリート壁（存置） モルタル金ごて（存置） (A,B面) CB壁（撤去） モルタル金ごて（撤去） (D面)コンクリート壁（撤去） モルタル金ごて（撤去）	ビニル幅木 H=100（撤去）		(C面)コンクリート壁（存置） モルタル金ごて（存置） (A,B面) CB壁（撤去） モルタル金ごて（撤去） (D面)コンクリート壁（撤去） モルタル金ごて（撤去）	(C面)GP塗★（撤去） (A,B,D面)GP塗★（撤去）		LGS（撤去）	GB-D t9（撤去）		2,300	塩ビ（撤去）	棚（ロッカー）（撤去）														
FL±0（FL-30）		改 修	—	下地調整の上、 長尺塩ビシートt2.0（新設）		(C面)コンクリート壁 モルタル金ごて (A,B,D面) LGS下地（新設）	ビニル幅木 H=100（新設）		(C面)コンクリート壁 モルタル金ごて (A,B,D面) LGS下地（新設）	(C面)下地調整の上、EP-G（塗替） (A,D面)ガラスケール t50（新設） (A,B,D面)GB-R t9.5+GB-S t12.5 EP-G（新設）		LGS（新設）	GB-D t9.5（新設）		2,300	塩ビ（新設）	棚（ロッカー）（新設）														
女子更衣室		既 存	モルタル金ごて（存置）	ビニル床シートt2.5（撤去）		(A面)コンクリート壁（存置） モルタル金ごて（存置） (B,C面) CB壁（撤去） モルタル金ごて（撤去） (D面)コンクリート壁（撤去） モルタル金ごて（撤去）	ビニル幅木 H=100（撤去）		(A面)コンクリート壁（存置） モルタル金ごて（存置） (B,C面) CB壁（撤去） モルタル金ごて（撤去） (D面)コンクリート壁（撤去） モルタル金ごて（撤去）	(A面)GP塗★（撤去） (B,C面)GP塗★（撤去） (D面)GP塗★（撤去）		LGS（撤去）	GB-D t9（撤去）		2,300	塩ビ（撤去）	棚（ロッカー）（撤去）														
FL±0（FL-30）		改 修	—	下地調整の上、 長尺塩ビシートt2.0（新設）		(A面)コンクリート壁 モルタル金ごて (B,C,D面) LGS下地（新設）	ビニル幅木 H=100（新設）		(A面)コンクリート壁 モルタル金ごて (B,C,D面) LGS下地（新設）	(A面)下地調整の上、EP-G（塗替） (C面)ガラスケール t50 24kg/m3（新設） (B,C,D面)GB-R t9.5+GB-S t12.5 EP-G（新設）		LGS（新設）	GB-D t9.5（新設）		2,300	塩ビ（新設）	棚（ロッカー）（新設）														
男子シャワー室 男子脱衣室		既 存	モルタル（撤去）	25角磁器質セラミックタイル（撤去） シダー・コンクリート t100（撤去） コンクリートスラブ t120（撤去）		—	—		(A,D面)CB壁（撤去） モルタル（撤去） (B,C面) コンクリート壁（存置） モルタル（一部撤去）	(A,D面)半磁器質施軸タイル100角（撤去） (B,C面)半磁器質施軸タイル100角（一部撤去） シャワーユニット、LGS新設部分は除く		LGS（撤去）	バスリブ張（撤去）		シャワー：2,400 脱衣：2,350	塩ビ（撤去）	バニイラック、SUS製カテナール L=950（撤去）														
FL-50（FL-150）		改 修	—	(シャワーユニット)コンクリートスラブ t120（新設） (脱衣室)長尺塩ビシート t2.0 防滑仕様（新設） 構造用合板 t12+t15（新設） 鋼製床下地（新設） コンクリートスラブ t120（新設）		—	(脱衣室)ビニル幅木 H=100（新設）		(A,C,D面) LGS下地（新設） (B面) コンクリート壁	(A,C,D面) GB-R t9.5+GB-S t12.5 EP-G塗（新設） (B面) モルタル金ごて EP-G塗（新設）		(脱衣室) LGS（新設）	(脱衣室)GB-D t9.5（新設）		シャワー：— 脱衣：2,350	塩ビ（新設）	シャワーユニット（新設） タイル棚（新設）														
FL±0（FL-190）																															
凡 例		(既存)	既存のまま	(塗替)	塗装の塗替	C（A）	コンクリート打放しA種	MT	モルタル金ごて	耐火野地板	硬質木片メント板（ベンチレーボード）	DR	ロックウール化粧吸音板	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り														
		(撤去)	(仕上・下地等) 撤去	(一部＊＊)	一部（撤去・新設	C	コンクリート打ちのまま	LGS	軽量鋼製下地	GB-R	せっこうボード	GW	ガラスケール吸音材（32K）	CL	クリヤラッカー塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り														
		(新設)	(仕上・下地等) 新設		・調整・塗替)	CT	コンクリート金ごて	CB	コンクリートロック	GB-S	シーリングせっこうボード			NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り														
		(下地調整)	下地の調整	★	アスベスト含有建材	M	モルタル	W	木	GB-D	化粧せっこうボード			DP	耐候性塗料塗り																
訂 正 年 月 日																		✖ 杉 原 設 計 事 務 所		設 計 担 当		WORK NO.		TITLE		DATE					
																		一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号 一級建築士第191476号 山 崎 修 一				APPROVAL		DRAWN		調布市立柏野小学校体育館内部改修工事		令和6・12・13			
																								ITEM		SCALE		DRAWN NO.			
																										外部仕上表・内部仕上表（1）		NON		A - 0 9	

内部仕上表																		
階	室 名	種 別	床		幅木		壁		天井		天井高さ	廻り縁	備 考					
			下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上								
1階	女子シャワー室 女子脱衣室 FL-50 (FL-150)	既 存	モルタル (撤去)	25角磁器質モザイクタイル (撤去) シンダーコンクリート t100 (撤去) コンクリートスラブ t120 (撤去)	—	—	(A,B面) コンクリート壁 (存置) モルタル (一部撤去) (C,D面)CB壁 (撤去) モルタル (撤去)	(A,B面)半磁器質施軸タイル100角 (一部撤去) シャワーユニット、LGS新設部分は除く (C,D面)半磁器質施軸タイル100角 (撤去)	LGS (撤去)	バスリブ張 (撤去)	シャワー：2,400 脱衣：2,350	塩ビ (撤去)	バンプラック、SUS製カーテンレール L=950 (撤去)					
	 FL±0 (FL-190)	改 修	—	(シャワーユニット)コンクリートスラブ t120 (新設) (脱衣室)長尺塩ビシート t2.0 防滑仕様 (新設) 構造用合板 t12+t15 (新設) 鋼製床下地 (新設) コンクリートスラブ t120 (新設)	—	(脱衣室)ビニル幅木 H=100 (新設)	(A,C,D面) LGS下地 (新設) (B面) コンクリート壁	(A,C,D面) GB-R t9.5+GB-S t12.5 EP-G塗 (新設) (B面) モルタル金ゴテ EP-G塗 (新設) EP-G (新設)	(脱衣室) LGS (新設)	(脱衣室)GB-D t9.5 (新設)	シャワー：— 脱衣：2,350	塩ビ (新設)	シャワーユニット (新設) タイル棚 (新設)					
	男子トイレ	既 存	モルタル (一部撤去)	25角磁器質施軸モザイクタイル張 (一部撤去)	—	—	(A,C面)CB壁 (撤去) モルタル (撤去) (B面)コンクリート壁 (存置) モルタル (存置) (D面)コンクリート壁 (撤去) モルタル (撤去) (掃除用具)CB壁 (撤去) モルタル (撤去)	(A,C面)半磁器質施軸タイル100角 (撤去) (B面)半磁器質施軸タイル100角 (存置) (D面)半磁器質施軸タイル100角 (撤去) GP塗★ (撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9 (撤去)	2,350	塩ビ (撤去)	トイレフース、配管ラインング (撤去) 鏡 350×450 2箇所 (撤去)、紙巻器 1箇所 (撤去) 床見切：テラゾーブロック 100×25 (撤去)					
	 FL±0 (FL-80)	改 修	—	シンダーコンクリート t50 (新設) 長尺塩ビシート t2.0 特殊防滑 (新設)	—	長尺塩ビシート t2.0 H=100 巻上げ (新設)	(A,C,D面) LGS下地 (新設) (B面)コンクリート壁 モルタル	(A,C,D面) グラスウール t50 24kg/m3 (新設) GB-S t12.5+メラミン不燃化粧板 t3 (新設) (B面) 下地調整の上、メラミン不燃化粧板 t3 (新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5 (新設)	2,350	塩ビ (新設)	トイレフース、配管ラインング (新設) (機械設備工事)鏡 350×450 2箇所 (新設)、紙巻器 1箇所 (新設)					
	女子トイレ	既 存	モルタル (一部撤去)	25角磁器質施軸モザイクタイル張 (一部撤去)	—	—	(A,C面)CB壁 (撤去) モルタル (撤去) (B面)コンクリート壁 (存置) モルタル (存置) (D面)コンクリート壁 (撤去) モルタル (撤去)	(A,C面)半磁器質施軸タイル100角 (撤去) (B面)半磁器質施軸タイル100角 (存置) (D面)半磁器質施軸タイル100角 (撤去)	LGS (撤去)	GB-D t9 (撤去)	2,350	塩ビ (撤去)	トイレフース、配管ラインング (撤去) 鏡 350×450 2箇所 (撤去)、紙巻器 2箇所 (撤去) 床見切：テラゾーブロック 100×25 (撤去)					
	 FL±0 (FL-80)	改 修	—	シンダーコンクリート t50 (新設) 長尺塩ビシート t2.0 特殊防滑 (新設)	—	長尺塩ビシート t2.0 H=100 巻上げ (新設)	(A,C,D面) LGS下地 (新設) (B面)コンクリート壁 モルタル	(A,C,D面) グラスウール t50 24kg/m3 (新設) GB-S t12.5+メラミン不燃化粧板 t3 (新設) (B面) 下地調整の上、メラミン不燃化粧板 t3 (新設)	LGS (新設)	GB-D t9.5 (新設)	2,350	塩ビ (新設)	トイレフース、配管ラインング (新設) SK：上部吊棚 (新設)、ステンレスフック 2箇所 (新設) (機械設備工事)鏡 350×450 2箇所 (新設)、紙巻器 2箇所 (新設)					
	体育器具室 (7～8、D～E)	既 存	モルタル金ゴテ (存置)	ビニル床シート t2.5 (存置)	モルタル金ゴテ (存置)	GP塗 H=100★ (存置)	モルタル金ゴテ (存置)	GP塗★ (存置)	LGS (存置)	GB-D t9 (存置)	2,450	塩ビ (存置)	棚 H=2,000 (存置) ステンレス製沓摺 50×25 (存置)					
	 FL±0 (FL-30)	改 修	—		—		—	(D面：壁新設部分)下地調整の上、EP-G (塗替)			2,450							
	アリーナ	既 存	木組 (撤去)	ラワン合板貼t18、カーサワフローリング t18、 サンダー掛けの上、合成樹脂塗料仕上 (撤去) 周囲：クッションゴム材 (撤去)	木組 (存置)	ラワン t24 H=100 SOP塗 (存置)	木組 (存置)	ラシンフローリング t15の上、ラワン合板t9 天然木合板横張t12 接着剤+釘止め (存置)	—	屋根材素地 (存置) 鉄骨表し (存置)	6,400～ 9,100	—	防球ネット、吊上・固定バスケットボール、床金物、吊縄 床端部ゴム、床換気口、コートライン (全て撤去)					
	 FL±0 (FL-650)	改 修	モルタルペーリング材下地 鋼製床組下地 (新設)	構造用合板 t15 (新設) カーサワ大型積層フローリング t18 (新設) サンダー掛けの上、水性ウレタン3回塗装 (新設) 周囲：クッションゴム材 (新設)	—	下地調整の上、EP-G (塗替)	—	—	—	(既存鉄骨部)下地調整の上、DP塗 (塗替)	6,400～ 9,100	—	防球ネット、吊上・固定バスケットボール、床金物、 床端部ゴム、床換気口、コートライン (全て新設) ※吊縄は新設なし					
	ステージ	既 存	木組 (存置)	ラワン合板貼t18、カーサワフローリング t18、 合成樹脂塗料仕上 (存置) 周囲：クッションゴム材 (撤去) 階段A：弾性ウレタン t2 (存置) 階段B,C：ラワン 踏面 t30、蹴込 t18 OSCL (存置)	木組 (存置) 防水モルタル金ゴテ (存置) 木組 (存置)	ラワン t24 H=100 SOP塗 (存置) 階段A：弾性ウレタン t2 (存置) 階段B,C：ラワン t24 H=100 SOP塗 (存置)	モルタル金ゴテ (存置) LGS (存置)	下部：GP塗★ (存置) 上部：シナ合板 t4、SOP塗 (存置)	LGS (存置)	GB-D t9 (存置) ブドウ棚：杉 300×18#330 (存置)	5,400 2,100	塩ビ (撤去)	舞台吊物、観帳 (一時撤去)、床下壁一体式収納 (撤去) 樞：珩集成材 CL塗 (存置)					
 FL+1,000 (FL-30)	改 修	—	サンダー掛けの上、隙間充填樹脂系パテ充填 水性ウレタン3回塗装 (塗替) 周囲：クッションゴム材 (新設)	—	下地調整の上、EP-G (塗替)	—	(上部：西面のみ)下地調整の上、EP-G (塗替)	—	ブドウ棚：杉 300×18#330 (クリニグ)	5,400 2,100	塩ビ (新設)	舞台吊物、観帳 (簡易清掃の上、再取付)、床下壁一体式収納 (新設) 樞：珩集成材 CL塗 サンダー掛け 下地調整の上、CL塗 (塗替)						
器具庫 ⇒改修対象外	既 存	木組 (存置)	ラワン合板t5.5+18 (存置) ビニル床シート t2.5 (撤去)	LGS (存置)	ビニル幅木 H=100 (撤去)	LGS (存置)	ラワン合板t9、SOP塗 (存置)	LGS (撤去)	GB-D t9 (撤去)	2,450	塩ビ (撤去)	腰部：壁破損防止幕板 ラワン 30×100 SOP塗 (存置) 床見切：ステンス製 260×25 (撤去)						
 FL±0	改 修	—		—		—			—									
一般用具庫 ⇒改修対象外	既 存	木組 (存置)	ラワン合板t5.5+18 (存置) ビニル床シート t2.5 (撤去)	LGS (存置)	ビニル幅木 H=100 (撤去)	LGS (存置)	ラワン合板t9、SOP塗 (存置)	LGS (撤去)	GB-D t9 (撤去)	2,450	塩ビ (撤去)	腰部：壁破損防止幕板 ラワン 30×100 SOP塗 (存置) 床見切：ステンス製 260×25 (撤去)						
 FL±0	改 修	—		—		—		—	—									
2階	廊下 ⇒改修対象外	既 存	木組 (存置)	合板 t12 (存置) ビニル床シート t2.5 (撤去)	LGS (存置)	ラワン t24 H=100 SOP塗 (存置)	LGS (存置)	汁合板 t4 目透し張 SOP塗 (存置)	LGS (撤去)	GB-D t9 (撤去)	2,300	塩ビ (撤去)	階段：ラワン 30×300 OSCL (存置)					
	 FL+300	改 修	—		—		—			2,300								
	放送室	既 存	木組 (存置)	タイルカーペット t6.5 (撤去)	LGS (存置)	ラワン t24 H=100 SOP塗 (存置)	LGS (存置)	ロックウール t30充填の上、寒冷紗下地 (存置) 有孔合板 t5.5 目透し張 SOP塗 (存置)	LGS (撤去)	GB-R t9.5 捨張、DR t9 (撤去)	2,300	塩ビ (撤去)						
	 FL+300	改 修	—	下地調整の上、 長尺塩ビシート t2.0 (新設)	—	下地調整の上、EP-G (塗替)	—	下地調整の上、EP-G (塗替)	LGS (新設)	GB-R t9.5 捨張、DR t9 (新設)	2,300	塩ビ (新設)						
	ギャラリー	既 存	モルタル金ゴテ (存置)	防塵塗装 (存置) モルタル補修★ (存置)	モルタル金ゴテ (存置)	GP塗 H=100★ (存置)	木組 (存置)	ロックウール t30充填の上 (存置) 有孔合板 t5.5 目透し張 SOP塗 (存置)	—	屋根材素地 (存置)	3,150 5,850	—	防球ネット (撤去)、窓下枠 ラワン 75×25 EP-G塗 (存置) カーテンボックス ラワン t21 SOP塗 (存置)、暗幕 (一時撤去) 柱・手摺・ブレース SOP塗 (存置)					
	 FL±0 (FL-30)	改 修	—	—	—	—	—	—	—	—	3,150 5,850	—	防球ネット (新設)、窓下枠 ラワン 75×25 EP-G塗 (存置) カーテンボックス ラワン t21 SOP塗 (存置) 暗幕 (再取付) 柱・ブレース 下地調整の上、DP塗 (塗替) 手摺 下地調整の上、EP-G塗 (塗替)					
凡例			(存置)	既存のまま	(塗替)	塗装の塗替	C (A)	コンクリート打放しA種	MT	モルタル金ゴて	耐火野地板	硬質木片貼付板 (セフェリボード)	DR	ロックウール化粧吸音板	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り
			(撤去)	(仕上・下地等) 撤去	(一部＊＊)	一部 (撤去・新設	C	コンクリート打ちのまま	LGS	軽量鋼製下地	GB-R	せっこうボード	GW	グラスウール吸音材 (32K)	CL	クリヤラッカー塗り	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
			(新設)	(仕上・下地等) 新設		調整・塗替)	CT	コンクリート金ゴて	CB	コンクリートブロック	GB-S	シージングせっこうボード			NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
			(下地調整)	下地の調整	★	アスベスト含有建材	M	モルタル	W	木	GB-D	化粧せっこうボード			DP	耐候性塗料塗り		
訂 正 年 月 日																		
								✖ 杉 原 設 計 事 務 所	設 計 担 当		WORK NO.		TITLE		DATE			
											調布市立柏野小学校体育館内部改修工事		令和 6・12・13					
											APPROVAL		DRAWN		ITEM			
											内部仕上表 (2)		SCALE		NON			
															DRAWN NO.			
															A - 1 0			

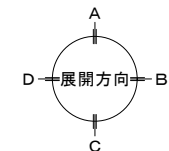


■■■■改修対象外

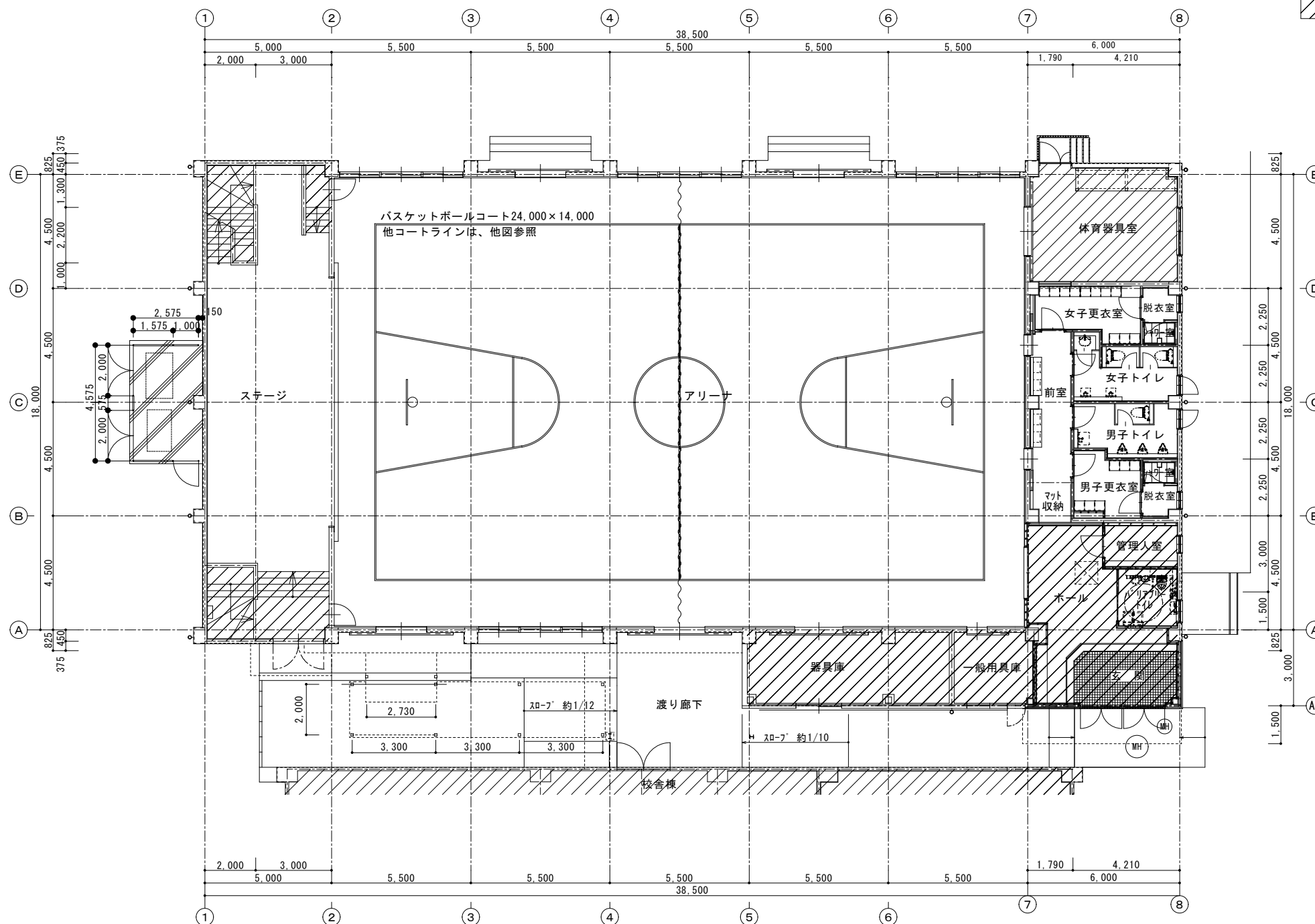


1階平面図（既存） S=1/200

地下1階平面図（既存） S=1/200
ステージ下平面図（既存） S=1/200

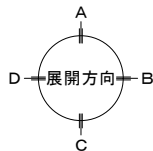
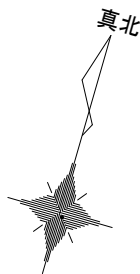


 · · · 改修对象外

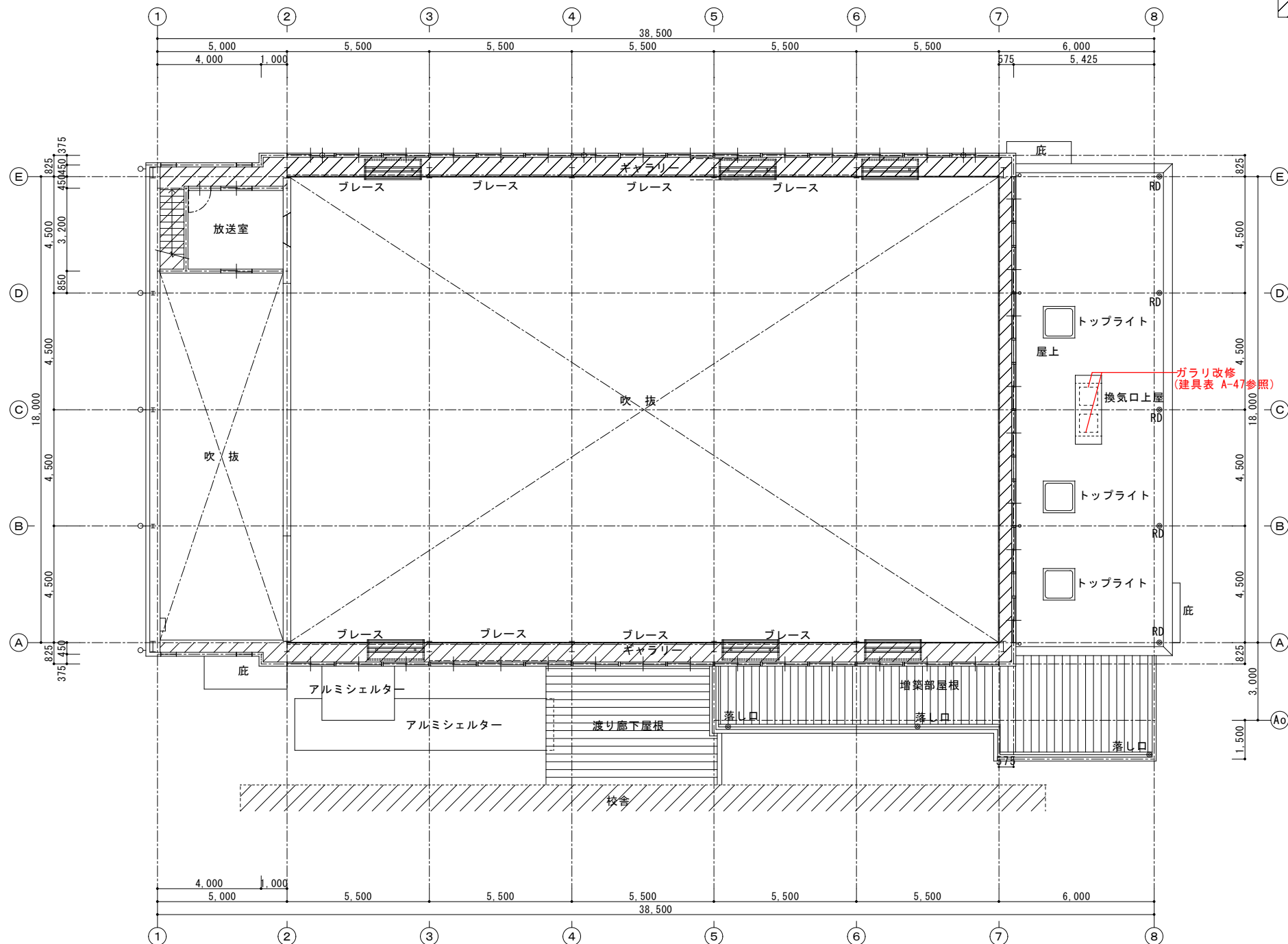


1 階平面図 (改修) S=1/200

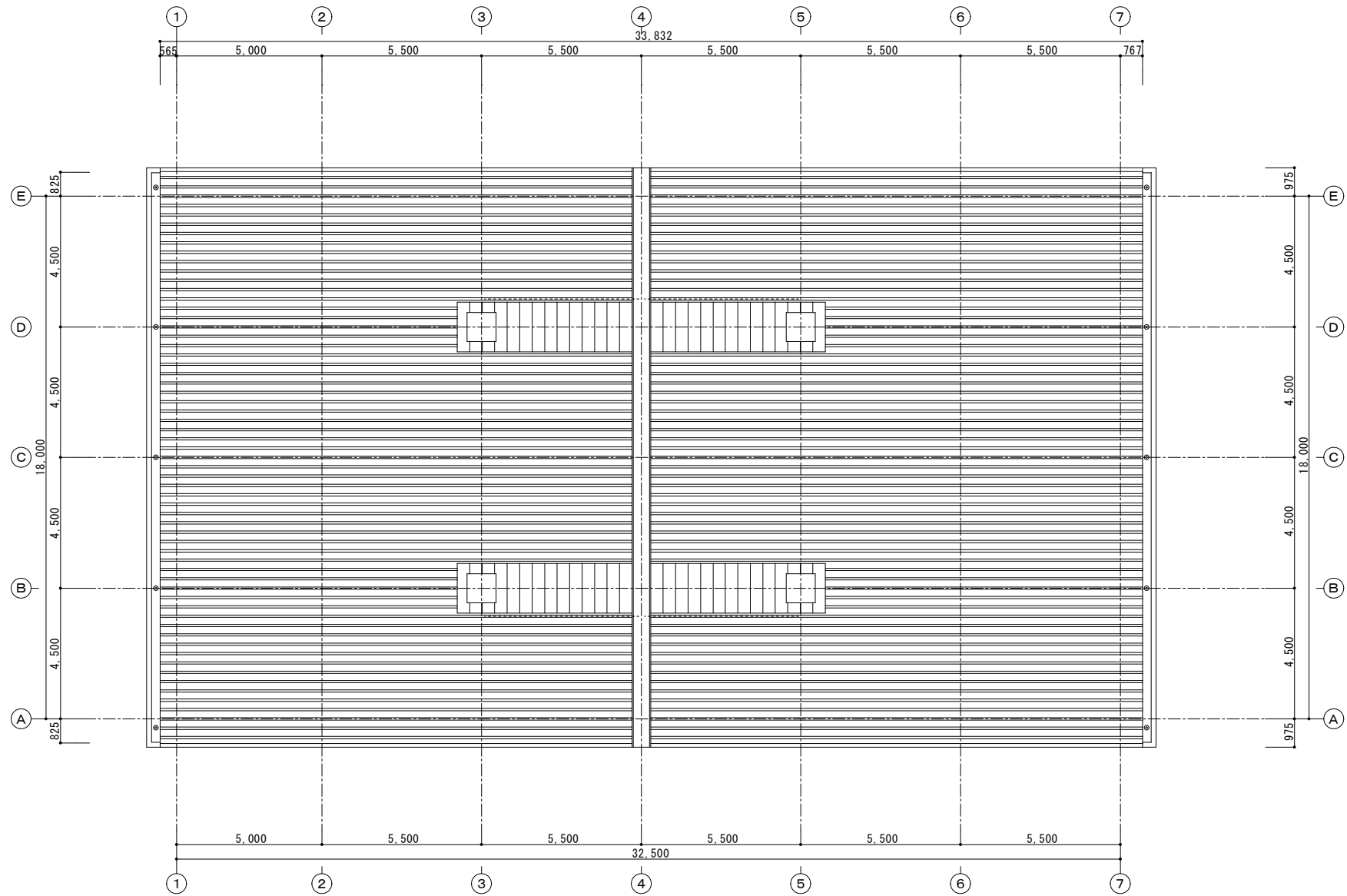
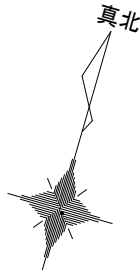
ステージ下 平面図 (改修) S=1/200



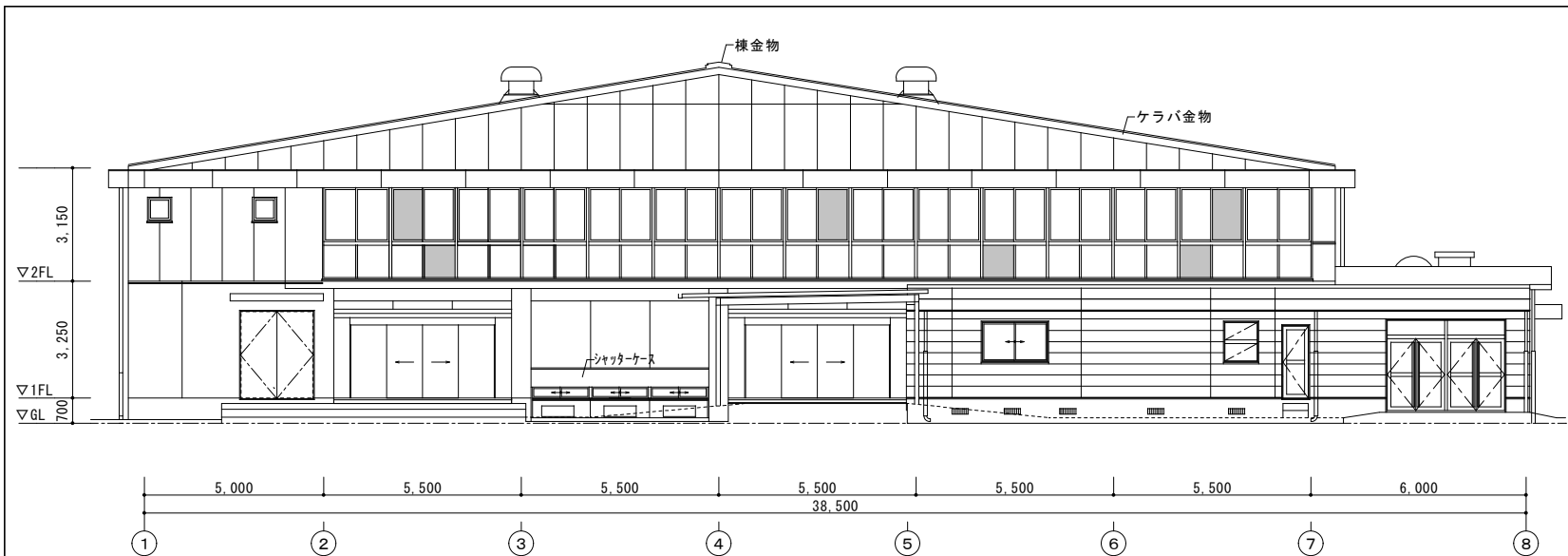
 . . . 改修対象外



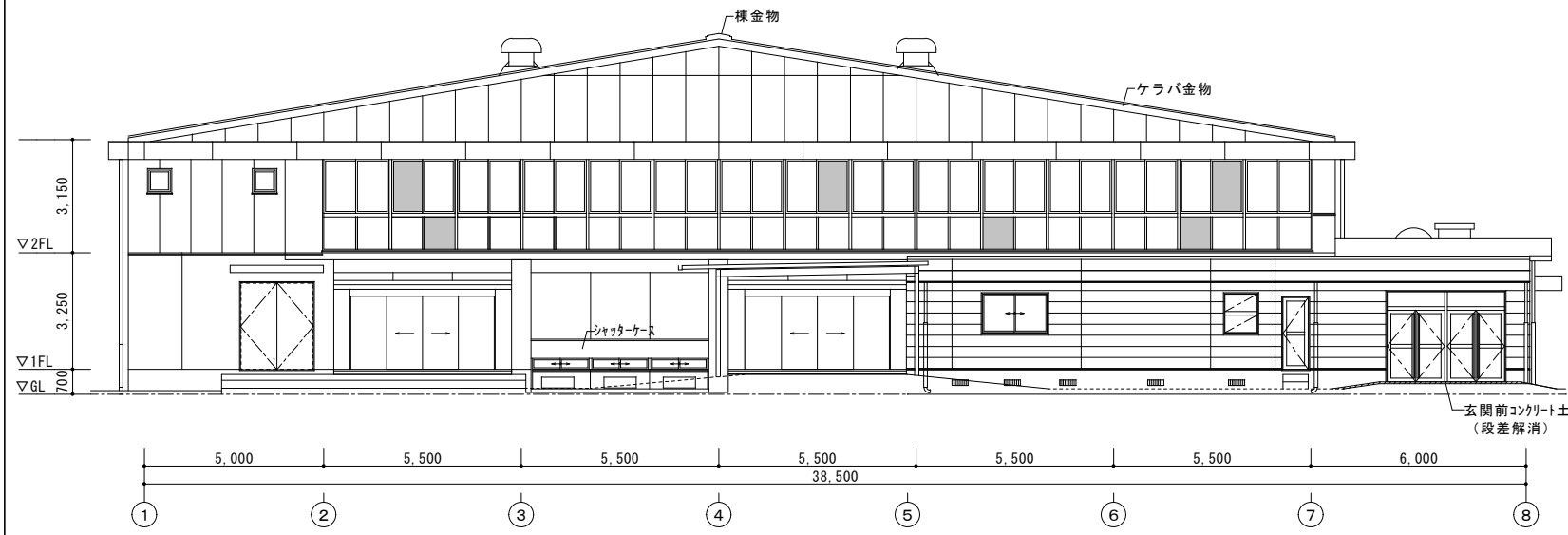
2 階平面図 1/200



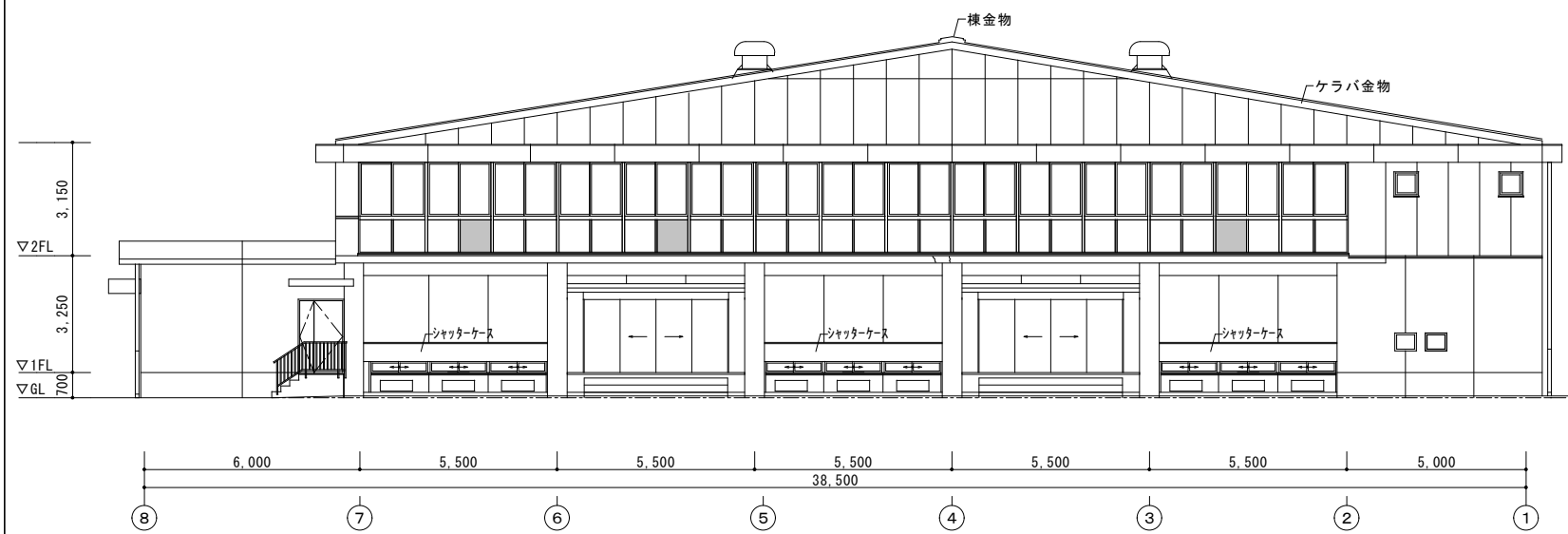
アリーナ屋根伏図 1/200



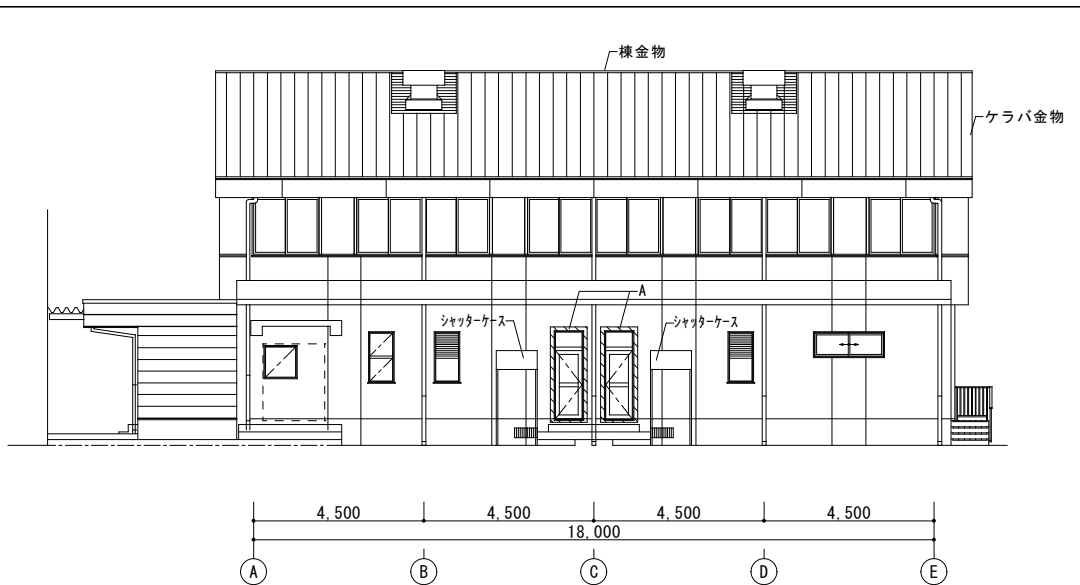
南立面図(既存) 1/200



南立面図(改修) 1/200

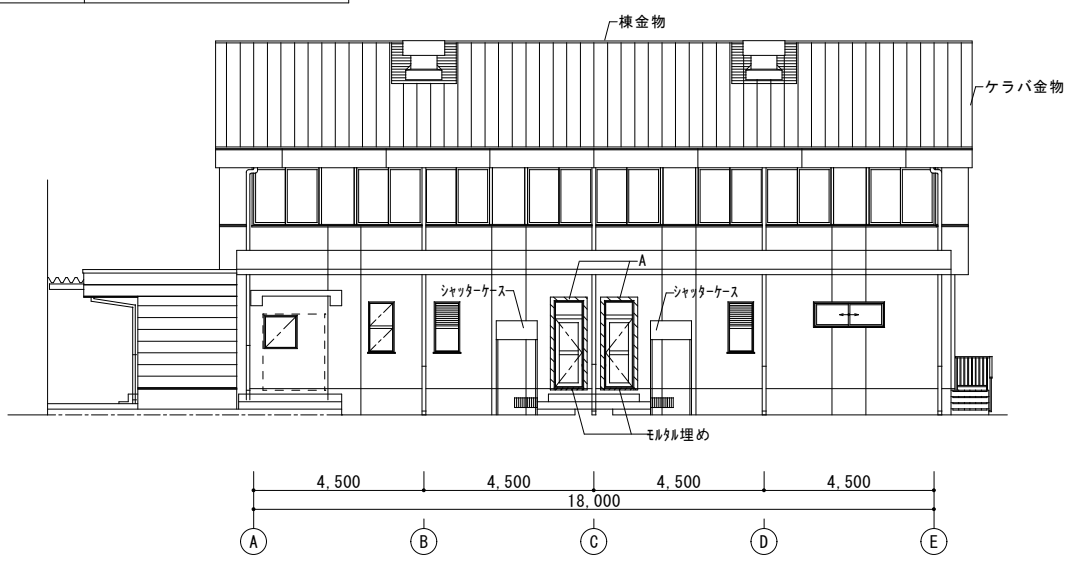


北立面図 1/200

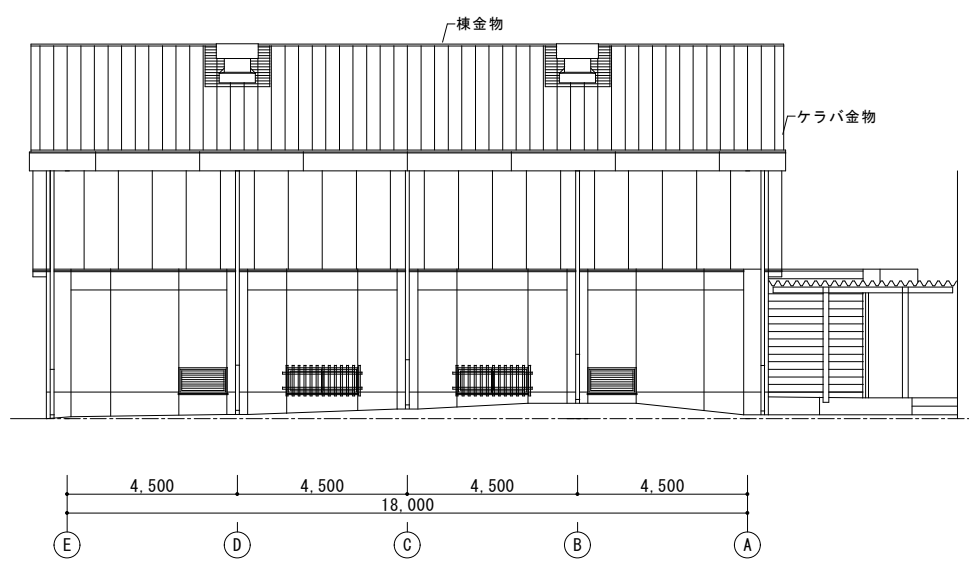


東立面図(既存) 1/200

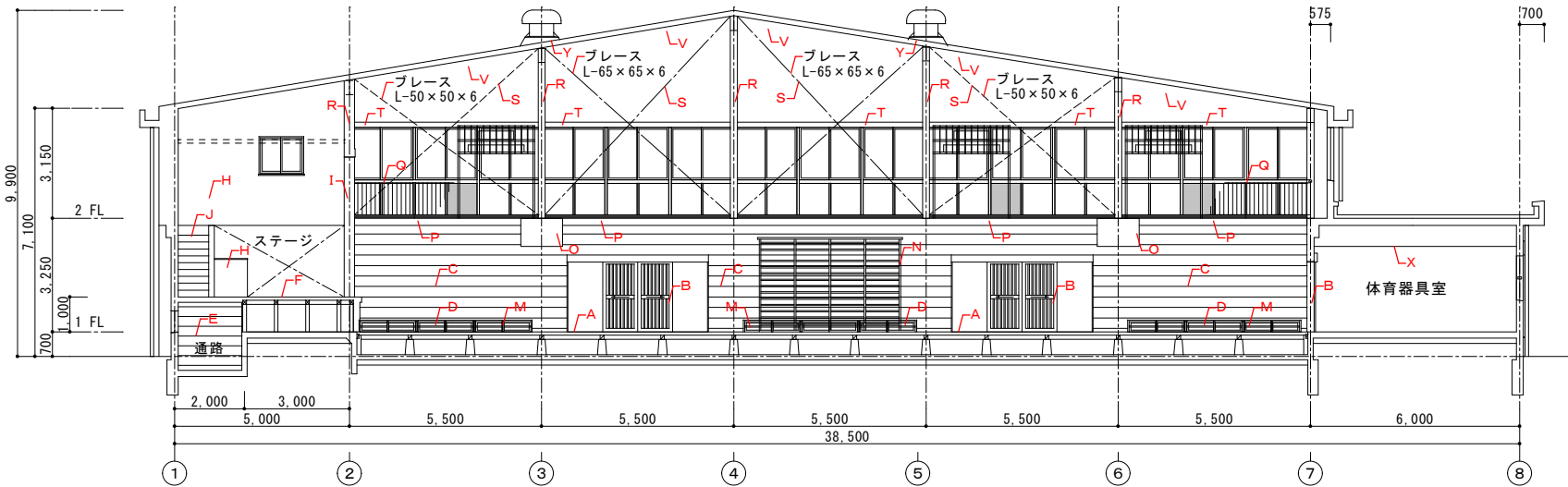
外壁仕上表		
記号	既存	改修
A	コンクリート打ちし、複層仕上塗材E★の上、可とう形改修塗材E(撤去)	モルタル金縷の上、可とう形改修塗材E(新設)



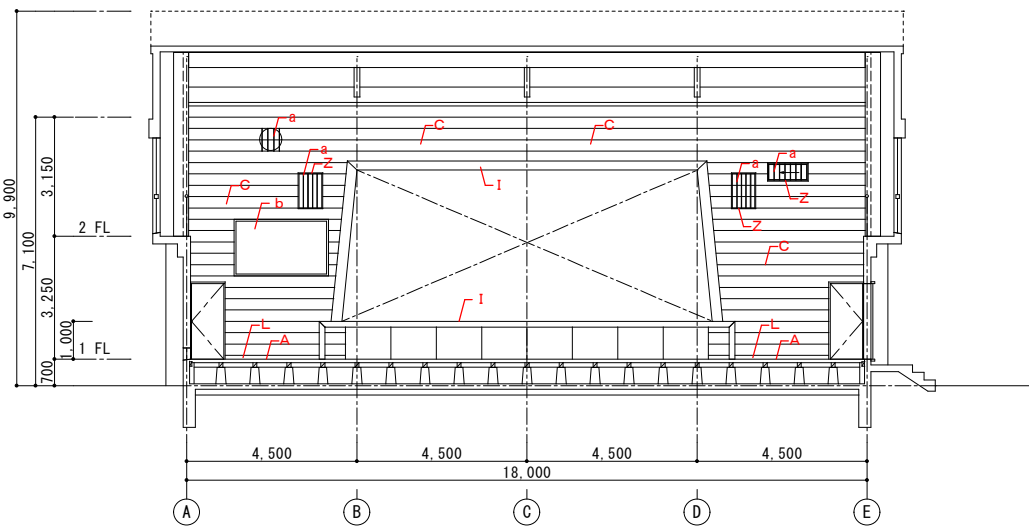
東立面図(改修) 1/200



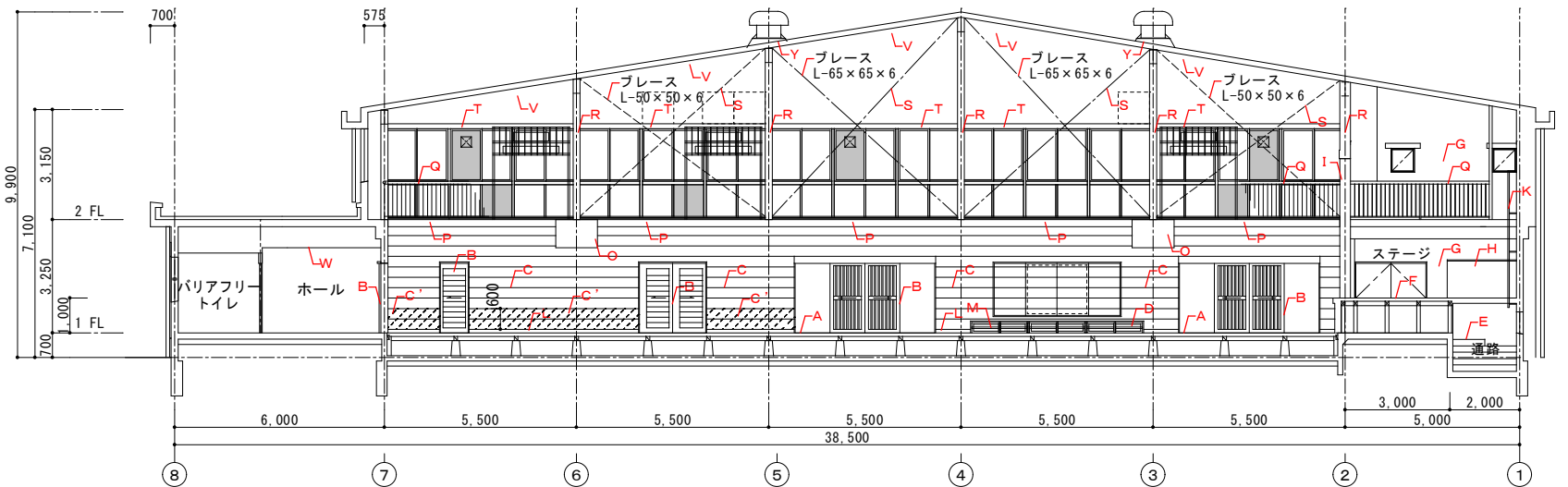
西立面図 1/200



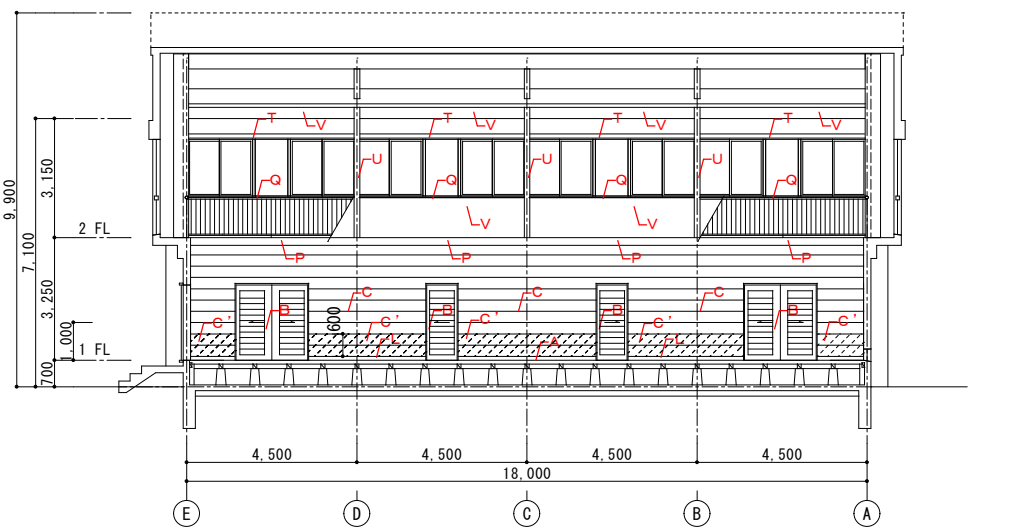
北断面図 1/200



西断面図 1/200



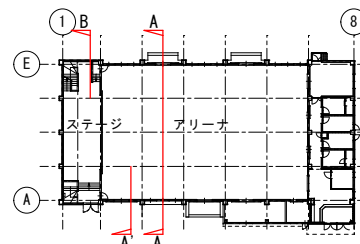
南断面図 1/200



東断面図 1/200

記 号	名 称	既 存	改 修	記 号	名 称	既 存	改 修
A	アリーナ床	コンクリート基礎 (撤去) 木下地 (撤去) : 大引き 120×105 @900、根太 45×60 @300、根太受 45×60 @300 ラワン合板 t18 (撤去)、カバサクラフローリング t18 合成樹脂塗料 (撤去) 周囲 : クッション材 (撤去)	鋼製床組下地 (新設) 構造用合板 t15 (新設) カバ 大型積層フローリング t18 サンダー掛けの上、水性ウレタン3回塗装 (新設) 周囲 : クッション材 (新設)	N	体育器具	肋木 1基 (撤去)	肋木 1基 (新設)
B	建 具	木製建具 (存置) 木枠・上部木製BOX : ラワン SGP塗 (存置)	下地調整の上、CL・EP-G (塗替) ※詳細は建具表A-48参照 下地調整の上、EP-G (塗替)	O	体育器具	固定式ミニバスケットゴール2組 (撤去)	固定式ミニバスケットゴール2組 (新設)
C	アリーナ壁	天然木合板横張 t12 (存置)	-	P	ギャラリー床側面	タモ 30×100 CL (存置)	下地調整の上、CL (塗替)
C'	アリーナ壁 (ハッチング部分)	天然木合板横張 t12 (存置)	下地調整の上、CL (塗替)	Q	ギャラリー手摺	スチールパイプ (存置)	下地調整の上、EP-G塗 (塗替)
D	アリーナ地窓	3連引違いアルミサッシ (存置) 額縁 : ラワン t25 SGP塗 (存置)	建付調整、クリーニング (改修) 額縁 : 下地調整の上、EP-G (塗替)	R	ギャラリー柱	鉄骨柱 H-400×200×8×13 (存置)	下地調整の上、DP塗 (塗替)
E	通 路 床	弾性ウレタン t2 (存置)	-	S	ギャラリーブレース	鉄骨ブレース L50×50×6、L65×L65×6 (存置)	下地調整の上、DP塗 (塗替)
F	ステージ床	床モルタル金ゴテ (存置) 木下地 (存置) : 大引き 120×105 @900、根太 45×60 @300、根太受 45×60 @300 ラワン合板 t18 (存置)、カバサクラフローリング t18 合成樹脂塗料 (存置) 周囲 : クッション材 (撤去)	サンダー掛の上、隙間充填 杉樹脂系パテ充填 水性ウレタン3回塗装 (塗替) 周囲 : クッション材 (新設)	T	カーテンボックス	ラワン t21 SGP塗 (存置)	-
G	ステージ壁	モルタル金ゴテ (存置) GP塗★ (存置)	-	U	ギャラリー柱	鉄骨柱 H-148×100×6×9 (存置)	下地調整の上、DP塗 (塗替)
H	ステージ壁	シナ合板 t4 SGP塗 (存置)	(西面 : 幕板より上部のみ) 下地調整の上、EP-G (塗替) (北・東・南面) 既存のまま	V	ギャラリー壁	有孔合板 t5.5 目透し張 SGP塗 (存置)	-
I	ステージ框	タモ集成材 t50 CL塗 (存置)	サンダー掛け 下地調整の上、CL (塗替)	W	ホール天井	GB-R t9.5 捨張、DR t9 (存置)	-
J	ステージ階段床	ラワン t30 (存置)	-	X	器具庫天井	GB-D t9 (LGS下地共存置)	-
K	ステージタラップ	スチールパイプ (存置)	下地調整の上、EP-G塗 (塗替)	Y	アリーナ屋根	-	ルーフファン落下防止ステンレスワイヤ (4箇所 新設)
L	アリーナ幅木	ラワン t24 H=100 (存置)	下地調整の上、EP-G塗 (塗替)	Z	アリーナ壁四方枠	ラワン t21 SGP塗 (存置)	-
M	ガードパイプ	ステンレスパイプ Φ25 (撤去)	ステンレスパイプ Φ25 (新設)	a	ガートバイク (スチール)	SB Φ13 SGP塗 (存置)	下地調整の上、DP塗 (塗替)
				b	校歌板	W=2,500 H=1,500	工事中養生すること

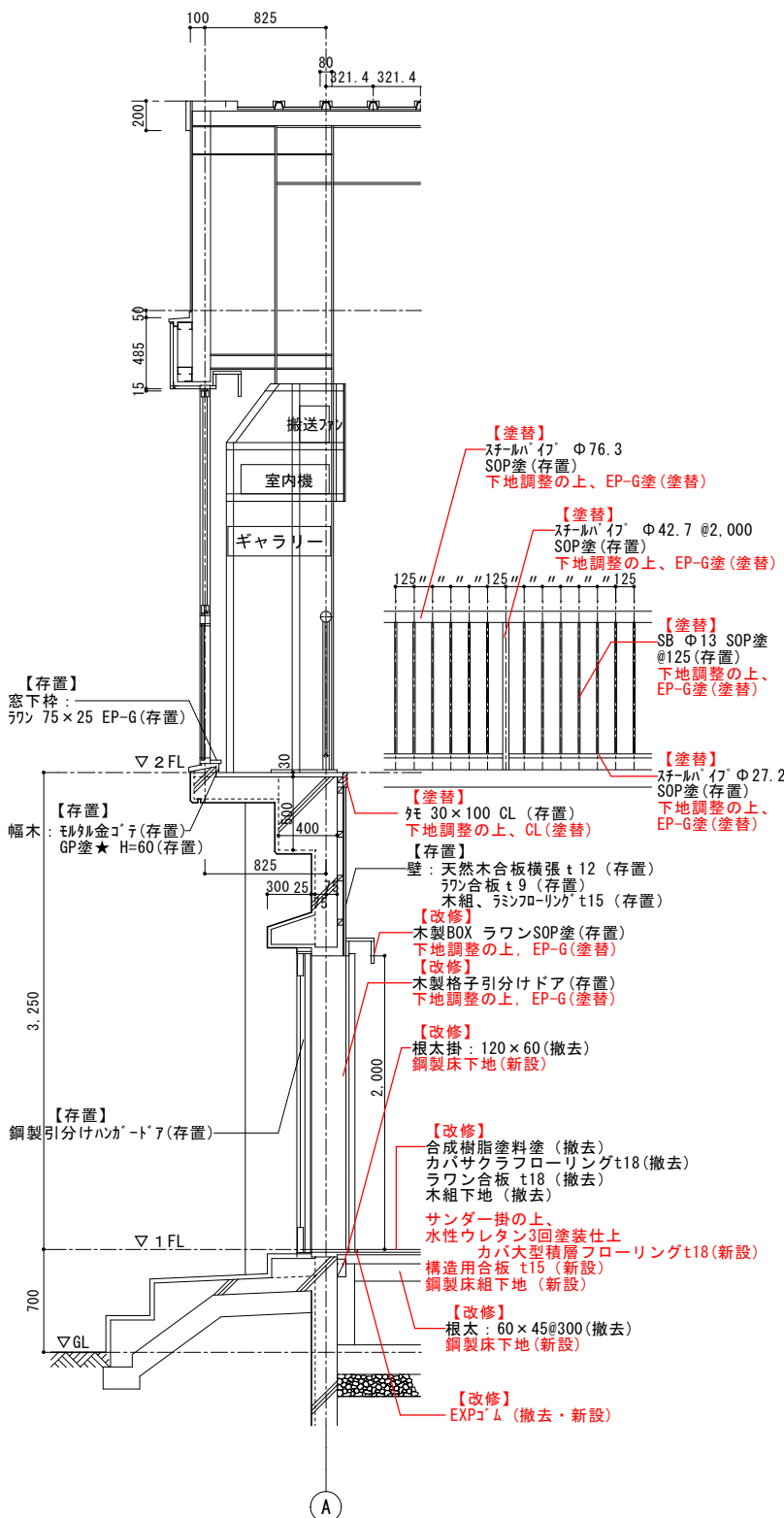
キープラン



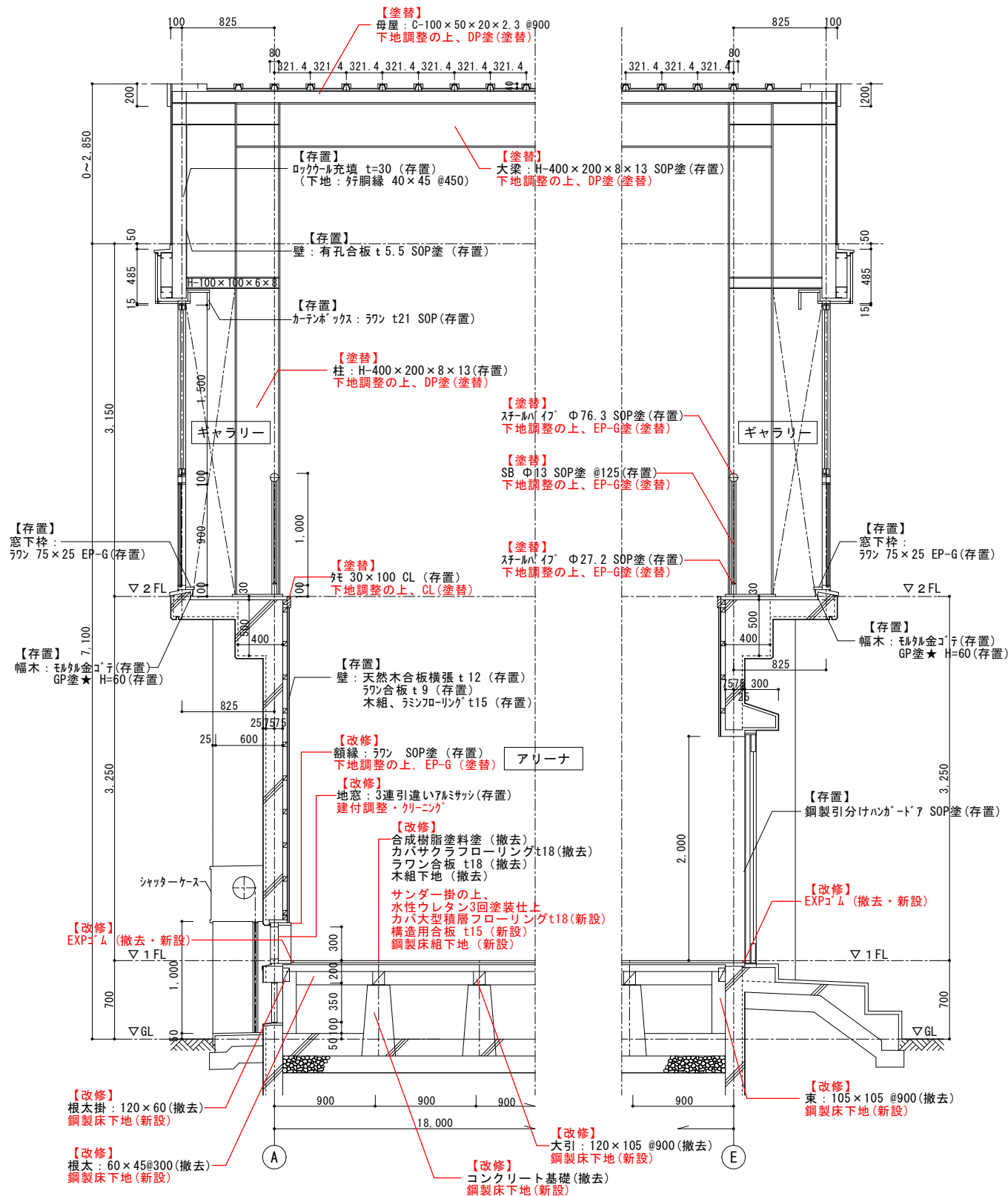
矩計図 A' section

凡 例

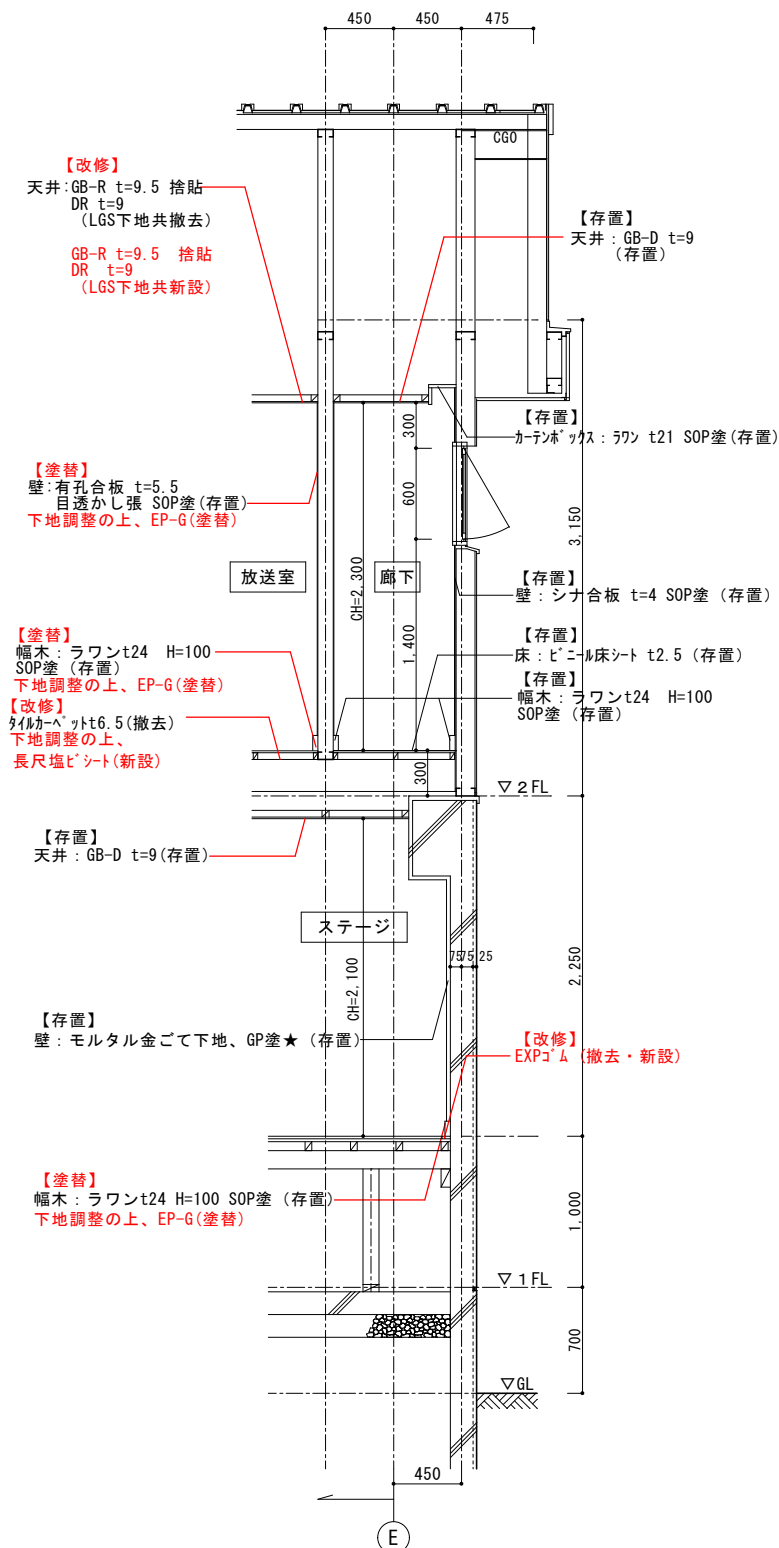
△ : カッター入
★ : アスベスト含有(レベル3)

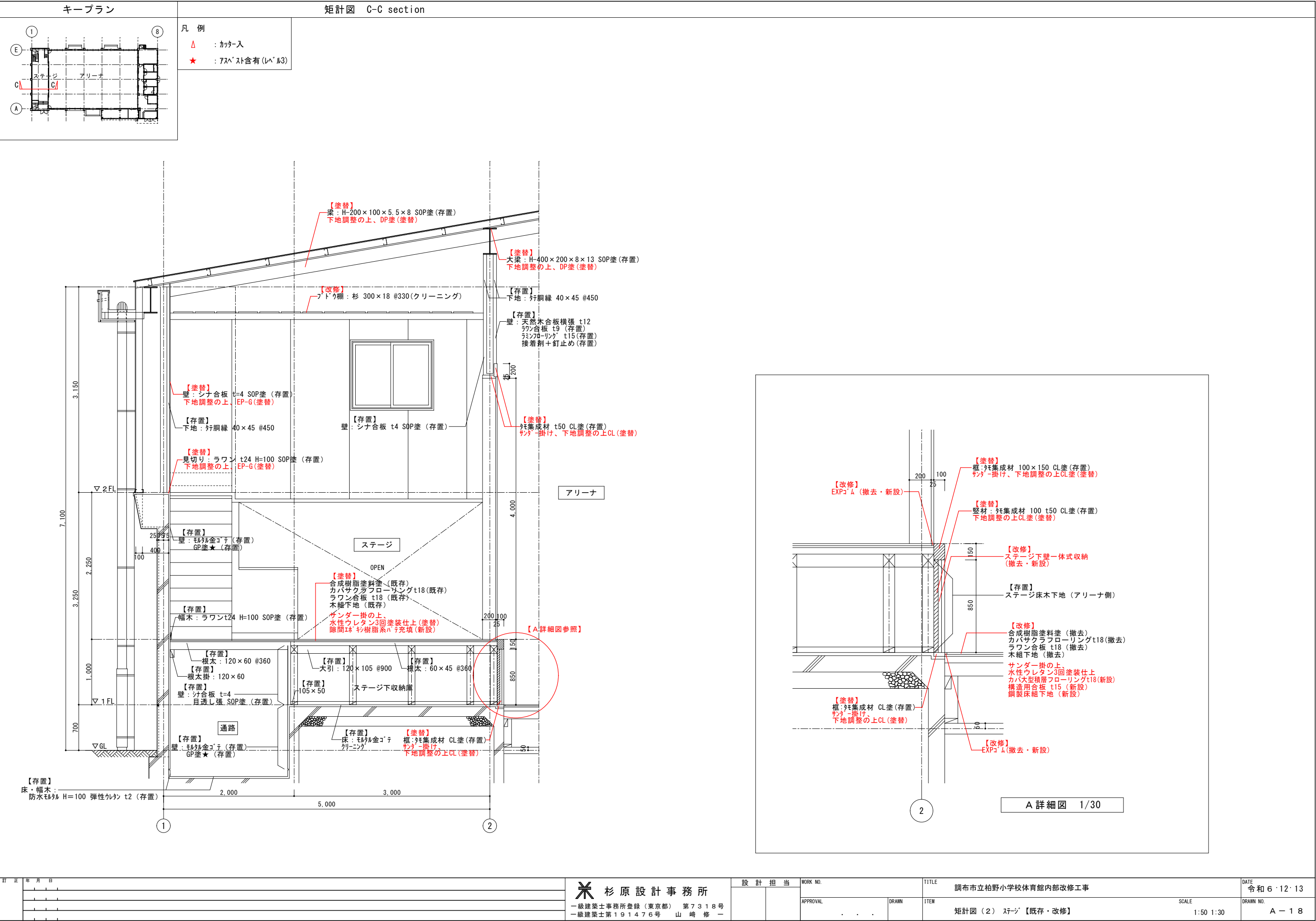


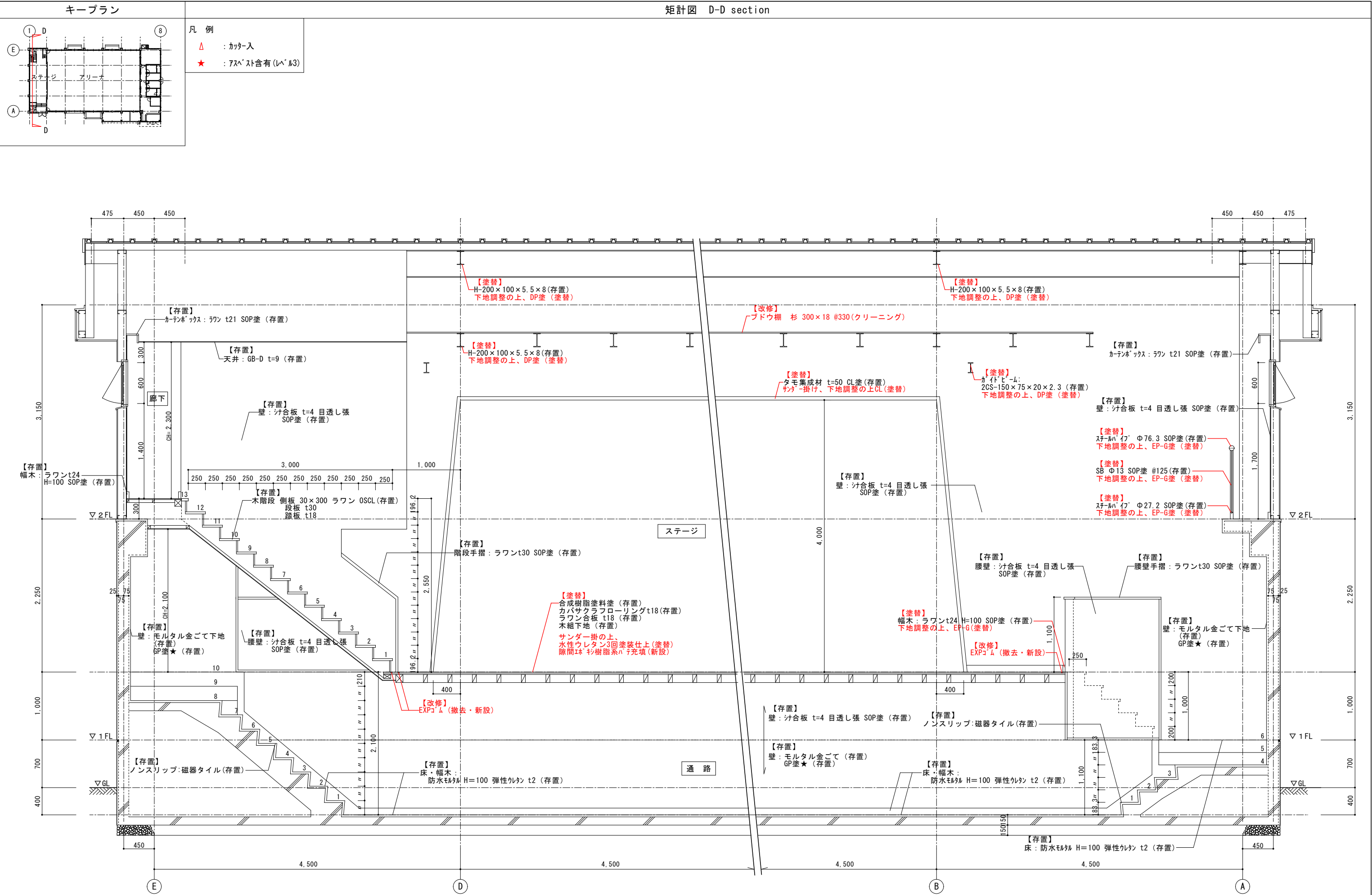
矩計図 A-A section



矩計図 B section

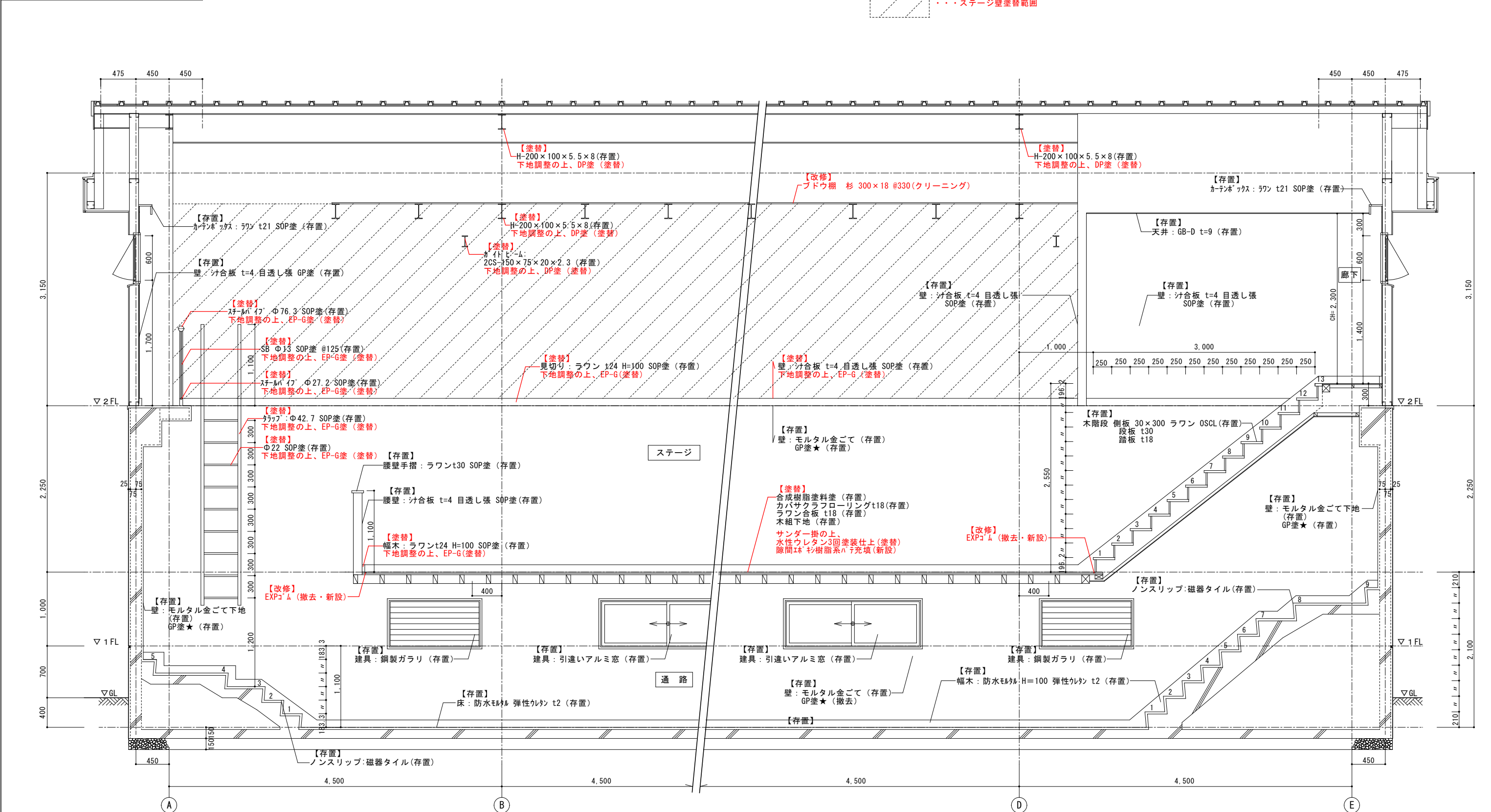






キープラン

The key plan shows a rectangular hall with a stage on the left and an audience area on the right. The stage is labeled 'ステージ' and the audience area is labeled 'アリーナ'. The plan includes various numbered points of interest: 1 (top left), 2 (top center), 3 (top right), 4 (bottom right), 5 (bottom center), 6 (bottom left), 7 (top left), 8 (top right), 9 (bottom right), 10 (bottom center), 11 (bottom left), 12 (top left), 13 (top center), 14 (top right), 15 (bottom right), 16 (bottom center), 17 (bottom left), 18 (top left), 19 (top center), 20 (top right), 21 (bottom right), 22 (bottom center), 23 (bottom left), 24 (top left), 25 (top center), 26 (top right), 27 (bottom right), 28 (bottom center), 29 (bottom left), 30 (top left), 31 (top center), 32 (top right), 33 (bottom right), 34 (bottom center), 35 (bottom left), 36 (top left), 37 (top center), 38 (top right), 39 (bottom right), 40 (bottom center), 41 (bottom left), 42 (top left), 43 (top center), 44 (top right), 45 (bottom right), 46 (bottom center), 47 (bottom left), 48 (top left), 49 (top center), 50 (top right), 51 (bottom right), 52 (bottom center), 53 (bottom left), 54 (top left), 55 (top center), 56 (top right), 57 (bottom right), 58 (bottom center), 59 (bottom left), 60 (top left), 61 (top center), 62 (top right), 63 (bottom right), 64 (bottom center), 65 (bottom left), 66 (top left), 67 (top center), 68 (top right), 69 (bottom right), 70 (bottom center), 71 (bottom left), 72 (top left), 73 (top center), 74 (top right), 75 (bottom right), 76 (bottom center), 77 (bottom left), 78 (top left), 79 (top center), 80 (top right), 81 (bottom right), 82 (bottom center), 83 (bottom left), 84 (top left), 85 (top center), 86 (top right), 87 (bottom right), 88 (bottom center), 89 (bottom left), 90 (top left), 91 (top center), 92 (top right), 93 (bottom right), 94 (bottom center), 95 (bottom left), 96 (top left), 97 (top center), 98 (top right), 99 (bottom right), 100 (bottom center), 101 (bottom left), 102 (top left), 103 (top center), 104 (top right), 105 (bottom right), 106 (bottom center), 107 (bottom left), 108 (top left), 109 (top center), 110 (top right), 111 (bottom right), 112 (bottom center), 113 (bottom left), 114 (top left), 115 (top center), 116 (top right), 117 (bottom right), 118 (bottom center), 119 (bottom left), 120 (top left), 121 (top center), 122 (top right), 123 (bottom right), 124 (bottom center), 125 (bottom left), 126 (top left), 127 (top center), 128 (top right), 129 (bottom right), 130 (bottom center), 131 (bottom left), 132 (top left), 133 (top center), 134 (top right), 135 (bottom right), 136 (bottom center), 137 (bottom left), 138 (top left), 139 (top center), 140 (top right), 141 (bottom right), 142 (bottom center), 143 (bottom left), 144 (top left), 145 (top center), 146 (top right), 147 (bottom right), 148 (bottom center), 149 (bottom left), 150 (top left), 151 (top center), 152 (top right), 153 (bottom right), 154 (bottom center), 155 (bottom left), 156 (top left), 157 (top center), 158 (top right), 159 (bottom right), 160 (bottom center), 161 (bottom left), 162 (top left), 163 (top center), 164 (top right), 165 (bottom right), 166 (bottom center), 167 (bottom left), 168 (top left), 169 (top center), 170 (top right), 171 (bottom right), 172 (bottom center), 173 (bottom left), 174 (top left), 175 (top center), 176 (top right), 177 (bottom right), 178 (bottom center), 179 (bottom left), 180 (top left), 181 (top center), 182 (top right), 183 (bottom right), 184 (bottom center), 185 (bottom left), 186 (top left), 187 (top center), 188 (top right), 189 (bottom right), 190 (bottom center), 191 (bottom left), 192 (top left), 193 (top center), 194 (top right), 195 (bottom right), 196 (bottom center), 197 (bottom left), 198 (top left), 199 (top center), 200 (top right), 201 (bottom right), 202 (bottom center), 203 (bottom left), 204 (top left), 205 (top center), 206 (top right), 207 (bottom right), 208 (bottom center), 209 (bottom left), 210 (top left), 211 (top center), 212 (top right), 213 (bottom right), 214 (bottom center), 215 (bottom left), 216 (top left), 217 (top center), 218 (top right), 219 (bottom right), 220 (bottom center), 221 (bottom left), 222 (top left), 223 (top center), 224 (top right), 225 (bottom right), 226 (bottom center), 227 (bottom left), 228 (top left), 229 (top center), 230 (top right), 231 (bottom right), 232 (bottom center), 233 (bottom left), 234 (top left), 235 (top center), 236 (top right), 237 (bottom right), 238 (bottom center), 239 (bottom left), 240 (top left), 241 (top center), 242 (top right), 243 (bottom right), 244 (bottom center), 245 (bottom left), 246 (top left), 247 (top center), 248 (top right), 249 (bottom right), 250 (bottom center), 251 (bottom left), 252 (top left), 253 (top center), 254 (top right), 255 (bottom right), 256 (bottom center), 257 (bottom left), 258 (top left), 259 (top center), 260 (top right), 261 (bottom right), 262 (bottom center), 263 (bottom left), 264 (top left), 265 (top center), 266 (top right), 267 (bottom right), 268 (bottom center), 269 (bottom left), 270 (top left), 271 (top center), 272 (top right), 273 (bottom right), 274 (bottom center), 275 (bottom left), 276 (top left), 277 (top center), 278 (top right), 279 (bottom right), 280 (bottom center), 281 (bottom left), 282 (top left), 283 (top center), 284 (top right), 285 (bottom right), 286 (bottom center), 287 (bottom left), 288 (top left), 289 (top center), 290 (top right), 291 (bottom right), 292 (bottom center), 293 (bottom left), 294 (top left), 295 (top center), 296 (top right), 297 (bottom right), 298 (bottom center), 299 (bottom left), 300 (top left), 301 (top center), 302 (top right), 303 (bottom right), 304 (bottom center), 305 (bottom left), 306 (top left), 307 (top center), 308 (top right), 309 (bottom right), 310 (bottom center), 311 (bottom left), 312 (top left), 313 (top center), 314 (top right), 315 (bottom right), 316 (bottom center), 317 (bottom left), 318 (top left), 319 (top center), 320 (top right), 321 (bottom right), 322 (bottom center), 323 (bottom left), 324 (top left), 325 (top center), 326 (top right), 327 (bottom right), 328 (bottom center), 329 (bottom left), 330 (top left), 331 (top center), 332 (top right), 333 (bottom right), 334 (bottom center), 335 (bottom left), 336 (top left), 337 (top center), 338 (top right), 339 (bottom right), 340 (bottom center), 341 (bottom left), 342 (top left), 343 (top center), 344 (top right), 345 (bottom right), 346 (bottom center), 347 (bottom left), 348 (top left), 349 (top center), 350 (top right), 351 (bottom right), 352 (bottom center), 353 (bottom left), 354 (top left), 355 (top center), 356 (top right), 357 (bottom right), 358 (bottom center), 359 (bottom left), 360 (top left), 361 (top center), 362 (top right), 363 (bottom right), 364 (bottom center), 365 (bottom left), 366 (top left), 367 (top center), 368 (top right), 369 (bottom right), 370 (bottom center), 371 (bottom left), 372 (top left), 373 (top center), 374 (top right), 375 (bottom right), 376 (bottom center), 377 (bottom left), 378 (top left), 379 (top center), 380 (top right), 381 (bottom right), 382 (bottom center), 383 (bottom left), 384 (top left), 385 (top center), 386 (top right), 387 (bottom right), 388 (bottom center), 389 (bottom left), 390 (top left), 391 (top center), 392 (top right), 393 (bottom right), 394 (bottom center), 395 (bottom left), 396 (top left), 397 (top center), 398 (top right), 399 (bottom right), 400 (bottom center), 401 (bottom left), 402 (top left), 403 (top center), 404 (top right), 405 (bottom right), 406 (bottom center), 407 (bottom left), 408 (top left), 409 (top center), 410 (top right), 411 (bottom right), 412 (bottom center), 413 (bottom left), 414 (top left), 415 (top center), 416 (top right), 417 (bottom right), 418 (bottom center), 419 (bottom left), 420 (top left), 421 (top center), 422 (top right), 423 (bottom right), 424 (bottom center), 425 (bottom left), 426 (top left), 427 (top center), 428 (top right), 429 (bottom right), 430 (bottom center), 431 (bottom left), 432 (top left), 433 (top center), 434 (top right), 435 (bottom right), 436 (bottom center), 437 (bottom left), 438 (top left), 439 (top center), 440 (top right), 441 (bottom right), 442 (bottom center), 443 (bottom left), 444 (top left), 445 (top center), 446 (top right), 447 (bottom right), 448 (bottom center), 449 (bottom left), 450 (top left), 451 (top center), 452 (top right), 453 (bottom right), 454 (bottom center), 455 (bottom left), 456 (top left), 457 (top center), 458 (top right), 459 (bottom right), 460 (bottom center), 461 (bottom left), 462 (top left), 463 (top center), 464 (top right), 465 (bottom right), 466 (bottom center), 467 (bottom left), 468 (top left), 469 (top center), 470 (top right), 471 (bottom right), 472 (bottom center), 473 (bottom left), 474 (top left), 475 (top center), 476 (top right), 477 (bottom right), 478 (bottom center), 479 (bottom left), 480 (top left), 481 (top center), 482 (top right), 483 (bottom right), 484 (bottom center), 485 (bottom left), 486 (top left), 487 (top center), 488 (top right), 489 (bottom right), 490 (bottom center), 491 (bottom left), 492 (top left), 493 (top center), 494 (top right), 495 (bottom right), 496 (bottom center), 497 (bottom left), 498 (top left), 499 (top center), 500 (top right), 501 (bottom right), 502 (bottom center), 503 (bottom left), 504 (top left), 505 (top center), 506 (top right), 507 (bottom right), 508 (bottom center), 509 (bottom left), 510 (top left), 511 (top center), 512 (top right), 513 (bottom right), 514 (bottom center), 515 (bottom left), 516 (



【存置】
 カテンキ ヲックス：ラワン t

【存置】
 壁：有孔合板 t5.5

【存置】
 スチールパイプ Φ76.3

【存置】
 SB Φ13 SOP塗 @12

【存置】
 スチールパイプ Φ27.2
【存置】
 鉄 30×100 CL塗――

【改修】
 塩ビ製廻り縁(撤去)
【存置】
 壁：天然木合板横張り合板 t9
 ミニフローリング t15

【存置】
 枠：ラワン SOP塗

【存置】
 上部キックス：ラワン――
 D=100 H=250 SOP塗

【存置】
 木製引きハカ―ト

【改修】
 EXPフォーム(撤去)――

【存置】
 床見切材：ラワン SQ
 260×25(φ)
【改修】
 束：105×105 @90

【存置】
カーテンボックス：570
壁：有孔合板 1000×2000

【塗替】
スチールパイプ Φ76
下地調整の上、E

【塗替】
SB Φ13 SOP塗
下地調整の上、E

【塗替】
スチールパイプ Φ27
下地調整の上、E

【塗替】
鉄 30×100 CL塗
下地調整の上、C

【改修】
塩ビ製廻り縁(新)

【存置】
壁：天然木合板
700合板 t9
木組(存置)

【塗替】
枠：ラワン SOP塗
下地調整の上、EF

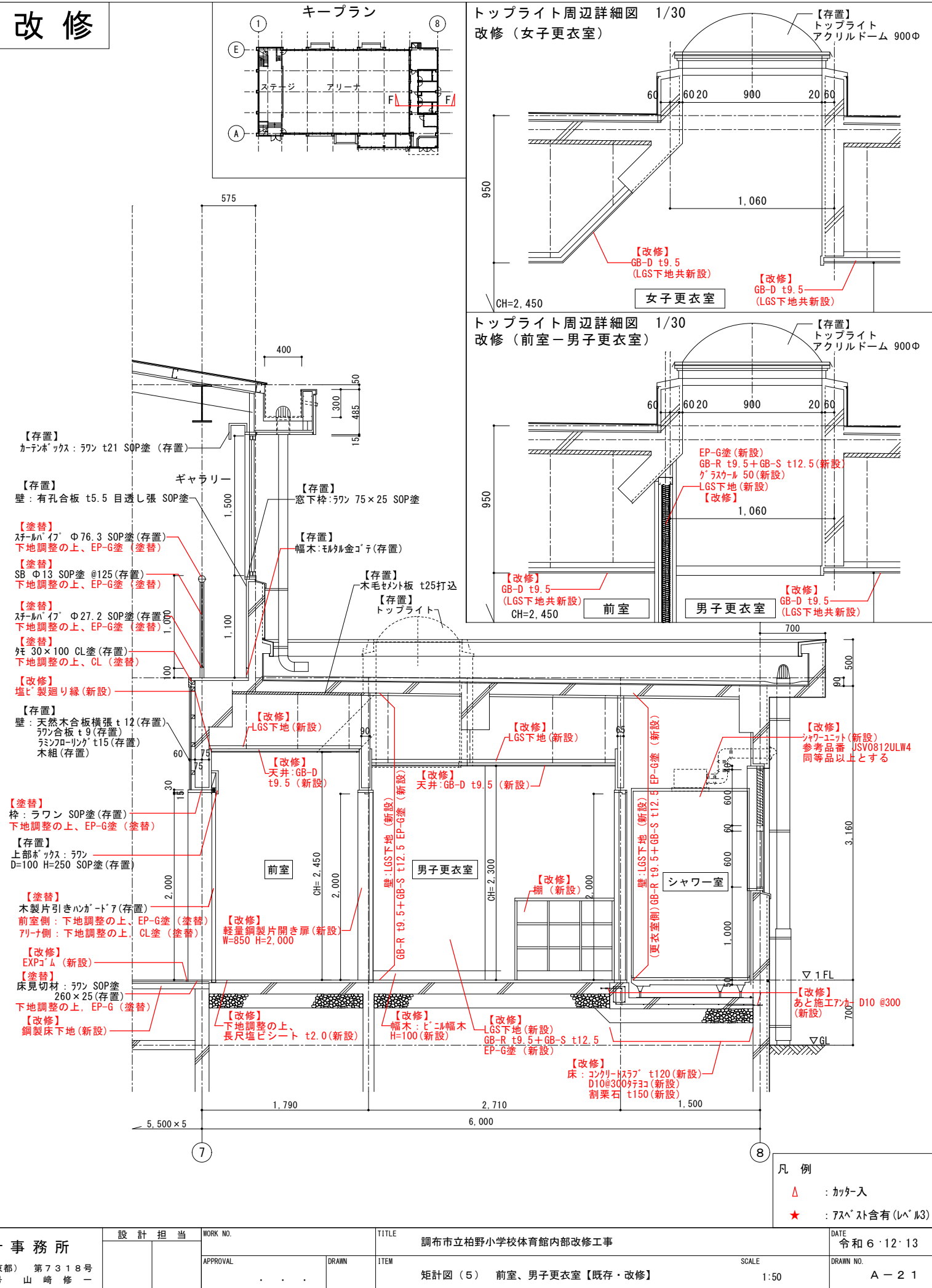
【存置】
上部ボックス：ラワン
D=100 H=250 SOP

【塗替】
木製引き戸
前室側：下地調
リナ側：下地調

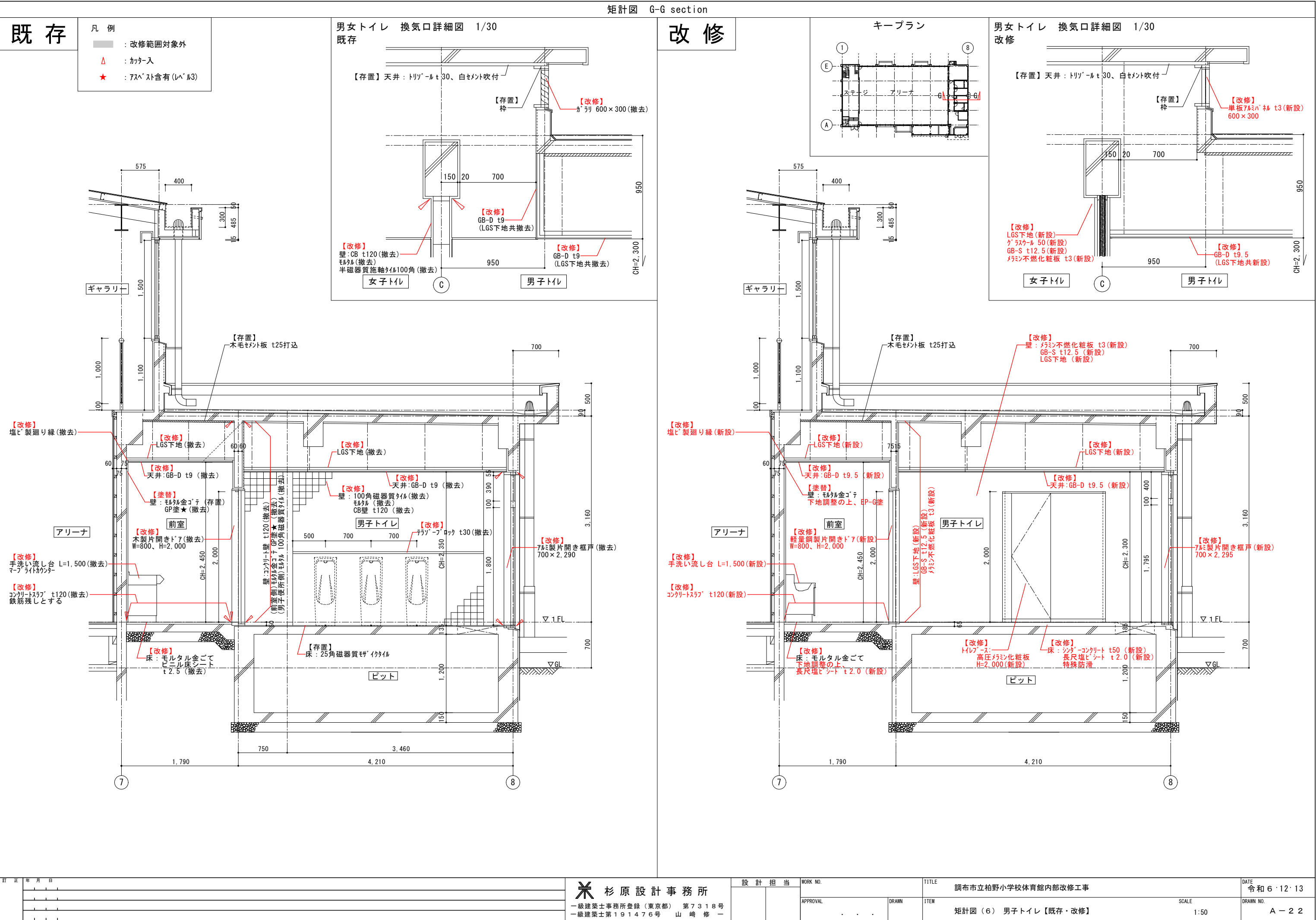
【改修】
EXPフォーム(新設)

【塗替】
床見切材：ラワン
260×25
下地調整の上、E

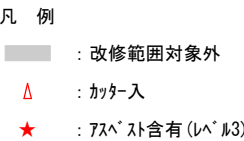
【改修】
鋼製床下地(新)



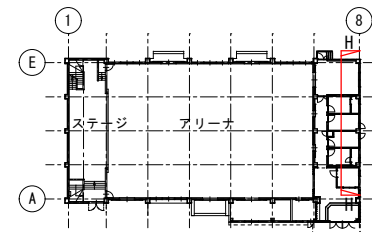
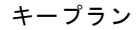
訂正	年 月 日	✕ 杉原設計事務所 一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号 一級建築士第191476号 山崎修一	設 計 担 当		WORK NO.	TITLE	DATE	
						調布市立柏野小学校体育館内部改修工事	令和6・12・13	
				APPROVAL	DRAWN	ITEM	SCALE	DRAWN NO.
						短計図（5） 前室、男子更衣室【既存・改修】	1:50	A-21



既存



改修



矩計図 a-a section

3,150

2,250

1,000

700

▽ 2 FL

▽ 1 FL

▽ GL

450

4,500

【存置】
天井: GB-D t=9 (存置)

【存置】
壁: モルタル金ごて下地 (存置)
GP塗★ (存置)

【存置】
幅木: ラワン t=24 H=100 SOP塗 (存置)

【存置】
大引: 120 x 105 @900

【存置】
床: ビニル床シート t2 (存置)

【存置】
木階段 側板 30 x 300 ラワン OSCL (存置)
段板 t30、踏板 t18

【改修】
EXPJム (撤去・新設)

【塗替】
幅木: ラワン t=24 H=100 SOP塗 (存置)
下地調整の上、EP-G (塗替)

【存置】
壁: 合板 t=4 目透し張
SOP塗 (存置)

【存置】
根太: 60 x 45 @360

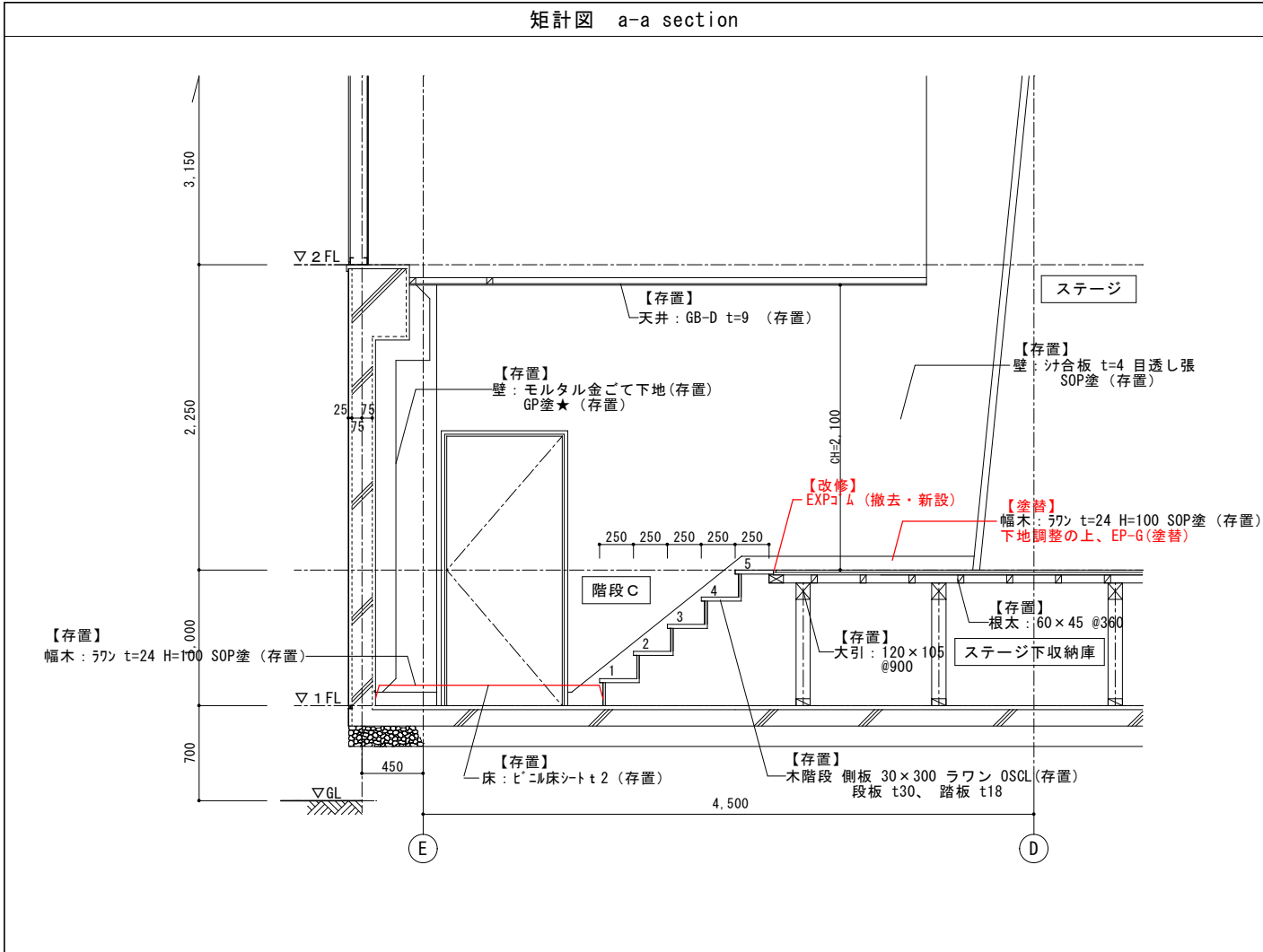
【存置】
ステージ下収納庫

階段 C

ステージ

E

D



矩計図 c-c section

【塗替】
壁：汁合板 t=4 目透し張 SOP塗（存置）
下地調整の上、EP-G（塗替）

【改修】
見切り：ラワン t24 H=100 SOP塗（存置）
下地調整の上、EP-G塗（新設）

【存置】
天井：GB-D t=9（存置）

【存置】
腰壁：汁合板 t=4 目透し張 SOP塗（存置）

【存置】
木階段 側板 30×300 ラワン OSCL（存置）
段板 t30、踏板 t18

【改修】
EXPo'm（撤去・新設）

【存置】
大引：120×105 @900

【存置】
根太：60×45 @360

【存置】
床：モルタル金ゴテ クリーニング

【存置】
幅木：ラワン t24 H=100 SOP塗（存置）

腰壁手摺：ラワン t30 SOP塗（存置）

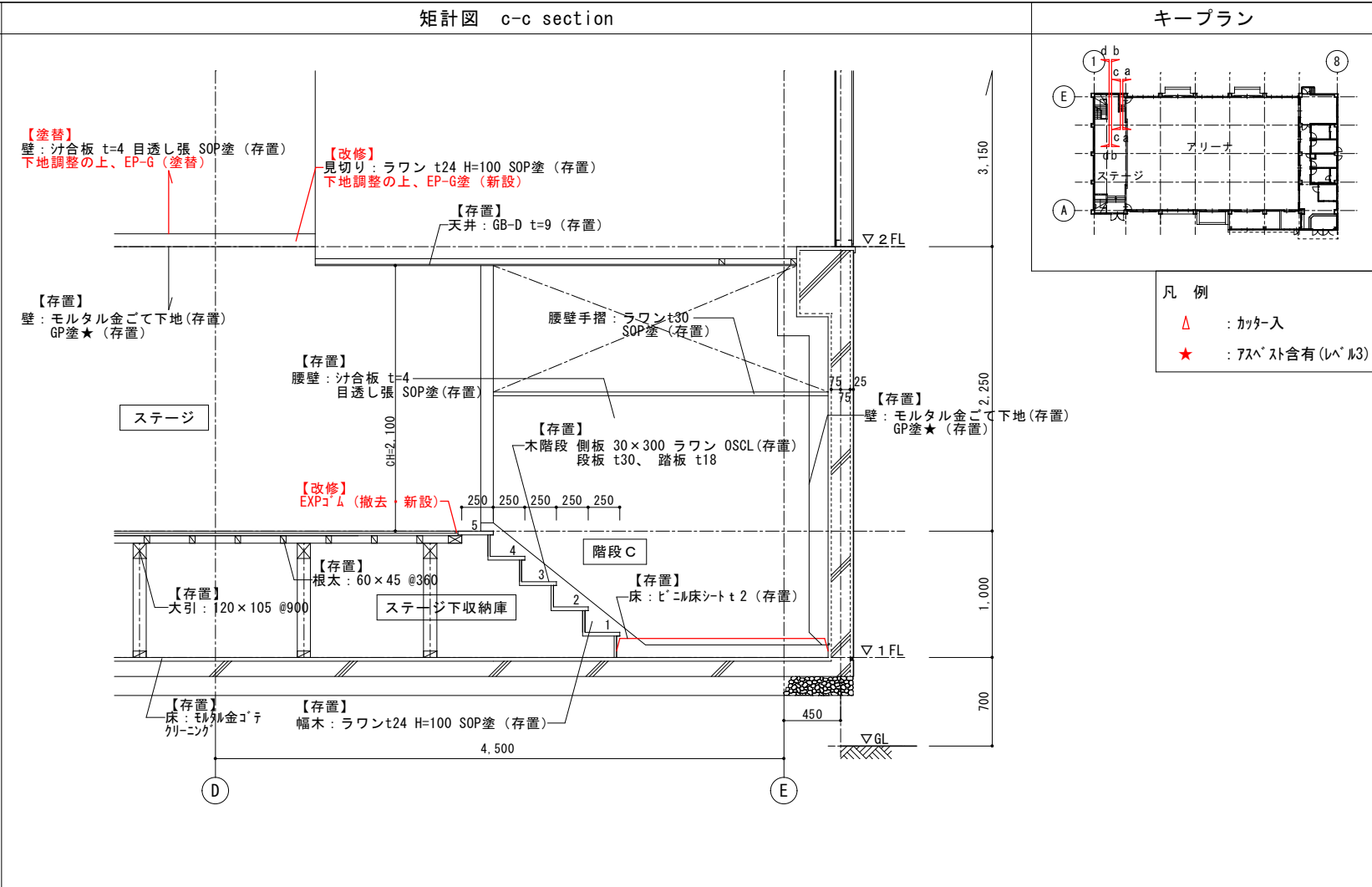
階段 C

【存置】
床：ビニル床シート t2（存置）

ステージ下収納庫

凡例

- △ : カッター入
- ★ : フスベスト含有 (レベル3)

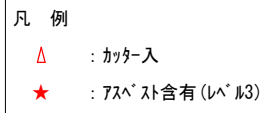


キープラン

凡 例

- △ : カッター入
- ★ : アスベスト含有(レベル3)

(存置)



矩計図 b-b section

【存置】
壁：モルタル金こて下地(存置)
GP塗★(存置)

【存置】
天井：GB-D t=9 (存置)

【存置】
腰壁：ラワン t30
SOP塗 (存置)

【存置】
腰壁：シ合板 t=4
目透し張 SOP塗 (存置)

【存置】
壁：シ合板 t=4 目透し張
SOP塗 (存置)

【塗替】
幅木：ラワン t24 H=100 SOP塗 (存置)
下地調整の上、EP-G(塗替)

【改修】
EXP3-M (撤去・新設)

【存置】
大引：120×105 @900

【存置】
根太：60×45 @360

【存置】
床：モルタル金こて
クリーニング

▽ 2 FL

▽ 1 FL

▽ GL

3.150

2.250

1.000

700

450

4.500

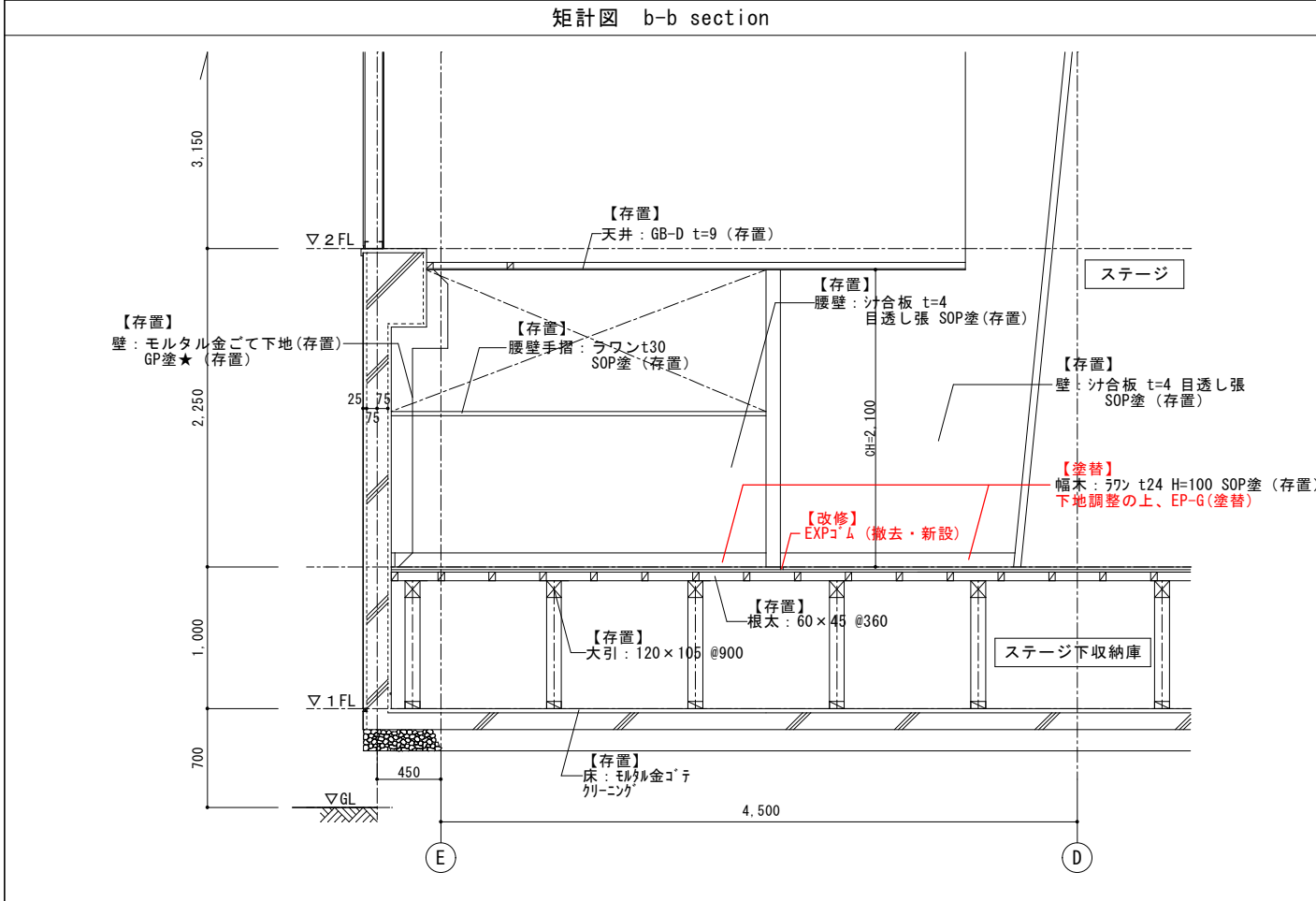
CH=2.100

ステージ

ステージ下収納庫

E

D



矩計図 d-d section

【塗替】
壁：珪合板 t=4 目透し張 SOP塗（存置）
下地調整の上、EP-G（塗替）

【存置】
天井：GB-D t=9（存置）

【存置】
壁：モルタル金ごて下地（存置）
GP塗★（存置）

【存置】
腰壁：珪合板 t=4 目透し張 SOP塗（存置）

【存置】
腰壁手摺：ラワンt30 SOP塗（存置）

【塗替】
幅木：ラワンt24 H=100 SOP（存置）
下地調整の上、EP-G（塗替）

【改修】
EXP1（撤去・新設）

【存置】
壁：モルタル金ごて下地（存置）
GP塗★（存置）

【存置】
大引：120×105 @900

【存置】
根太：60×45 @360

【存置】
床：モルタル金ごて クリーニング

ステージ

ステージ下収納庫

▽ 2.FL

▽ 1.FL

▽ GL

3,150

2,250

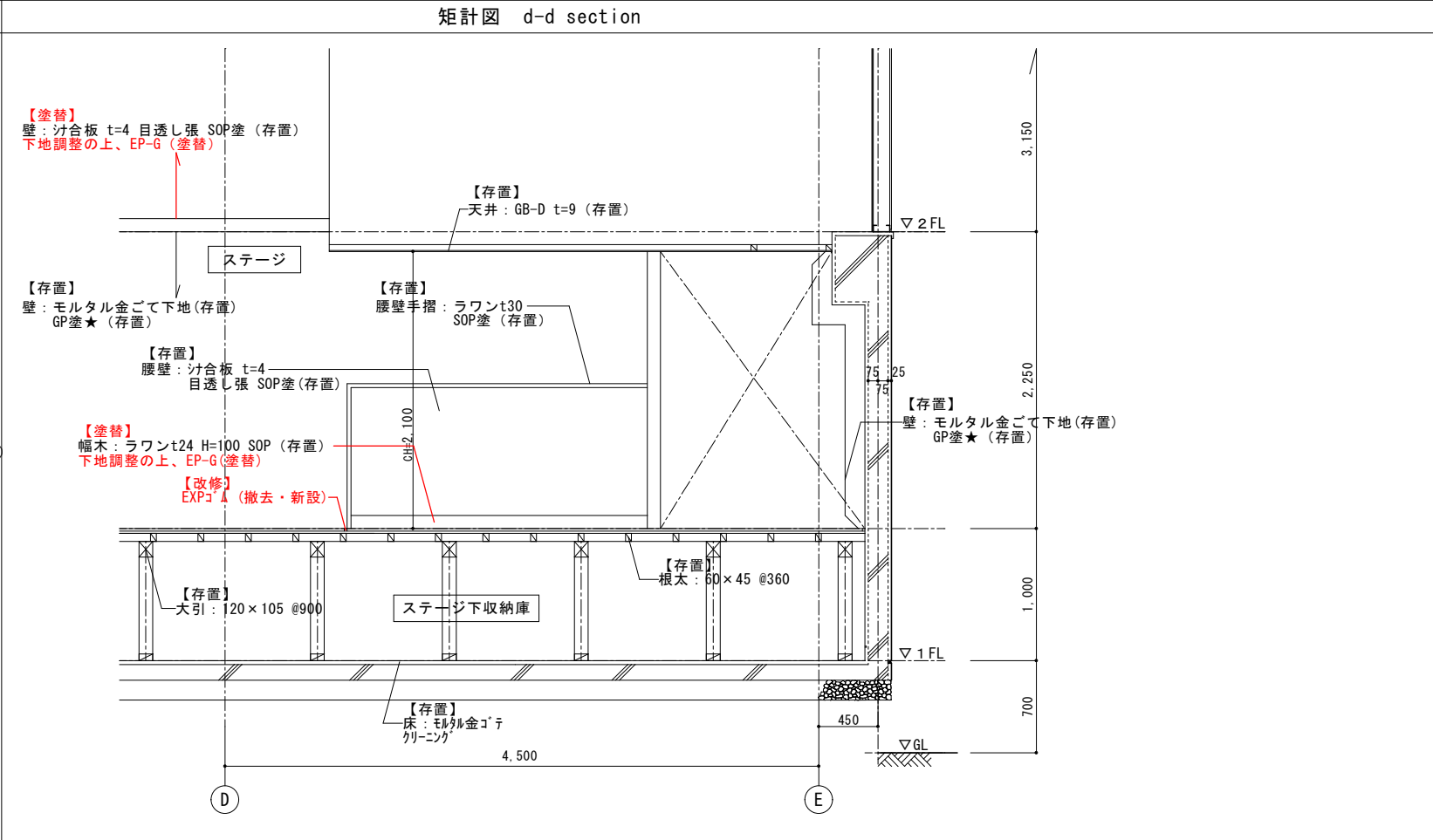
1,000

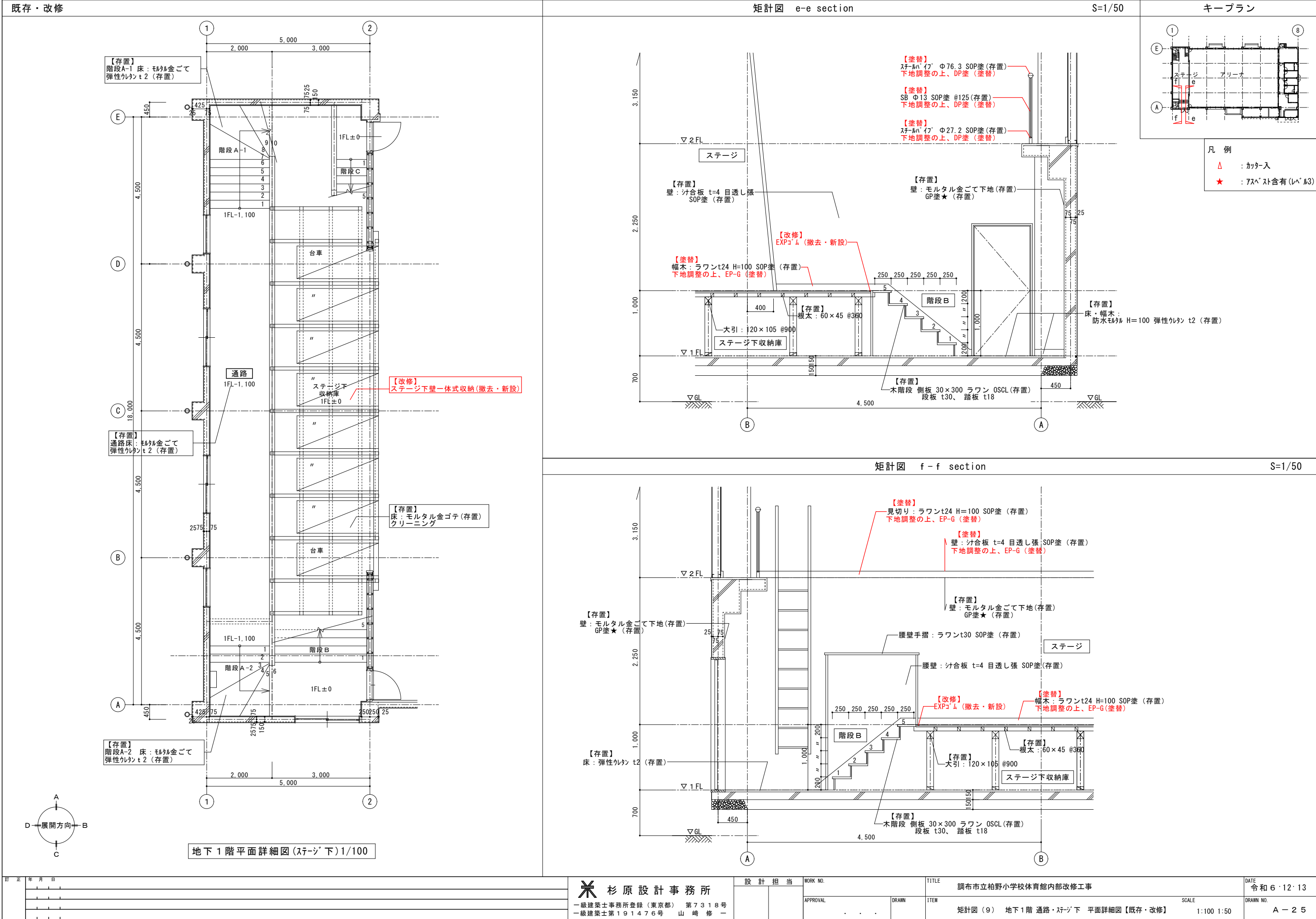
700

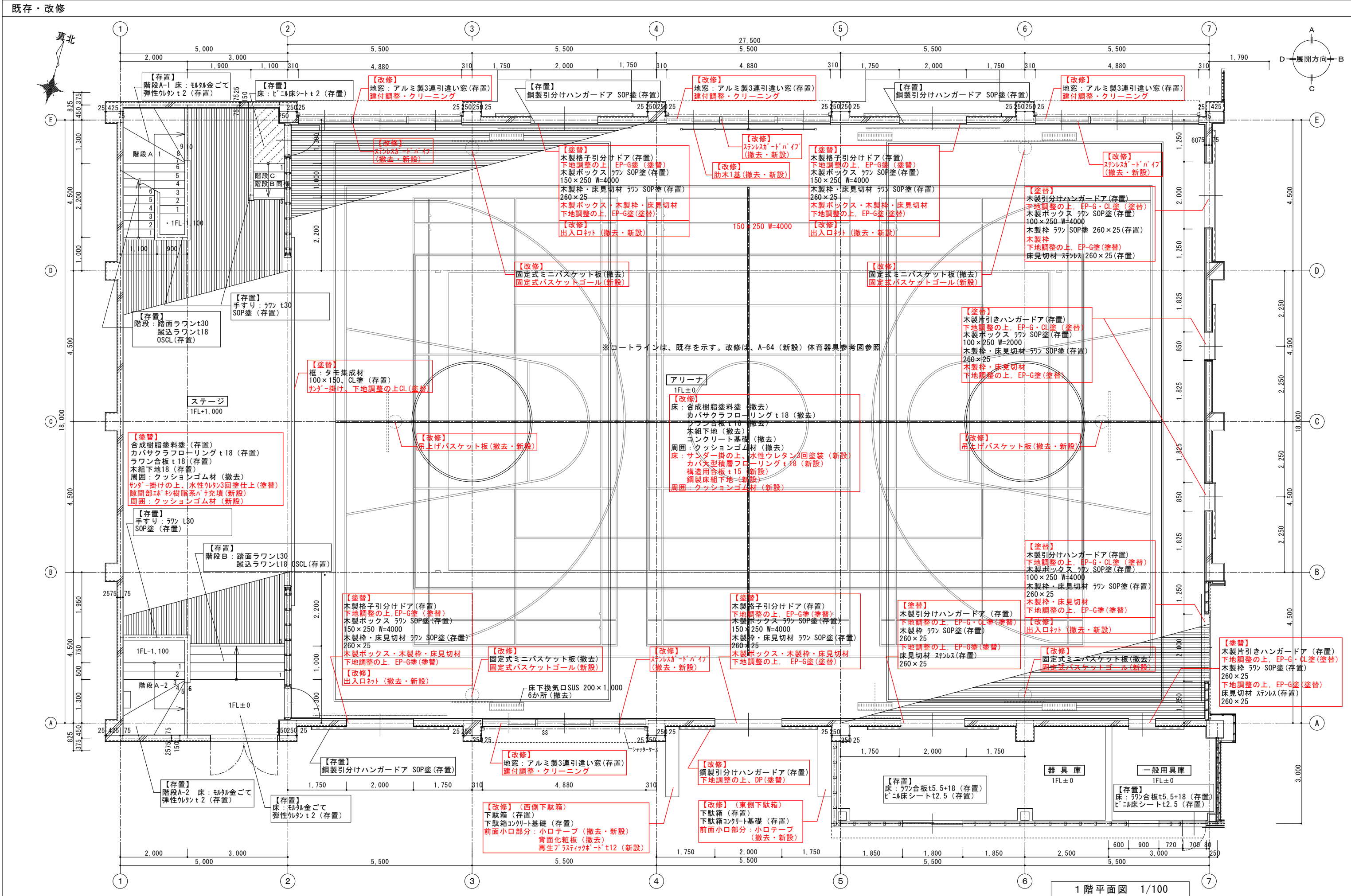
4,500

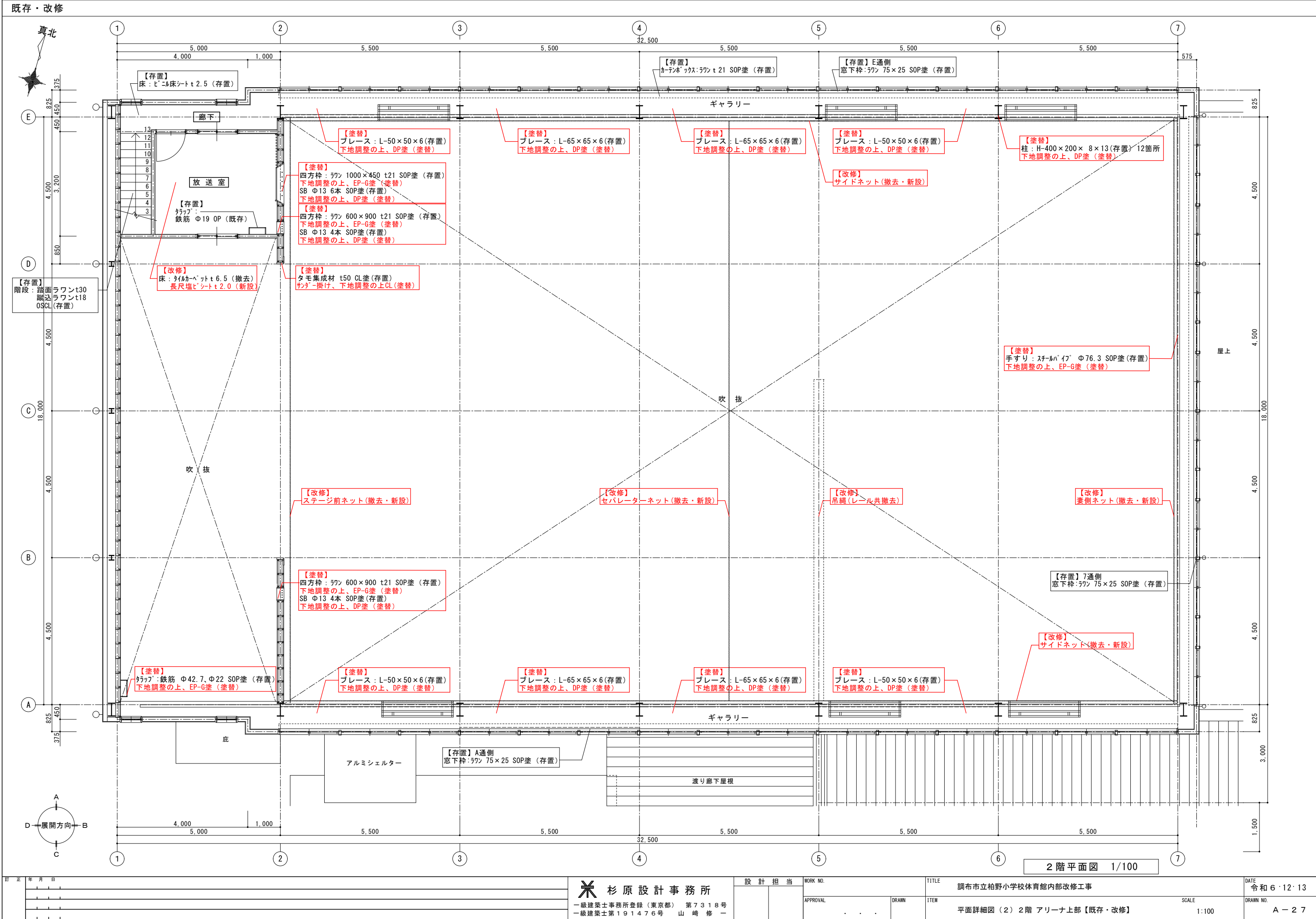
D

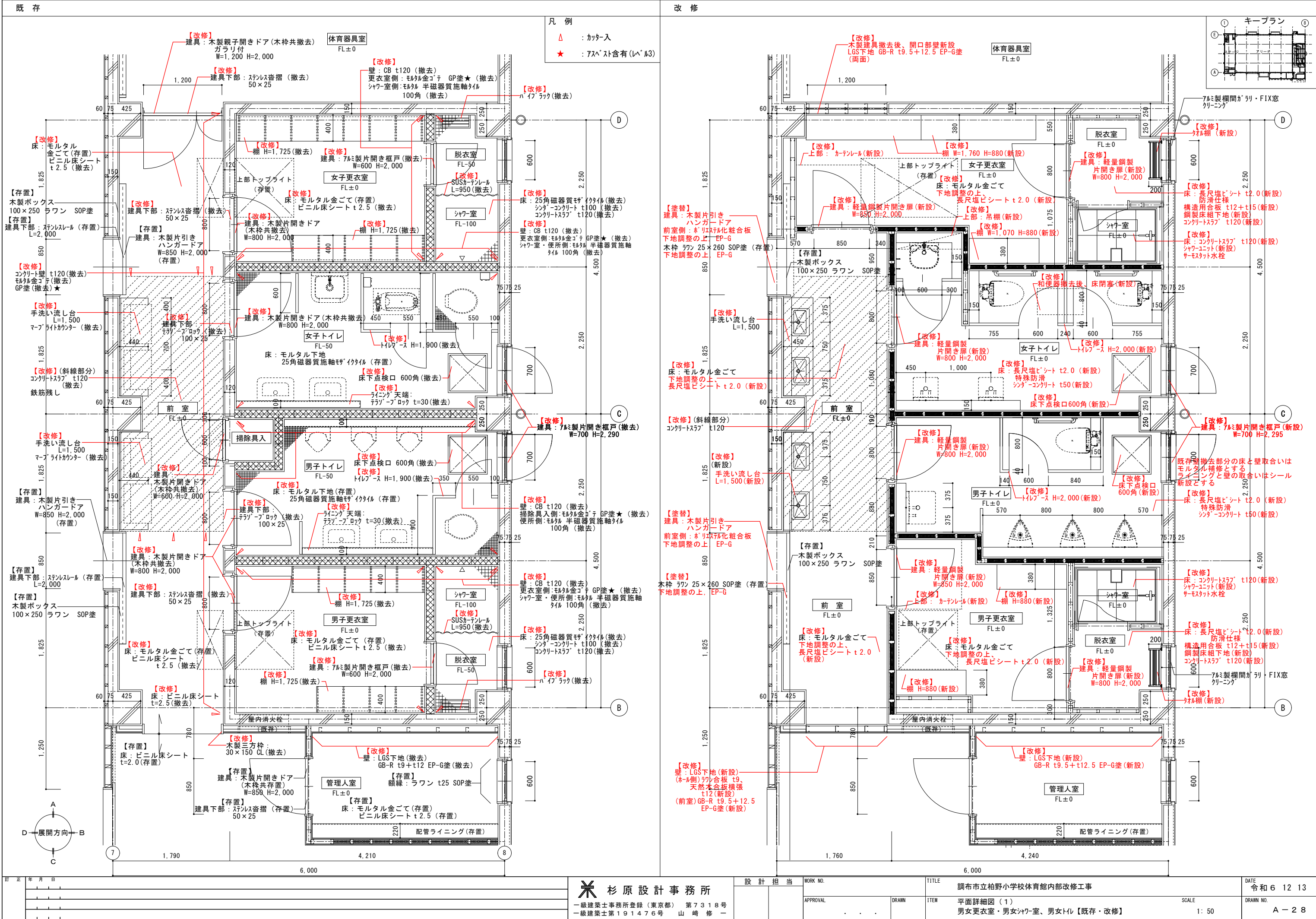
E



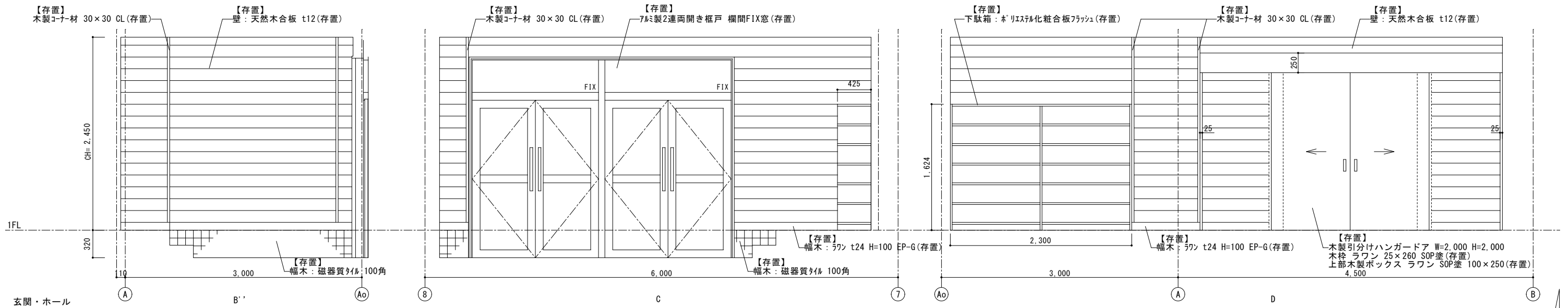
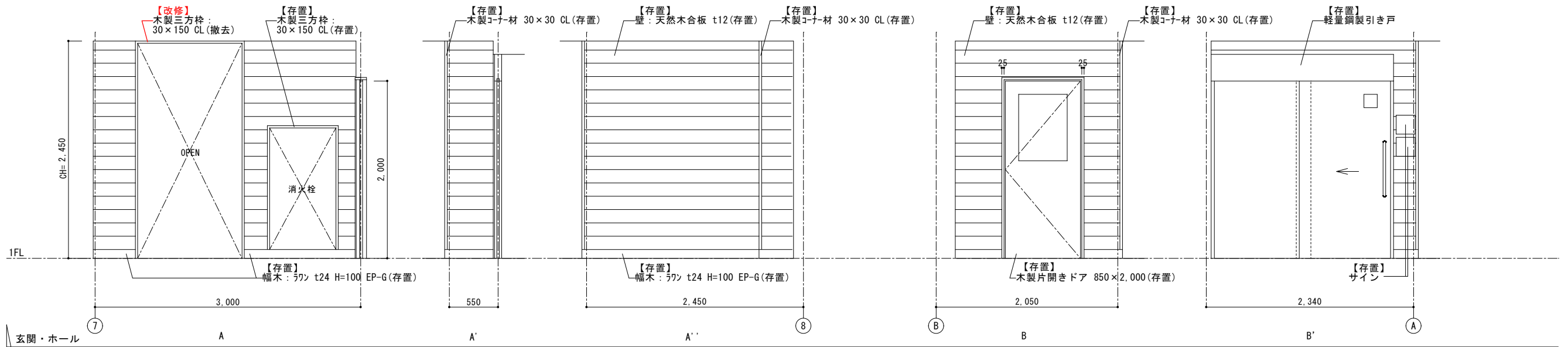




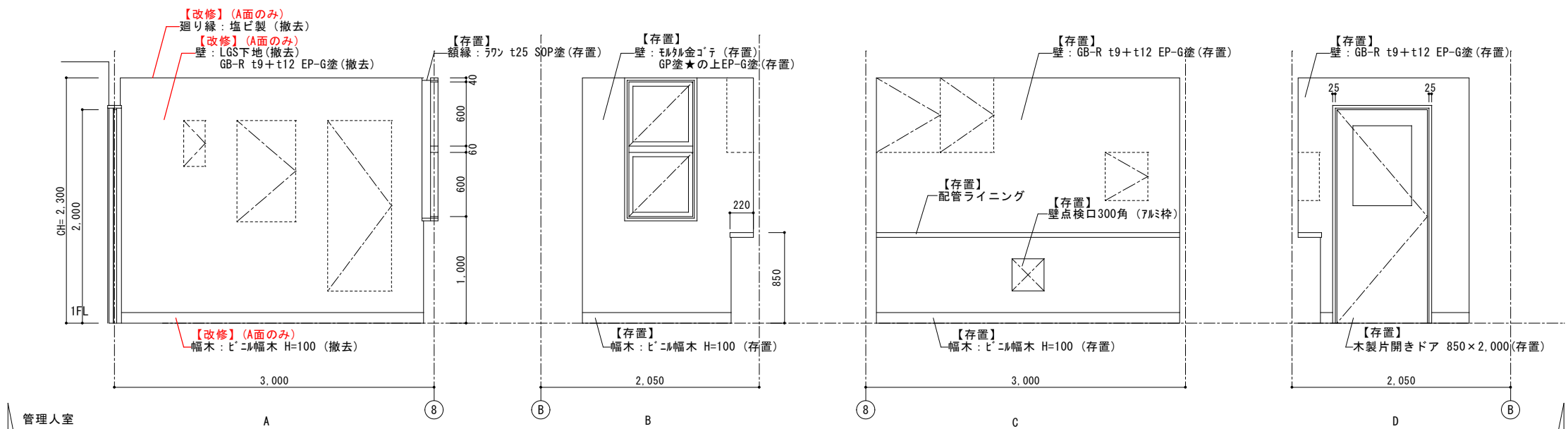




玄関・ホール	
床	【存置】 ビニル床シート t 2.0 【存置】 磁器質タイル 100角
幅木	【存置】 ラワン t24 H=100 EP-G
壁	【存置】 天然木合板模張 t 12
天井	【存置】 GB-R t9.5 DR t 9
廻り縁	【存置】 塩ビ製 【改修】
備考	木製三方枠 (1か所撤去) 【存置】 木駄箱 ステンレスノズリップ⁺ 【存置】 上櫃：テラゾー⁺ ロック 30×175



管理人室	
床	【存置】 ビニル床シート t.2.5
幅木	(A面) 【改修】 ビニル幅木H=100 (撤去) (B, C, D面) 【存置】 ビニル幅木H=100
壁	(A面) 【改修】 LGS下地 (撤去) GB-R t9+t12 EP-G塗 (撤去) (B面) 【存置】 モルタル金コテ GP塗★の上EP-G塗 (C, D面) 【存置】 GB-R t9+t12 EP-G塗
天井	【存置】 GB-D t9.5
廻り縁	【存置】 塩ビ製 (A面のみ) 【撤去】 塩ビ製
備考	【存置】 配管ライニング

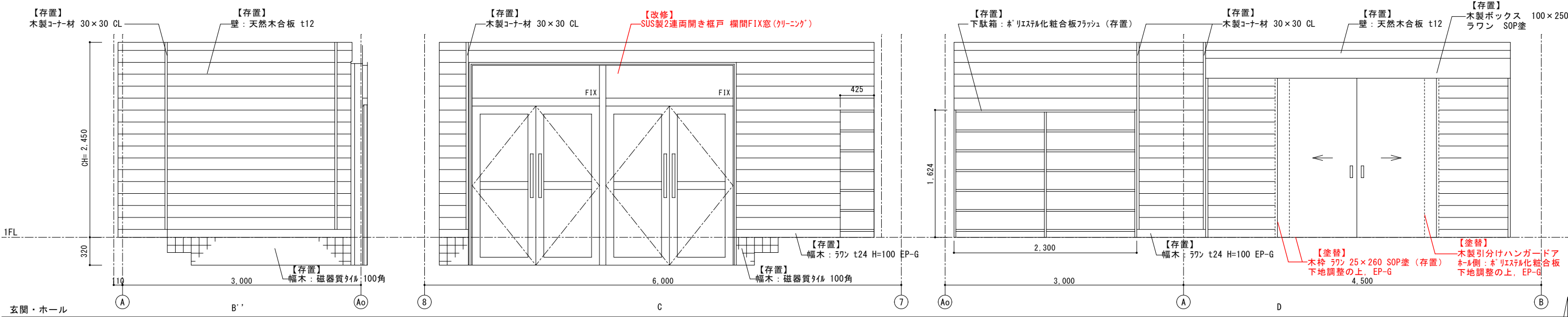
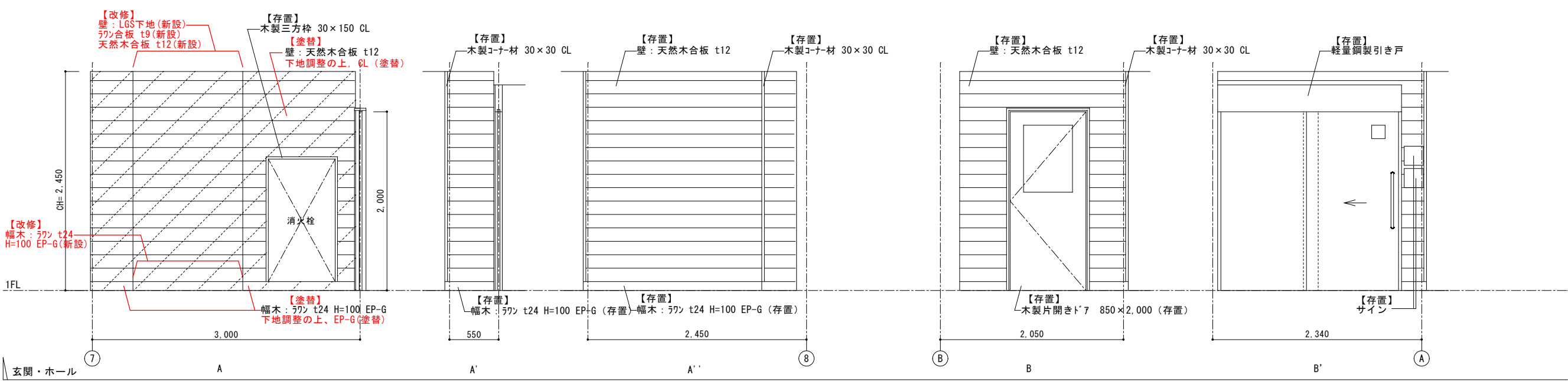


凡 例

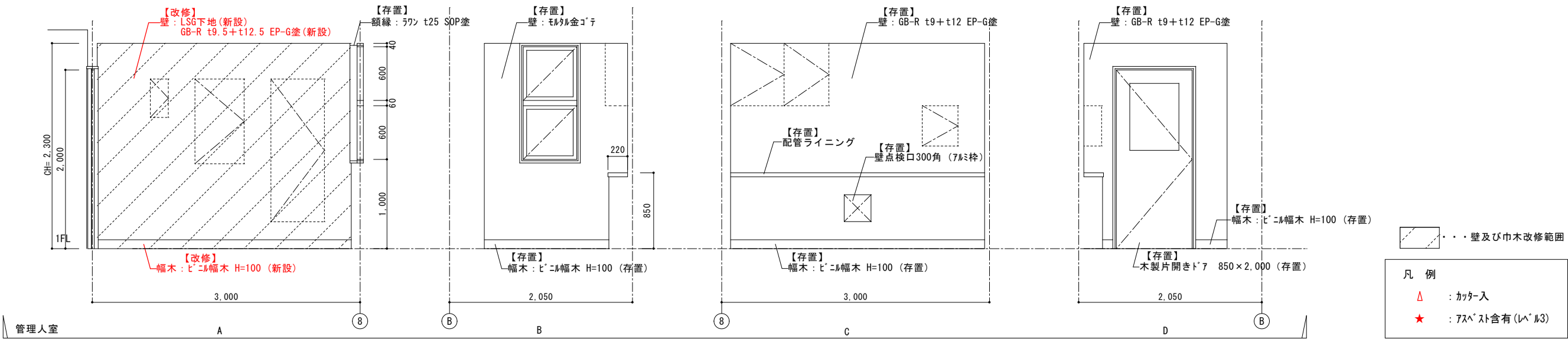
△ : カッター入

★ : アス⁺スト含有 (レ⁺ル3)

玄関・ホール	
床	【存置】 ビニル床シート t2.0 【存置】 磁器質タイル 100角
幅木	(A面) 【塗替】 ラワン t24 H=100 EP-G 下地調整の上、EP-G (塗替) (A面 内壁新設部分) 【改修】 ラワン t24 H=100 EP-G(新設) (B, C, D面) 【存置】 ラワン t24 H=100 EP-G
壁	(A面 内壁新設部分) 【改修】 LGS下地 ラワン合板 t9(新設) 天然木合板横張 t12(新設) (A面) 【塗替】 天然木合板横張 t12 下地調整の上、CL (塗替) (B, C, D面) 【存置】 天然木合板横張 t12
天井	【存置】 GB-R t9.5 (存置) DR t9 (存置)
廻り縁	【存置】 塩ビ製 (新設)
備考	【存置】 下駄箱 (新設) スリッパ/ソリッド (新設) 【存置】 上框：ラワン・ブロッカ 30×175

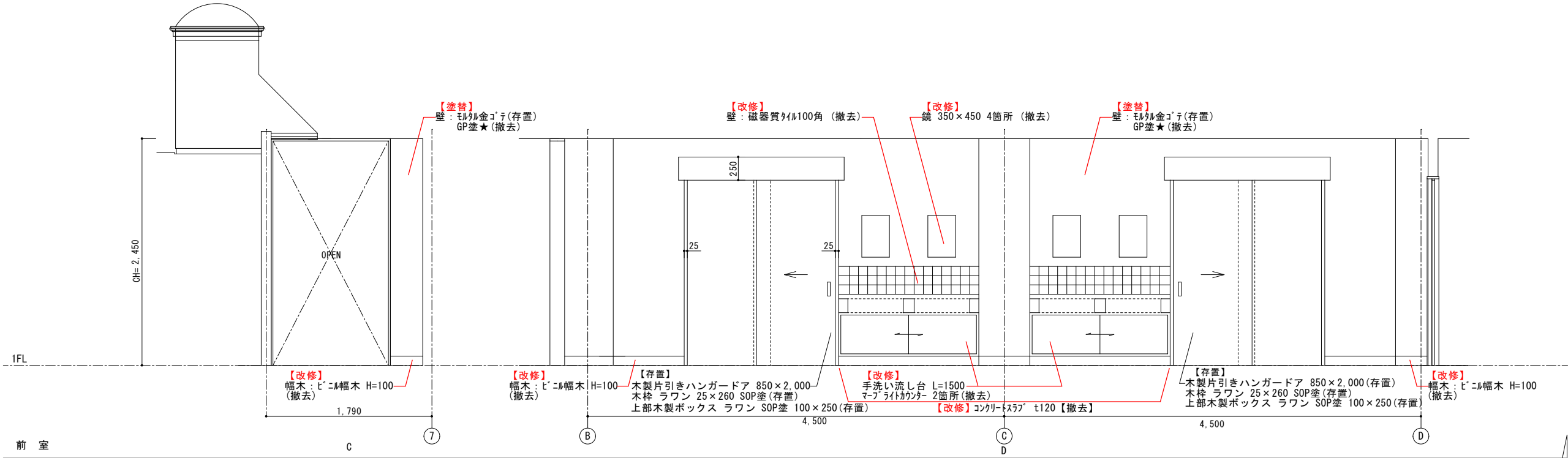
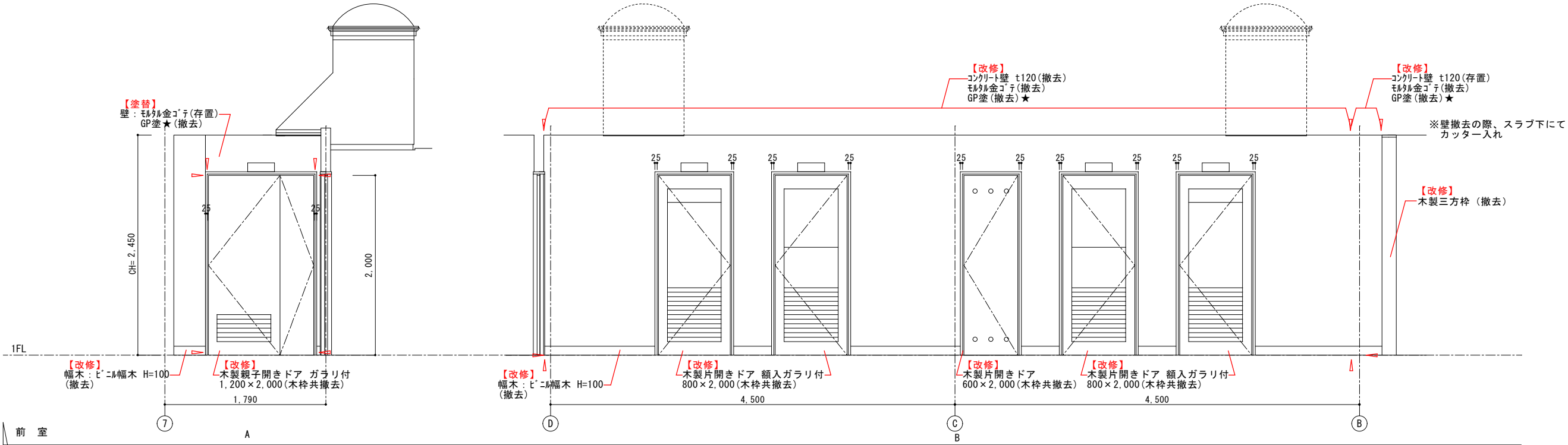


管理人室	
床	【存置】 ビニル床シート t2.5
幅木	(A面) 【改修】 ビニル幅木H=100 (新設) (B, C, D面) 【存置】 ビニル巾木 H=100 (存置)
壁	(A面) 【改修】 LGS下地 (新設) GB-R t9.5+t12.5 EP-G塗 (新設) (B面) 【存置】 珪藻土金ゴテ GP塗★の上EP-G塗 (存置) (C, D面) 【存置】 GB-R t9+t12 EP-G塗
天井	【存置】 GB-D t9.5
廻り縁	【存置】 塩ビ製
備考	【存置】 配管ライニング



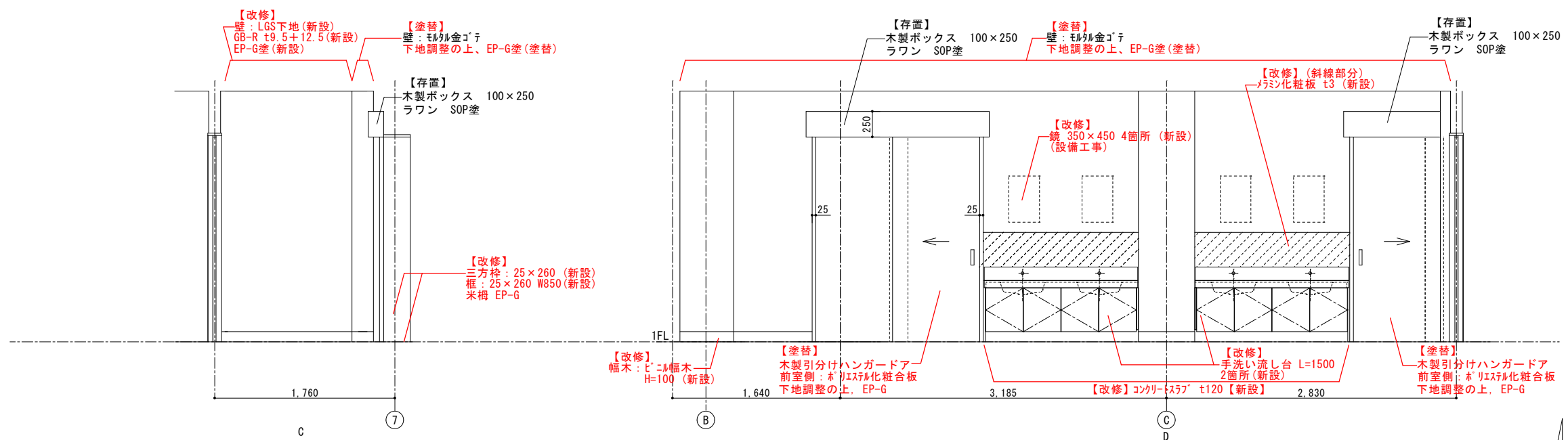
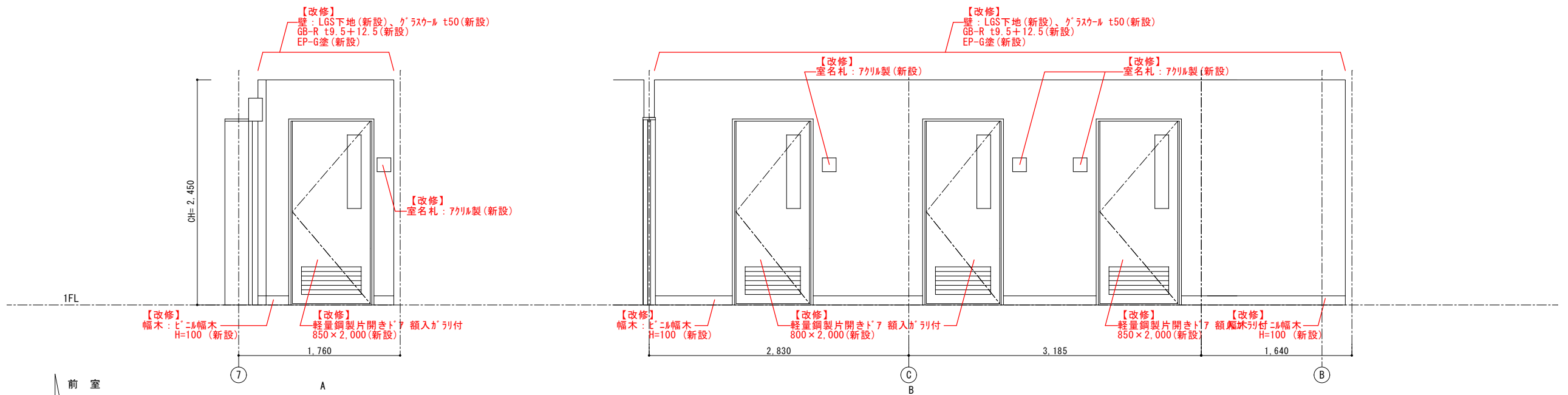
凡 例	
△	：カッター入
★	：75ベシ含有(1ベシ3)

前 室	
床	【改修】 ビニル床シート t2.5 (撤去)
幅木	【改修】 ビニル幅木 H=100 (撤去)
壁	(A, C, D面) 【塗替】 モルタル金ゴテ (存置) GP塗★ (撤去) (B面) 【改修】 モルタル金ゴテ GP塗 ★ (撤去)
天井	【改修】 GB-D t9 (LGS下地共撤去)
廻り縁	【改修】 塩ビ製 (撤去)
備考	【改修】 手洗い流し台 L=1,500 マーブルライトカンター 2箇所 (撤去) 鏡 350×450 4箇所 (撤去)

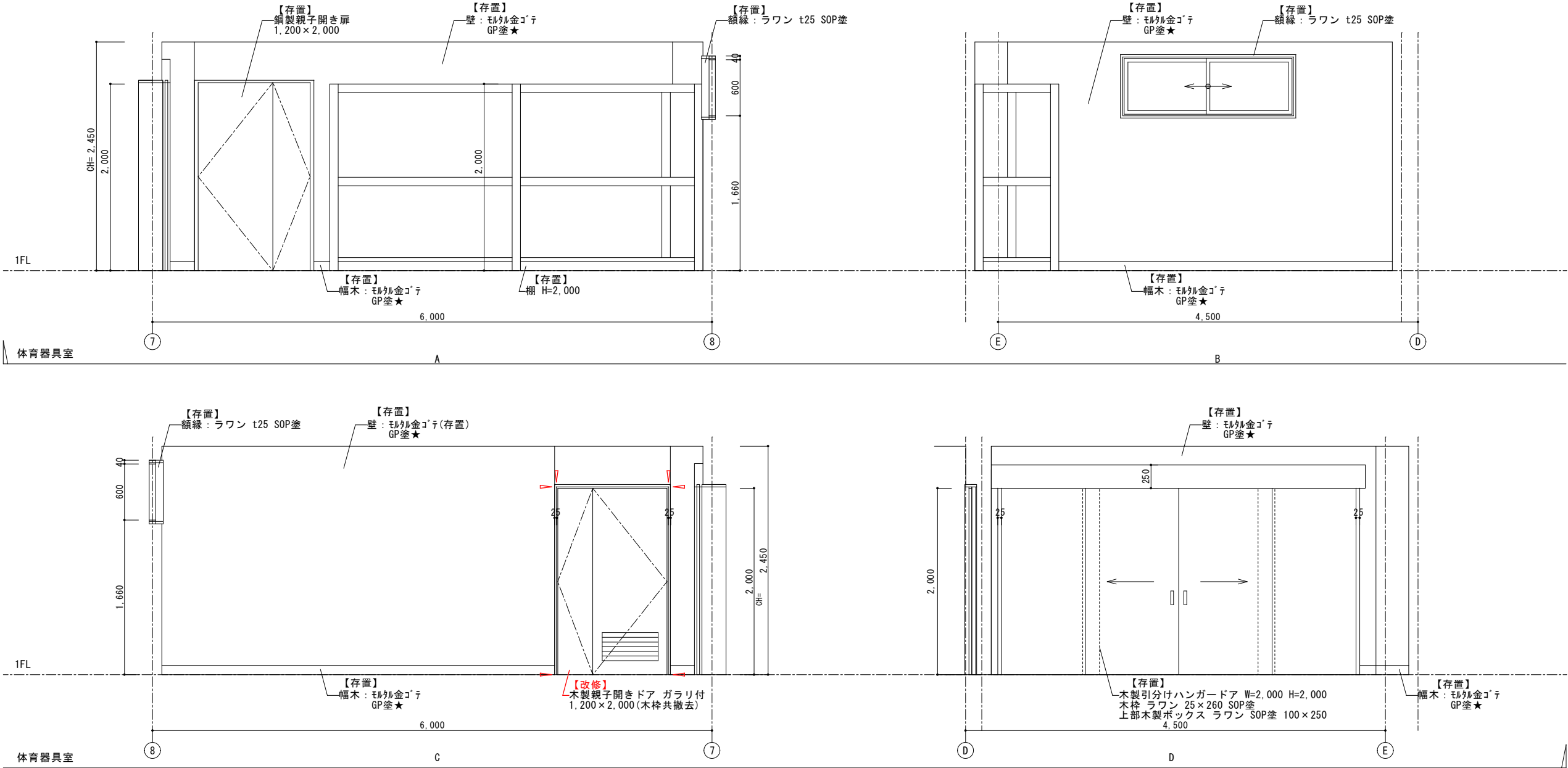


凡 例	
△	: カッター入
★	: アスベスト含有 (レベル3)

前 室	
床	【改修】 下地調整の上、 長尺塩ビシート t 2.0（新設）
幅木	【改修】 ビンタ幅木 H=100（新設）
壁	(A~C面) 【改修】 LGS下地（新設）、グラスウール t50 GB-R t9.5+12.5 EP-G塗（新設） (D面) 【塗替】 モルタル金ゴテ 下地調整の上、EP-G（塗替）
天井	【改修】 GB-D t9.5（LGS下地共新設）
廻り縁	【改修】 塩ビ製（新設）
備考	【改修】 手洗い流し台 L=1,500 2箇所（新設） 室名札（新設） 設備工事： 鏡 350×450 4箇所（新設）

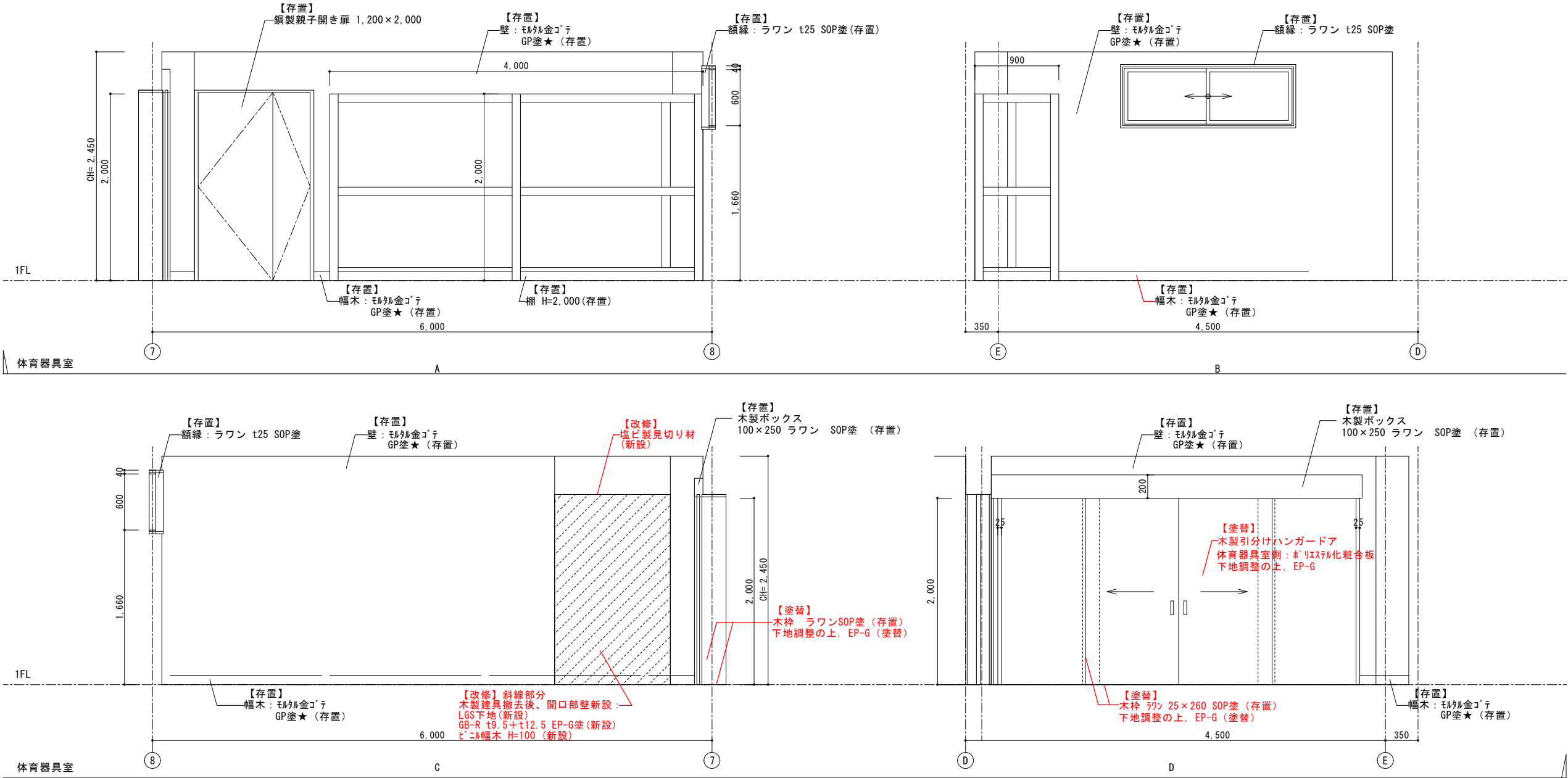


体育器具室	
床	【存置】 ビニル床シート t 2.5
幅木	【存置】 モルタル金ゴテ H=100 GP塗★
壁	【存置】 モルタル金ゴテ GP塗★
天井	【存置】 GB-D t 9
廻り縁	【存置】 塩ビ製
備考	【存置】 棚 H=2,000

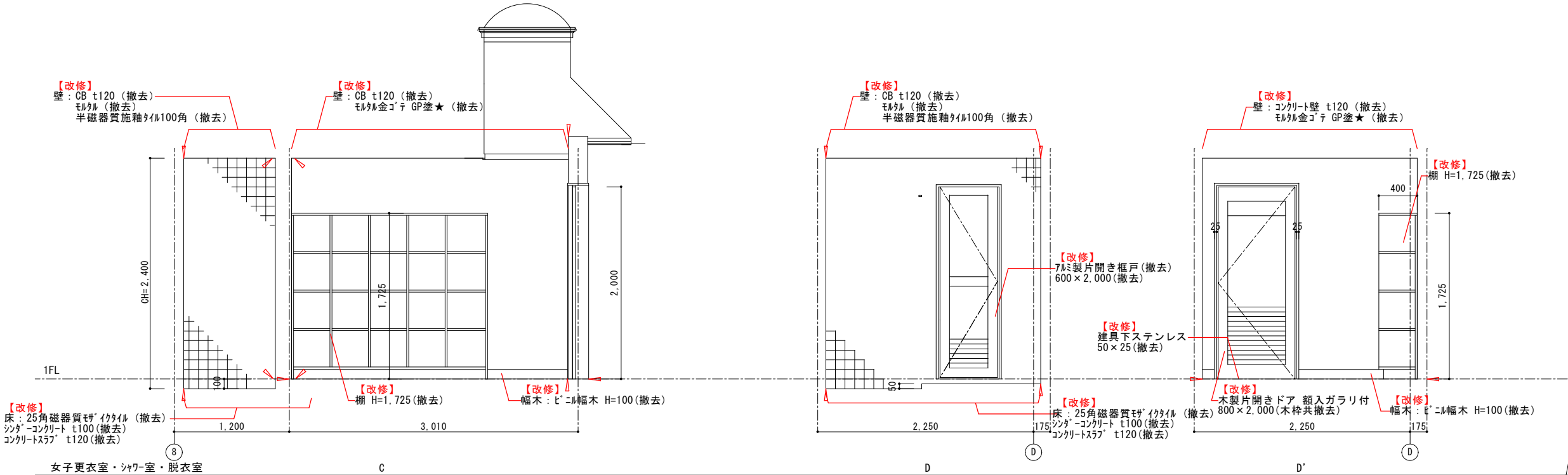
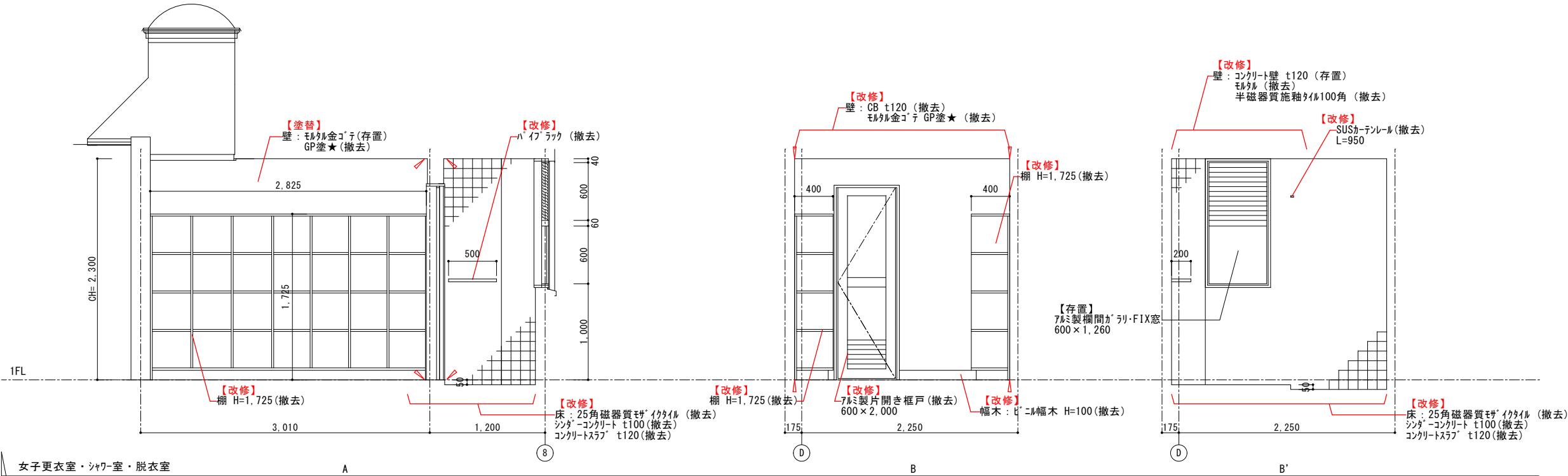


凡 例	
△	：カッター入
★	：7スベスト含有(レベール3)

体育器具室	
床	【存置】 ビニル床シート t2.5
幅木	【存置】 モルタル金ゴテ H=100 GP塗★ (G面内壁新設部分)【改修】 ビニル幅木 H=100 (新設)
壁	【存置】 モルタル金ゴテ GP塗★ (存置) (G面内壁新設部分)【改修】 下地調整の上、EP-G (塗替)
天井	【存置】 GB-D t 9 (存置)
廻り縁	【存置】 塩ビ製 (存置)
備考	【存置】 棚 H=2,000 (存置)



女子更衣室・シャワ-室	
床	【改修】女子更衣室 ビニルシート t 2.5 (撤去) 【改修】シャワ-室・脱衣室 25角磁器質モザイクタイル (撤去) シンタ-コンクリート t100 (撤去) 土間コンクリート t120 (撤去)
幅木	【改修】 ビニル幅木 H=100 (撤去)
壁	【塗替】女子更衣室 (A面)モルタル金ゴテ (存置) GP塗★ (撤去) 【改修】女子更衣室 (B・C面)CB t120 (撤去) モルタル金ゴテ GP塗★ (撤去) (D面)コンクリート壁 t120 (撤去) モルタル金ゴテ GP塗★ (撤去) 【存置】シャワ-室・脱衣室 (A・B面)モルタル (一部撤去) 半磁器質施釉タイル100角 (一部撤去) 【改修】シャワ-室・脱衣室 (C・D面)CB t120 (撤去) モルタル (撤去) 半磁器質施釉タイル100角 (撤去)
天井	【改修】 GB-D t9 (LGS下地共撤去) ハスリブ 張 (LGS下地共撤去)
廻り縁	【改修】 塩ビ 製 (撤去)
備考	【改修】 棚 (ロッカ-) (撤去) ハスリブラック (撤去) SUS製カーテンレール L=950 (撤去)

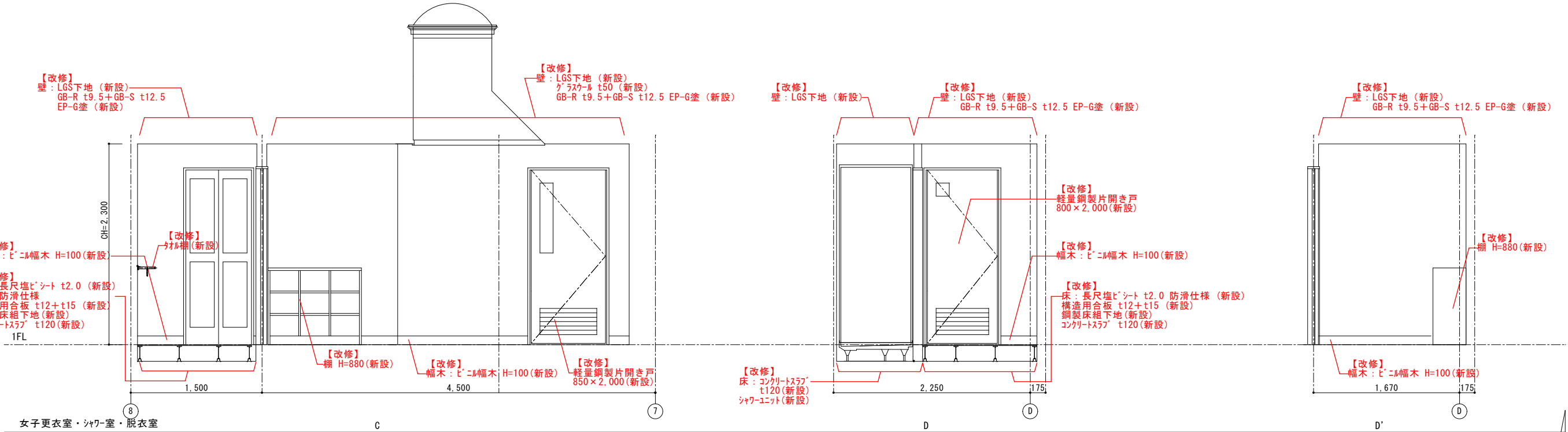
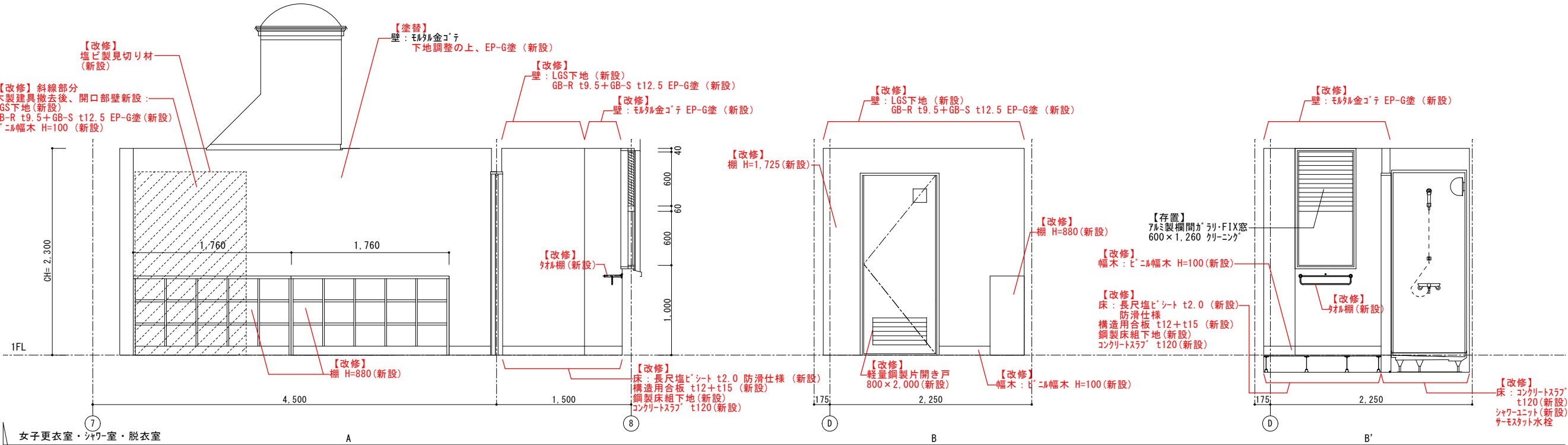


凡 例	
△	: カッター入
★	: フスベ-スト含有 (レベ-ル3)

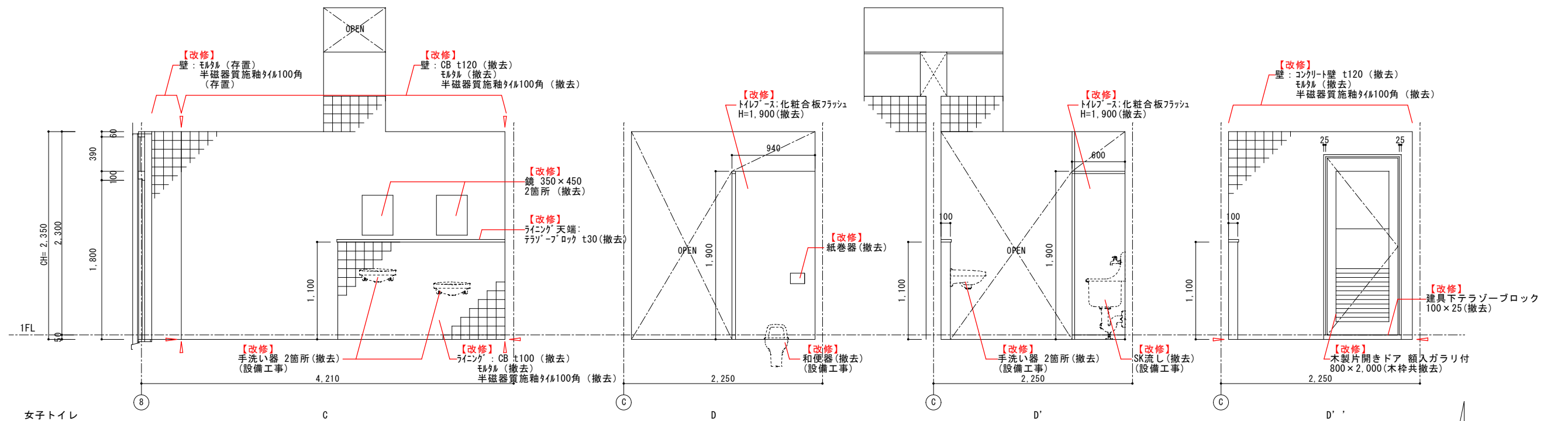
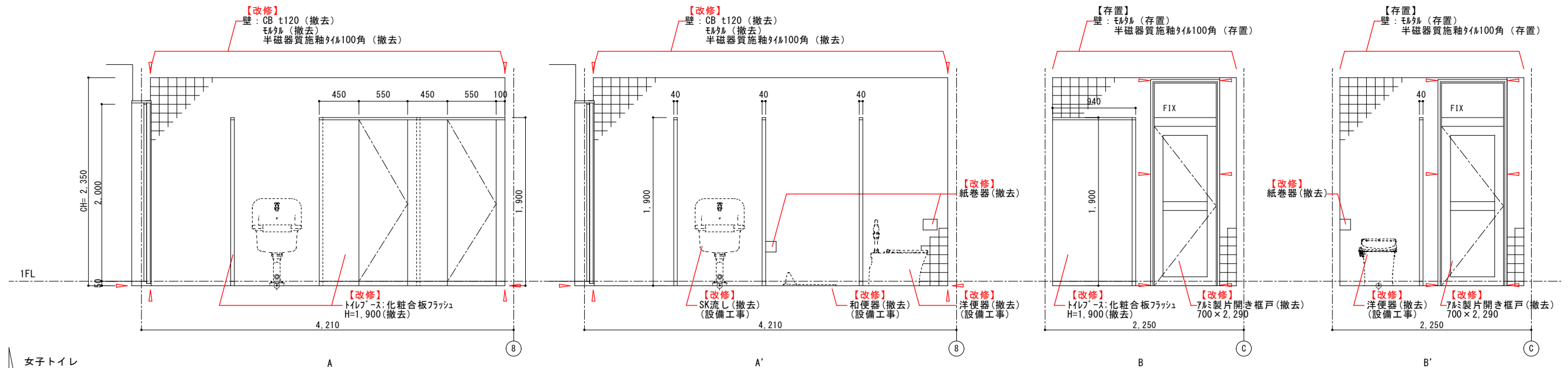
※壁タイル存置の浮き部分はフスカ-ビ-ソング 全面球-杉樹脂注入で補修とする

訂正	年 月 日	✖ 杉原設計事務所 一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号 一級建築士第191476号 山崎修一	設 計 担 当	WORK NO.		TITLE 調布市立柏野小学校体育館内部改修工事		DATE 令和6・12・13
				APPROVAL	DRAWN	ITEM 展開図（7）女子更衣室・シャワ-室【既存】	SCALE 1:50	DRAWN NO. A-35

女子更衣室・シャワー室	
床	【改修】女子更衣室 下地調整の上、 長尺床シート t2.0 (新設) 【改修】脱衣室 長尺床シート t2.0 (新設) 防滑仕様 構造用合板 t12+t15(新設) 鋼製床組下地(新設) コンクリートスラブ t=120(新設)
幅木	【改修】 ビニル幅木 H=100 (新設)
壁	【塗替】女子更衣室 (A面)下地調整の上、EP-G(塗替) 【改修】女子更衣室 (B・C・D面)LGS下地 (新設) グラスウール t50 (C面のみ新設) GB-R t9.5+GB-S t12.5(新設) EP-G塗 (新設) 【改修】脱衣室 (B面)モルタル金ゴテ EP-G塗 (新設) 【改修】脱衣室 (A・C・D面)LGS下地 (新設) GB-R t9.5+GB-S t12.5(新設) EP-G塗 (新設)
天井	【改修】 GB-D t9.5 (LGS下地共新設)
廻り縁	【改修】 塩ビ製 (新設)
備考	【改修】 棚(ロッカー) (新設) タオル棚 (新設) シャワーユニット (新設) カーテンレール (新設)



女子トイレ	
床	【改修】 モルタル（一部撤去） 25角磁器質施釉セラミックス （一部撤去）
幅木	-
壁	【改修】 (A, C面) CB t120、モルタル（撤去） 半磁器質施釉タイル100角（撤去） (B面) コークリート壁（存置）、モルタル（存置） 半磁器質施釉タイル100角（存置） (D面) コークリート壁（撤去）、モルタル（撤去） 半磁器質施釉タイル100角（撤去）
天井	【改修】 GB-D t9（LGS地下共撤去）
廻り縁	【改修】 塩ビ製（撤去）
備考	【改修】 トイレ・ス H=1,900（撤去） ラインク（撤去）



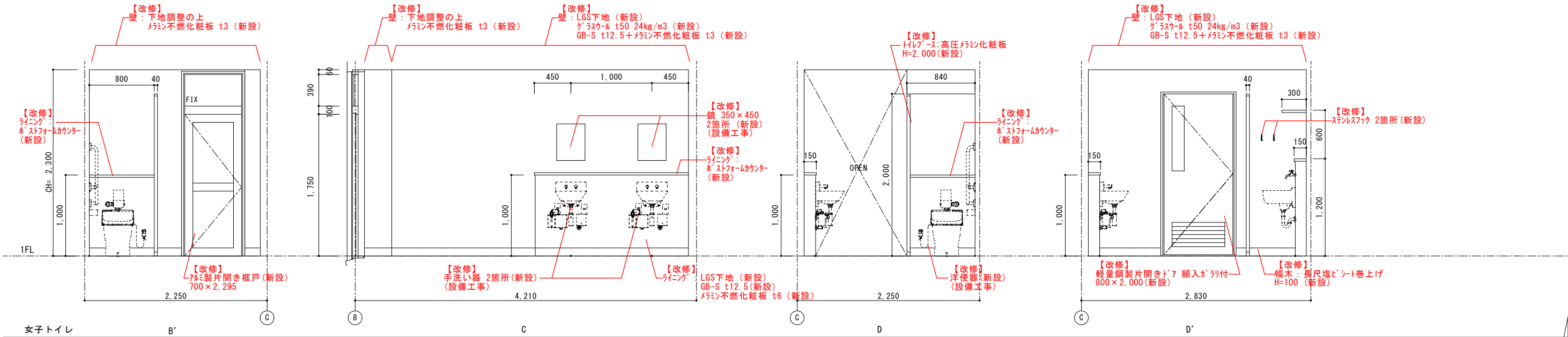
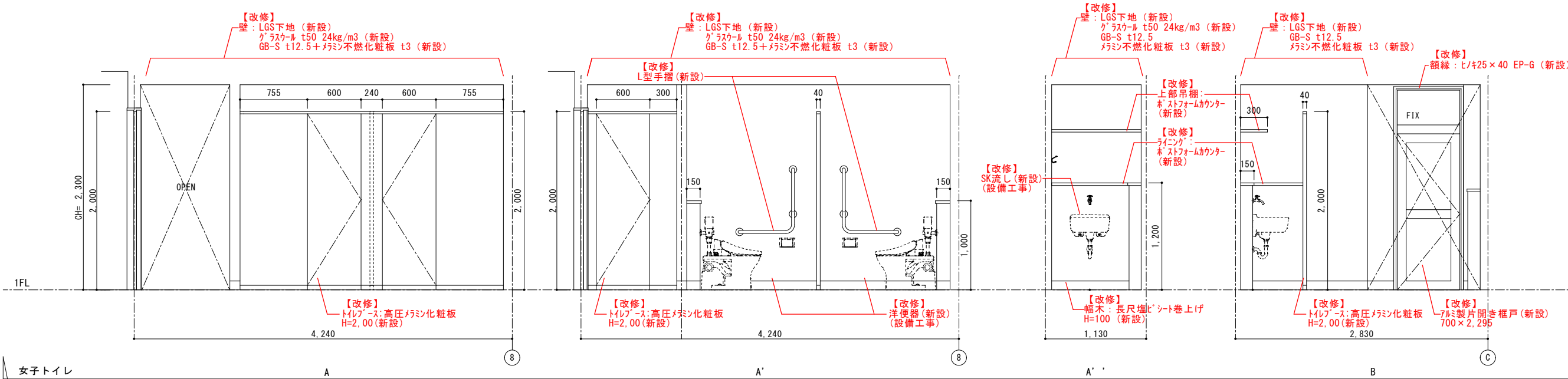
凡 例

△ : カッター入

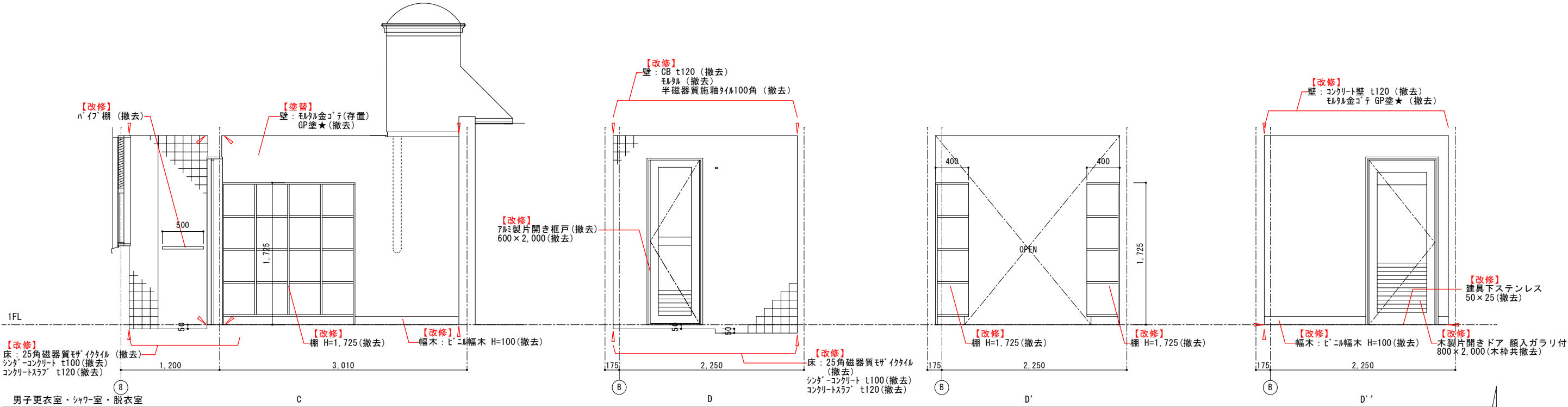
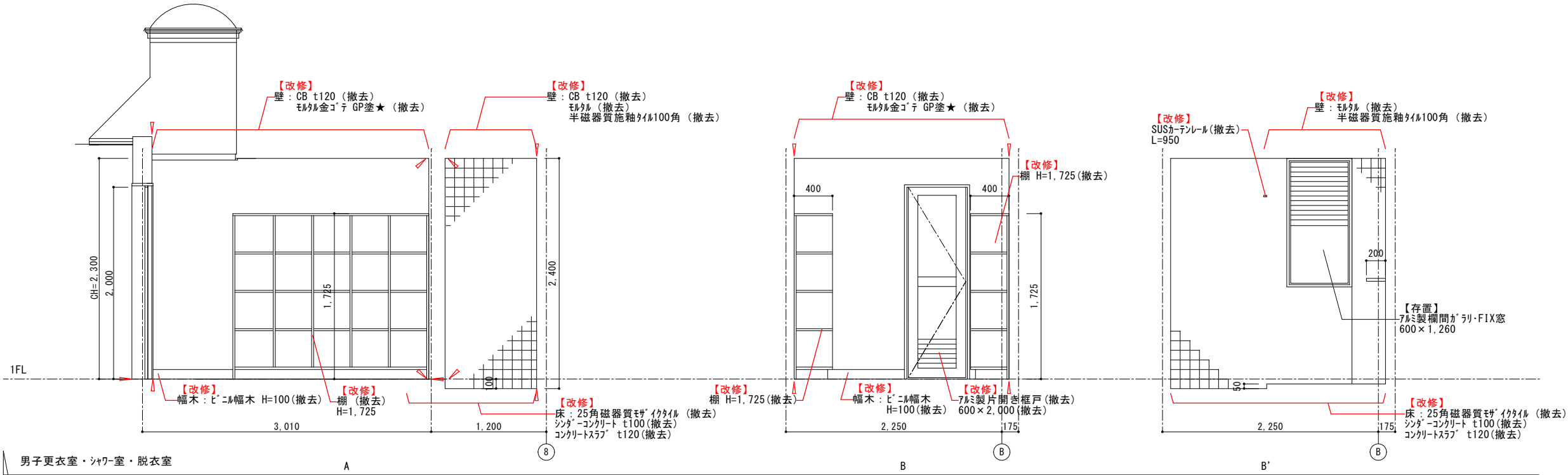
★ : アスベスト含有 (レ^oル3)

※壁タイル存置の浮き部分はアンカー・ヒ・ソック全面珪砂樹脂注入で補修とする

女子トイレ	
床	【改修】 シンターコンクリート t50 (新設) 長尺塩ビシート t2.0 (新設) 特殊防滑
幅木	長尺塩ビシート巻上げ H=100 (新設)
壁	【改修】 (A, C, D面) LGS下地 (新設) ガラスケル t50 24kg/m3 (新設) GB-S t12.5 (新設) マリン不燃化粧板 t3 (新設) (B面) 下地調整の上、 マリン不燃化粧板 t3 (新設)
天井	【改修】 GB-D t9.5 (LGS下地共新設)
廻り縁	【改修】 塩ビ製 (新設)
備考	【改修】 トイレース H=2,000 (新設) L型手摺 (新設) SK: 上部吊棚 (新設) ステンレスフック 2箇所 (新設) 額縁: t/キ 25×40 EP-G (新設) 設備工事: 鏡 350×450 (新設) 設備工事: 紙巻器 (新設)



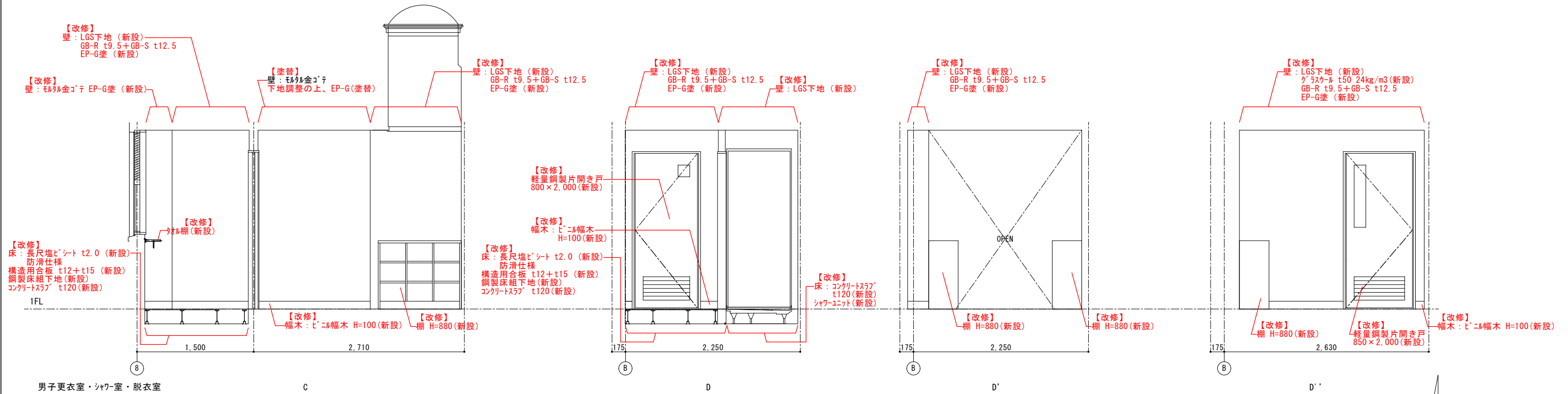
男子更衣室・シャワ-室	
床	【改修】男子更衣室 ビニル床シート t 2.5 (撤去) 【改修】シャワ-室・脱衣室 25角磁器質モザイクタイル (撤去) シンタ-コンクリート t100 (撤去) 土間コンクリート t120 (撤去)
幅木	【改修】 ビニル幅木 H=100 (撤去)
壁	【塗替】男子更衣室 (C面)モザイクタイル (存置) GP塗★ (撤去) 【改修】男子更衣室 (A・B面)CB t120 (撤去) モザイクタイル GP塗★ (撤去) (D面)コンクリート壁 t120 (撤去) モザイクタイル GP塗★ (撤去) 【存置】シャワ-室・脱衣室 (B・D面)モザイク (一部撤去) 半磁器質施釉タイル100角 (一部撤去) 【改修】シャワ-室・脱衣室 (A・D面)CB t120 (撤去) モザイク (撤去) 半磁器質施釉タイル100角 (撤去)
天井	【改修】 GB-D t9 (LGS下地共撤去) ハイクラ-張 (LGS下地共撤去)
廻り縁	【改修】 塩ビ製 (撤去)
備考	【改修】 棚 (ロッカー) (撤去) ハイクラ- (撤去) SUS製カーテンレール L=950 (撤去)



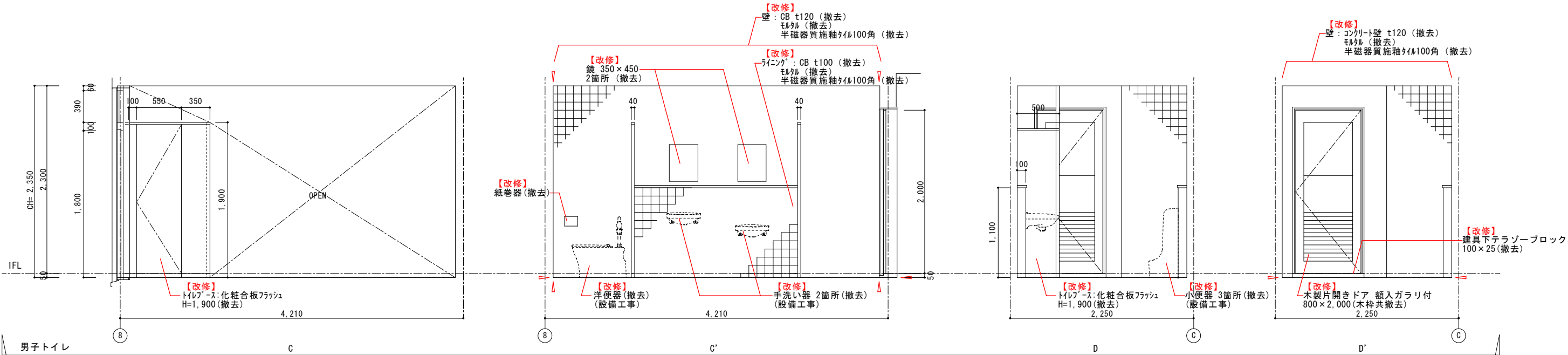
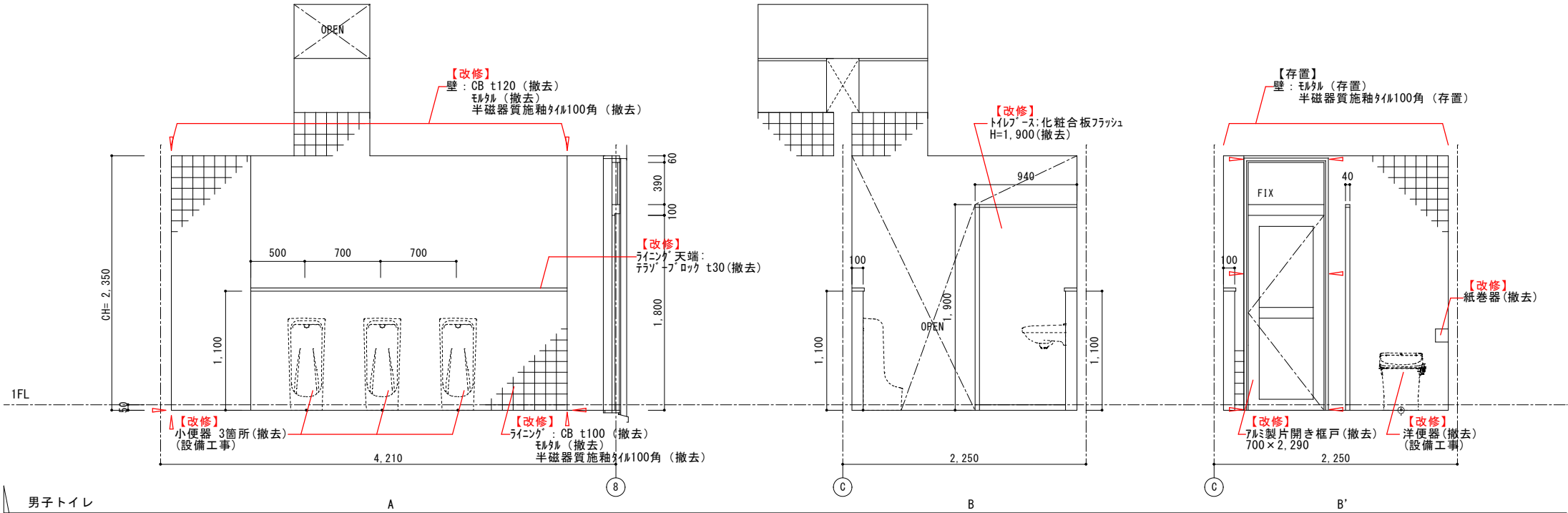
凡 例	
△	: カッター入
★	: フスベ-スト含有 (レベ-ル3)

※壁タイル存置の浮き部分はフカヒ-ソ-ニ-グ 全面100% 杉樹脂注入で補修とする

訂正	年 月 日	✕ 杉原設計事務所 一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号 一級建築士第191476号 山崎修一	設計担当	WORK NO.		TITLE 調布市立柏野小学校体育館内部改修工事		DATE 令和6・12・13
				APPROVAL	DRAWN	ITEM 展開図（11）男子更衣室・シャワ室【既存】	SCALE 1:50	DRAWN NO. A-39



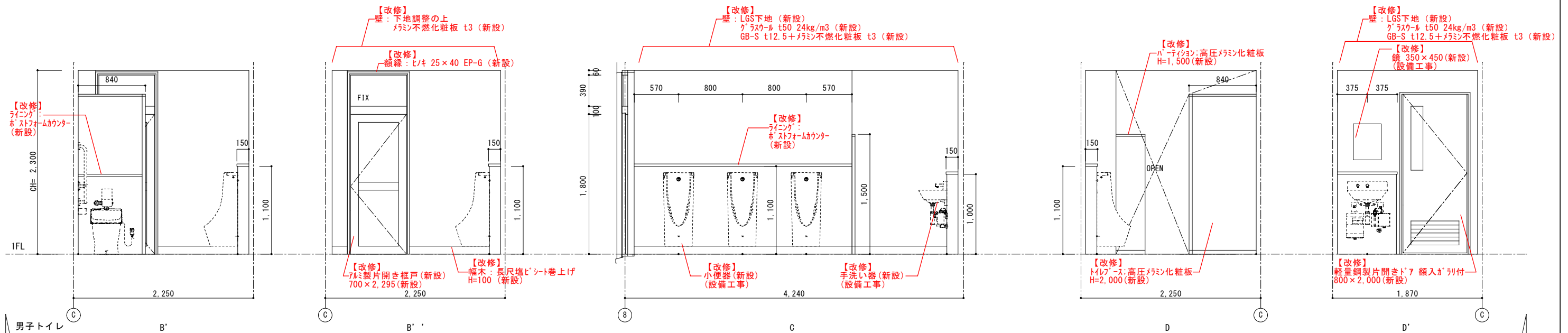
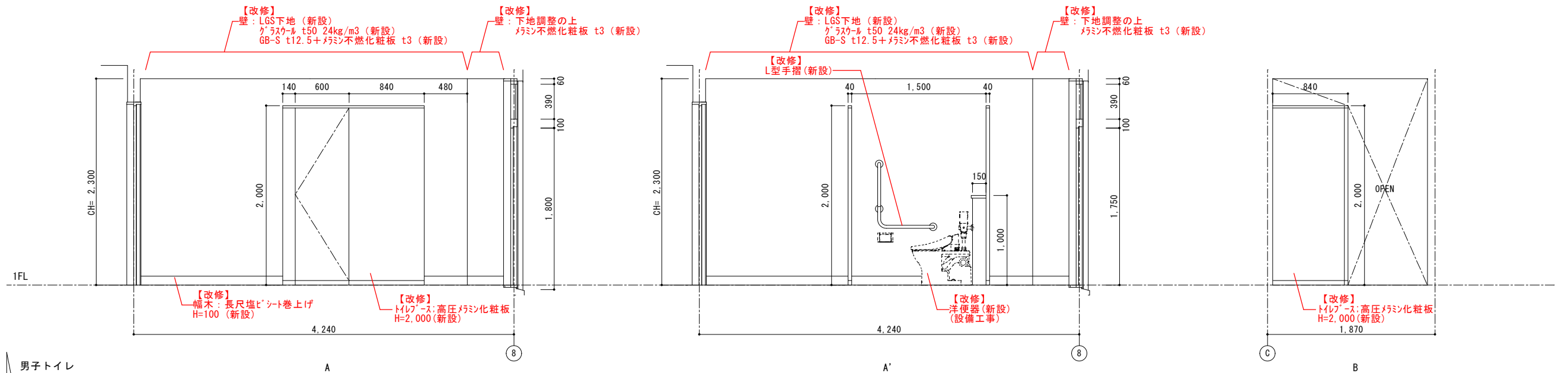
男子トイレ	
床	【改修】 モルタル（一部撤去） 25角磁器質施釉タイル100角（一部撤去）
幅木	-
壁	【改修】 (A, C面) CB t120、モルタル（撤去） 半磁器質施釉タイル100角（撤去） (B面) コンクリート壁（存置）、モルタル（存置） 半磁器質施釉タイル100角（存置） (D面) コンクリート壁（撤去）、モルタル（撤去） 半磁器質施釉タイル100角（撤去）
天井	【改修】 GB-D t9（LGS下地共撤去）
廻り縁	【改修】 塩ビ製（撤去）
備考	【改修】 トイレノーズ H=1,900（撤去） ライニング（撤去） 紙巻器（撤去） 鏡 350×450（撤去）



凡 例	
△	：カッター入
★	：フスベシ含有（レベル3）

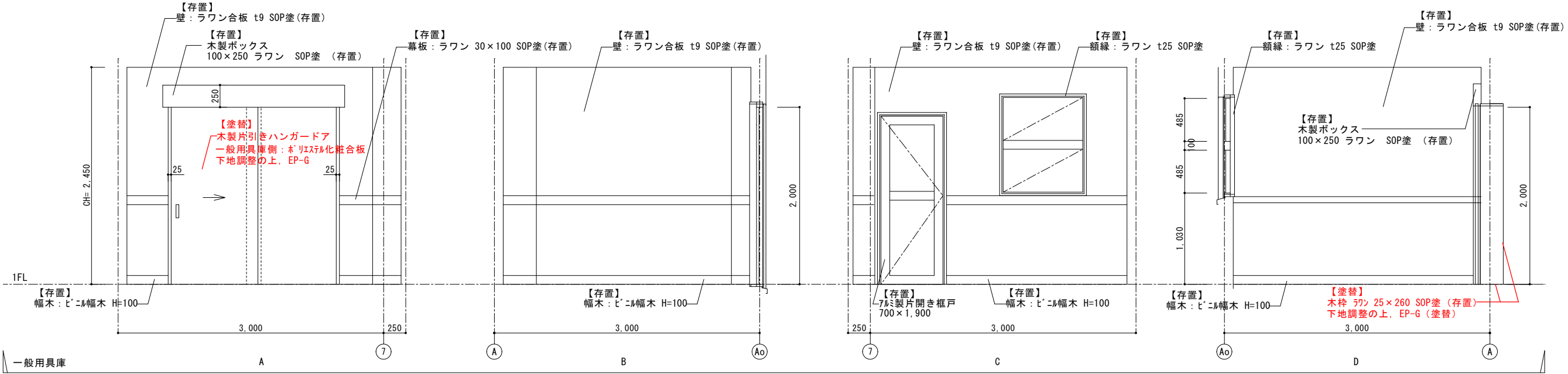
※壁タイル存置の浮き部分はアンカー・ビニリング全面工、杉樹脂注入で補修とする

男子トイレ	
床	【改修】 シンダー・コンクリート t50（新設） 長尺塩ビシート t2.0（新設） 特殊防滑
幅木	長尺塩ビシート巻上げ H=100（新設）
壁	【改修】 (A, C, D面) LGS下地（新設） グラスフル t50 24kg/m ³ （新設） GB-S t12.5（新設） マミン不燃化粧板 t3（新設） (B面) 下地調整の上、 マミン不燃化粧板 t3（新設）
天井	【改修】 GB-D t9.5（LGS下地共新設）
廻り縁	【改修】 塩ビ製（新設）
備考	【改修】 トイレブース H=2,000（新設） L型手摺（新設） 額縁：t/巾 25×40 EP-G（新設） 設備工事：鏡 350×450（新設） 設備工事：紙巻器（新設）

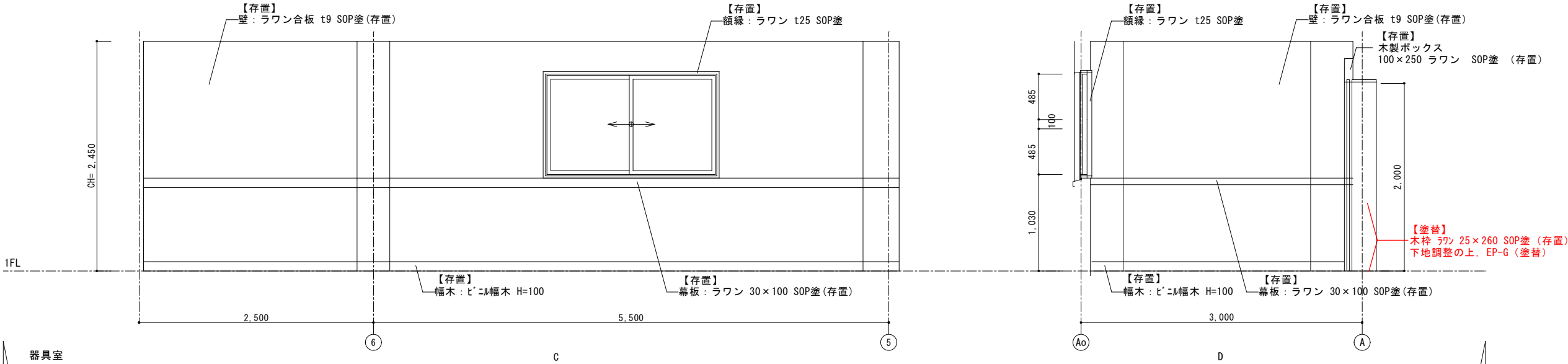
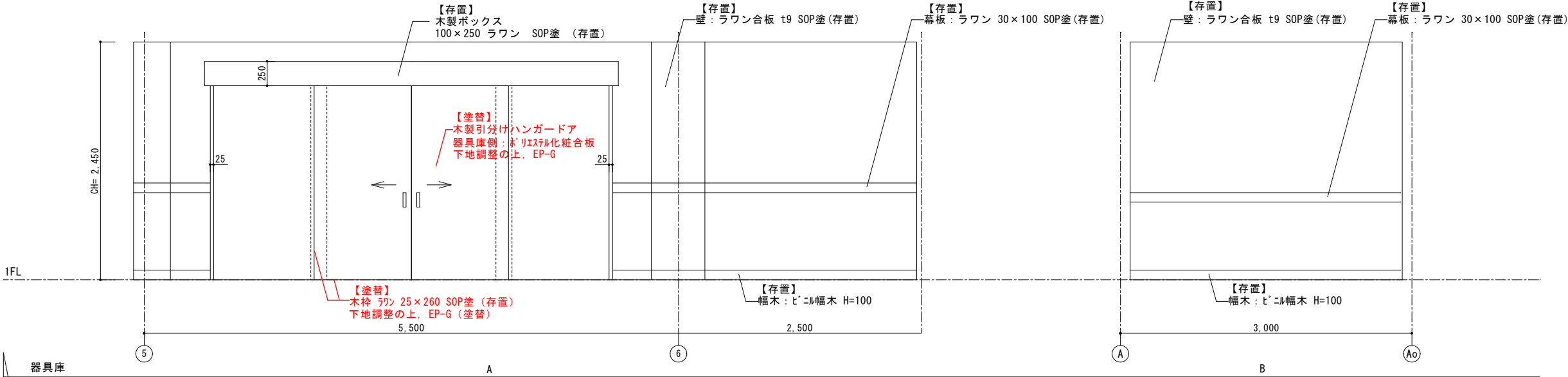


凡 例	
▲	: カッター入
★	: 7Sベスト含有(レベル3)

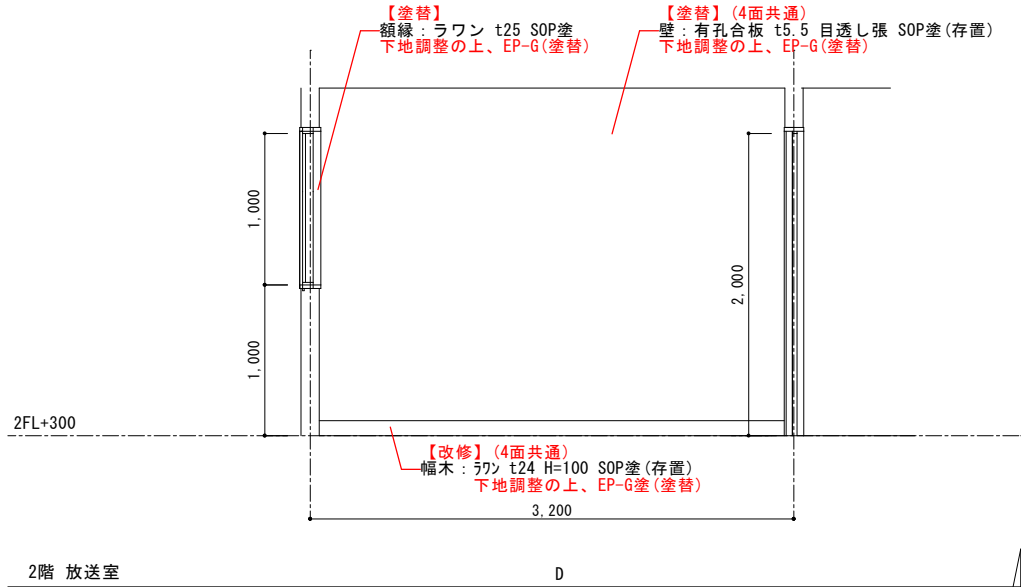
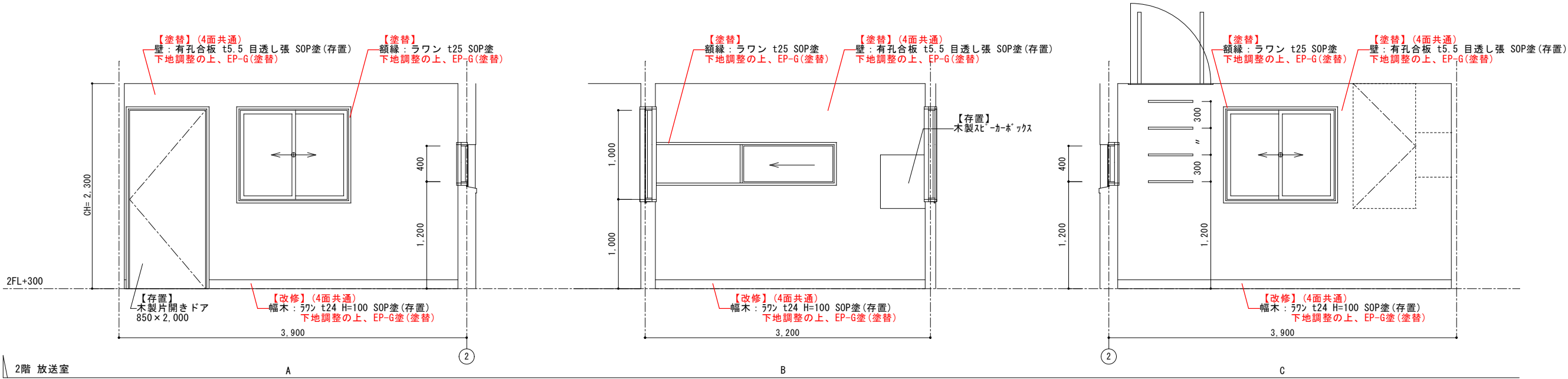
一般用具庫	
床	【存置】 ラワン合板 t 5.5+18 (存置) ビニル床シート t 2.5 (存置)
幅木	【存置】 ビニル幅木H=100 (存置)
壁	【存置】 ラワン合板 t9 SOP塗 (存置)
天井	【存置】 GB-D t9 (存置)
廻り縁	【存置】 塩ビ製 (存置)
備考	【存置】 幕板 ラワン 30×100 SOP塗 (存置)



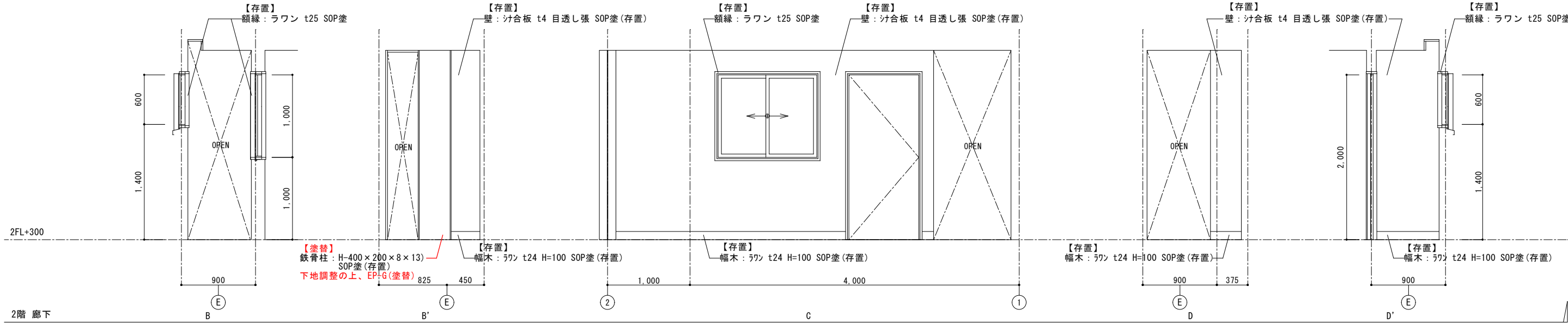
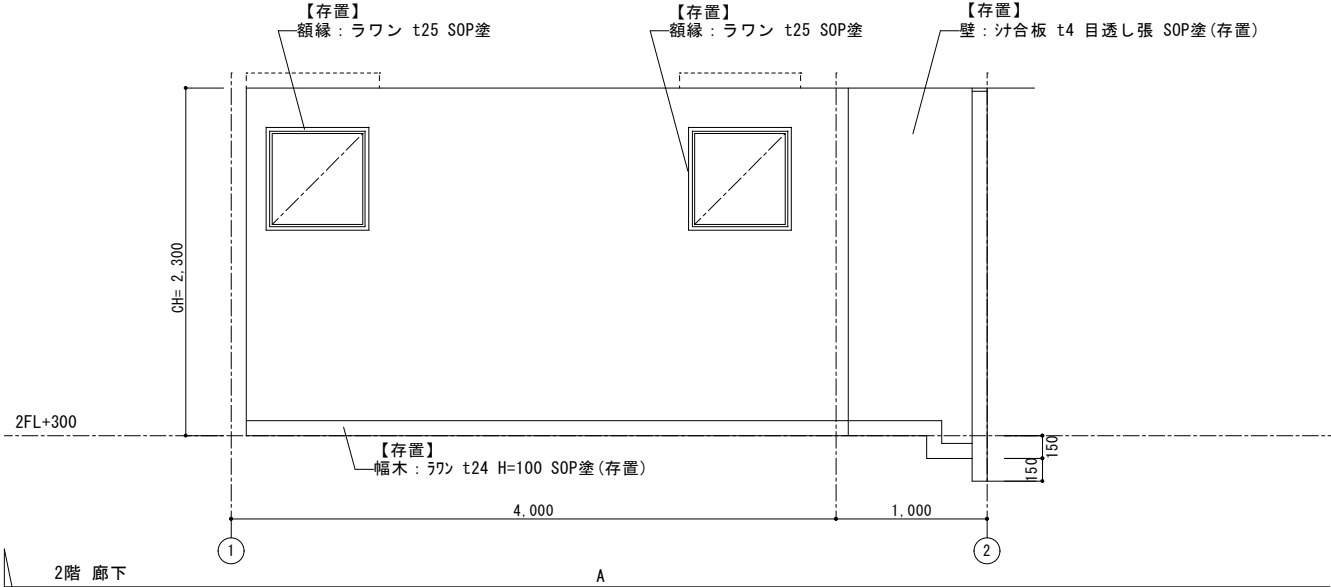
器具庫	
床	【存置】 ラワン合板 t 5.5+18 (存置) ビニル床シート t 2.5 (存置)
幅木	【存置】 ビニル幅木H=100 (存置)
壁	【存置】 ラワン合板 t9 SOP塗 (存置)
天井	【存置】 GB-D t9 (存置)
廻り縁	【存置】 塩ビ製 (存置)
備考	【存置】 幕板 ラワン 30×100 SOP塗 (存置)

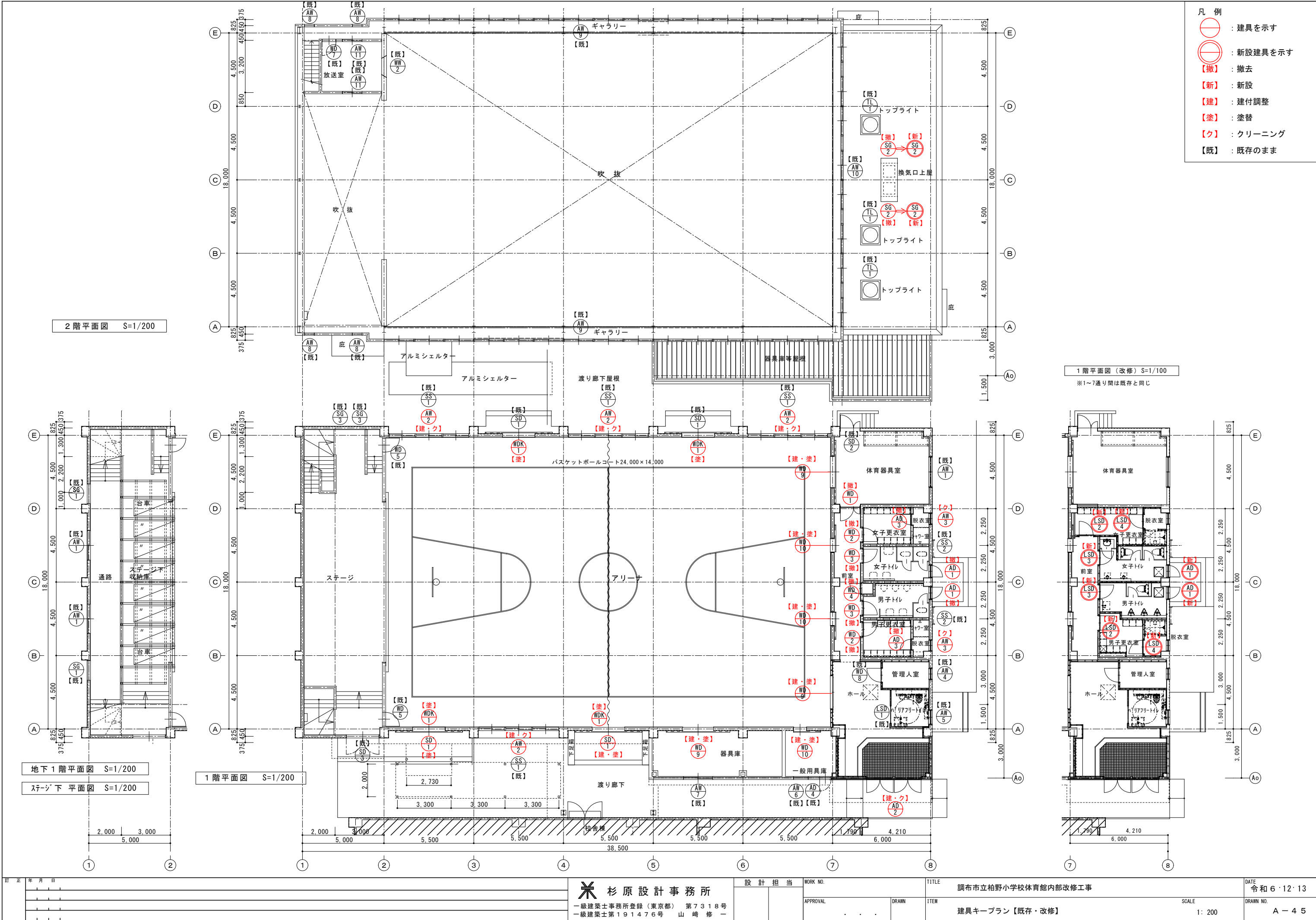


	2階 放送室
床	【改修】 タイルベアット t 6.5 (撤去) 下地調整の上 長尺塩ビシート t 2.0 (新設)
幅木	【改修】 ラワン t24 H=100 SOP (存置) 下地調整の上、EP-G (塗替)
壁	【塗替】 ロックウール30充填の上寒冷紗下地 有孔合板 t5.5 目透し張 SOP塗 (存置) 下地調整の上、EP-G (塗替)
天井	【改修】 GB-R t9.5 捨張 (撤去・新設) DR t9 (LGS下地共撤去・新設)
廻り縁	【改修】 塩ビ製 (撤去・新設)
備考	



	2階 廊下
床	【存置】 ビニル床シート t 2.5 (存置)
幅木	【存置】 ラワン t24 H=100 SOP (存置)
壁	【存置】 珪合板 t4 目透し張 SOP塗 (存置)
天井	【存置】 GB-D t9 (存置)
廻り縁	【存置】 塩ビ製 (存置)
備考	

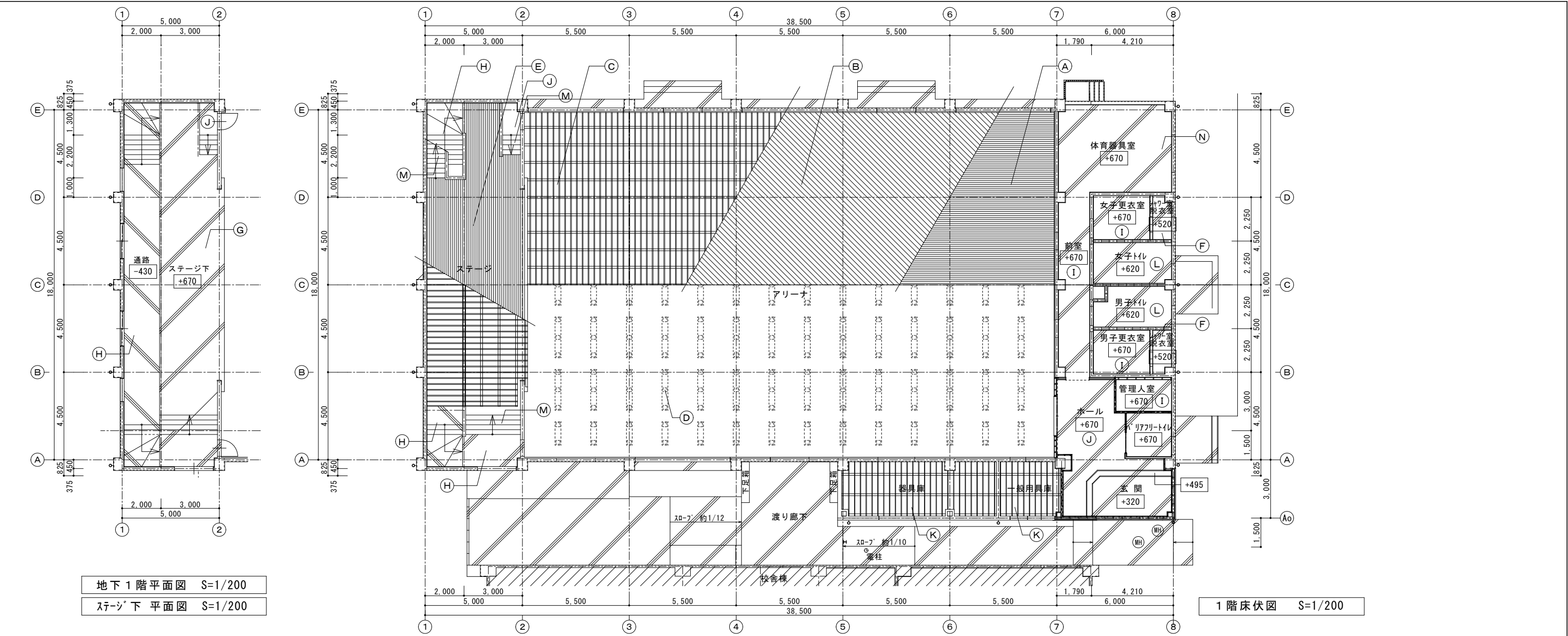




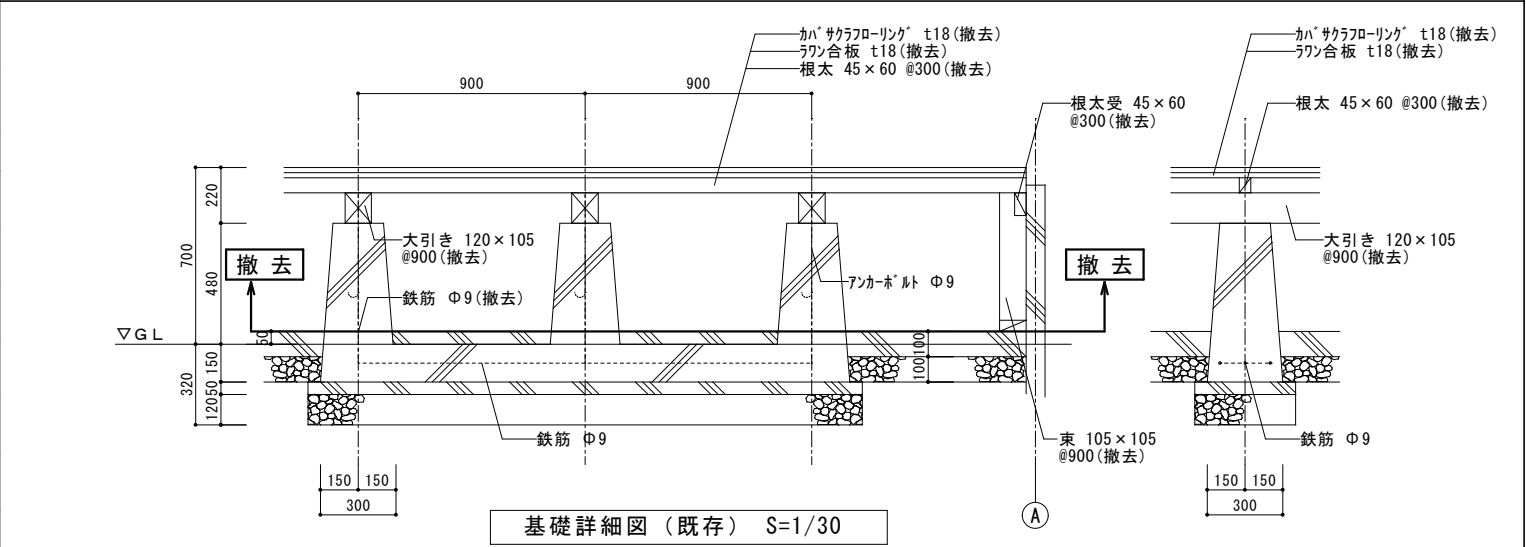
記号・形状	AW1 アルミ製引違窓		AW2 アルミ製3連引違窓		AW3 アルミ製欄間ガラリ・FIX窓		AW4 アルミ製2段滑出し窓		AW5 アルミ製滑出し窓、一部FIX窓		AW6 アルミ製2段滑出し窓									
改修内容	既存のまま		建付調整・クリーニング		クリーニング		既存のまま		既存のまま		既存のまま									
姿 図																				
寸法・数量	1800×600×見込703か所		4,880×300×見込704か所		600×1,260×見込702か所		600×1,260×見込701か所		800×800×見込701か所		900×1,070×見込701か所									
仕上	B-1		B-1		B-1		B-1		B-1		B-1									
ガラス	強化ガラス学校用[型板] t 4 ガラスフィルム張り		アルミパネル t 3.3		網入型板ガラス t 6.8		強化ガラス学校用[型板] t 4 ガラスフィルム張り		網入型板ガラス t 6.8		網入型板ガラス t 6.8									
金物	クレセント、戸車、水切		クレセント、戸車、水切		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式 水切、アングル他一式		ビスボットヒンジ、カムラッチ、水切 アングル、外部アルミ額縁他一式									
室名	B1F通路、1F体育器具室		1Fアリーナ		1F男女脱衣室		1F管理人室		1Fバリアフリートイレ		1F一般用具庫									
備考	額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗		額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗 下地調整の上、EP-G				額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗		額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗		額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗									
記号・形状	AW7 アルミ製引違い窓		AW9 アルミ製上段引違い連窓、下段FIX連窓																	
改修内容	既存のまま		既存のまま																	
姿 図																				
寸法・数量	1,800×1,070×見込701か所		27,500×2,500×見込702か所																	
仕上	B-1		B-1																	
ガラス	網入型板ガラス t 6.8		網入型板ガラス t 6.8、アルミパネル t5																	
金物	付属金物一式		クレセント、戸車、水切、付属金物一式																	
室名	1F器具庫		2Fギャラリー																	
備考	額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗		額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗																	
記号・形状	AW8 アルミ製滑出し窓		AW10 アルミ製上段引違い連窓、下段FIX連窓									AW11 アルミ製引違い窓								
改修内容	既存のまま		既存のまま									既存のまま								
姿 図																				
寸法・数量	600×600×見込704か所		18,000×1,500×見込701か所									1,200×1,000×見込702か所								
仕上	B-1		B-1									B-1								
ガラス	網入型板ガラス t 6.8		網入型板ガラス t 6.8、強化ガラス学校用[透明] t 5 ガラスフィルム張り									強化ガラス学校用[透明] t 4 ガラスフィルム張り								
金物	付属金物一式		クレセント、戸車、水切、付属金物一式									クレセント、戸車								
室名	2F廊下		2Fギャラリー									2F放送室								
備考	額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗		額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗									額縁：ﾌｫﾝ t25 S0P塗								

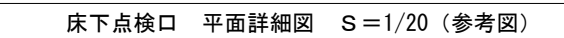
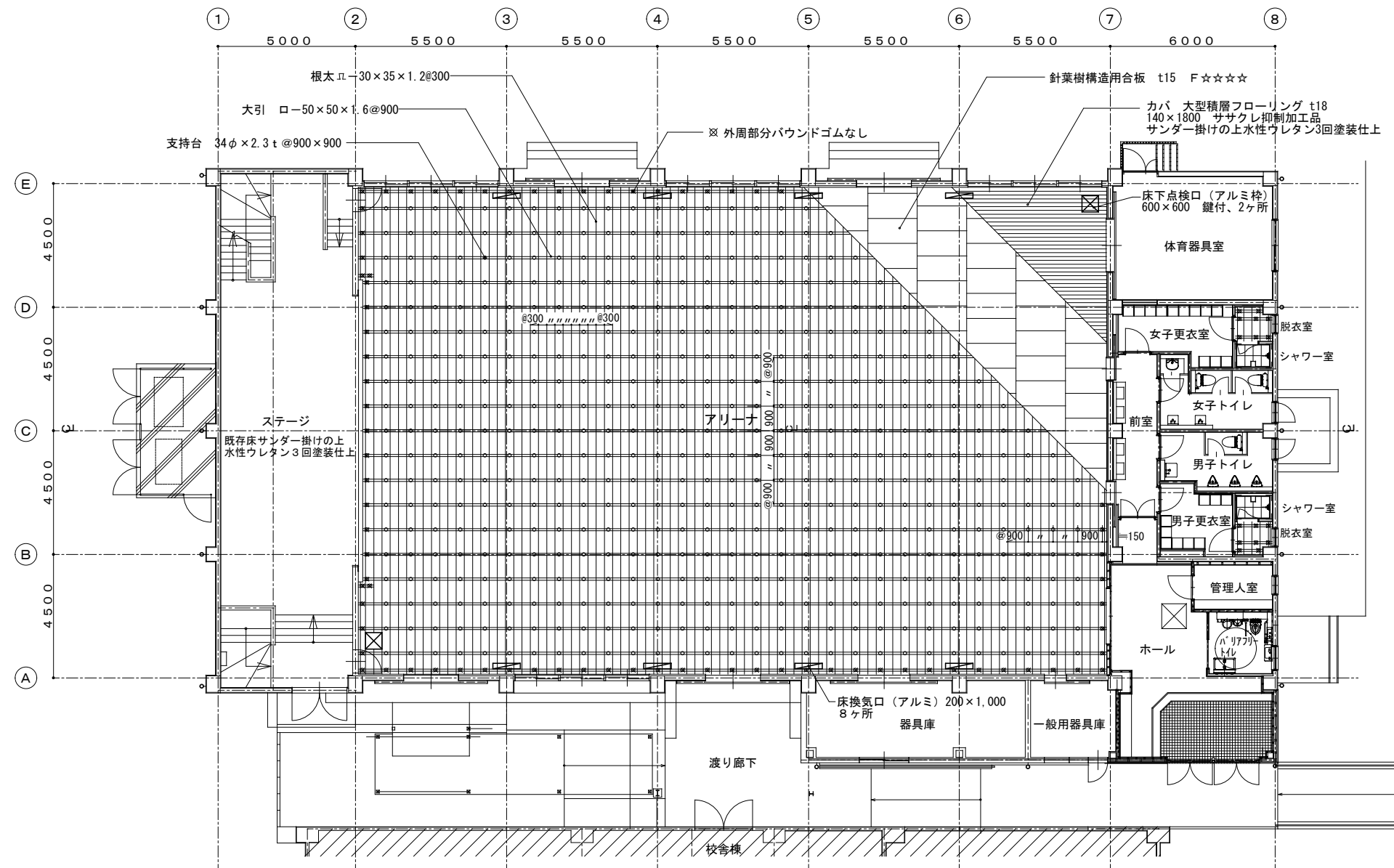
記号・形状	AD 1 アルミ製片開き框戸・欄間FIX窓	AD 1 アルミ製片開き框戸・欄間FIX窓	AD 2 アルミ製欄間FIX、2連両開き框戸	AD 3 アルミ製片開き框戸	AD 4 アルミ製片開き框戸		
改修内容	撤去	新設	建付調整・クリーニング	撤去	既存のまま		
姿 図							
寸法・数量	700×2,290×見込702か所	700×2,295×見込702か所	3,280×2,510×見込70（40）1か所	600×2,00×見込702か所	700×2,000×見込701か所		
仕上	B-1	B-1	B-1	B-1	B-1		
ガラス	強化ガラス学校用[型板] t 4	強化ガラス学校用[型板] t 4 飛散防止フィルム貼	網入磨板ガラス t 6.8	網入型板ガラス t 6.8	網入型板ガラス t 6.8		
金物	シリンダー本締錠、ヒートヒンジ、ドアチェック ドアストッパー	シリンダー本締錠、ヒートヒンジ、ドアチェック ドアストッパー、査摺	シリンダー本締錠、フロアヒンジ、ドアストッパー ドアチェック、フラス落し、押棒、査摺(SUS)	シリンダー本締錠、アングル、ドアチェック 下枠(SUS)	シリンダー本締錠、アングル、ドアチェック 下枠(SUS)		
室名	1F男女トイレ	1F男女トイレ	1F玄関	1F男女脱衣室	1F一般用具庫		
備考	額縁：ラワン t25 SOP塗	額縁：ヒキ t25×40（新設）					
記号・形状	SD 1 鋼製引分けハンガードア	SD 1 鋼製引分けハンガードア	SD 2 鋼製親子開きドア	SD 3 鋼製両子開きドア	SS 1 鋼製電動シャッター	SS 2 鋼製電動シャッター	
改修内容	既存のまま	塗替（2か所共）・建付調整（塗り廊下側のみ）	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
姿 図							
寸法・数量	2,000×2,035×ドア7402か所	2,000×2,035×ドア7402か所	1,200×2,000×ドア7401か所	2,000×2,000×ドア7401か所	4,880×1,0004か所	1,000×2,0002か所	
仕上	DP	下地調整の上、外部側 DP塗、内部側 EP-G塗（枠共）	DP	DP	DP	DP	
ガラス	—	—	—	—	—	—	
金物	ハンガーレール、ハンガー受、カバー付、シリンダー錠	ハンガーレール、ハンガー受、カバー付、シリンダー錠	シリンダー錠、ドアチェック、ドアストッパー 上げ落し、丁番	シリンダー錠、ドアチェック、ドアストッパー 上げ落し、丁番	シャッターケース、座板、駆動装置他一式 ガイドレール（SUS）	シャッターケース、座板、駆動装置他一式 ガイドレール（SUS）	
室名	1Fアリーナ（北側）	1Fアリーナ（南側）	1F体育器具室	1Fステージ	1Fアリーナ	東面	
備考							
記号・形状	SG 1 鋼製ガラリ	SG 2 鋼製ガラリ	SG 2 アルミパネル	SG 3 鋼製ガラリ		TL 1 アクリドームトップライト	
改修内容	既存のまま	撤去	新設	既存のまま		既存のまま	
姿 図							
寸法・数量	1,200×600×見込1002か所	600×300×見込1002か所	600×300×見込1002か所	600×500×見込1002か所		900×9003か所	
仕上	DP	DP	DP	DP		B-1	
ガラス	—	—	—	—		網入型板ガラス t 6.8	
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		付属金物一式	
室名	B1F通路	換気口上屋（男女トイレ上部）	換気口上屋（男女トイレ上部）	1Fステージ下		屋上	
備考		ガラリ部分 撤去	単板アルミパネル t3 新設				

記号・形状	WD1木製親子開きドア ガラリ付	WD2木製片開きドア 額入・ガラリ付	WD3木製片開きドア 額入・ガラリ付	WD4木製片開きドア 空気孔付	WD5木製片開きドア	WD6木製片開きドア
改修内容	撤去	撤去	撤去	撤去	既存のまま	既存のまま
姿 図						
寸法・数量	1,200×2,000×ﾄﾞﾌ7401か所	800×2,000×ﾄﾞﾌ7402か所	800×2,000×ﾄﾞﾌ7402か所	600×2,000×ﾄﾞﾌ7401か所	850×2,000×ﾄﾞﾌ7402か所	850×2,000×ﾄﾞﾌ7401か所
仕上	ポリエステル化粧合板	ポリエステル化粧合板	ポリエステル化粧合板	ポリエステル化粧合板	アリーナ側：天然木合板横張t8.3 ステージ側：ポリエステル化粧合板t4	ポリエステル化粧合板t4
ガラス	－	強化ガラス学校用〔型板〕t4	強化ガラス学校用〔型板〕t4	－	－	－
金物	モ/ロックシリンダﾞｰ錠、ﾄﾞﾌﾞｽﾄｯﾊﾟｰ ﾌﾗﾝｽ落し、丁番、他一式	モ/ロックシリンダﾞｰ錠、ﾄﾞﾌﾞｽﾄｯﾊﾟｰ ﾌﾗﾝｽ落し、丁番、他一式	丁番、ﾄﾞﾌﾞﾁｬｯｸ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、 押し板、ﾌﾞﾗｼﾞﾙ棒	丁番、空錠 塩ビ製空気孔6か所	丁番、引手型空錠 戸当り	丁番、モ/ロックシリンダﾞｰ錠 ﾄﾞﾌﾞﾁｬｯｸ 他一式
室名	1F体育器具室	1F男女更衣室	1F男女トイレ	1F前室	1F控室	2F放送室
備考	木枠共撤去	木枠共撤去	木枠共撤去	木枠共撤去		
記号・形状	MD8木製片開きドア 額入	MD9木製引分けハンガードア	MD10木製片引きハンガードア	MDK木製格子引分けドア		
改修内容	既存のまま	建付調整・塗替	建付調整・塗替	塗替		
姿 図						
寸法・数量	850×2,000×ﾄﾞﾌ7401か所	2,000×2,000×ﾄﾞﾌ7403か所	850×2,000×ﾄﾞﾌ7403か所	2,000×2,000×ﾄﾞﾌ7404か所		
仕上	ポリエステル化粧合板t4		1F前室側・1F一般用具庫側：ポリエステル化粧合板t4 下地調整の上、EP-G (塗替) 1Fアリーナ側：天然木合板横張t8.3 下地調整の上、CL (塗替) 戸框部分：下地調整の上、EP-G (塗替)	ラワン、SOP塗 下地調整の上、EP-G (塗替)		
ガラス	学校用強化ガラス〔透明〕t4	－	－	－		
金物	丁番、モ/ロックシリンダﾞｰ錠、 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、ｽﾄｯﾊﾟｰ、他一式	ハンｶﾞｰﾚｰﾙ、ハンｶﾞｰ受、ｶﾊﾞｰ付、ｽﾄｯﾊﾟｰ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ (SUS)、船底引手、他一式	ハンｶﾞｰﾚｰﾙ、ハンｶﾞｰ受、ｶﾊﾞｰ付、ｽﾄｯﾊﾟｰ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ (SUS)、船底引手、他一式	木製BOX：ラワン D=100,H=250 SOP塗 (存置) 下地調整の上、EP-G (塗替)		
室名	1F管理人室	1Fｷｰﾙ・1F器具庫・1F体育器具室	1F前室 (2か所) ・1F一般用具庫	アリーナ		
備考		木枠：ラワン 25×260 SOP塗 下地調整の上、EP-G (塗替) 木製BOX：ラワン D=100,H=250 SOP塗 (存置)	木枠：ラワン 25×260 SOP塗 下地調整の上、EP-G (塗替) 木製BOX：ラワン D=100,H=250 SOP塗 (存置)	木製BOX：ﾗｳﾝ 25×260 SOP塗 下地調整の上、EP-G (塗替)		
記号・形状	LSD1軽量鋼製引き戸 (自動閉鎖機構付きハンガードア)	LSD2軽量鋼製片開きドア 額入・ガラリ付	LSD3軽量鋼製片開きドア 額入・ガラリ付	LSD4軽量鋼製片開きドア 額入・ガラリ付	MW2木製片引きガラス戸	
改修内容	既存のまま	新設	新設	新設	既存のまま	
姿 図						
寸法・数量	2,000×2,000×ﾄﾞﾌ7401か所	850×2,000 見込402か所	800×2,000 見込402か所	800×2,000 見込402か所	1,000×4001か所	
仕上	焼付塗装	スチール焼付塗装	スチール焼付塗装	スチール焼付塗装	SOP塗	
ガラス	型板ガラス t4	強化ガラス学校用〔型板〕t4 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼	強化ガラス学校用〔型板〕t4 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼	強化ガラス学校用〔型板〕t4 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼	学校用強化ガラス〔透明〕t4 ガラスﾌｨﾙﾑ張	
金物	ハンｶﾞｰﾄﾞﾌﾞ金物一式、沓摺 (SUS)、引手 ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠 (表示付)、大型ﾂﾏﾅｰﾝ	押し板/引き棒・ドアクローザー・丁番・ガラリ ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、他附属金物一式	押し板/引き棒・ドアクローザー・丁番・ガラリ ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、他附属金物一式	押し板/引き棒・ドアクローザー・丁番・ガラリ ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠、他附属金物一式	付属金物一式	
室名	バリアフリートイレ	1F男女更衣室	1F男女トイレ	1F男女脱衣室	2F放送室	
備考			開閉角度を90度までに調整する			

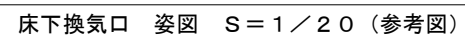
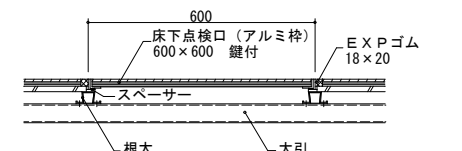
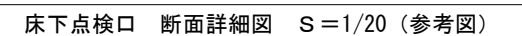
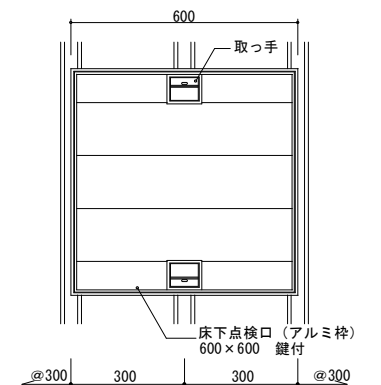


記 号	改 修 範 囲	既 存	改 修
A	アリーナ床全面	カバサクラフローリング t18 (撤去)	カバ大型積層フローリング t18 (新設) サンダー掛の上、水性ウレタン3回塗装 (新設)
B	アリーナ床全面	ラワン合板貼 t18 (撤去)	構造用合板 t15 (新設)
C	アリーナ床全面	大引き：120×105 @900 (撤去) 束：105×105 @900 (撤去) 根 太：45×60 @300 (撤去) 根太受：45×60 (撤去)	モルタル下地調整の上、 鋼製床組下地 (新設)
D	アリーナ床全面	基礎 (撤去) 基礎詳細図参照	-
E	ステージ床	木下地 (存置) ラワン合板貼 t18 (存置) カバサクラフローリング t18 合成樹脂塗料 (存置)	サンダー掛の上、隙間エポキシ樹脂系パテ充填 水性ウレタン3回塗装 (塗替)
F	男女シャワー室 男女脱衣室	コンクリートスラブ t120 (撤去) シンダーコンクリート t100 (撤去) 25角磁器質モザイクタイル (撤去)	コンクリートスラブ t120 (新設) 脱衣室のみ：長尺塩ビシート t2.0 防滑仕様 (新設) 構造用合板 t12+t15 (新設)、鋼製床組下地(新設)
G	ステージ下床	モルタル金ゴテ (存置)	クリーニング
H	通 路 床	防水モルタル金ゴテ (存置) 弾性ウレタン t2 (存置)	既存のまま
I	諸 室	モルタル金ゴテ (存置) ビニル床シート t2.5 (存置)	下地調整の上、 長尺塩ビシート t2.0 (新設)
J	ホ ー ル	モルタル金ゴテ (存置) ビニル床シート t2.0 (存置)	既存のまま
K	器 具 庫 一般用具庫	ラワン合板 t5.5+18 (存置) 長尺塩ビシート t2.5 (存置)	既存のまま
L	男女トイレ	モルタル下地 (存置) 25角磁器質施釉モザイクタイル (存置)	シンダーコンクリート t50 (新設) 長尺塩ビシート t2.0 特殊防滑 (新設)
M	ステージ階段	踏面：ラワン t30, 蹴上：ラワン t18 (存置)	既存のまま
N	体育器具室	モルタル金ゴテ (存置) ビニル床シート t2.5 (撤去)	既存のまま

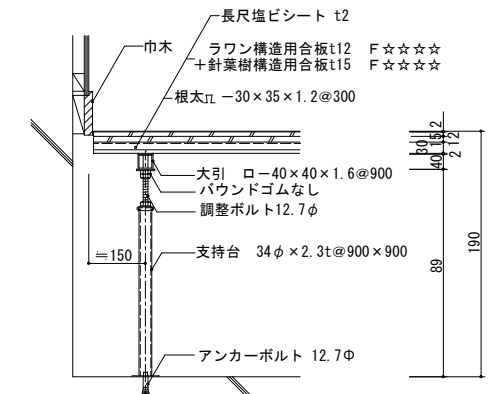
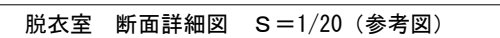
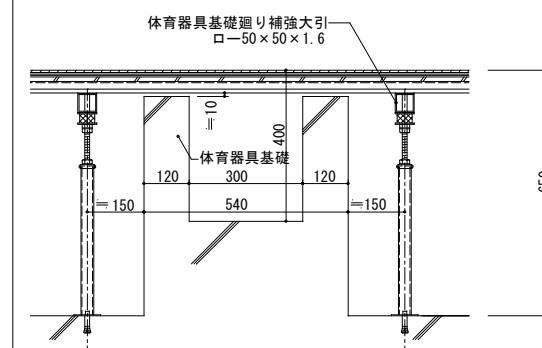
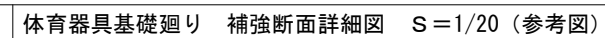
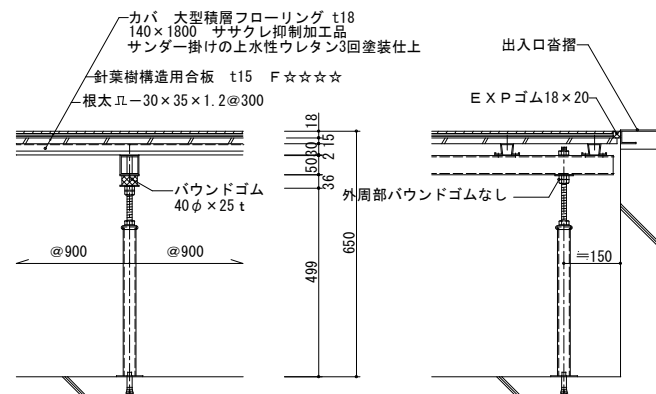
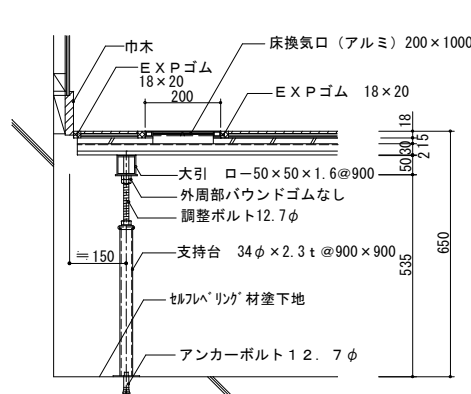
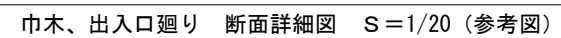
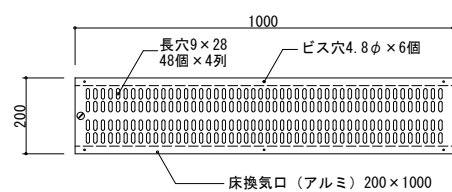


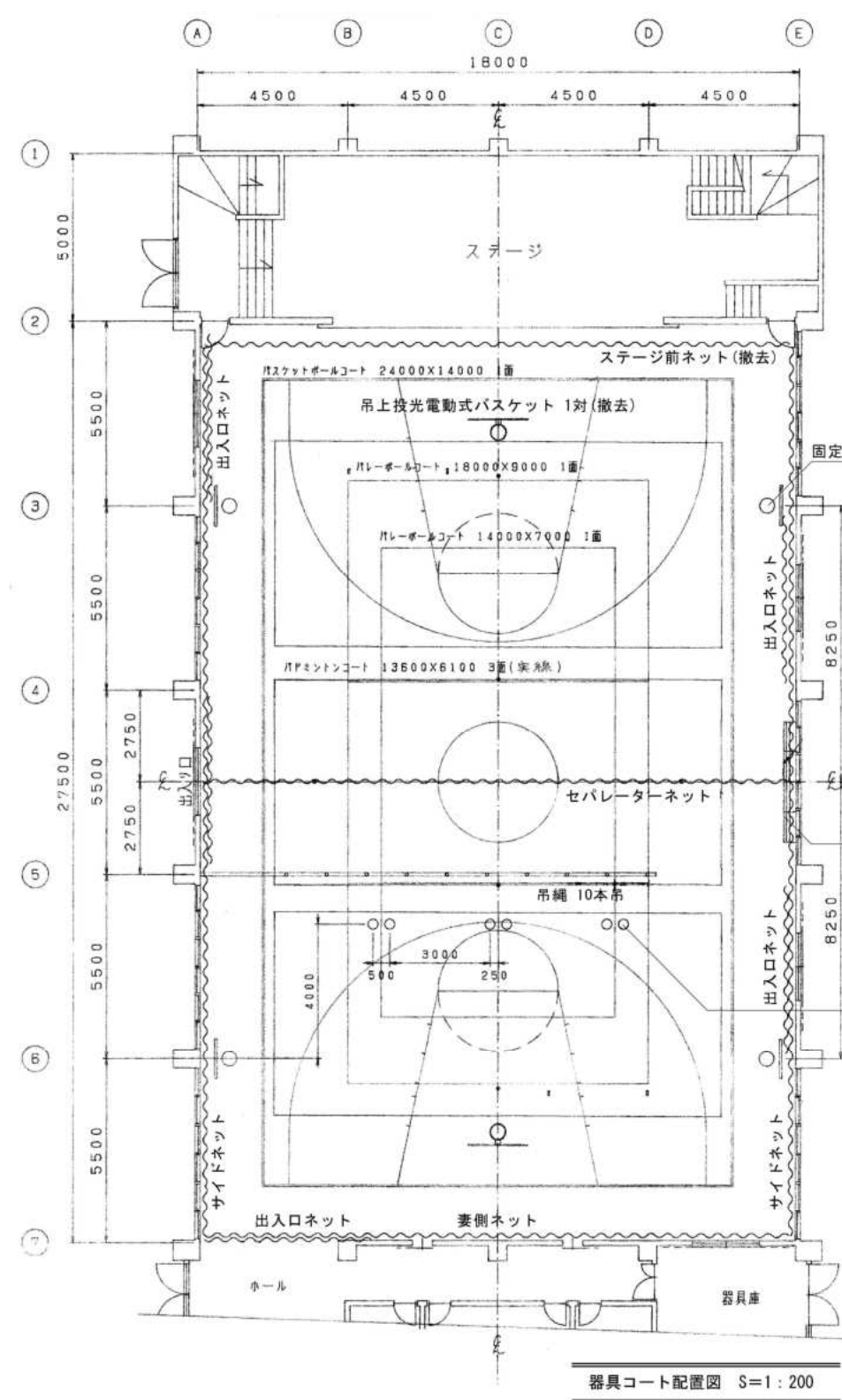


2 箇所



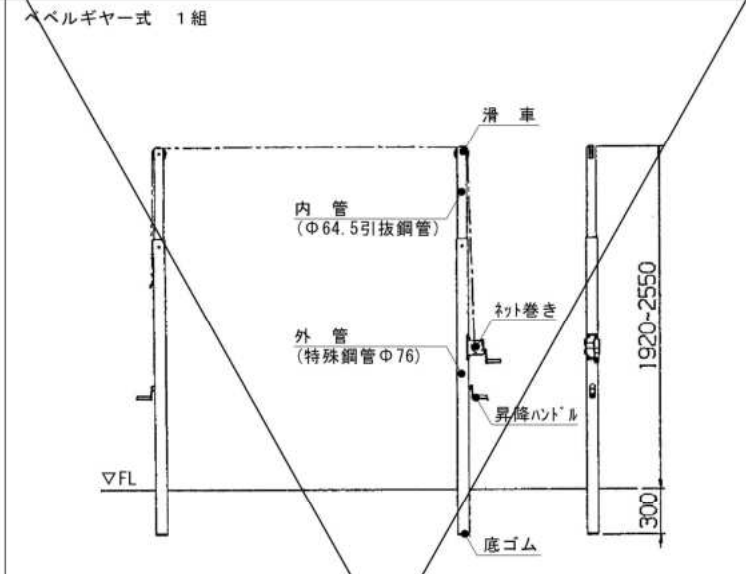
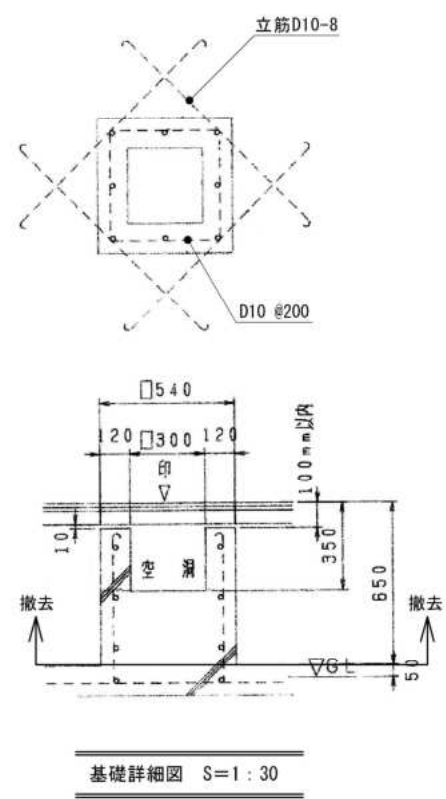
8 箇所



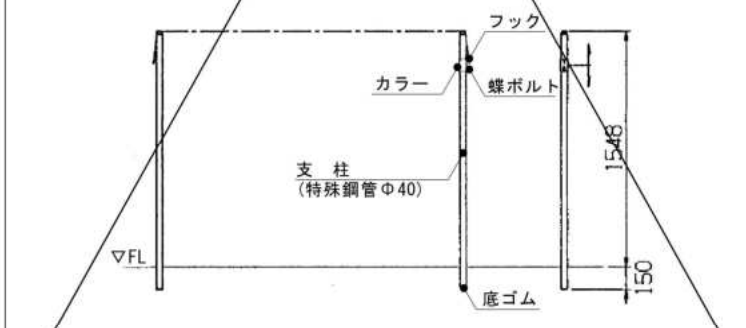


(撤去)

基礎内訳表			
A	バレーボール用基礎	2個	
B	バドミントン用基礎	2個	
C	"	4個	
合	計	8個	



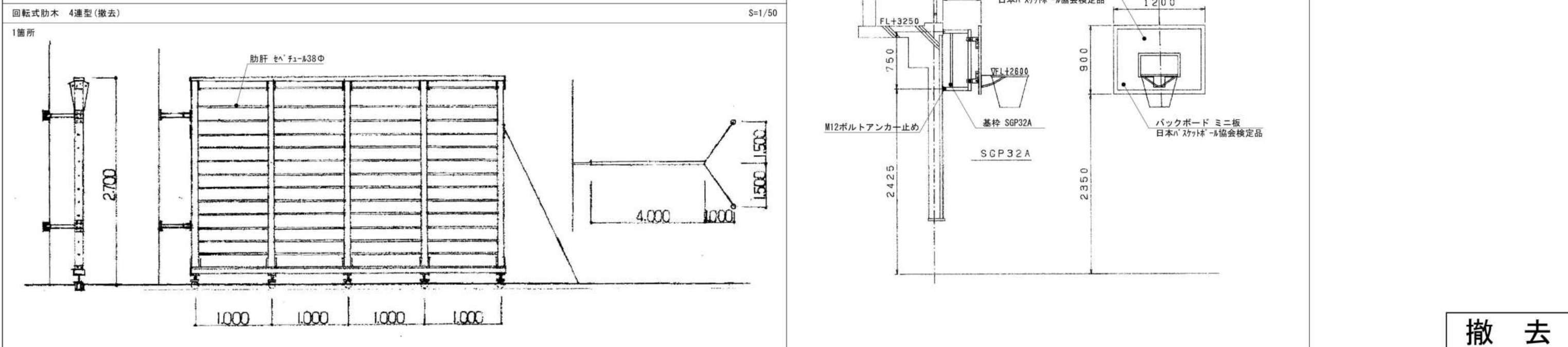
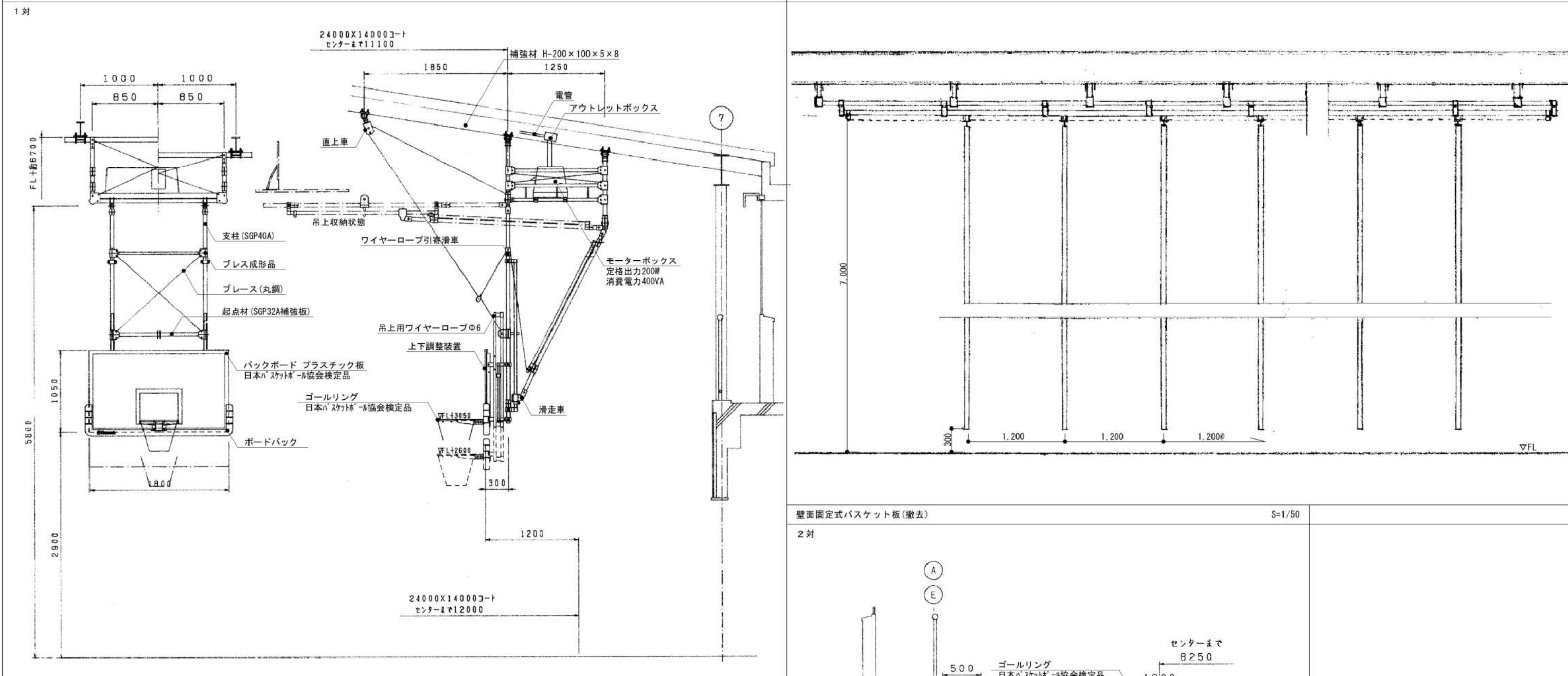
バドミントン用支柱差込式 (撤去) S=1/30
日本バドミントン協会検定品 3組

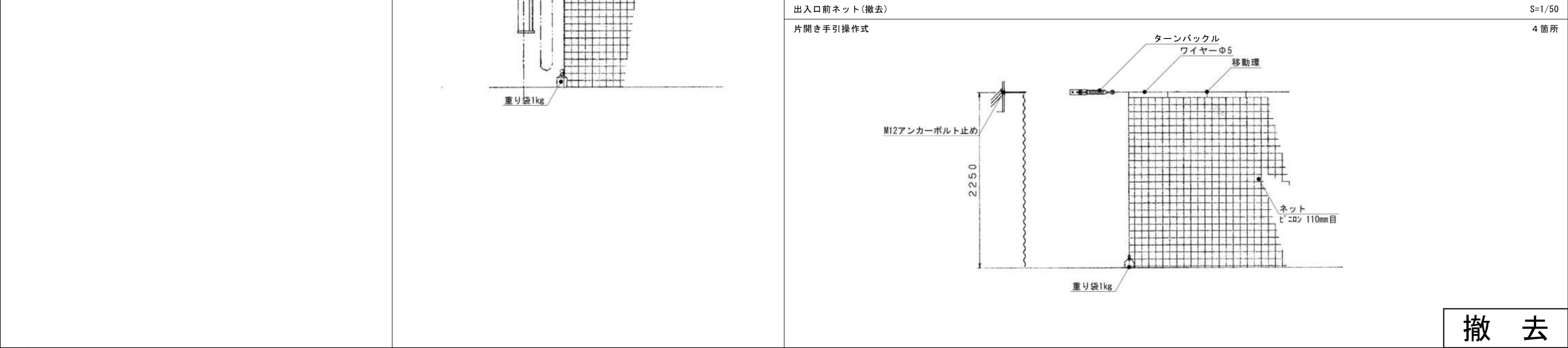
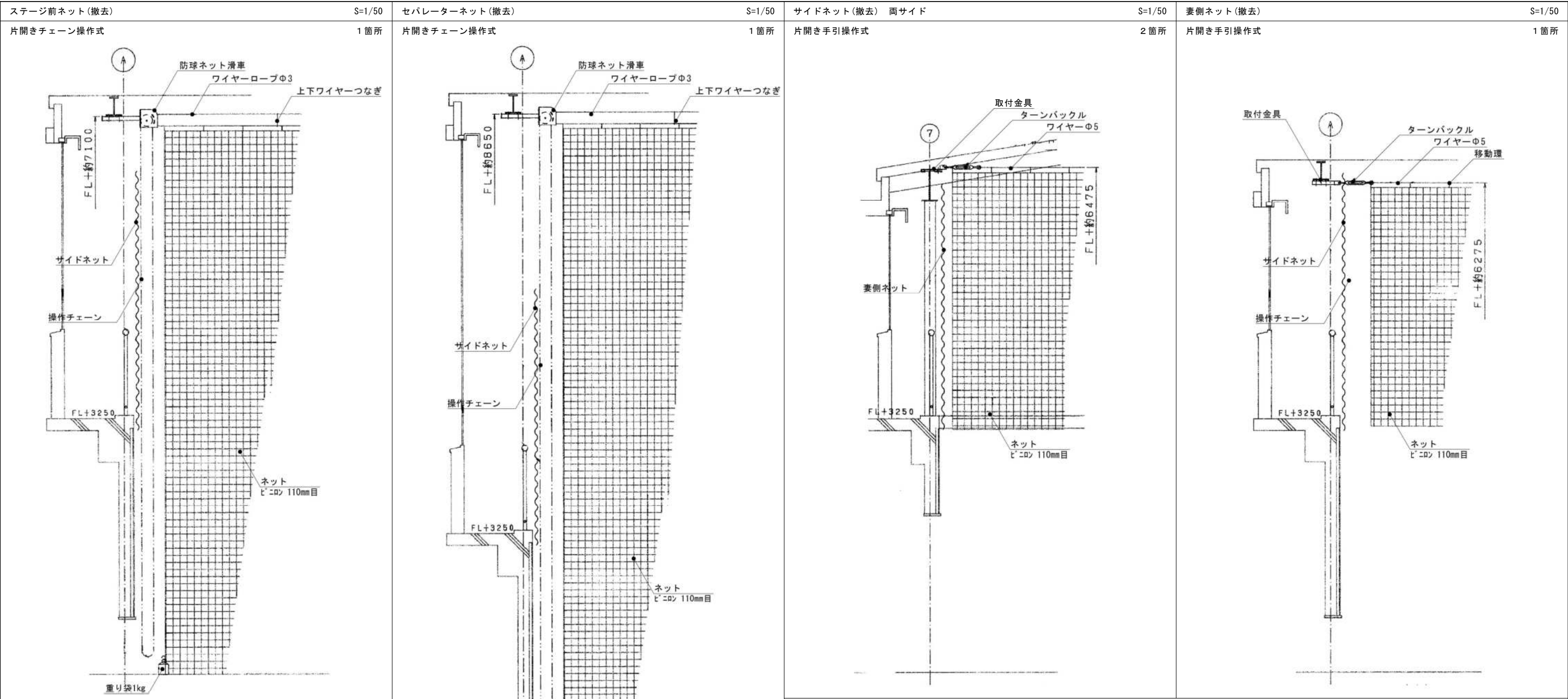


(撤去)

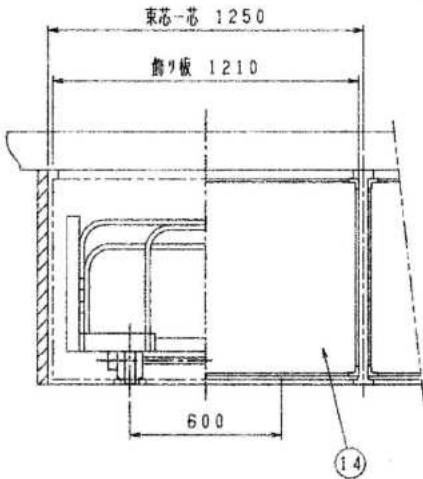
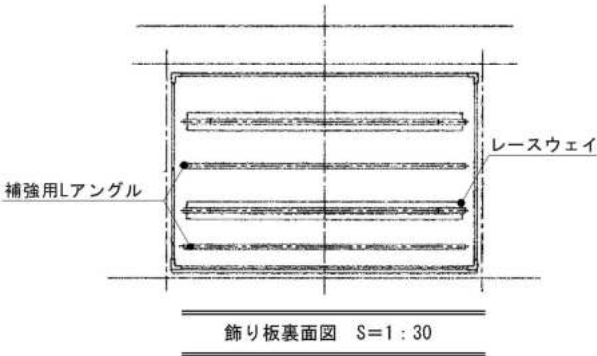
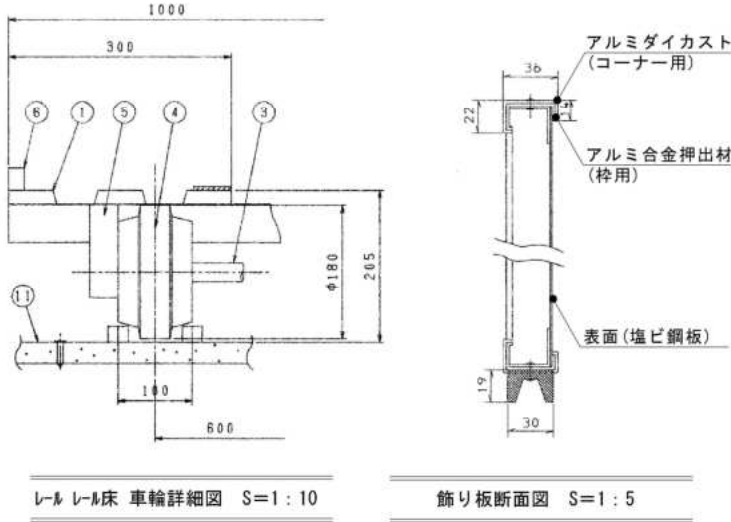
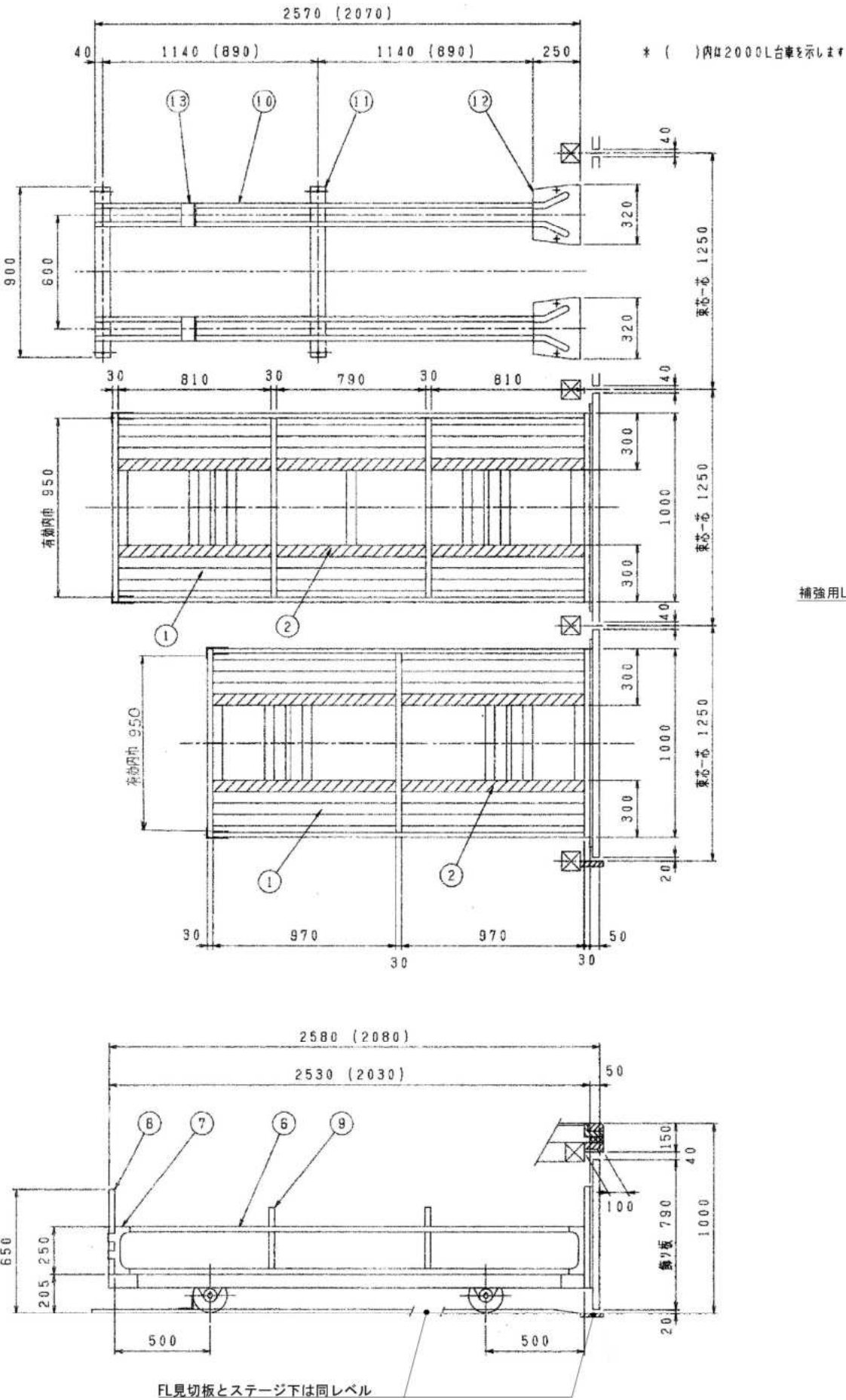
コートライン内訳表					
記号	種別	寸法	面数	備考	
1	バスケットボールコート	24000X14000	1面	実線 ライン幅50mm	
2	バレーボールコート	18000X 9000	1面	実線 ライン幅50mm	
3	バレーボールコート	14000X 7000	1面	実線 ライン幅50mm	
4	バドミントンコート	13400X 6100	3面	実線 ライン幅40mm	

バレーボール用床金具 (撤去) S=1/10 床金具AS型Φ76用 2箇所	バドミントン用床金具 (撤去) S=1/10 床金具AS型Φ40用 8箇所	跳び箱用すべり止め金具 (撤去) S=1/5 2箇所1組 計3組
---	---	--



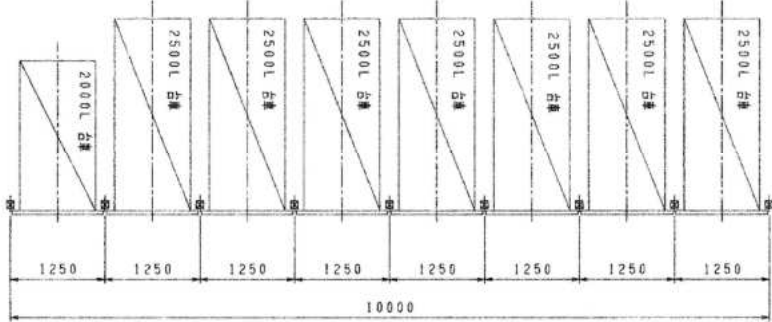


撤去



主 構 成 部 品			
N0	品 名	材 料 ・ 加 工	表面処理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t0.9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り止 め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 軸	機械構造用炭素鋼鋼管 φ25.4 × t2.8	焼付塗装
4	車 輪	本体を冷延鋼板 t2.0 にて絞り加工し、その外周に合成ゴムをモールドした、一体型車輪、軸受部はベアリング嵌合	
5	軸 受	熱延鋼板 t4.5 を曲げ加工	焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t0.8	亜鉛メッキ
7	ジョイントコネクター	熱延鋼板 t2.0 を曲げ加工	焼付塗装
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t0.8	亜鉛メッキ
9	椅子倒れ止 め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t0.8	亜鉛メッキ
10	レール	亜鉛メッキ鋼板 t1.6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t1.6 をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t1.6 を絞り加工	焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t6.0 を曲げ加工	焼付塗装
14	飾り板	塩ビ鋼板 t1.2 を曲げ加工し、合成ゴム製安全パットにてトリム保護	

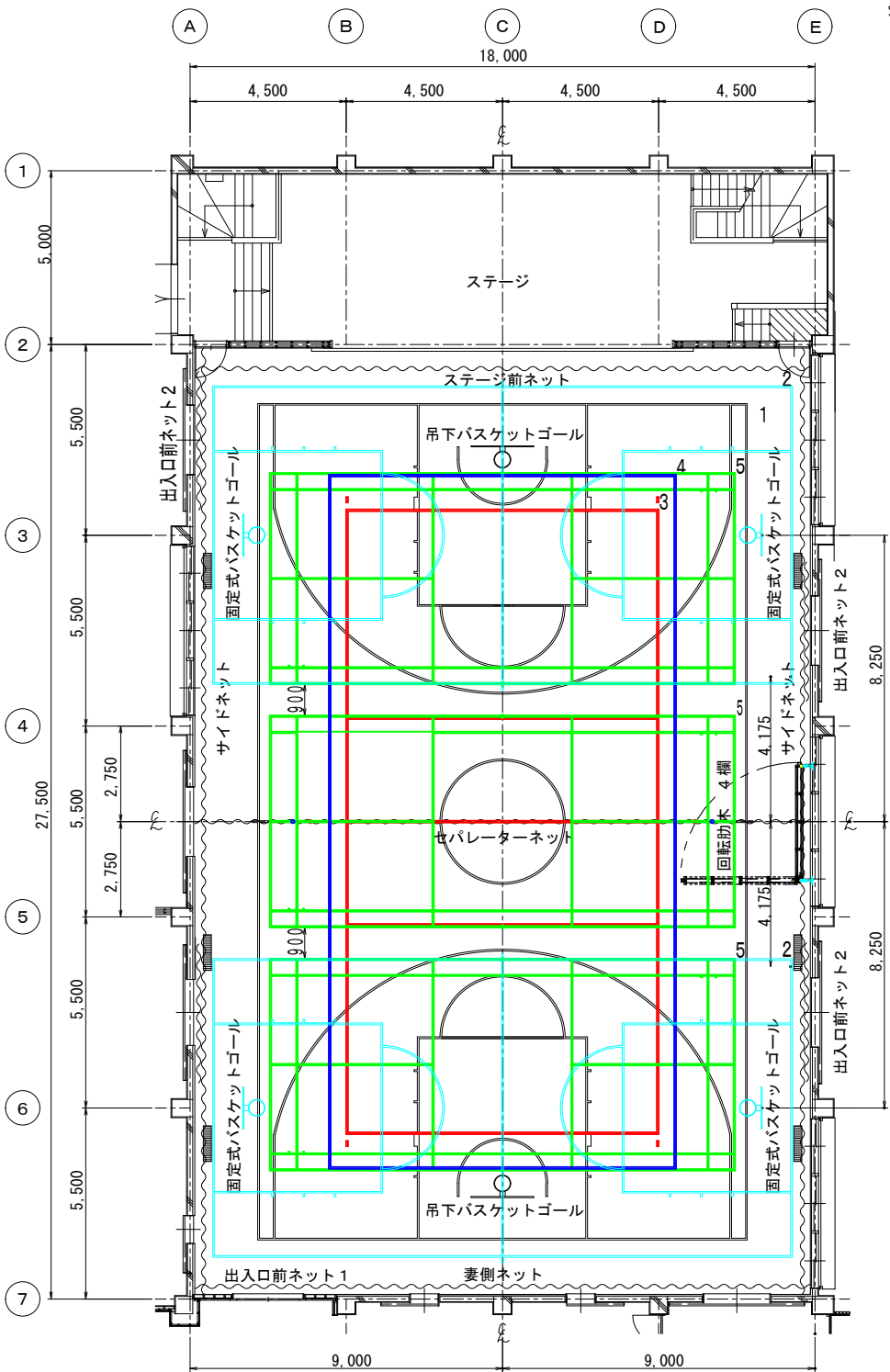
- 備 考
- 1 製作数 1列 1輛 (フジトラックFT-1-2000L)
 - 2 製作数 7列 7輛 (フジトラックFT-1-2500L)
 - 3 レールの製作及び取付工事はこの設備に含みます
 - 4 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含みます
 - 5 レール下地 (モルタル) はこの設備より除外とします



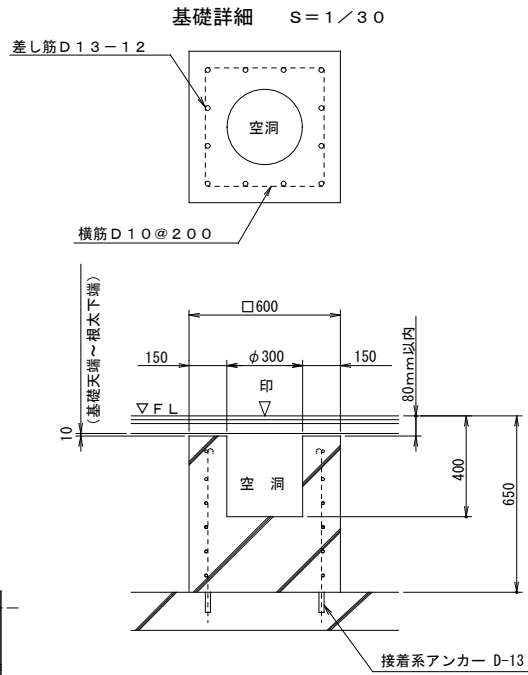
台車収納時平面配置図 S=1:100

撤 去

コートライン内訳表					
記号	種 別	寸 法	面数	備 考	ライン色
1	メインバスケットボールコート	24,000×14,000	1面	実線 ライン幅 50mm	・
2	サブバスケットボールコート	16,600× 8,500	2面	実線 ライン幅 50mm	・
3	バレーボールコート（6人制）	18,000× 9,000	1面	実線 ライン幅 50mm	・
4	バレーボールコート（9人制）	20,000×10,000	1面	実線 ライン幅 50mm	・
5	バドミントンコート	13,400× 6,100	3面	実線 ライン幅 40mm	・

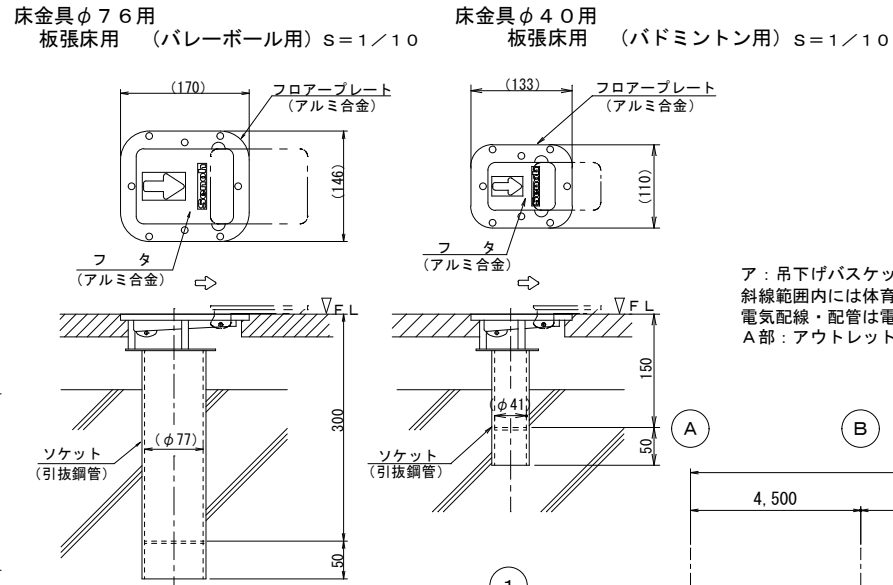


コート・器具配置図 S=1/200

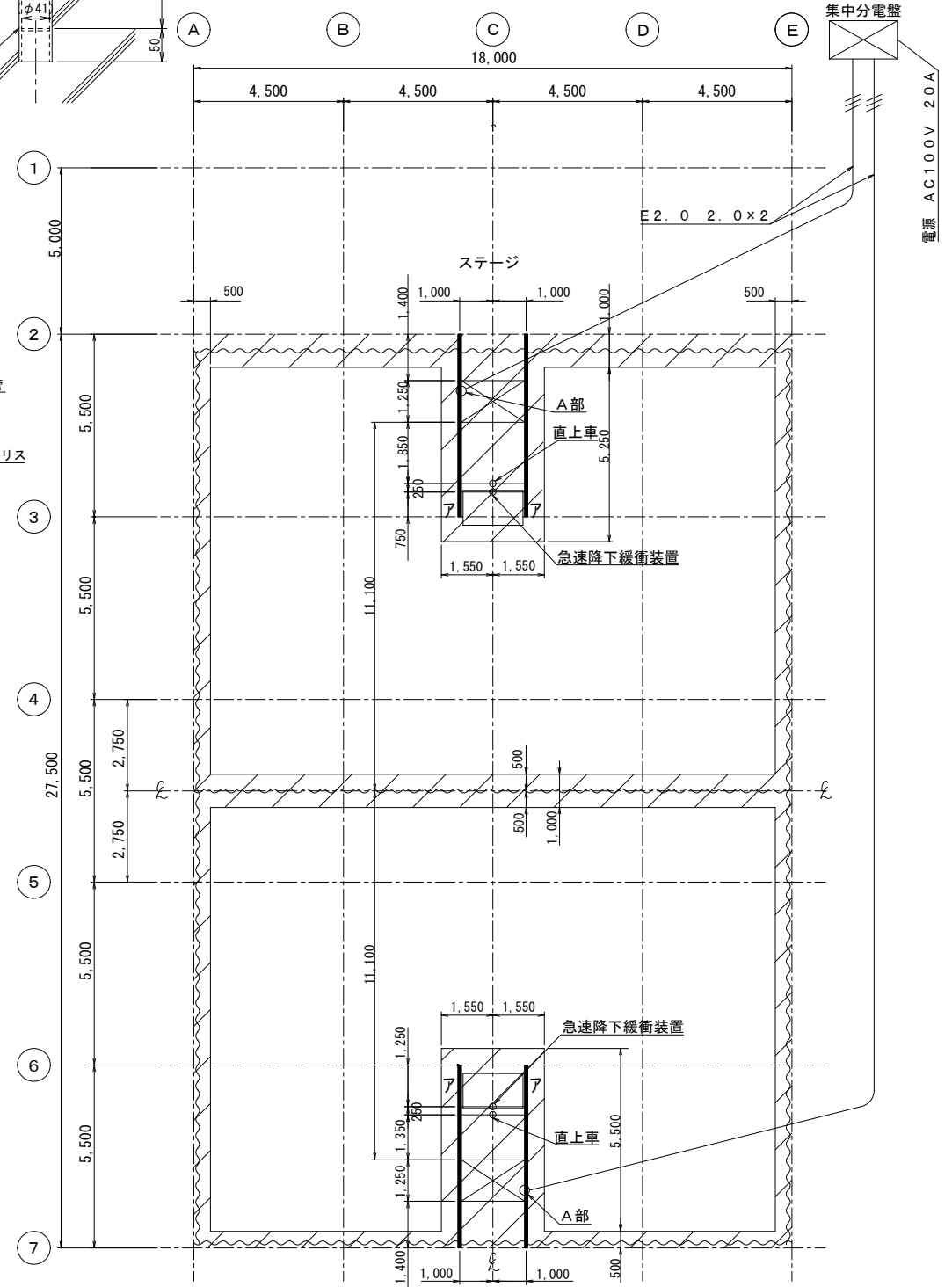
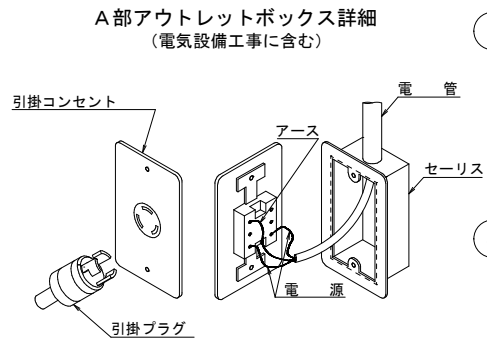


基礎内訳表		
A	バレーボール(6人制)用基礎	2個
B	バレーボール(9人制)用基礎	2個
C	バドミントン用基礎	6個
D	回転肋木用基礎	2個
合 計		12個

基礎配置図 S=1/200

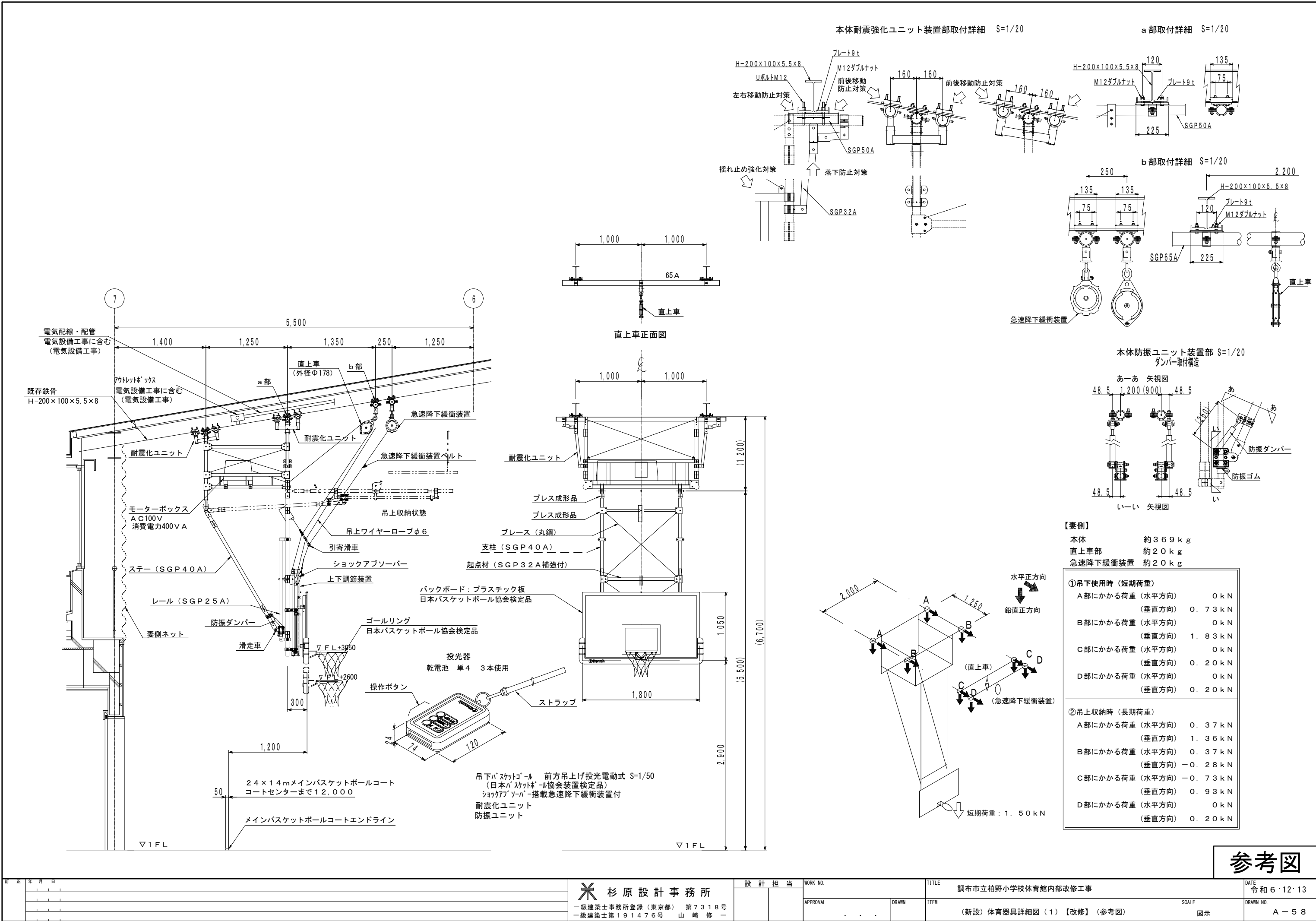


ア：吊下げバスケットゴール用 H-200×100×5.5×8（既存） 4か所
斜線範囲内には体育器具と干渉する恐れがあるので照明器具等の取付に留意すること
電気配線・配管は電気工事に含む（電気設備工事）
A部：アウトレットボックス 2か所 電気工事に含む（電気設備工事）

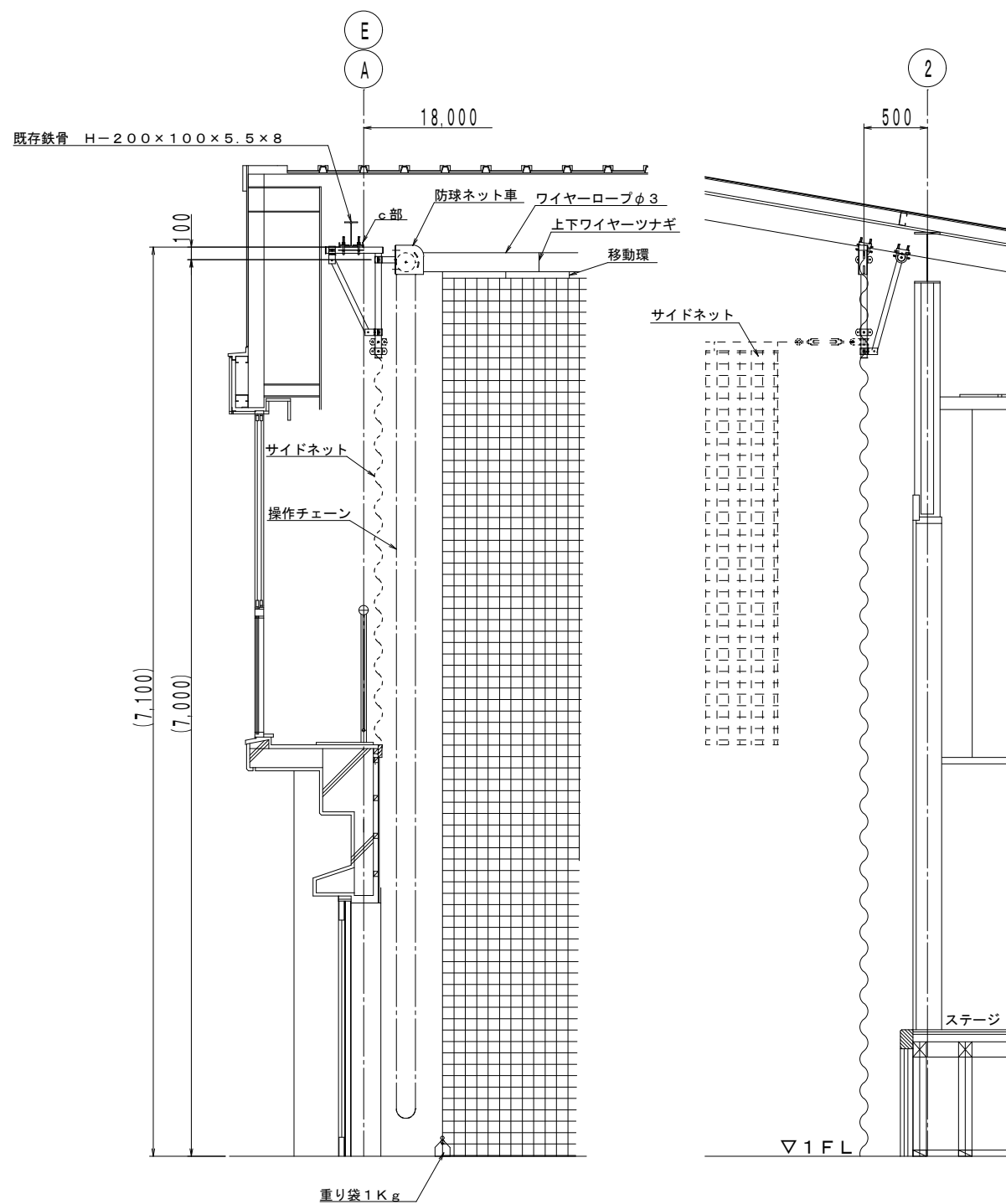
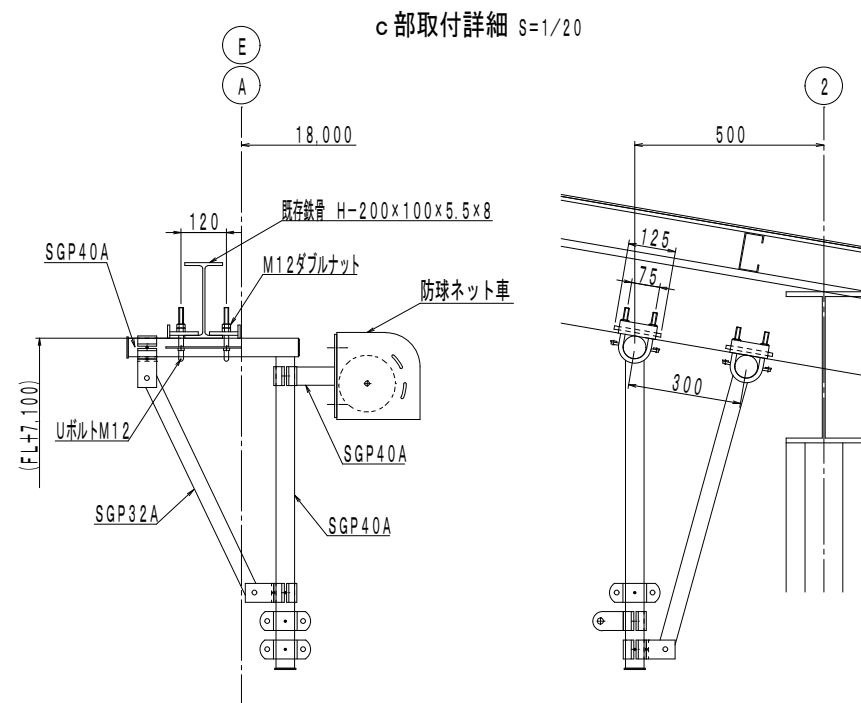


取付用受材・電気配線図 S=1/200

参考図



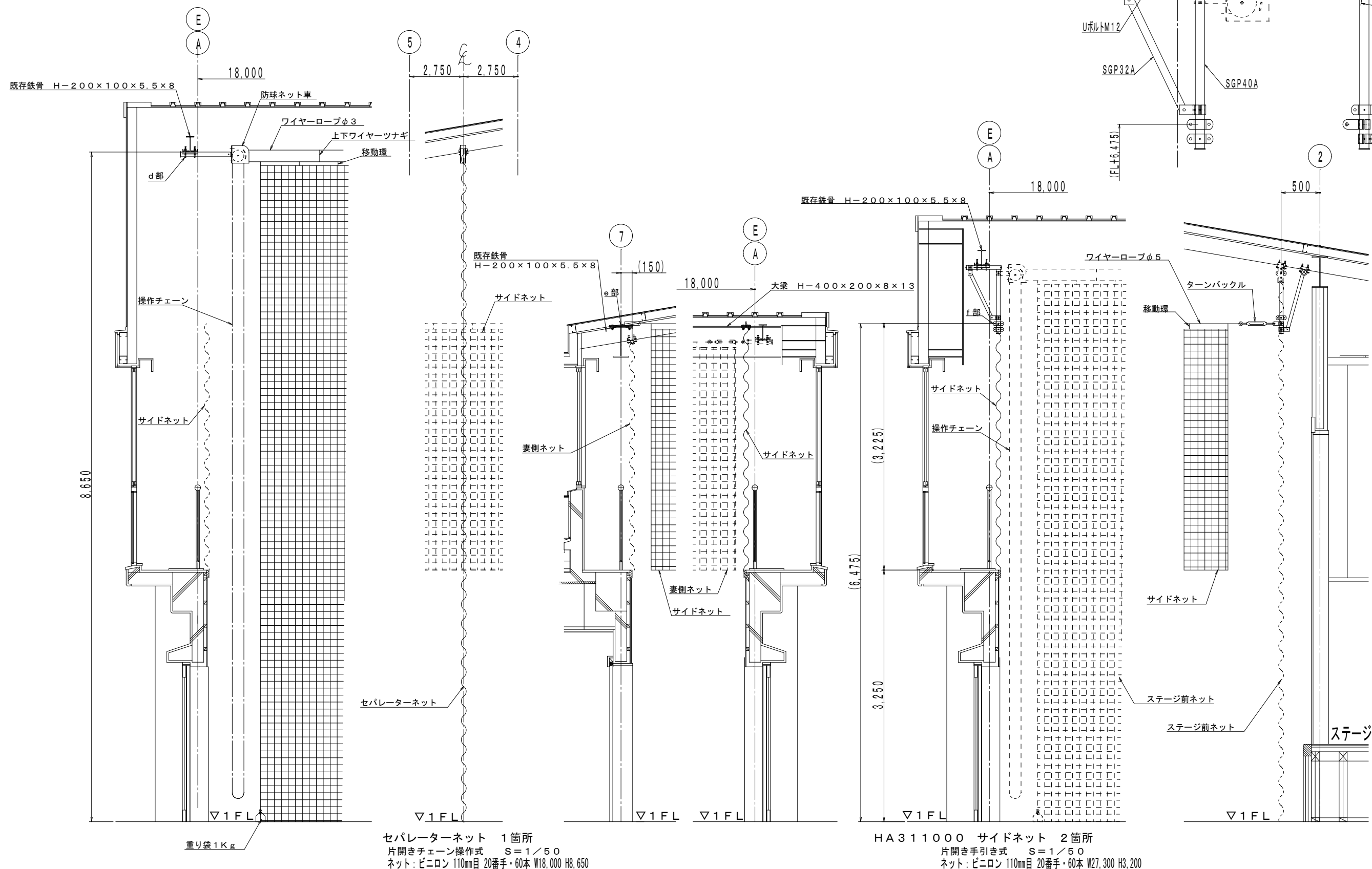
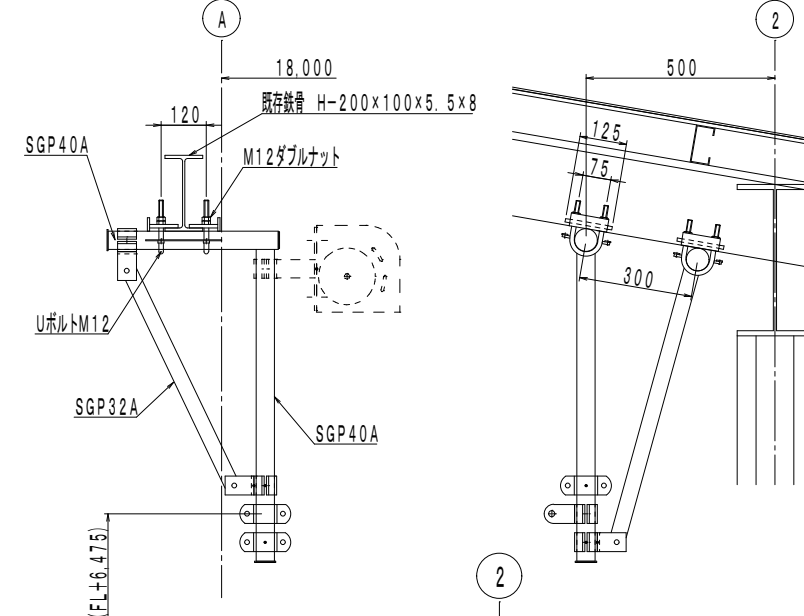
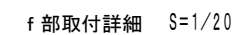
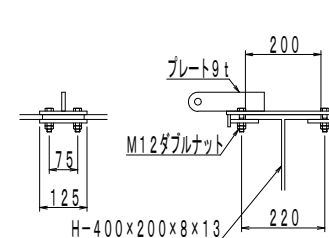
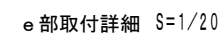
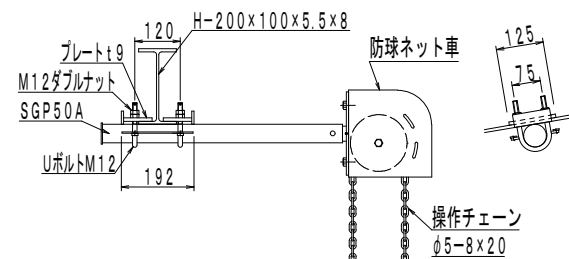
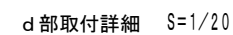
参考図

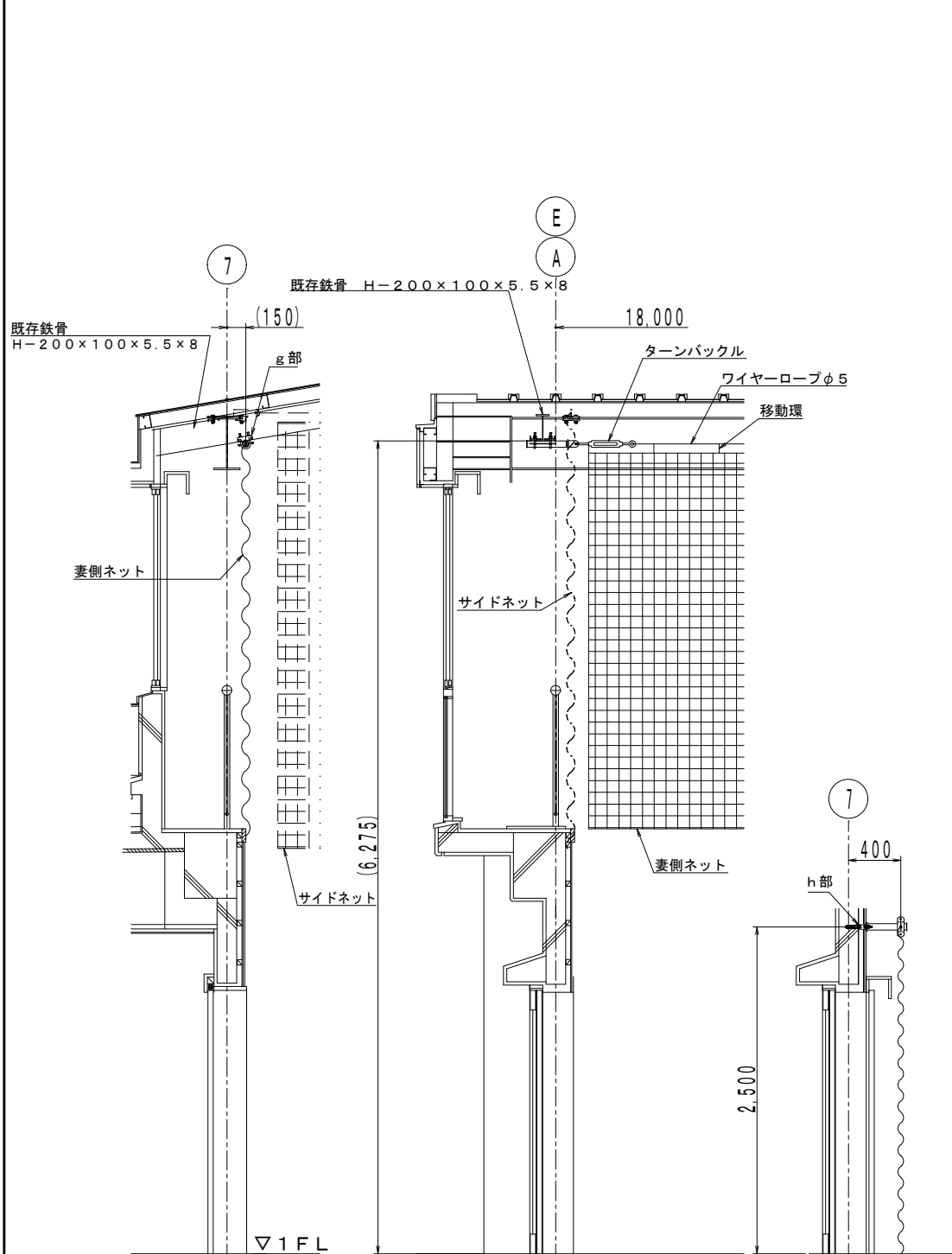


ステージ前ネット 1箇所
片開きチェーン操作式 S=1/50
ネット: ピニロン 110mm目 20番手・60本
W18,000 H7,000

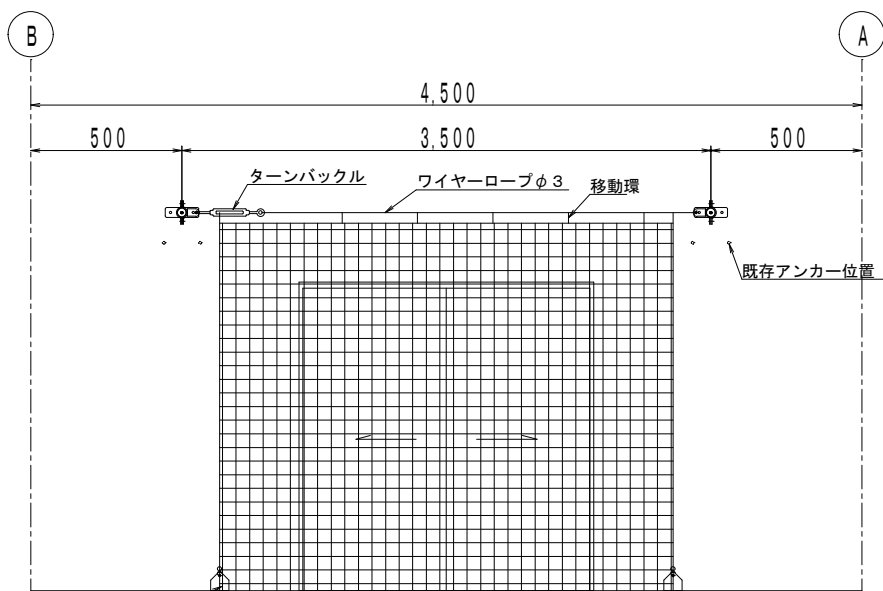
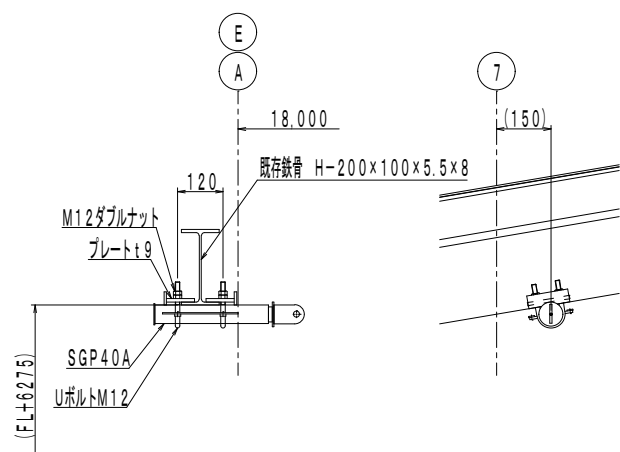
参考図

訂正年月日	✖ 杉原設計事務所 一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号 一級建築士第191476号 山崎修一			設計担当		WORK NO.		TITLE		DATE
								調布市立柏野小学校体育館内部改修工事		令和6・12・13
				APPROVAL		DRAWN	ITEM		SCALE	DRAWN NO.
							(新設) 体育器具詳細図（3）【改修】（参考図）		図示	A - 6 0

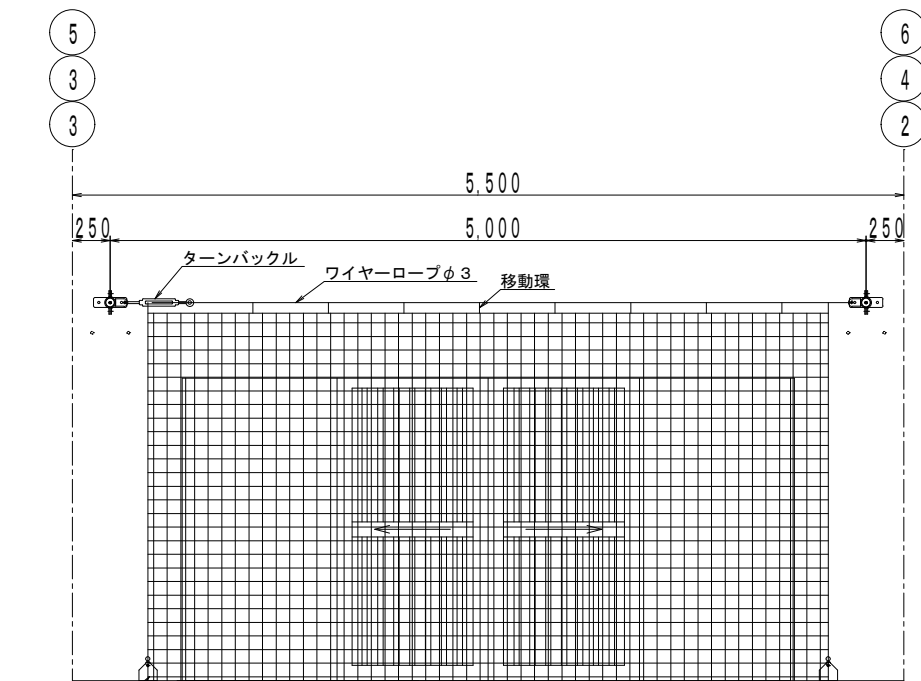




妻側ネット 1箇所
片開き手引き式 S=1/50
ネット：ピニロン 110mm目 20番手・60本
W18,000 H3,000

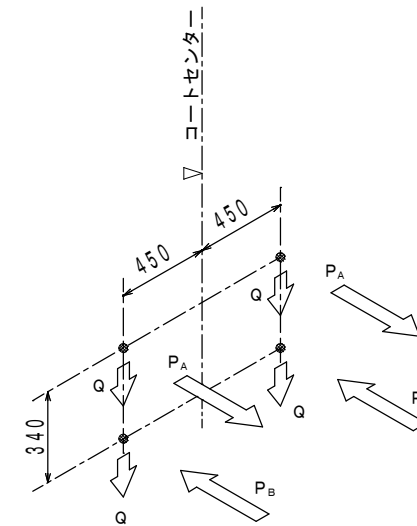
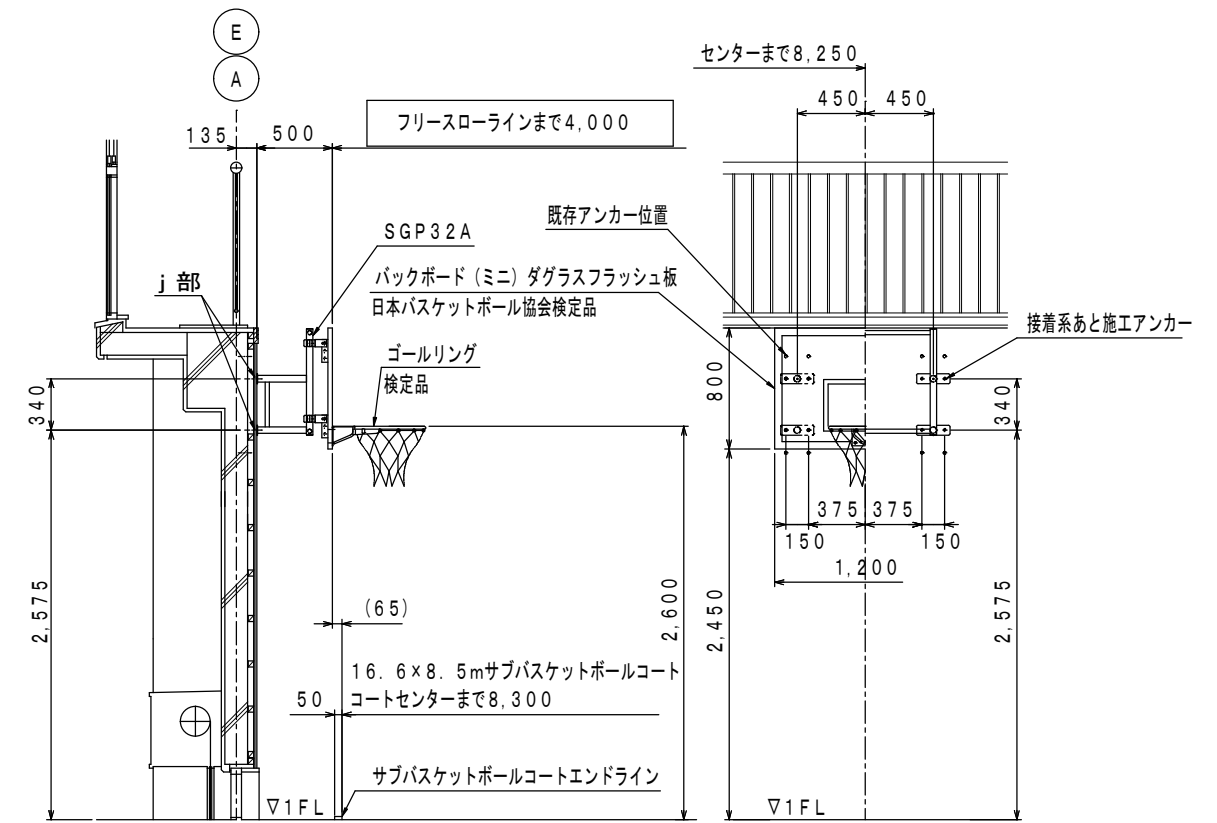


出入口前ネット1 1箇所
片開き手引き式 S=1/50
ネット：ピニロン 110mm目 20番手・60本
W3,000 H2,500

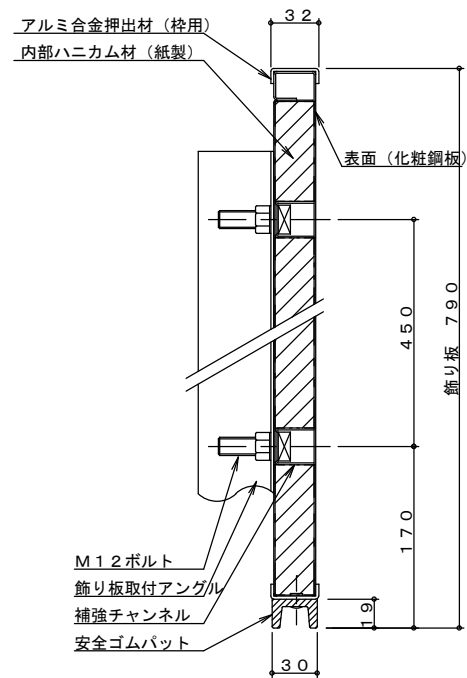
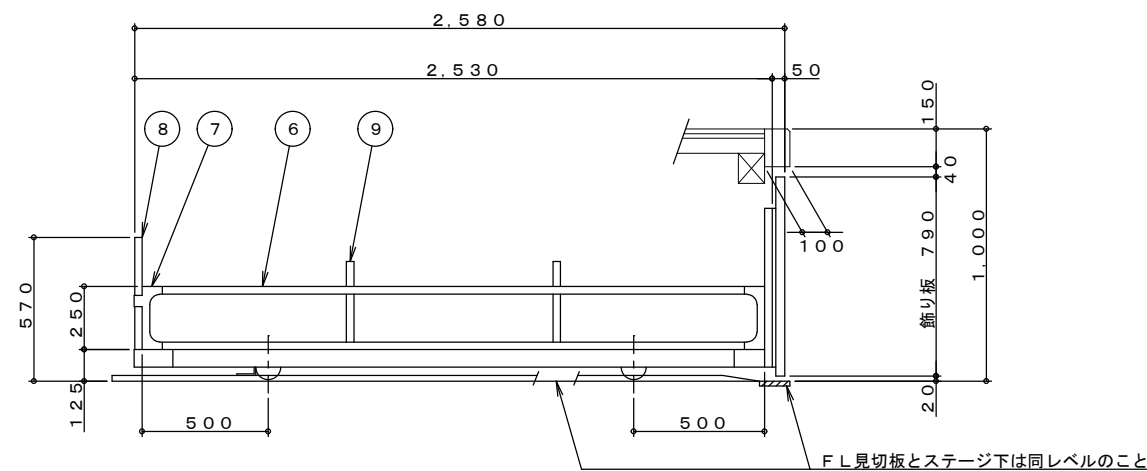
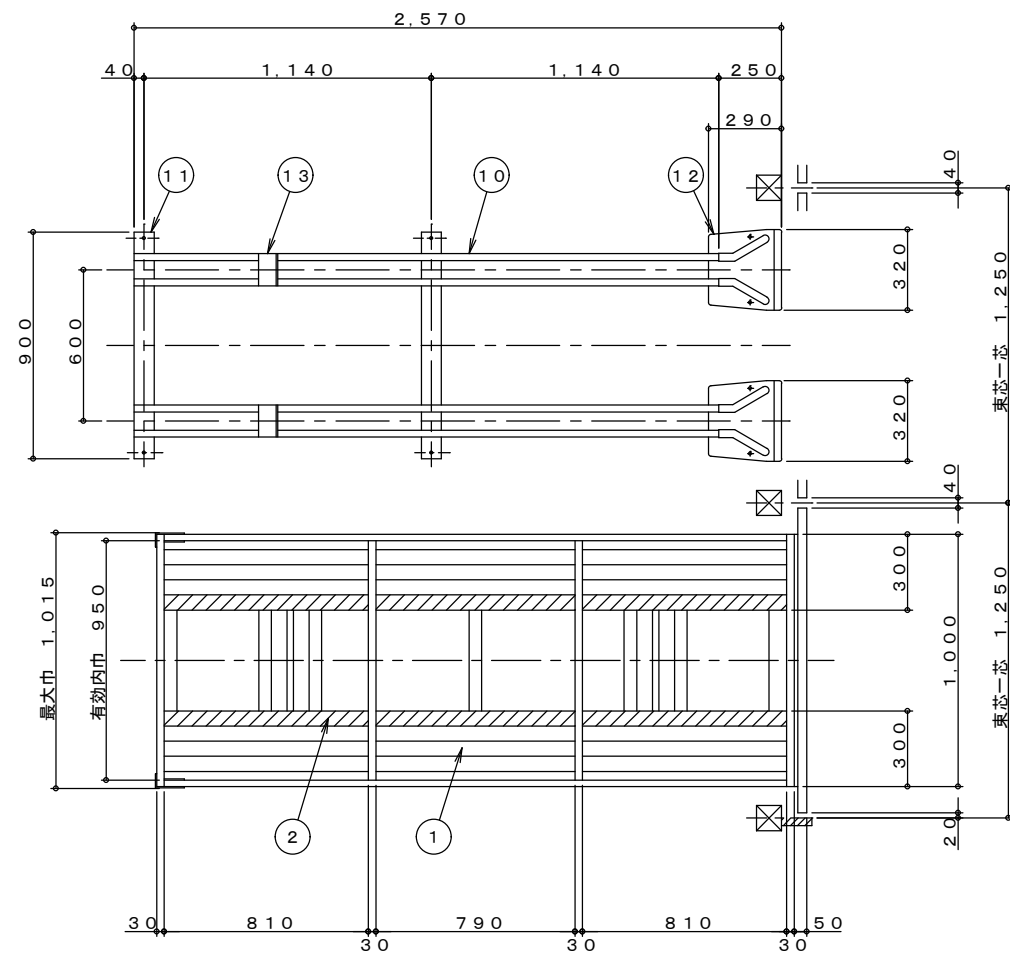


出入口前ネット2 3箇所
片開き手引き式 S=1/50
ネット：ピニロン 110mm目 20番手・60本
W4,500 H2,500

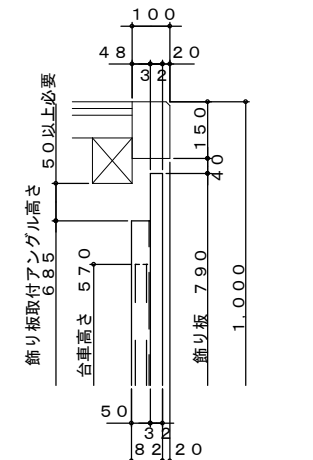
参考図

$$S = 1 / 10$$
[illegible]

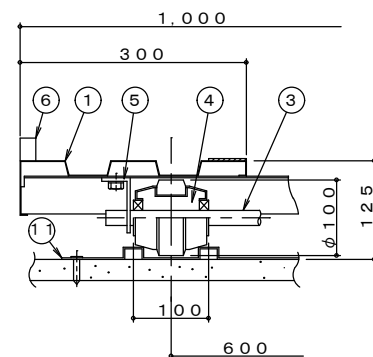
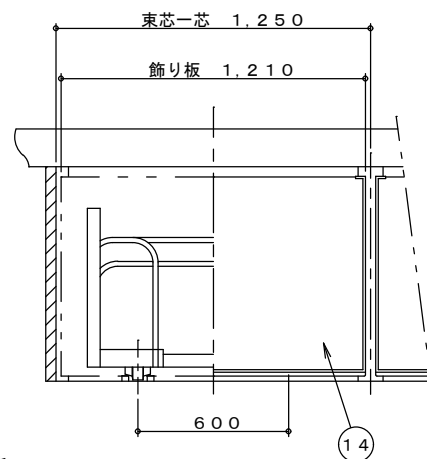
参考図



飾り板断面図
(S=1/5)



飾り板取付部詳細図 (S = 1 / 20)



レール、レール床、車輪関係図
(S=1/10)

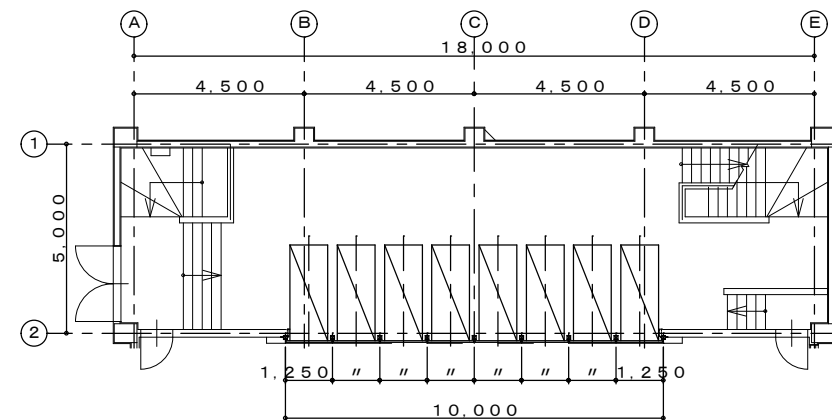
主 構 成 部 品			
NO	品 名	材 料 ・ 加 工	表面処理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t 0. 9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り 止 め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 軸	機械構造用炭素鋼鋼管 φ 2 0 × t 2. 5	亜鉛メッキ
4	車 輪	冷延鋼板 t 2. 0 をプレス加工した後、その外周に 合成ゴムを焼付けした一体型車輪 (軸受部はベアリング嵌合)	
5	軸 受	熱延鋼板 t 4. 5 を曲げ加工	焼付塗装又は亜鉛メッキ
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 3 0 × 2 0 × t 0. 8	焼付塗装又は亜鉛メッキ
7	ジョイント コネクタ	熱延鋼板 t 2. 0 を曲げ加工	焼付塗装又は亜鉛メッキ
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 3 0 × 2 0 × t 0. 8	焼付塗装又は亜鉛メッキ
9	椅子倒れ 止 め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 3 0 × 2 0 × t 0. 8	焼付塗装又は亜鉛メッキ
1 0	レール	亜鉛メッキ鋼板 t 1. 6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
1 1	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t 1. 6 をプレス加工	亜鉛メッキ
1 2	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t 1. 6 をプレス加工	焼付塗装
1 3	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t 6. 0 を曲げ加工	焼付塗装又は亜鉛メッキ
1 4	飾り板	化粧鋼板 t 0. 8 を曲げ加工し、アルミ製枠にて保護 したものの中にハニカム材（紙製）をはめ込んだもの。 (合成ゴム製安全パッド付)	樹脂コーティング

備考

- | | | | | | |
|---|---------------------------|-------|-------|-------------------------|--------|
| 1 | 製作数 | 8列 | 8軸 | (フジトラックF T-1 T-2 500 L) | 椅子収納台車 |
| 2 | レールの製作及び取付工事はこの設備に含みます | | | | |
| 3 | 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含みます | | | | |
| 4 | レール下地(モルタル)はこの設備より除外とします | | | | |
| 5 | 椅子収納脚数 | 50脚/列 | (8列分＝ | | 400脚) |
| | 但し椅子の厚みは約50mmとして計算 | | | | |
| 6 | 部品の仕様及び外観は予告なく変更する場合があります | | | | |

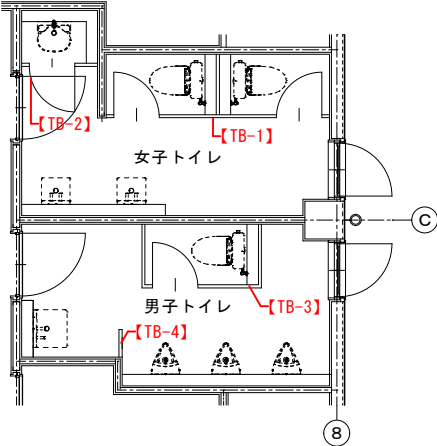
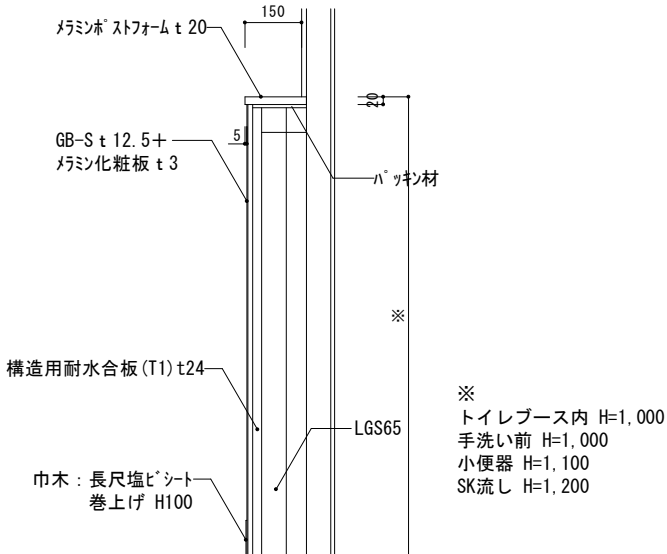
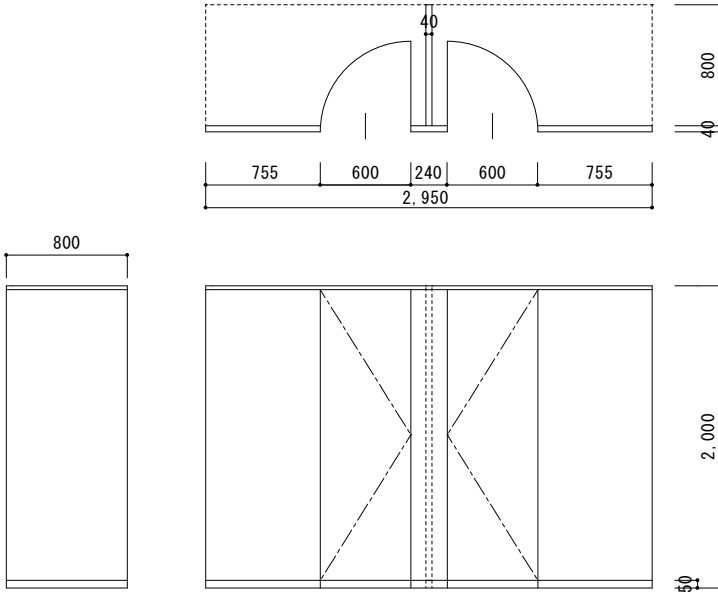
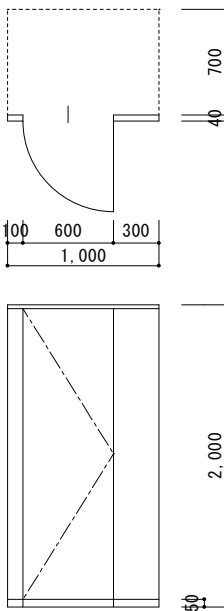
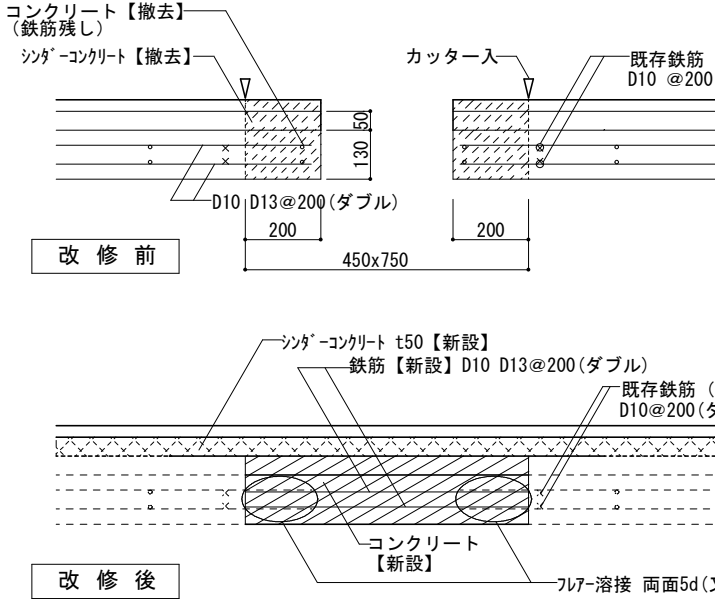
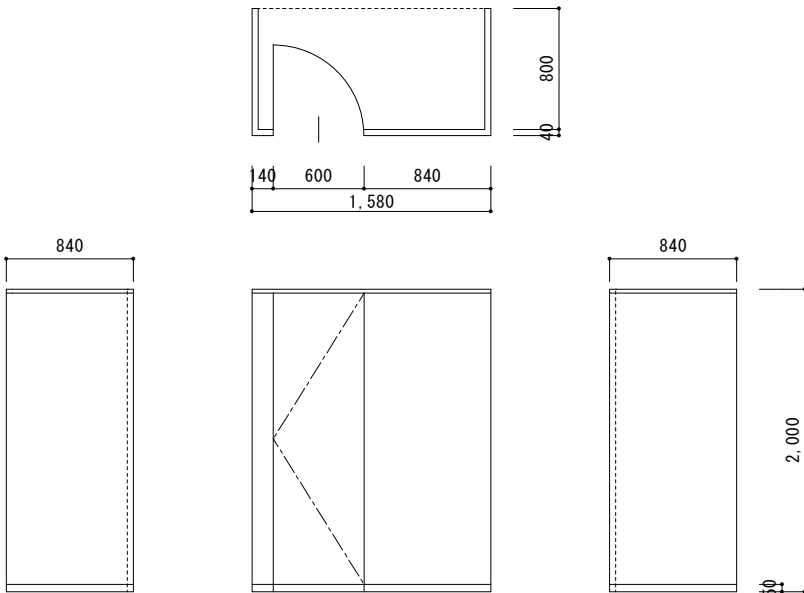
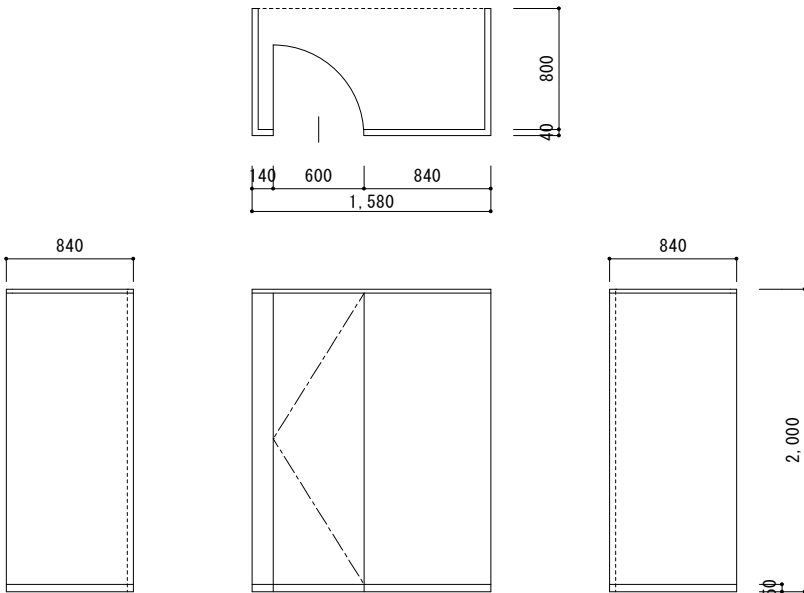
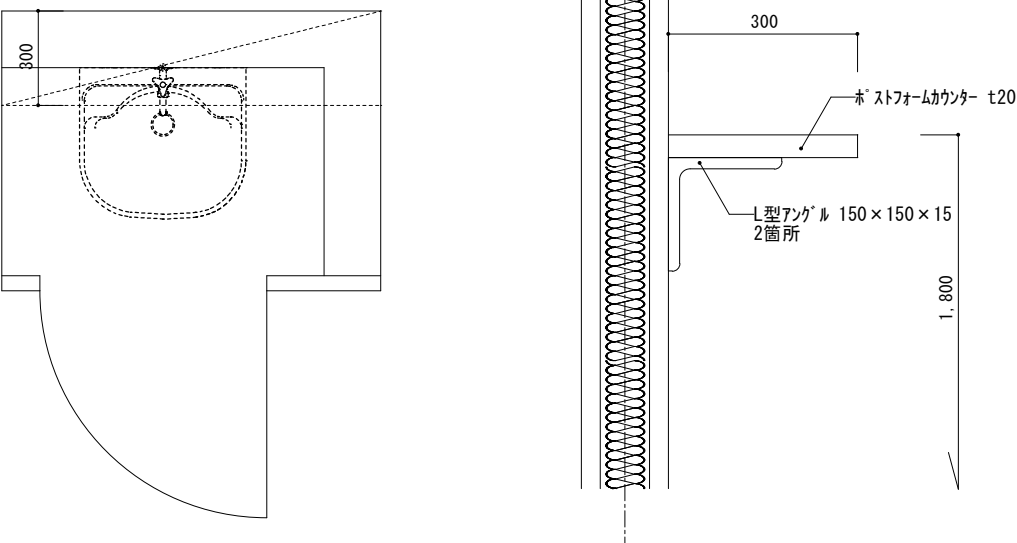
別途工事

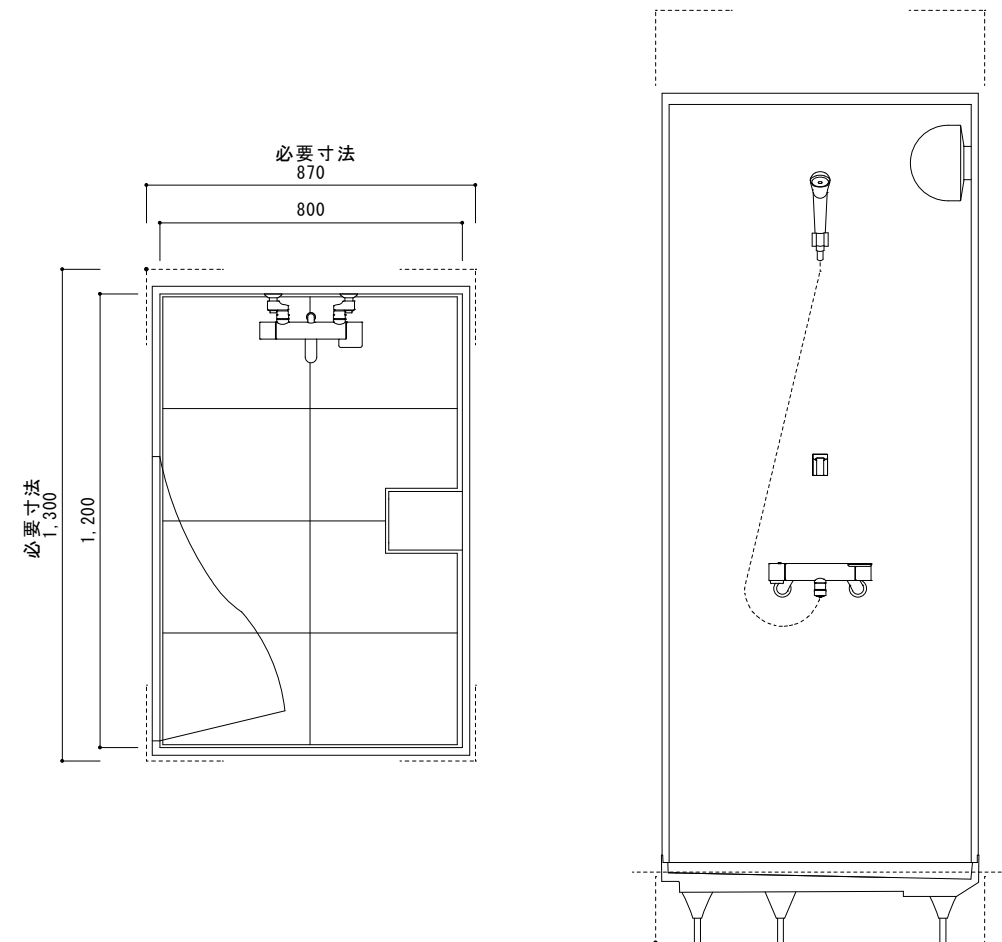
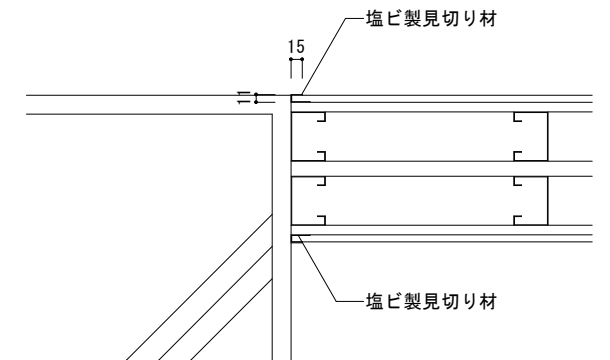
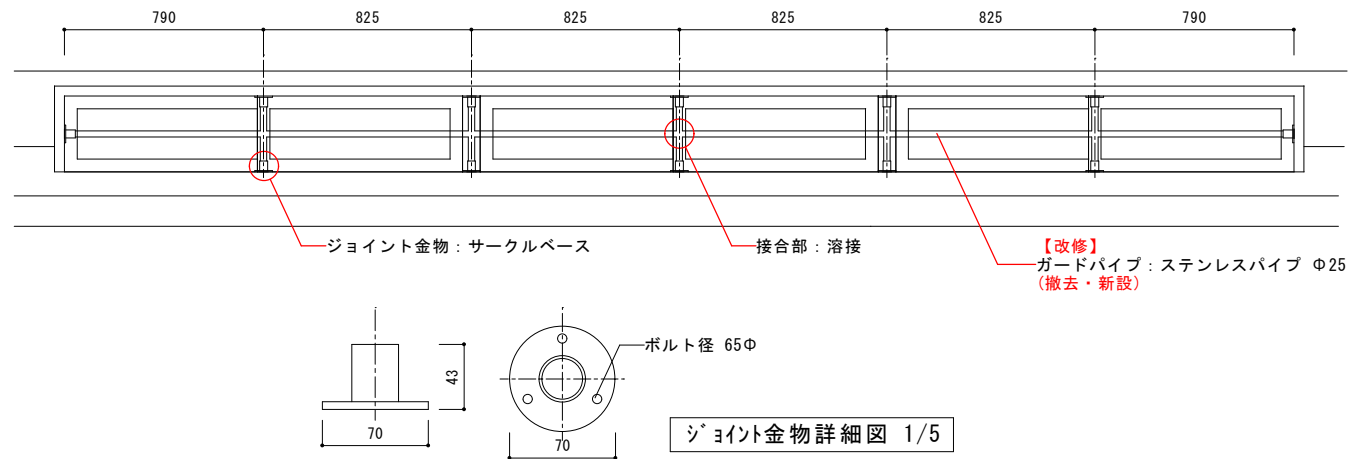
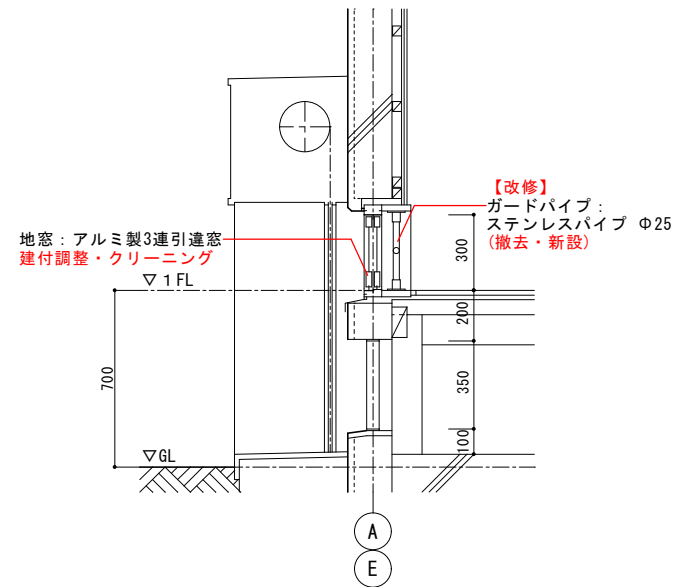
- ・レール設置部床仕上工事



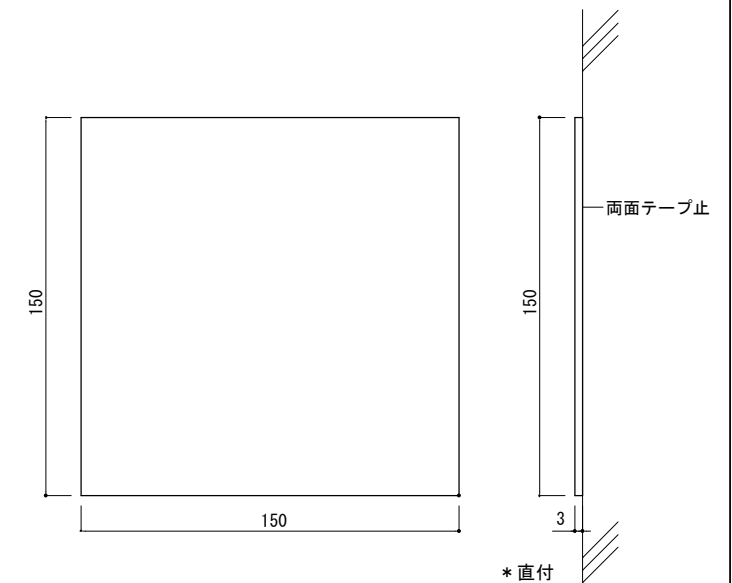
台車收納時平面配置図 (S=1/200)

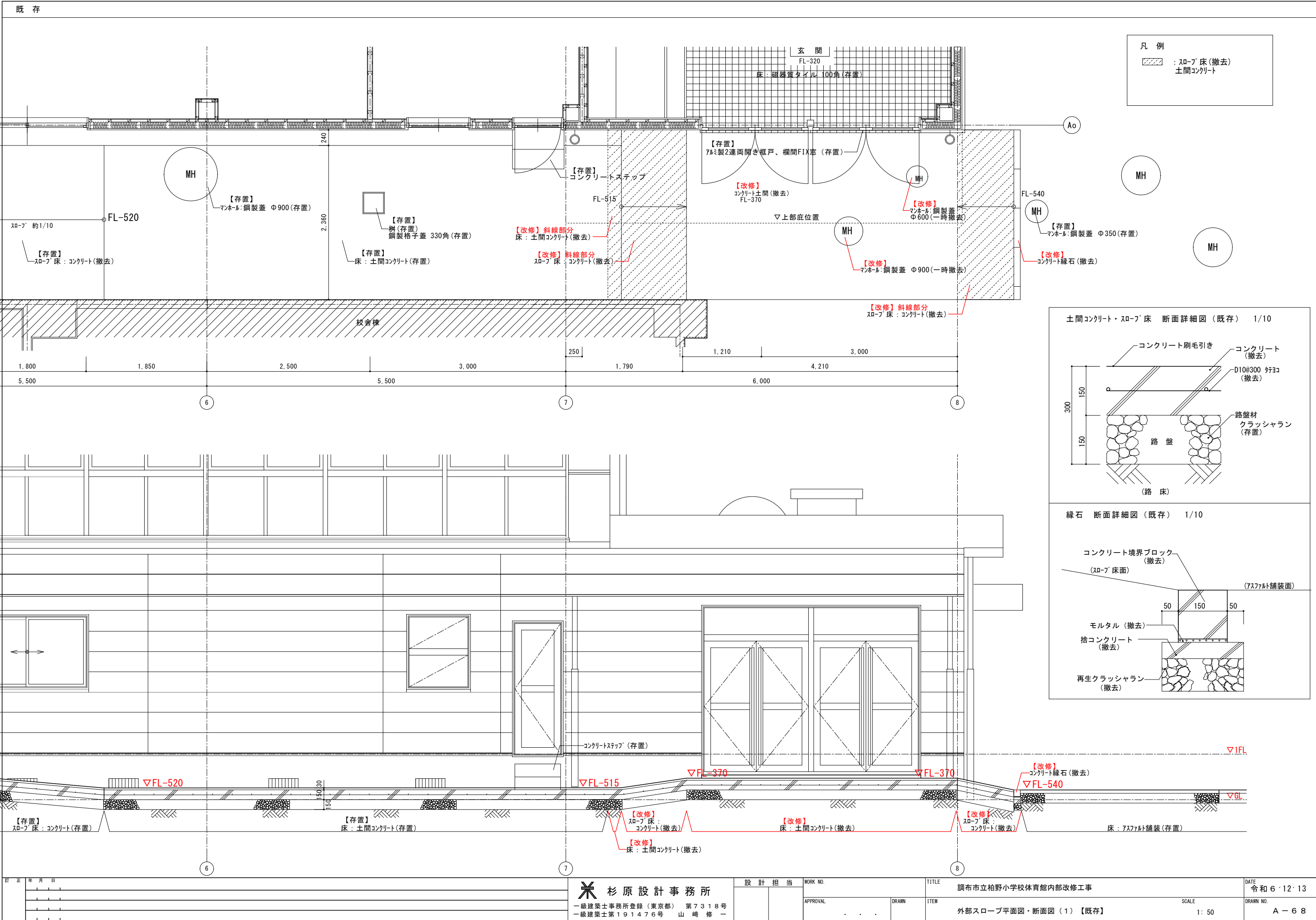
渡り廊下　下駄箱（改修）		S=1/30		更衣室　棚（ロッカー）（撤去）		S=1/30		前室　手洗い流し台（撤去）		S=1/20									
		渡り廊下　2箇所				S=1/30				S=1/20									
更衣室　棚（ロッカー）（新設）（参考図）				S=1/30		前室　手洗い流し台（新設）（参考図）				S=1/20									
				女子更衣室　2箇所						前室　2箇所									
更衣室　棚（ロッカー）（新設）（参考図）				S=1/30		脱衣室　タオル棚（新設）（参考図）				S=1/20									
				男子更衣室　2箇所 女子更衣室　1箇所						男子脱衣室　1箇所 女子脱衣室　1箇所									
訂正年月日				杉原設計事務所				設計担当		WORK NO.		TITLE		DATE					
				一級建築士事務所登録（東京都）第7318号						APPROVAL		DRAIN		ITEM		SCALE		DRAWN NO.	
				一級建築士第191476号 山崎修一						調布市立柏野小学校体育館内部改修工事		家具詳細図【既存・改修】（参考図）		図示		A-65			

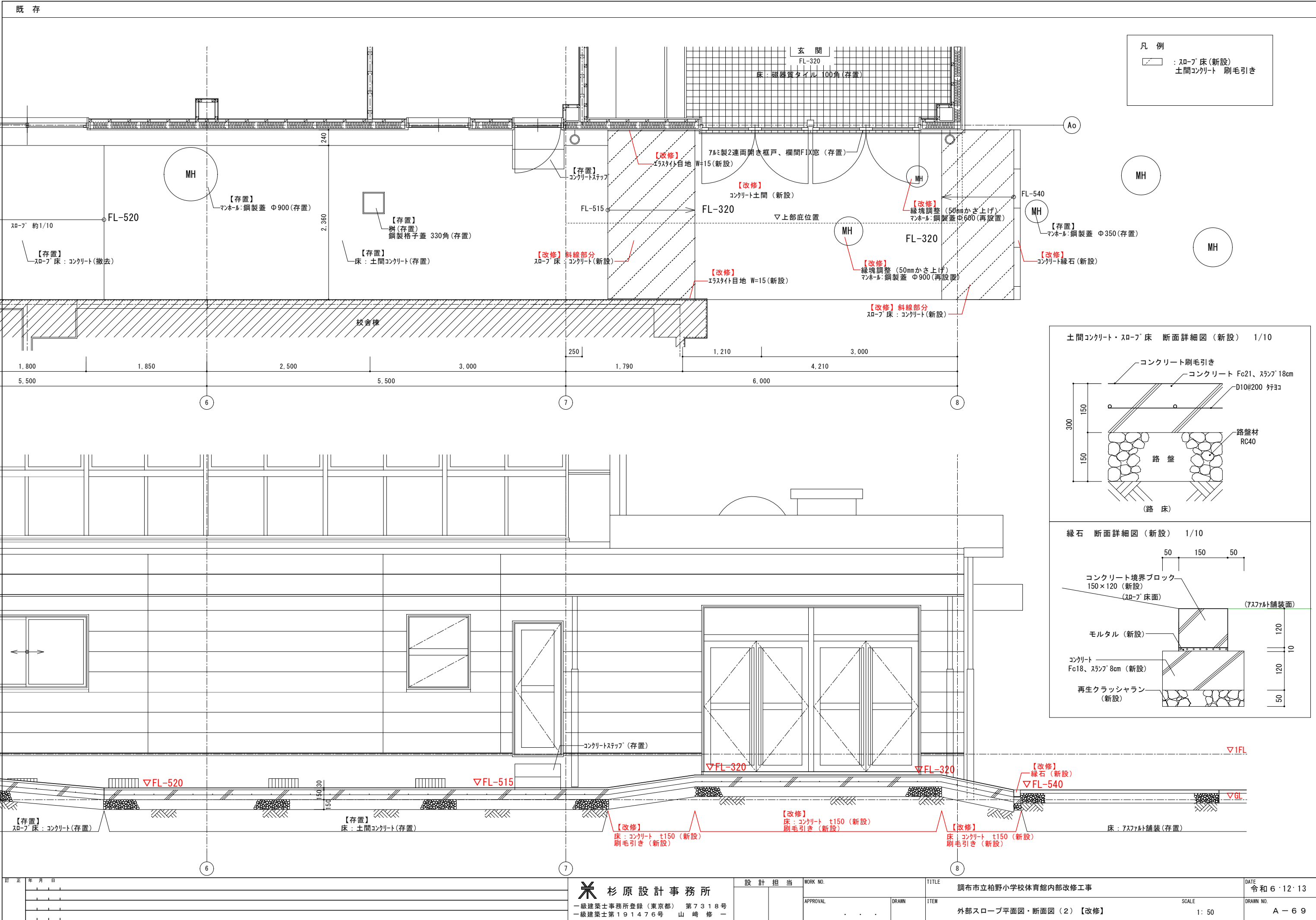
トイレブースキープラン（新設）		S=1/100	トイレ仕様（参考）		ライニング詳細図		S=1/20	S K ステンレスフック（参考図）		S=1/2									
			エッジデザイン		：アルミアルエッジ（中心吊り）					取付位置には補強合板を設置する		2箇所							
			パネル厚		：40mm														
			パネル仕上		：高圧メラミン樹脂化粧板														
			パネルカラー		：標準色（単色）														
			笠木		：アルミ製														
			足金物		：巾木タイプ														
			ドア金物		：標準品、内開き戸当たりストッパー														
			レスキュードア対応		：対応														
			標準金物		・スライドロック														
					・表示付きスライドロック														
		・戸当たり帽子掛け																	
		・指挟み防止																	
TB-1 女子トイレ 1箇所			S=1/50	TB-2 女子トイレ 1箇所		S=1/50	既存和便器撤去 スラブ新設		S=1/20										
													女子便所 1箇所						
													S=1/10						
				S=1/50					S=1/50	女子トイレ内S K 上部吊棚					S=1/10				
																			
訂正年月日				✱ 杉原設計事務所				設計担当		WORK NO.		TITLE				DATE			
				一級建築士事務所登録（東京都） 第7318号						APPROVAL		DRAWN		調布市立柏野小学校体育館内部改修工事				令和6・12・13	
				一級建築士第191476号 山崎修一										雑詳細図（1）【既存・改修】トイレ・ス、ライニング等				A-66	
														SCALE 図示					



シャワーユニット仕様（参考）	
内 法 寸 法	: 800D × 1,200W × 2030H
壁	: パネル
床	: FRP製
水栓金具	: サーモスタット
シャワー	: スプレーシャワー
収 納	: なし
ド ア	: 折戸 W=800
照 明	: 半球形照明（LEDランプ）
換 気	: 天井扇
スライドバー	: なし（シャワーハンガー2個）
その他	: タオル掛け







凡 例

 : スロープ 床 (新設)

 土間コンクリート 刷毛引き

土間コンクリート・スロープ 床 断面詳細図 (新設) 1/10

コンクリート刷毛引き

コンクリート Fc21、スラブ 18cm

D10@200 びり

路盤材 RC40

路 盤

(路 床)

緑石 断面詳細図 (新設) 1/10

50 150 50

コンクリート境界ブロック 150×120 (新設)

(スロープ 床面)

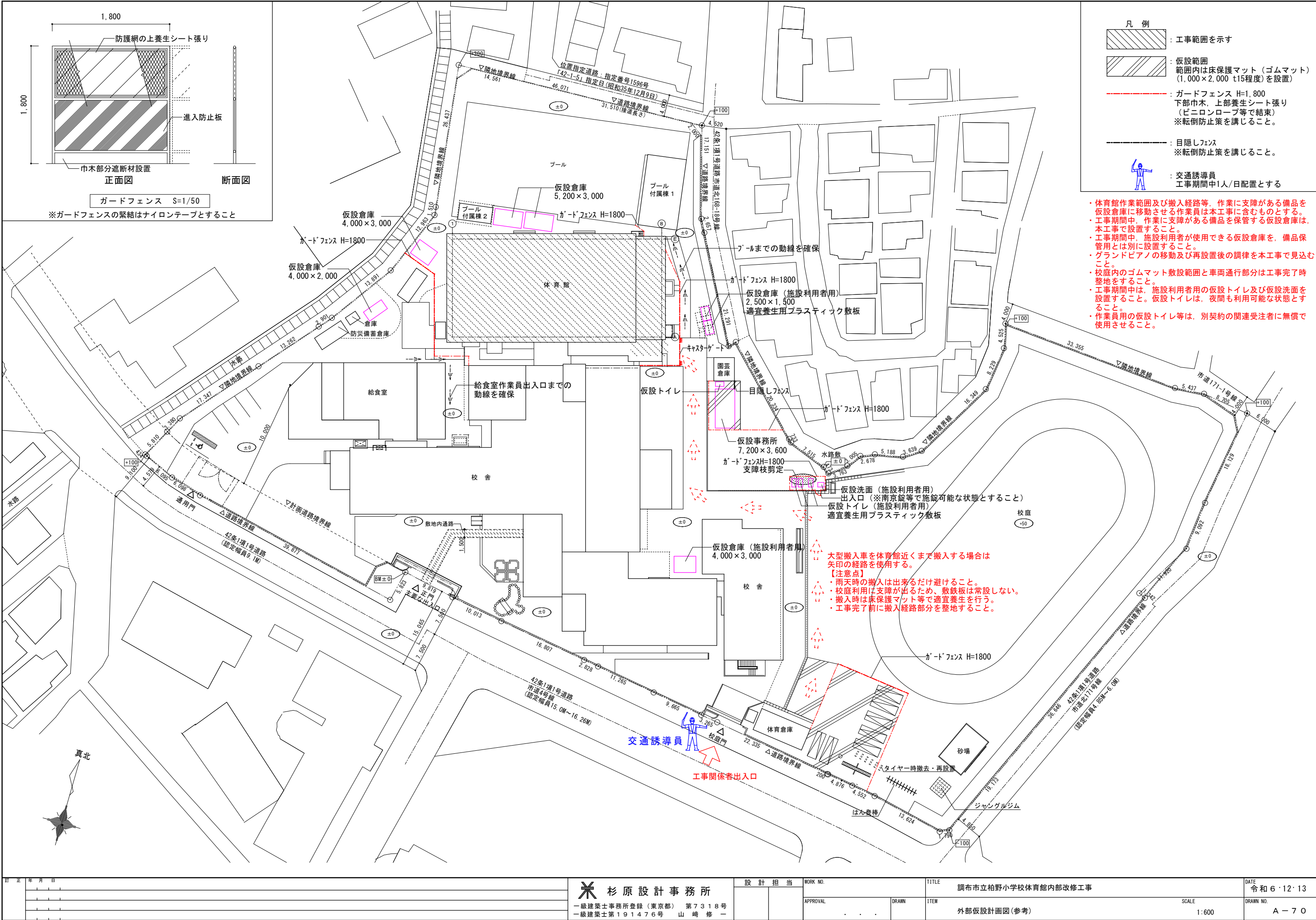
(アスファルト舗装面)

モルタル (新設)

コンクリート Fc18、スラブ 8cm (新設)

再生クラッシャーラン (新設)

120 10 120 50

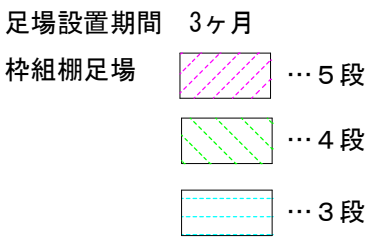
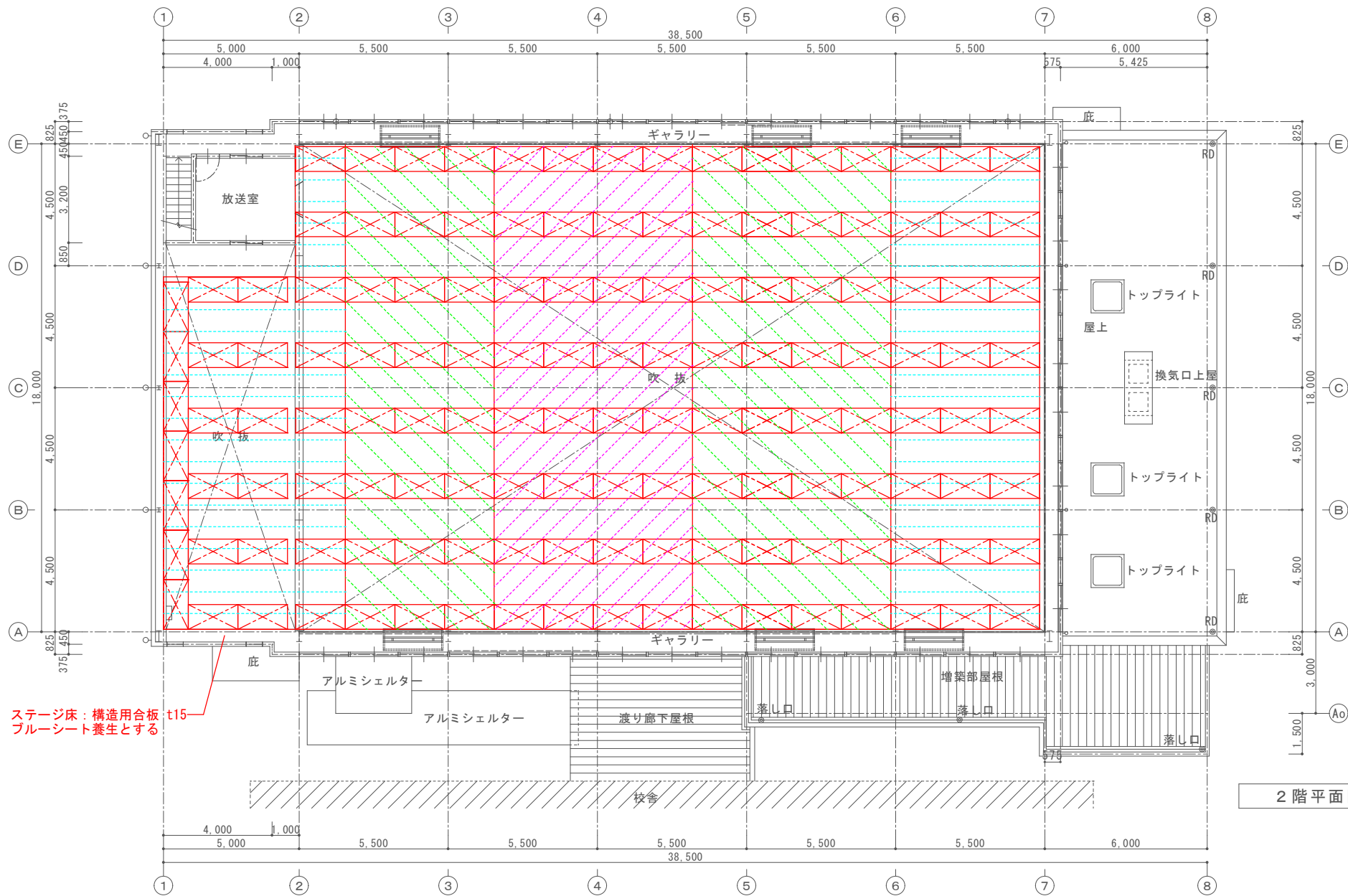
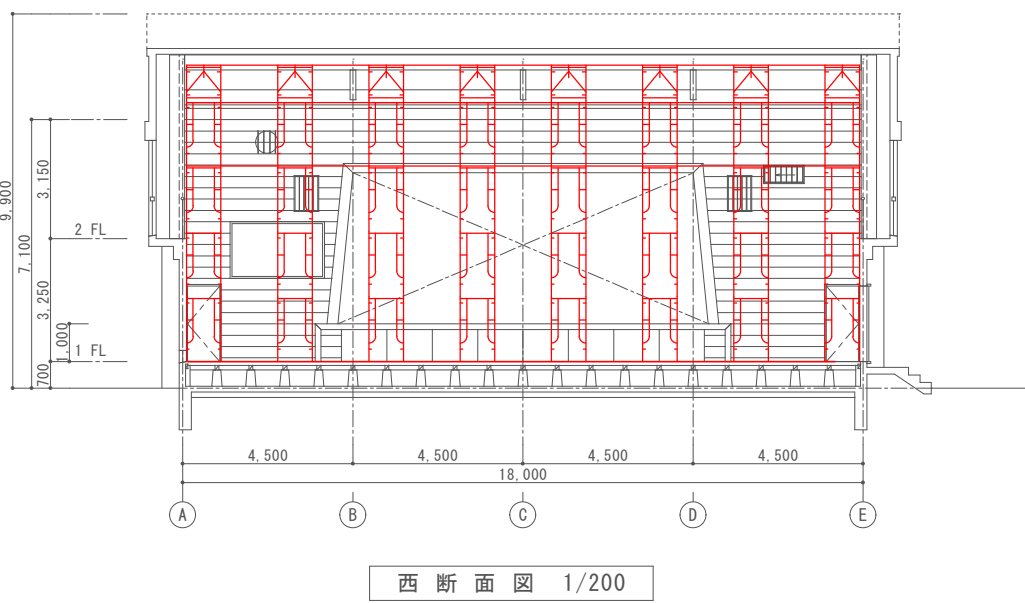
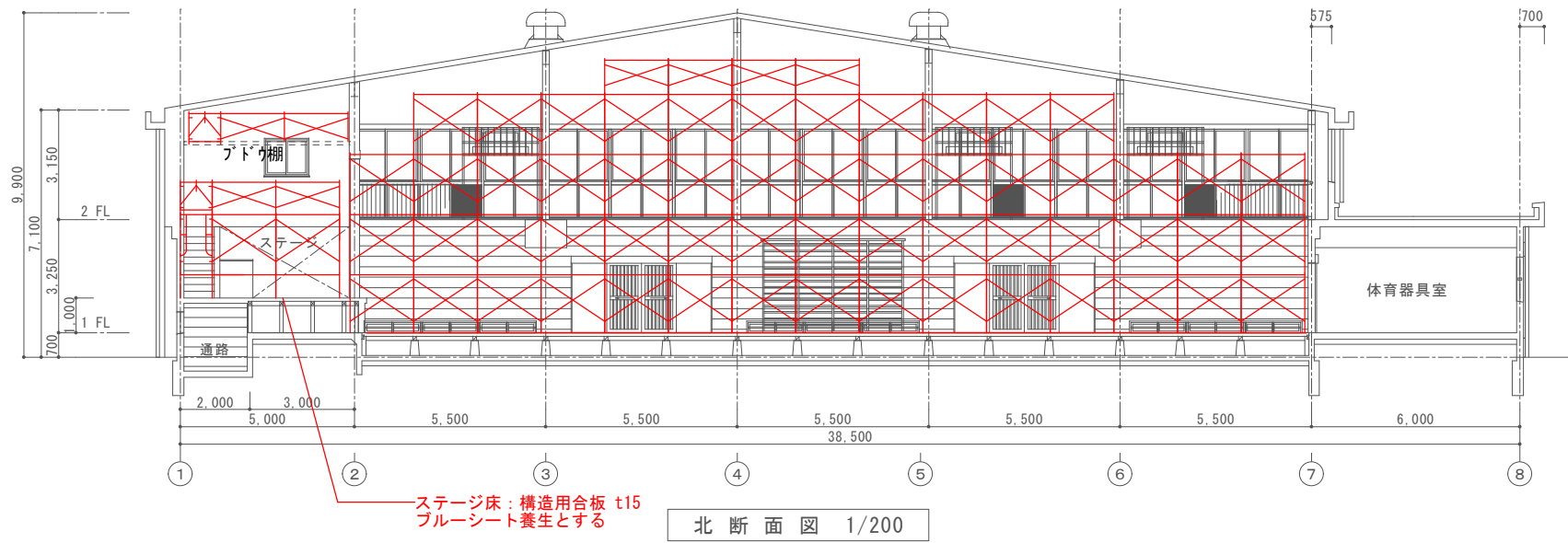


- 凡 例
- : 工事範囲を示す
 - : 仮設範囲
範囲内は床保護マット (ゴムマット) (1,000×2,000 t15程度)を設置
 - : ガードフェンス H=1,800
下部巾木, 上部養生シート張り (ビニロンロープ等で結束)
※転倒防止策を講じること。
 - : 目隠しフェンス
※転倒防止策を講じること。
 - : 交通誘導員
工事期間中1人/日配置とする

- ・体育館作業範囲及び搬入経路等, 作業に支障がある備品を仮設倉庫に移動させる作業員は本工事に含むものとする。
- ・工事期間中, 作業に支障がある備品を保管する仮設倉庫は, 本工事で設置すること。
- ・工事期間中, 施設利用者が使用できる仮設倉庫を, 備品保管用とは別に設置すること。
- ・グランドピアノの移動及び再設置後の調律を本工事で見込むこと。
- ・校庭内のゴムマット敷設範囲と車両通行部分は工事完了時整地すること。
- ・工事期間中は, 施設利用者用の仮設トイレ及び仮設洗面を設置すること。仮設トイレは, 夜間も利用可能な状態とすること。
- ・作業員用の仮設トイレ等は, 別契約の関連受注者に無償で使用させること。

- 大型搬入車を体育館近くまで搬入する場合は矢印の経路を使用する。
- 【注意点】
- ・雨天時の搬入は出来るだけ避けること。
 - ・校庭利用に支障が出るため、敷鉄板は常設しない。
 - ・搬入時は床保護マット等で適宜養生を行う。
 - ・工事完了前に搬入経路部分を整地すること。

仮設計画図



※舞台緞帳等・暗幕等は、一時撤去の上、再設置すること。
一時撤去及び再設置は、適切な手順により行い、損傷しないように細心の注意を払うこと。
※舞台の緞帳及び幕等は、再設置の際に簡易清掃を行うこと。
※工事に支障のある備品等は仮設倉庫へ移動し、移動しない備品等は、適宜養生を行うこと。
※仮設足場は、別契約の関連工事受注者に無償で使用させること。